SHARP®

取扱説明書

液晶カラーテレビ

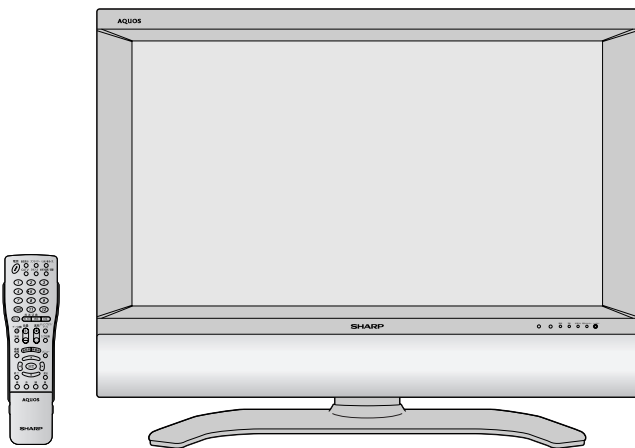
形 名

LC-32AD5（エル シー　エー ディー）

LC-37AD5

2. 操作編

操作に入る前に別冊の取扱説明書 1. 準備編 をご覧ください。

AQUOS

このマークは、放送信号に含まれるGCR信号を利用して、ゴーストを軽減する機能を内蔵した機器であることを示すものです。

はじめに
本機を正しくお使いいただくための注意事項やメニューの操作方法などについて説明しています。

テレビを楽しむ
本機を楽しく使っていただくうえで役立ついろいろな機能と操作方法について説明しています。

デジタル放送の視聴と予約
デジタル放送の視聴のしかたと番組の予約について説明しています。

デジタル放送の設定をする
デジタル放送を安心してご覧いただくための設定について説明しています。

他の機器をつないで使う
外部機器の再生を楽しんだり、放送を録画するときの方法について説明しています。

情報ページ
困ったときに確認する項目やメニュー一覧、おもな仕様、用語の解説、索引など、便利な情報のページです。

Quick Start Guide in English
An easy guide to basic features of this product.

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意」（6ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

もくじ

はじめに　5～26ページ

■この取扱説明書の見かた 5

■安全上のご注意 6

警告 6
注意 8

■使用上のご注意 11

守っていただきたいこと 11
蛍光管について 13

■本機の特長 14

■BS・110度CSデジタル放送について 15

BS・110度CSデジタル放送の特長 15
BSデジタル放送について 16
BSデジタル放送の有料放送を視聴するための手続き 17
110度CSデジタル放送について 18
110度CSデジタル放送の専用サービス 18
110度CSデジタル放送を視聴するための手続き .. 19

■地上デジタル放送について 20

新しい放送サービス 20
地上デジタル放送の特長 20
アンテナについて 21
アナログ放送からデジタル放送への移行について 21
地上デジタル放送のCATV放送対応について 21

■メニューについて 22

メニューの基本操作 22
メニュー画面の見かた 22
メニュー画面と設定画面の基本操作 23
メニュー項目の一覧 24
メニューなどの表示言語を選ぶ 26
Switching the Display Language to English 26

テレビを楽しむ　27～48ページ

■ふだんの使いかた 28

電源の入／切・選局・音量調整 28
画面表示・CATV・入力切換えなど 29

■画面サイズを設定する 30

画面サイズと画面サイズ制御信号について 30
オートワイド機能について 31
画面サイズを選ぶ 32
映像判別の設定（オートワイド） 32
S2対応の設定（オートワイド） 33
D端子識別の設定（オートワイド） 33

■画面の位置を調整する 34

画面位置の調整のしかた 34

■お好みの映像・音声で楽しむ ... 35

最適な映像・音声設定を選ぶ（AVポジション） 35
映像調整について 36
お好みの音声に調整する（音声調整） 39
メリハリのある聞きやすい音にする（いきいきボイス） ... 40
二重音声放送やステレオ放送を楽しむ 41

■便利な機能を使う 42

指定した時間後に電源を切る（オフタイマー） 42
省エネ機能について 42
映像の向きを変える 43
映像の特殊な機能を使う 43

■ゴーストを軽減する（GR機能） 44

GR機能を使う 44
メニュー画面でGR設定をする 45

■お好みのチャンネルを登録する .. 46

お好み選局／登録画面にチャンネルを登録する（お好み登録） ... 46
お好み登録したチャンネルを確認する 47
お好み登録を変更する 47
お好み選局／登録画面からチャンネルを選局する（お好み選局） 47

■静止画面で見る 48

番組の内容をメモする 48

デジタル放送の視聴と予約　49～68ページ

■デジタル放送の番組を選ぶ 50
番組の選択手順と操作のしかた 50
お好み選局／登録画面を表示して選ぶ 51
3桁入力で選ぶ 51
地上デジタルチャンネルの枝番を選んで選局する . 51

■デジタルチャンネルの確認と登録 .. 52
チャンネルボタンに登録されている
デジタルチャンネルを確認する 52
デジタルチャンネルをチャンネルボタンに登録する .. 54

■映像・音声の切り換えかた 55
複数の映像を楽しむ 55
複数の音声を楽しむ 55

■視聴中の番組の情報を見る 56
番組情報を表示する 56

■テレビ放送に連動したデータ放送を視聴する . 56
連動データ放送を見る 56

■電子番組表(EPG)の使いかた .. 57

■電子番組表(EPG)で選ぶ 58
見たい番組を探す 58
アイコン一覧 58
日時を指定して番組を探す 59
ジャンルで番組を探す 59
番組の内容を確認する 60
放送中の他の番組(裏番組)を知りたいとき 60

■電子番組表(EPG)から番組を予約する 61
番組予約(録画予約)の手順 61
視聴予約か録画予約かを選ぶ 62
視聴予約 63
録画予約 63
ビデオ連動予約するとき 64
i.LINK予約するとき 65
詳細設定 65
予約の確認・取消し・変更 68

デジタル放送の設定をする　69～92ページ

■放送視聴のためのいろいろな設定 .. 70
画面サイズや画面表示についての設定 70
字幕表示の設定 71
番組名表示の設定 71

■安心して使うための設定 72
暗証番号を設定する 72
視聴年齢制限を設定する 73
双方向サービスの利用を制限する 74
PPV制限を設定する 75
購入金額制限を設定する 75

■お知らせを見る 76
お知らせについて 76
受信メッセージを見る 76
ボードを表示して情報を見る 76
受信機レポートを見る 77
B-CASカード番号を見る 77
PPV購入履歴を見る 77

■ダウンロードを行う 78
ダウンロードの方法 78

■システム動作テストを行う 79

■本機を譲渡・廃棄するとき 80
個人情報を初期化する 80

■番組表を利用するための設定を行う .. 81
番組表取得設定 81
表示範囲設定 81
ジャンルアイコン設定 82

■双方向通信を行うための優先利用回線設定.... 83
優先利用回線設定 83

■プロバイダ設定を行う 84
プロバイダ設定 84

■LAN接続と設定 86
LAN接続のしかた 86
LAN設定 87

次ページへつづく

もくじ(つづき)

デジタル放送の設定をする(つづき)

■ソフトウェアキーボードについて .. 90
ソフトウェアキーボードの使いかた 90
文字入力をする 91
入力文字の種類 92

他の機器をつないで使う 93～120ページ

■端子のなまえとはたらき 94

■入力切換えのしかた 97
入力切換メニューの操作方法 97

■ビデオ／DVD再生を楽しむ 98
ビデオデッキなどの再生映像を見る 98
高精細映像を楽しむ 98

■入力選択の設定 99

■外部機器に表示を合わせる 100
入力表示を選択する 100

■録画・編集 101
地上アナログ放送の番組を録画する 101
ビデオカメラなどの映像を録画・編集する 102
視聴中のデジタル放送をビデオデッキに録画する ... 103
入力4端子の設定 104
デジタル固定の設定 105
ビデオコントローラーを使って予約する（ビデオ連動録画） 106

■i.LINK対応録画機器をつなぐ ... 109
i.LINK(アイリンク)について 109
i.LINK接続のしかた 109
i.LINK機器を操作するための準備 110
i.LINK設定を行う 111
i.LINK機器の選択と解除 112
i.LINK機器の操作のしかた 113
i.LINK自動切換の設定 114
D-VHSビデオデッキでデジタル放送を録画する 114
D-VHSビデオデッキで録画した番組を再生する 114
AV-HDDレコーダーやBlu-ray Discレコーダーでデジタル放送を録画する 115
AV-HDDレコーダーやBlu-ray Discレコーダーで録画した番組を再生する 116
AV-HDDレコーダーやBlu-ray Discレコーダーで録画した番組の消去・保護 117

他の機器をつないで使う(つづき)

■音響機器をつなぐ 118
音響機器をつないで音声を楽しむ 118
デジタル音声出力(光)端子から録音する 119
デジタル音声出力(光)端子の設定 120
デジタル音声出力の設定 120

情報ページ 121～137ページ

■ 故障かな？と思ったら 122
■ デジタル放送の注意文など 125
■ リセットボタンについて 127
テレビリセットボタン 127
デジタルリセットボタン 127
■ メニュー項目一覧 128
■ 保証とアフターサービス 130
■ お客様ご相談窓口のご案内 131
■ おもな仕様 132
■ 寸法図 133
■ 別売品について 133
■ 本機で使用している特許など 133
■ 用語の解説 134
■ 索引 136

Quick Start Guide in English

■ Part Names — Main Unit 138
■ Part Names — Remote Control Unit .. 140
■ Basic Operations 143
■ Enjoying Digital Broadcasts 147

● 本機を廃棄または譲渡する場合には、個人情報の消去(初期化)をお願いします。(**80**ページ)

※ 本取扱説明書に記載している画面表示は説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。

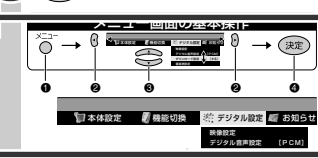
この取扱説明書の見かた

おしらせ 本取扱説明書では、各種機能の操作説明を、おもにリモコンを使った場合の記述にしています。（本体の操作ボタンを使う場合の説明は、「本体天面の○○ボタンを押す」などの表現にしてあります。）

ダウンロードを行う

ダウンロードの方法

■ ダウンロード機能とは、本機内のソフトウェアを書き換えて、機能アップや機能改善等を行うためのもので、その方法には2種類あります。
1つは自動的にダウンロードを行う方法で、もう1つはお客様が必要に応じ、マニュアル選択によりダウンロードすることができる方法です。
なお、お買い上げ時は利便性を考えてダウンロードの選択は「自動」に設定されています。

操作開始

1 ❶メニュー画面から❷「デジタル設定」… ❹決定を押す

2 「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」………自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行います。（工場出荷時の設定）
「しない」……ソフトウェアの自動ダウンロードを行いません。

手動でダウンロードを行うとき

…動でダウンロードを行うことができます。

操作開始

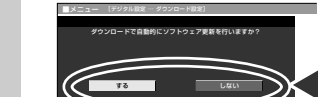
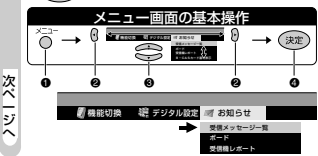
1 ❶メニュー画面から❷「お知らせ」ー❸「受信メッセージ一覧」を選び、❹決定を押す

メニュー画面の基本操作

- ソフトウェアの受信（ダウンロード）には、数分…
- …セットボタンの操作、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
- ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ることがあります。その場合は、設定しなおしてください。
- ダウンロードによって、予約の情報がなくなる場合があります。そのときは、再度、予約設定を行ってください。
- ダウンロードは、本機の電源が待機状態（電源ランプが赤色点灯）のときに実行されます。

●1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

操作終了する場合は ▶ メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

78

- 番号順に操作してください。
- 機能の概要説明などです。
- テレビ画面に現われる表示です。※
- 操作するときに使うリモコンのボタンです。※
- 操作するボタンです。左のイラストのボタンに対応しています。
- 操作の結果や補足的な説明です。
- 選択･入力する項目や欄です。
- 下の「本書で使われているマークについて」をご覧ください。

※本書に掲載している画面表示やイラストは、説明のためのものであり、実際とは多少異なります。

本書で使われているマークについて

正しくお使いいただくためのご注意です。

もう少し詳しい説明や、機能の制限事項です。

知っていると便利な情報です。

こんなときは ▶▶▶

お手入れをするときは ☞ 11ページ

故障かな？と思ったら
122ページ

分からない用語があるときは
134ページ

安全上のご注意

ご使用前に**「安全上のご注意」**を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味
（図記号の一例です）

 記号は、気をつける必要があることを表しています。

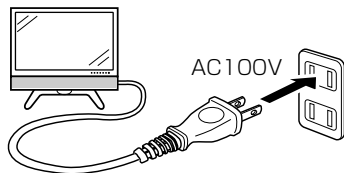
 記号は、してはいけないことを表しています。

 記号は、しなければならないことを表しています。

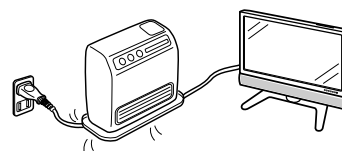
⚠ 警告

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

100ボルト
以外禁止

AC100V

火災・感電の原因となります。

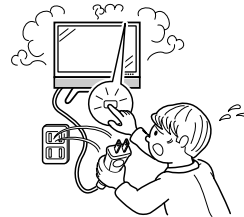
電源コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしたりしない

禁止

火災・感電の原因となります。

落としたり、キャビネットを破損したときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

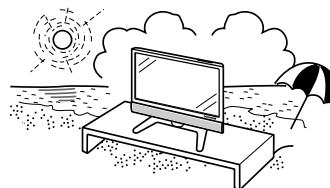
電源プラグ
を抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグ
を抜く

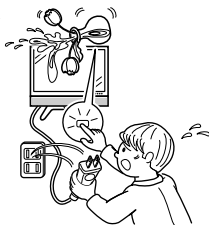
異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。お客様自身による修理は絶対におやめください。

テレビに水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない

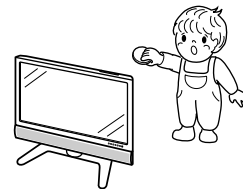
水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

⚠ 警告

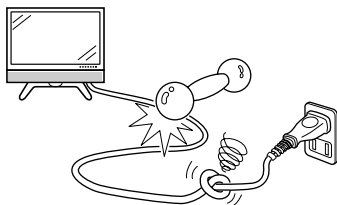
内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

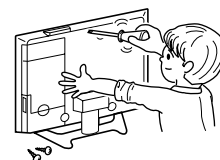
異物を入れない

禁止

通風孔（裏ぶたのすき間）などからものを入れると、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

禁止

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

本機の裏ぶたを外したり、改造したりしない

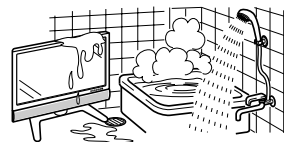
分解禁止

内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。

本機の上に花びん等、水の入った容器を置かない

水ぬれ禁止

水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。

風呂やシャワー室では使用しない

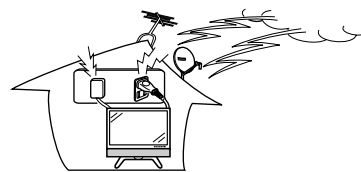
風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

不安定な場所に置かない

禁止

落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

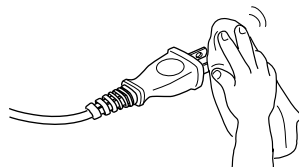
雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

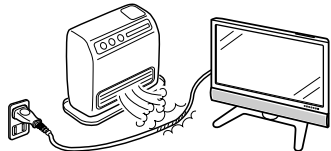
ほこりを取る

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

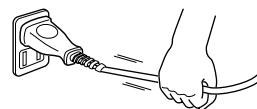
次ページへつづく

安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意

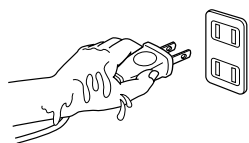
電源コードを熱器具に近づけない

禁止

電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

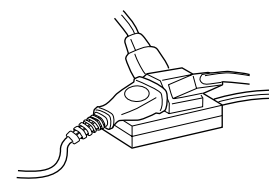
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

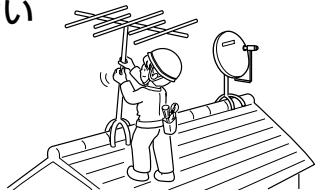
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

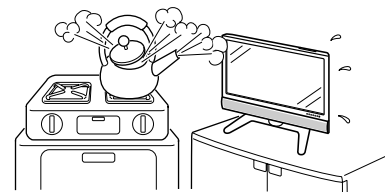
タコ足配線をしない

禁止

火災・感電の原因となることがあります。

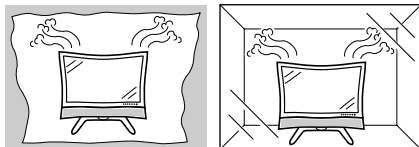
アンテナ工事は、技術経験が必要ですので販売店にご相談ください

離して配置

- 送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。
- BS・110度CSデジタル放送受信アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取り付けてください。

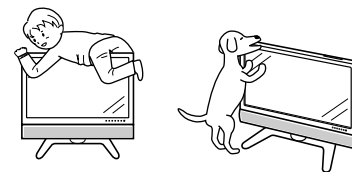
湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

禁止

調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

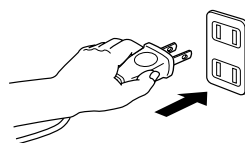
風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

重いものを置いたり、上に乗ったりしない

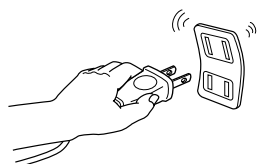
禁止

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

電源プラグは確実に差し込む

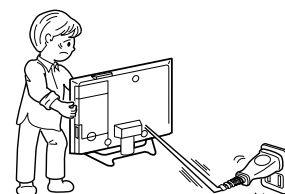
確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

⚠ 注意

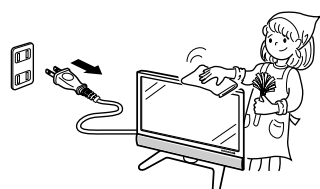
電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

禁止

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

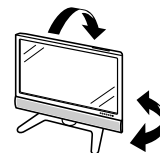
接続線をはずす

接続線を外さないで移動させると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

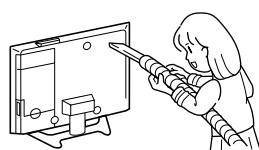
電源プラグを抜く

感電や火災の原因となることがあります。

スタンドの角度を調整するときは注意する

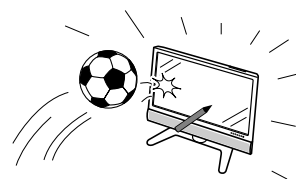
手を挟まれないよう注意

指のケガに注意

手や指がはさまれてけがの原因となることがあります。また無理に傾けると転倒して落下やけがの原因となることがあります。

通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く
内部の掃除は販売店に依頼する

注意

内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除費用については、販売店にご相談ください。

液晶画面に衝撃を与えない
(物を当てたり、先の尖ったもので突いたりしない。)

禁止

液晶画面のパネルが割れることがあります。

ご注意 お客さままたは第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

次ページへつづく

安全上のご注意(つづき)

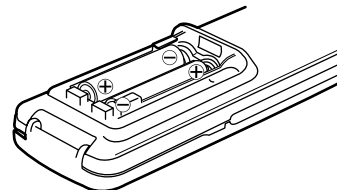
電池についての安全上のご注意

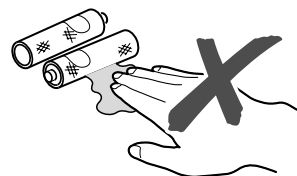
液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

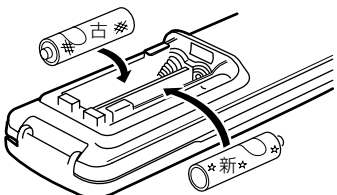
⚠ 注意

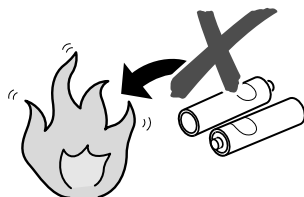
電池は幼児の手の届く所に置かない。

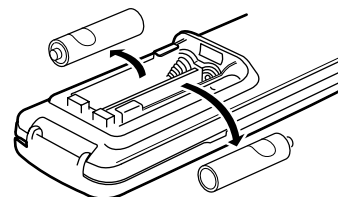
電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる。

間違えると電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池の液がもれたときは素手でさわらない。

- 電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない。

電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

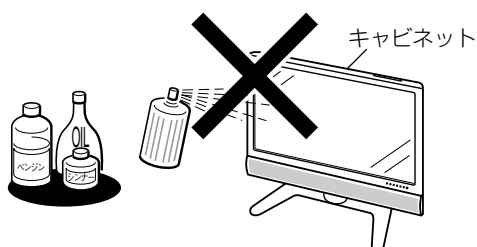
電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない。

電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す。

電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

使用上のご注意

守っていただきたいこと

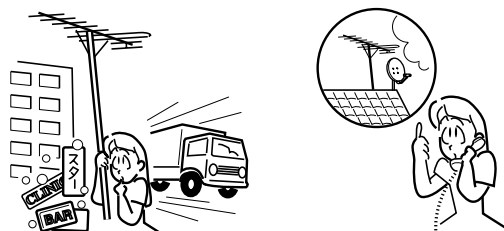
キャビネットのお手入れのしかた

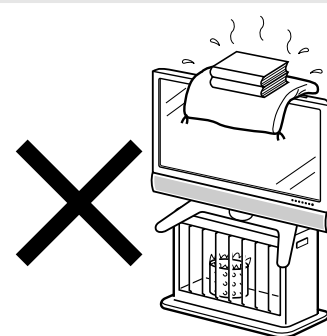
- キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

- 汚れはネルなど柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた布で仕上げてください。

液晶ディスプレイパネルのお手入れのしかた

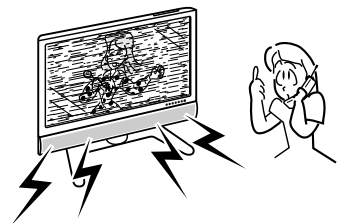
- お手入れの際は、必ず本体天面の電源(押・入-切)スイッチを「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。
- 本機のディスプレイパネルの表面は、柔らかい布(綿、ネル等)で軽く乾拭きしてください。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面に傷がつきますのでご注意ください。
- 汚れがひどい場合は、柔らかい布を軽く水で湿らせて、そっと拭いてください。(強くこすったりすると、ディスプレイパネルの表面に傷が付いたりしますので、ご注意ください。)
- ディスプレイパネルの表面にホコリがついた場合は、市販の除塵用ブラシ(静電気除去ブラシ)をお使いください。
- ディスプレイパネルの保護のため、ホコリのついた布や洗剤、化学雑巾などを使わないでください。パネルの表面がはく離することがあります。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ線には、必ず専用のケーブルを使用してください。(1.準備編 17ページ参照)
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

設置について

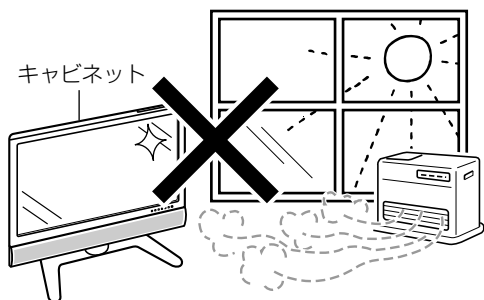
- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 本機の上には物を置かないでください。

電磁波妨害に注意してください

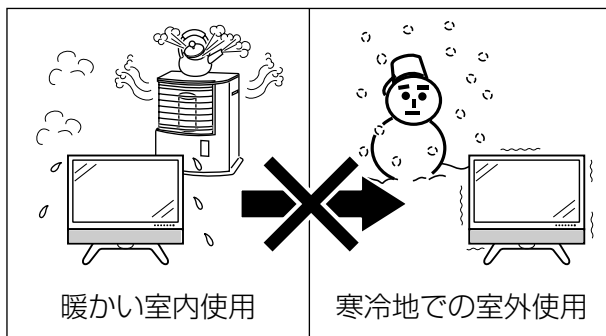
- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

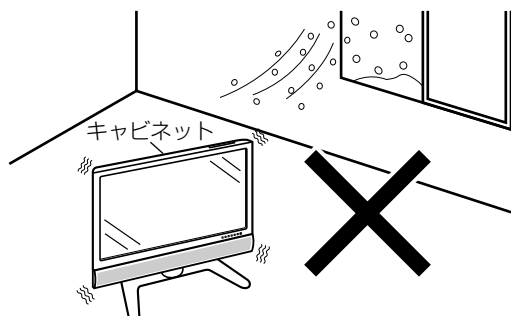
次ページへつづく

使用上のご注意(つづき)

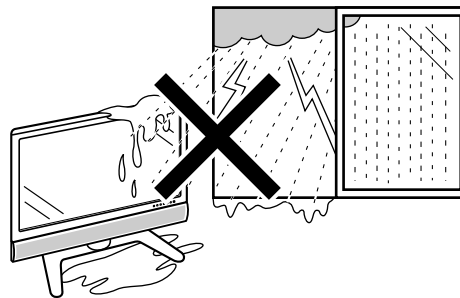
守っていただきたいこと

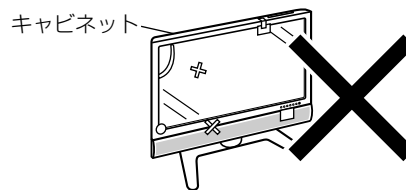
直射日光・熱気は避けてください

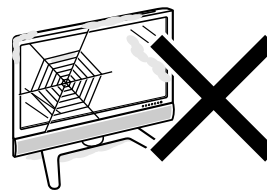
- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてください

- 急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

低温になる部屋(場所)でのご使用の場合

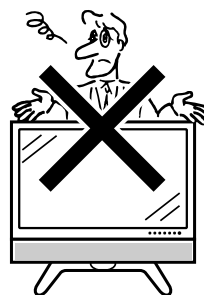
- ご使用になる部屋(場所)の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。(使用温度:0℃~40℃)

雨天・降雪中でのご使用の場合

- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

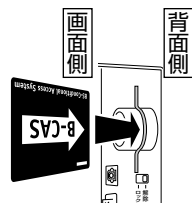
- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

守っていただきたいこと

B-CASカードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CASカードの中にはICが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないようご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないよう、方向に注意して行ってください。

図のように入れる

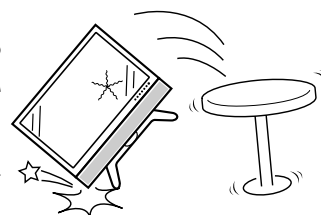
結露(つゆつき)について

- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

使用が制限されている場所

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となる恐れがあります。

取扱い上のご注意

- 液晶画面を強く押したり、ボールペンのような先の尖ったもので押さないでください。また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面のパネルが割れることがあります。
- 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。
  また、絶対に落としたりしないでください。
  故障の原因となります。

使用環境について

- 本機を冷え切った状態のまま室内に持ち運んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

注意

- 周囲温度は0〜40℃の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

注意

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

■静止画を長時間表示しないでください。残像の原因となることがあります。

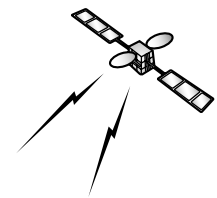
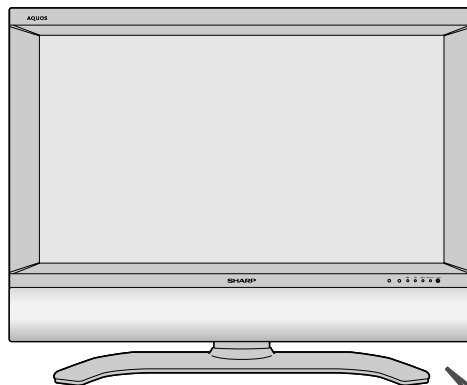
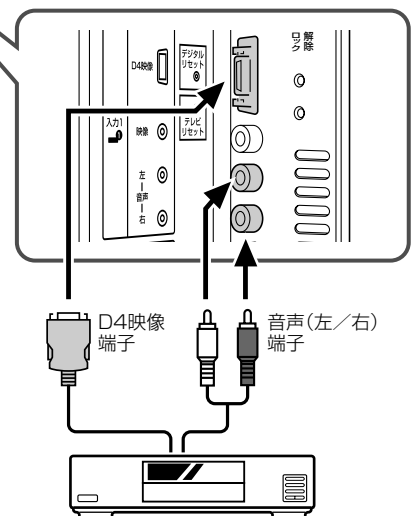
蛍光管について

■本機に使用している蛍光管には、寿命があります。

- 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管ユニットに取り替えてください。
  寿命の目安…約60,000時間(室温25℃で、明るさを「標準」に設定して連続使用した場合、明るさが半減する時期の目安)
- 詳しくは、販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

■ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面にチラツキが出ることがあります。
この場合、本体天面の電源(押・入-切)スイッチをいったん「切」にし、再度電源を入れなおして動作を確認してください。

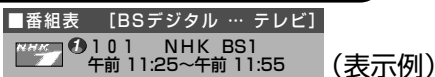
本機の特長

- **高精細液晶パネルでデジタルハイビジョン放送をリアルに再現**
- **低消費電力設計、液晶パネルバックライトを自動調光する「明るさセンサー機能」など、環境世紀にふさわしい、AQUOSならではの優れた環境性能**

BS・110度CSデジタル放送について

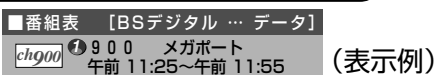
BS・110度CSデジタル放送の特長

情報を圧縮して多くのデータを送ることができるため、限られた電波の範囲でつぎのようなたくさんの放送やサービスが提供されます。

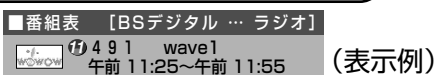
テレビ放送

■番組表　［BSデジタル … テレビ］
101　NHK BS1
午前 11:25～午前 11:55
（表示例）

従来のアナログBS·CS放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。BSデジタル放送ではデジタルハイビジョン放送が7チャンネルあります。（2004年12月現在）

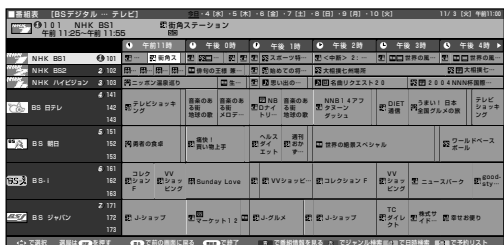
データ放送

■番組表　［BSデジタル … データ］
900　メガポート
午前 11:25～午前 11:55
（表示例）

静止画像や文字によって必要な情報をいつでも取り出せる新しい放送です。テレビ放送等と連動したデータ放送と、独立したデータ放送の2種類のデータ放送があります。

ラジオ放送

■番組表　［BSデジタル … ラジオ］
491　wave1
午前 11:25～午前 11:55
（表示例）

CD並みの高音質の音楽を含むラジオ放送です。

電子番組表(EPG)

（表示例）

デジタル放送では、送られてくるデータの中に番組の情報が含まれています。その番組情報をもとにテレビ画面に番組表を表示したものが電子番組表(EPG)です。
この電子番組表を使って、番組を探したり、番組の内容を確認したり、番組を予約したりすることができます。

臨時編成サービス

野球中継などが延長になった場合、野球中継は継続しながら、別のチャンネルで予定の番組を放送する場合があります。このようなサービスを「臨時編成サービス」といいます。

マルチビューサービス

1つの番組の中で、カメラアングルを変えて3つの場面に分けて放送されるサービスなどを「マルチビューサービス」といいます。
例えば、野球中継で、レフト側観客席から見た映像、ライト側観客席から見た映像、バックネット裏から見た映像の3つの映像が1つのチャンネルで放送されるといった場合です。

- 臨時編成サービス、マルチビューサービスは、放送局側でサービスを行っているときのみ視聴可能です。

BS・110度CSデジタル放送について（つづき）

BSデジタル放送について

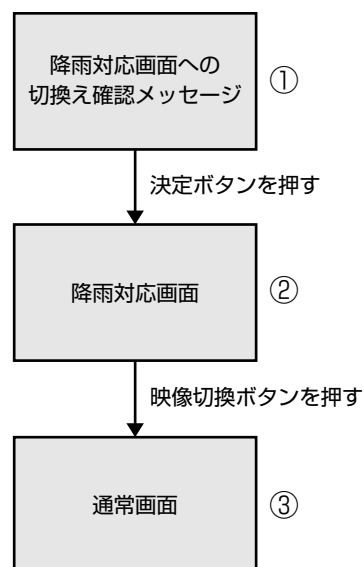
BSデジタル放送のチャンネル番号表

	放送事業者	チャンネル番号		
		テレビ放送	ラジオ放送	独立データ放送
統合（テレビ／ラジオ／データ）	NHK BS1	101	なし	700～709
	NHK BS2	102		
	NHK ハイビジョン	103 （臨時編成サービス時：104、105）※		
	BS日テレ	140～143、145～149 （臨時編成サービス時：144）※	440～449	740～749
	BS朝日	150～157 （臨時編成サービス時：158、159）※	450～459	750～759
	BS-i	160～168 （臨時編成サービス時：169）※	460～469	760～769
	BSジャパン	170～179 （臨時編成サービス時：未定）※	470～479	770～779
	BSフジ	180～187 （臨時編成サービス時：188、189）※	488、489	780～789
	WOWOW	191、192、193 （臨時編成サービス時：198、199）※	491、492	790～799
	スターチャンネル	200～209	なし	800～809
ラジオ／データ	BSC	なし	300、301	なし
	JFNサテライト	なし	320～329	620～629
	WINJ	なし	330～339	630～639
データのみ	メガポート放送	なし	なし	900～909
	ウェザーニュース	なし	なし	910～919
	デジキャス	なし	なし	930～939
	日本データ放送	なし	なし	940～949
	日本メディアーク	なし	なし	960～969
	日本ビーエス放送	なし	なし	990～999

※臨時編成サービス：**15**ページをご覧ください。　（2004年12月現在）

BS デジタル放送の降雨対応放送について

BSデジタル放送衛星から送られてくる電波が、激しい降雨によって弱められ、放送を受信できなくなることがあります。これに対応するため、送るデータを少なくすることで映像・音声の内容を途切れなく提供するサービスが「降雨対応放送」です。

- 受信状態が悪くなったときに、降雨対応の番組が放送されている場合、その旨を画面に表示してお知らせします。（右図①）
- リモコンの決定ボタンを押すと、降雨対応の画面に切り換わりますので、途切れることなく番組を視聴できます。（右図②）
- 通常画面に戻すには、リモコンの映像切換ボタンを押してください。（右図③）

- 降雨対応放送は、放送局側でサービスを行っているときのみ視聴可能です。

BSデジタル放送には無料放送と有料放送（WOWOW、スターチャンネル）があります。有料放送を視聴したいときは、必ず視聴手続きをしてください。未契約で視聴予約、録画予約しても視聴できません。

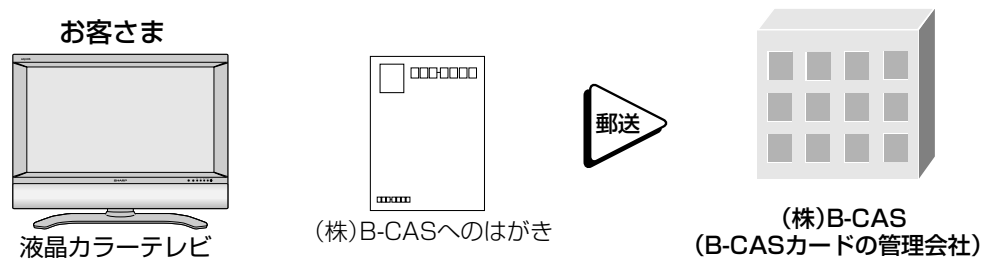
BSデジタル放送の有料放送を視聴するための手続き

■ BSデジタル放送の有料放送(WOWOW、スターチャンネル)を視聴するには、つぎの2つの手続きが必要です。

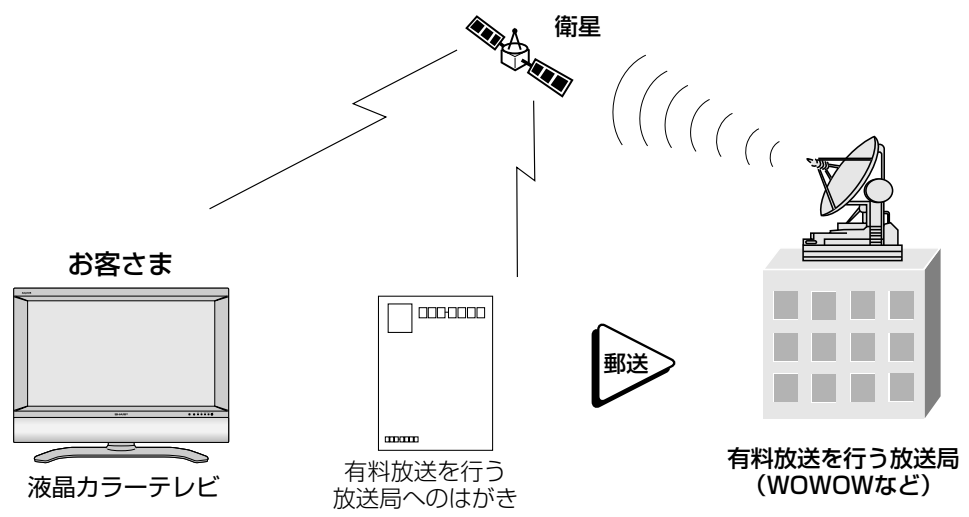
①(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにB-CASカードの登録をする

((株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズを略して(株)B-CASと呼びます。)

B-CASカードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入の上、投函してください。

詳しくは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。

②視聴したい放送局に申し込む

お客さまが視聴したい番組を放送している放送局の契約申込書に必要事項をご記入のうえ、投函してください。

詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

● 本機は、契約データの受信のために、電源「入」以外のときでも一時的に動作することがあります。(この場合、画像が表示されたり音声が出たりはしません。)

BS・110度CSデジタル放送について(つづき)

110度CSデジタル放送について

■従来のCS放送とは別の、BSデジタル放送と同じ東経110度の軌道上にある通信衛星(CS)を利用した新しいデジタル放送です。

■110度CSデジタル放送を受信するには、BS・110度CSデジタル放送共用のアンテナ(市販品)が必要です。**従来のCSアンテナやBSアナログ用アンテナでは受信できません。また、ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110度CS帯域(2150MHz)まで対応した機器に交換する必要があります。**

■110度CSデジタル放送は有料です。視聴するためには、各プラットフォーム(スカパー!110、WOWOWデジタルプラス)※との個別受信契約が必要となります。(一部、無料の放送もあります。)

※ 各プラットフォームの社名は、変更される場合があります。

お買い上げ後、はじめてCSチャンネルを選局するときは

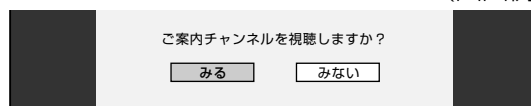
- CSネットワーク情報を取得するため、次の手順で操作してください。
  1. 放送切換ボタンの CS を押します。そのままで5秒程お待ちください。
  2. リモコンのチャンネルボタン 1 を押します。そのままで5秒程お待ちください。
  3. 番組表ボタンを押して、選局したい放送局のチャンネル番号が表示されることを確認します。
  4. 選局したい放送局のチャンネル番号が表示されない場合は、チャンネルボタン 1 または 2 を押し、目的のチャンネル番号が表示されるまで、再度5秒程度お待ちください。

110度CSデジタル放送の専用サービス

110度CSデジタル放送では、つぎのような専用サービスがあります。

■ ご案内チャンネルの表示

お客さまが、未契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内表示に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

(画面例)

■ ブックマーク

コンテンツ画面にブックマークアイコン※が表示されているときは、その情報(ブックマーク記録コンテンツ)を登録しておき、後でブックマークを一覧表示・選択して、関連チャンネルを呼び出したりすることができます。

※「ブックマーク」とは、しおりのことです。画面によっては、特定のページを表示するためのシンボルイラストが表示されます。それが「ブックマークアイコン」です。

■ ボード(掲示板)

プラットフォーム(スカパー!110、WOWOWデジタルプラス)単位で、いろいろなサービス情報の案内がボード(掲示板)に表示されます。メニューの「お知らせ」からボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。
詳しくは**76**ページをご覧ください。

(画面例)

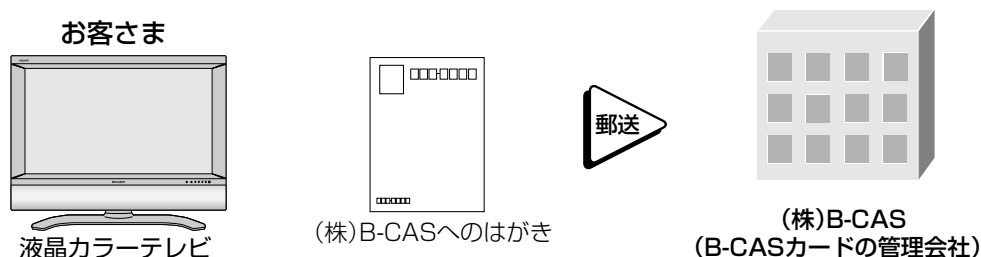
110度CSデジタル放送を視聴するための手続き

■ 110度CSデジタル放送を視聴するには、つぎの2つの手続きが必要です。

①（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにB-CASカードの登録をする

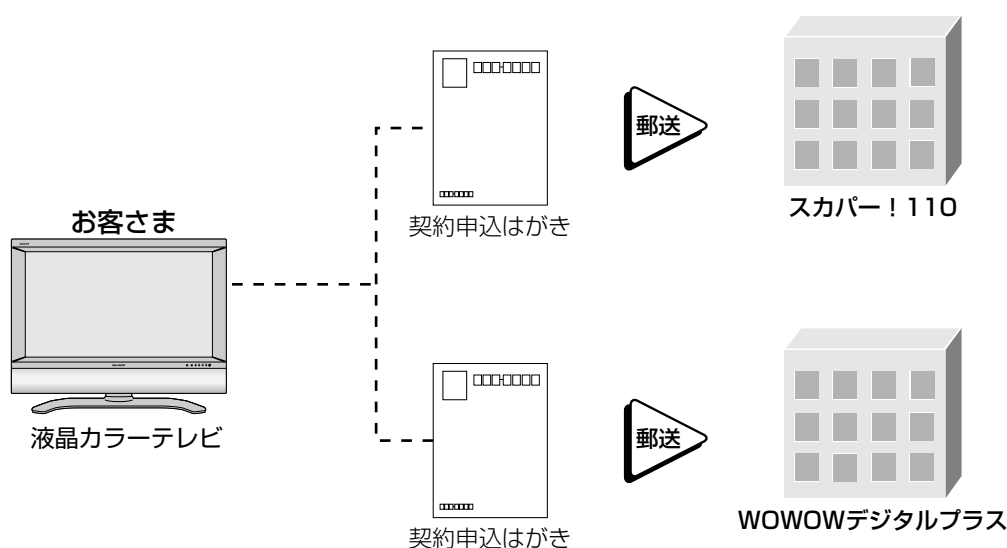
（（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズを略して（株）B-CASと呼びます。）

B-CASカードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入の上、投函してください。

詳しくは、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。

②視聴したいプラットフォーム（運営会社）に申し込む

110度CSデジタル放送は有料放送です（一部、無料放送もあります）。視聴するためには、各プラットフォーム（スカパー！110、WOWOWデジタルプラス）※と個別に契約することが必要です。

契約したいプラットフォームの契約申込書に必要事項をご記入のうえ、投函してください。

詳しくは、スカパー！110、WOWOWデジタルプラスのカスタマーセンターにお問い合わせください。

※ 各プラットフォームの社名は変更される場合があります。

地上デジタル放送について

新しい放送サービス

従来のテレビ放送(衛星放送は除く)は「地上波放送」と呼ばれていて、すべてアナログ放送です。
「地上デジタル放送」では、従来のアナログ方式の放送が新しくデジタル方式に変わります。
地上デジタル放送は、2003年12月から東京・大阪・名古屋の3大都市圏の一部地域で開始されています。その他の地域では2006年末までに放送が始まる予定になっています。(2004年12月現在)
高品質な映像と音声、テレビ番組に連動したデータ放送など、いままでの地上アナログ放送にはなかった新しい放送サービスです。

■番組表　[地上デジタル … テレビ]
NHK G　1 011　NHK 総合・東京
午前 11:25～午前 11:55
(表示例)

地上デジタル放送の特長

高品質映像 ……… 画像の劣化が少なく、ゴーストなどの影響を受けにくいため、高品質な映像が見られます。また、デジタルハイビジョン放送の高精細な映像も視聴できるようになります。
画面サイズは、従来の4：3から16：9が標準となり、これは画面を見る視界の最適な比率といわれています。大画面で高品質な映像をお楽しみいただけます。

ハイビジョン放送 ……… HDTV(High-Definition Television)とも呼ばれる、高品位テレビのことです。走査線は現行の放送(通常のテレビ放送)の525本に対し、2倍以上の1125本になっています。これにより、大画面で臨場感あふれる、鮮明な映像をお楽しみいただけます。(本機など、専用デジタル放送対応の受信機で視聴した場合です。)

データ放送 ……… 通常のテレビ番組に加えて、地上デジタル放送では連動データ放送が行われています。
画面上でお住まいの地域の天気予報やニュース、生活情報などをいつでもアクセスして見ることができたり、視聴中の番組に関連した情報を同時に表示したりすることができ、スポーツ中継などで応用されています。

双方向サービス ……… 双方向通信を利用したテレビ上でのショッピング、視聴者が参加できるクイズ番組なども放送されています。

- 双方向通信を利用するためには、本機に電話回線を接続して(1.準備編 **18** ページ参照)、電話回線の設定をしてください。(1.準備編**54**～**57**ページ参照)
  また、インターネットサービスプロバイダ(ISP)との契約および設定が必要な場合もあります。(**83**～**92**ページ参照) (※双方向通信には電話料金がかかります。[例] クイズ番組に参加して、答えを送信するときなど。)

多様な放送 ……… 地上デジタル放送では、一度に多くの情報を送ることができるため、1つの放送局が複数の番組を放送する時間帯もあります。
これまでの地上放送にはなかったアイデア豊かな、多様な放送が予定されています。1チャンネルの放送帯域でさまざまな放送の組み合わせが可能となります。(ただし同時に視聴することはできません。)

アンテナについて

- 地上デジタル放送の受信には、UHF対応のアンテナを使用します。
  現在お使いのアンテナがUHF対応であれば、そのままご使用になれます。（※一部取り替えや調整が必要な場合もあります。）
  VHFアンテナでは受信できません。ご使用のアンテナがVHFアンテナのみの場合は、UHFアンテナの追加が必要になります。

（**ご注意**：アンテナ工事は、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。）

アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始されていますが、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

地上デジタル放送のCATV放送対応について

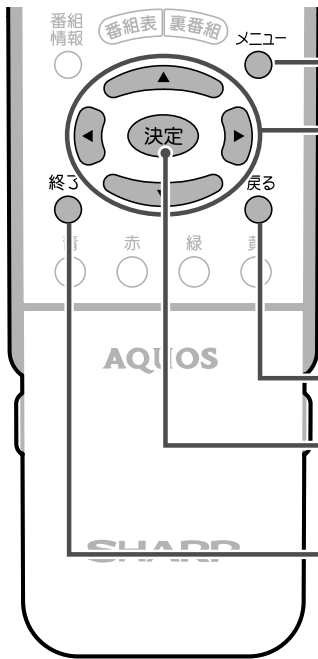
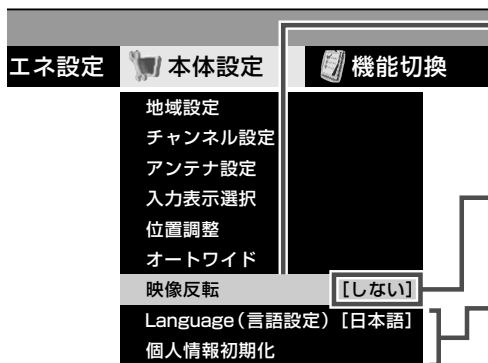
本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は「パススルー方式」（UHF帯、ミッドバンド[MID]帯、スーパーハイバンド[SHB]帯、VHF帯）です。
※トランスモジュレーション方式には対応していません。

- ARIB放送規格の変更により、メニュー等の仕様が変わる場合があります。

- データ放送（BSデジタル／110度CSデジタル／地上デジタル）の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

メニューについて

■テレビ画面にメニューを表示させて、リモコン操作で映像や音声などの調整や各種機能の設定ができます。ここではメニューの基本的な使いかたについて説明します。詳しくは、それぞれのページをご覧ください。（**24**ページ参照）

メニューの基本操作

メニュー画面の見かた

メニュー画面の表示時間について

● メニュー画面を表示、設定中に約1分間何も操作をしないと、メニュー画面が解除され通常画面に戻ります。

メニュー言語の切換えについて

● メニューを英語で表示することもできます。日本語／英語の切換えの操作方法については、**26**ページをご覧ください。
● See page **26** if you wish to display menu screens in English.

● 条件によりメニュー項目に⃠マークがつき、灰色で表示される場合がありますが、その項目は選択することができません。
● 本書に掲載している画面表示のイラストは説明用のものであり、一部拡大や省略をしていますので、実際の画面表示とは多少異なります。
● メニュー画面の表示内容は変更される場合があります。

メニュー画面と設定画面の基本操作

［例］「無信号オフ」の設定

操作開始

1 メニューを押し、メニュー画面を表示する

❶

メニュー画面からメニュー項目を選ぶ

❷

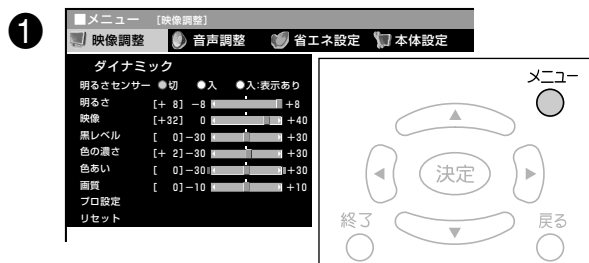
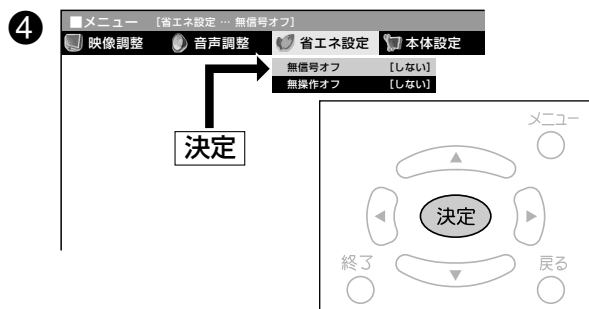
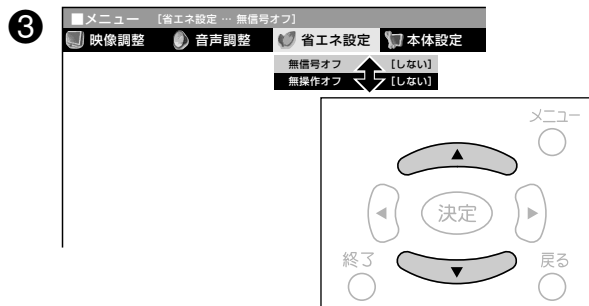
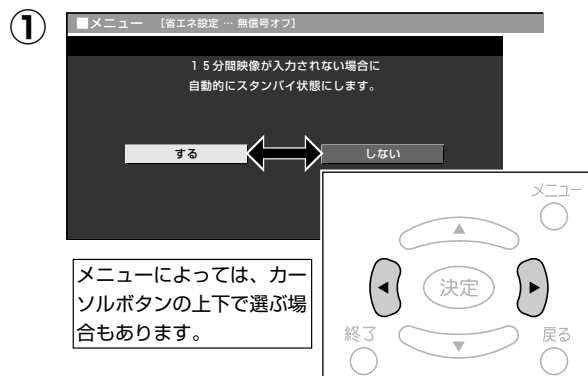
❸

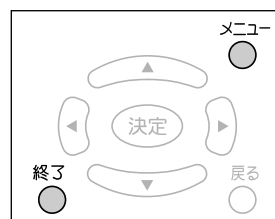
❹

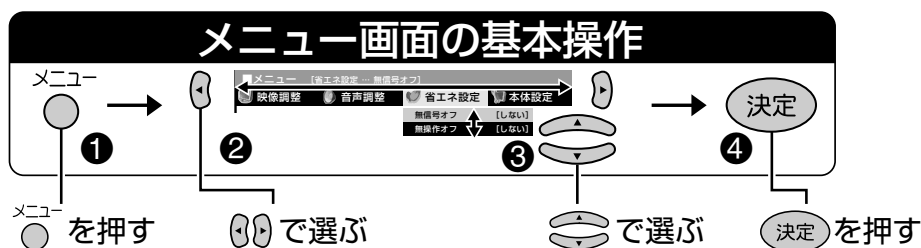
2 設定画面で設定する

①

メニューによっては、カーソルボタンの上下で選ぶ場合もあります。

②

- 設定の操作中に、1つ前の画面に戻りたいときは、戻るを押します。

3 メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

操作終了

■ 本文中の説明では操作手順を図式化しています。

次ページへつづく

メニューについて(つづき)

メニュー項目の一覧

■メニュー

映像調整　音声調整　省エネ設定　本体設定

映像調整

ダイナミック		
明るさセンサー	○切　●入　○入:表示あり	
明るさ	[+ 8] −8	+8
映像	[+32] 0	+40
黒レベル	[0] −30	+30
色の濃さ	[+ 2] −30	+30
色あい	[0] −30	+30
画質	[0] −10	+10
プロ設定		
リセット		

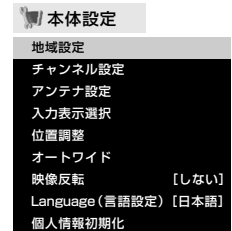
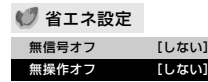
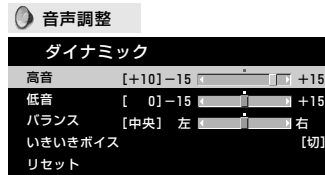
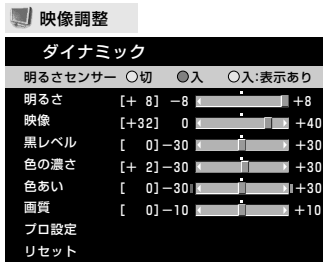
音声調整

ダイナミック		
高音	[+10] −15	+15
低音	[0] −15	+15
バランス	[中央] 左	右
いきいきボイス		[切]
リセット		

省エネ設定

無信号オフ	[しない]
無操作オフ	[しない]

本体設定

地域設定	
チャンネル設定	
アンテナ設定	
入力表示選択	
位置調整	
オートワイド	
映像反転	[しない]
Language(言語設定)	[日本語]
個人情報初期化	

映像調整※1

映像をお好みの状態に調整する項目です。

明るさセンサー／明るさ／映像／黒レベル／色の濃さ／色あい／画質……… **37**ページ
プロ設定 …………… **38**ページ
　カラーマネージメント（色相・彩度・明度）／色温度／黒伸張／3次元設定／モノクロ／フィルムモード／I/P設定

音声調整※1

音声をお好みの音質に調整する項目です。

高音／低音／バランス ………… **39**ページ
いきいきボイス …. **40**ページ

省エネ設定

電力資源を有効に使用するための省エネ機能を設定する項目です。

無信号オフ ………… **42**ページ
無操作オフ ………… **42**ページ

本体設定

使用環境に合わせた設置調整に関する機能の項目です。

地域設定 ….. 1.準備編 **42**ページ・1.準備編 **43**ページ
チャンネル設定※2 ………… 1.準備編 **25**ページ・1.準備編 **45**ページ
アンテナ設定 ………… 1.準備編 **52**ページ・1.準備編 **53**ページ
入力表示選択※3 .. **100**ページ
位置調整 ………… **34**ページ
オートワイド ………… **32**・**33**ページ
映像反転 ………… **43**ページ
Language(言語設定) ………… **26**ページ
個人情報初期化 … **80**ページ

※1 AVポジションごとに設定できます。また、AVポジションごとに工場出荷時の設定が異なります。
※2 テレビ視聴時のみ表示されます。
※3 入力1～4選択時のみ表示され、それぞれで設定できます。
　現在選択されている入力により、表示項目が異なります。
● 条件によりメニュー項目に⃠マークがつき、灰色で表示される場合がありますが、その項目は選択することができません。

本機の豊富な機能をメニュー画面で操作・設定できます。
必要に応じて操作・設定してください。

 機能切換　デジタル設定　お知らせ

機能切換	
映像オフ	
ＤＮＲ	[しない]
入力選択	[自動]
入力４端子設定	[録画出力]
ＱＳ駆動	[する]
デジタル音声出力	[非連動]
デジタル固定	[しない]
字幕表示設定	[しない]
番組名表示設定	[しない]

デジタル設定	
映像設定	
デジタル音声設定	[ＰＣＭ]
ダウンロード設定	[する]
番組表設定	
通信設定	
ビデオ連動録画設定	
ｉ．ＬＩＮＫ設定	
暗証番号設定	
視聴年齢制限設定	
ＰＰＶ設定	
双方向サービス設定	
システム動作テスト	

お知らせ
受信メッセージ一覧
ボード
受信機レポート
Ｂ－ＣＡＳカード番号表示
ＰＰＶ購入履歴

機能切換

本機のいろいろな機能の設定項目です。

映像オフ …… 43ページ
DNR※4 …… 43ページ
入力選択※5 …… 99ページ
入力4端子設定 … 104ページ
QS駆動 …… 43ページ
デジタル音声出力 …… 120ページ
デジタル固定 …… 105ページ
字幕表示設定 …… 71ページ
番組名表示設定 …… 71ページ

デジタル設定

デジタル放送を視聴するための設定項目です。

映像設定 …… 70ページ
デジタル音声設定 …… 120ページ
ダウンロード設定 …… 78ページ
番組表設定 …… 81ページ
通信設定 …… 83・84・87ページ
…1.準備編 54～57ページ
ビデオ連動録画設定 …… 107ページ
i.LINK設定 …… 111・114ページ
暗証番号設定 …… 72ページ
視聴年齢制限設定 …… 73ページ
PPV設定 …… 75ページ
双方向サービス設定 …… 74ページ
システム動作テスト …… 79ページ

お知らせ

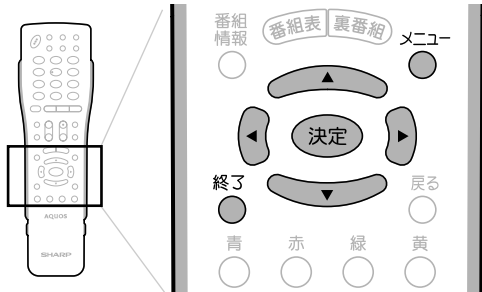
本機が受信したメッセージなどを確認するための項目です。

受信メッセージ一覧 …… 76ページ
ボード …… 76ページ
受信機レポート …… 77ページ
B-CASカード番号表示 …… 77ページ
PPV購入履歴 …… 77ページ

※4 各入力系統で設定できます。
※5 入力1～4選択時のみ表示され、それぞれで設定できます。
● 条件によりメニュー項目に⃠マークがつき、灰色で表示される場合がありますが、その項目は選択することができません。

メニューについて(つづき)

メニューなどの表示言語を選ぶ

■ メニューなどの画面表示を日本語にするか英語にするか選ぶことができます。

［例］表示言語を英語にする

操作開始

1 **❶メニュー画面から❷「本体設定」ー❸「Language(言語設定)」を❹選ぶ**

2 **◀▶で「English」を選び、決定を押す**

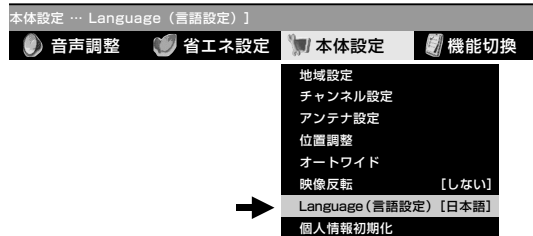
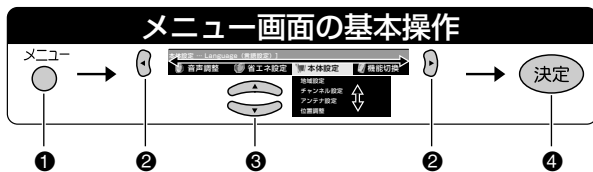
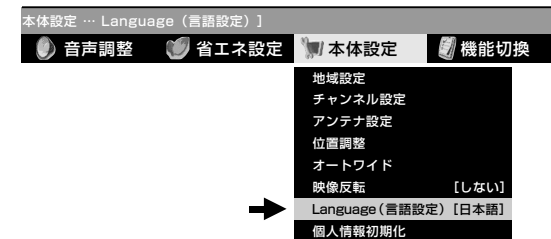
●画面表示が英語になります。

Switching the Display Language to English

■ Using the menu screen, you can switch the on-screen display language to English.

Operation Steps (Start)

1 ① **Press メニュー (menu) to display the menu screen.**

② **Press ◀ or ▶ to select "本体設定"(Setup).**

2 **Press ▲ or ▼ to select "Language (言語設定)", then press 決定 (enter).**

3 **Press ◀ or ▶ to select "English", then press 決定 (enter).**

● The menu screen is now displayed in English.

4 **Press メニュー (menu) or 終了 (finish) to return to normal screen.**

Operation Steps (End)

操作終了する場合は ▶ **メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す**

テレビを楽しむ

● この章では、テレビを楽しく使っていただくうえで役立ついろいろな機能と操作方法について説明しています。

■ふだんの使いかた...................... 28
電源の入／切・選局・音量調整 28
画面表示・CATV・入力切換えなど.................................. 29

■画面サイズを設定する 30
画面サイズと画面サイズ制御信号について 30
オートワイド機能について 31
画面サイズを選ぶ.. 32
映像判別の設定（オートワイド）.. 32
S2対応の設定（オートワイド）.. 33
D端子識別の設定（オートワイド）.................................... 33

■画面の位置を調整する 34
画面位置の調整のしかた 34

■お好みの映像・音声で楽しむ .. 35
最適な映像・音声設定を選ぶ（AVポジション）................. 35
映像調整について 36
お好みの音声に調整する（音声調整）................................ 39
メリハリのある聞きやすい音にする（いきいきボイス）... 40
二重音声放送やステレオ放送を楽しむ 41

■便利な機能を使う 42
指定した時間後に電源を切る（オフタイマー）.................. 42
省エネ機能について 42
映像の向きを変える 43
映像の特殊な機能を使う 43

■ゴーストを軽減する（GR機能）... 44
GR機能を使う 44
メニュー画面でGR設定をする 45

■お好みのチャンネルを登録する . 46
お好み選局／登録画面にチャンネルを登録する（お好み登録）......... 46
お好み登録したチャンネルを確認する 47
お好み登録を変更する 47
お好み選局／登録画面からチャンネルを選局する（お好み選局）..... 47

■静止画面で見る.......................... 48
番組の内容をメモする 48

ふだんの使いかた

電源の入／切・選局・音量調整

リモコン

1 テレビをつける

電源「入」……………電源ランプ
（動作状態）　　　　緑色点灯

2 ネットワークを選ぶ

放送切換ボタン
- 地上A･地上D･BS･CSを選びます。
（※地上Dは、お住まいの地域で地上デジタル放送が開始され、受信可能になってから使います。）

3 チャンネルを選ぶ

チャンネルボタン（数字ボタン）
- ネットワーク(地上A・地上D・BS・CS)のメディア(テレビ／ラジオ／データ)ごとのチャンネルを選びます。

選局(∧順／∨逆)ボタン
- 最後に選んでいたネットワーク・メディア内の放送チャンネルを順／逆で選局します。

デジタル放送の視聴のしかたについて詳しくは、49〜92ページをご覧ください。

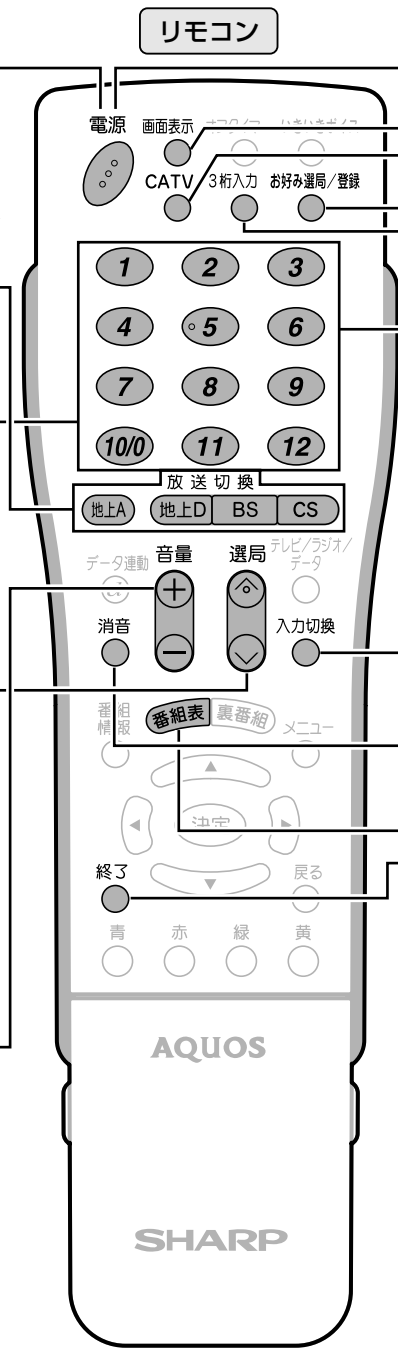
4 音量を調整する

数字とバーで音量を表示

30

※入力ごとに別々の音量に調整できます。

5 テレビを消す

電源「切」……………電源ランプ
（電源待機状態）　　赤色点灯

お好みのチャンネルを選ぶ

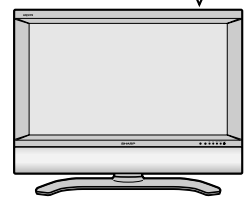
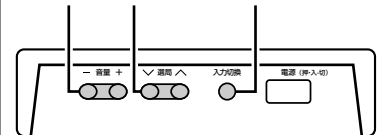
お好み選局／登録
- お好み登録されているチャンネルを選局します。
（お好み選局／登録ボタンを押し、登録されているチャンネルボタンを押します。）

音を一時的に消す

- もう一度押すか、音量(＋／－)ボタンを押すと、音声が出るようになります。

電源　画面表示　CATV　3桁入力　お好み選局／登録
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12
放送切換　地上A　地上D　BS　CS
データ連動　音量　選局　テレビ/ラジオ/データ
消音　入力切換
番組情報　番組表　裏番組　メニュー
決定　終了　戻る
青　赤　緑　黄
AQUOS
SHARP

本体の天面操作部でも、基本的な操作ができます。

手順4　手順3　入力切換

電源プラグの接続について
- 本機は電源待機状態のときでも、デジタル放送局と通信を行います。
- 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」や「PPV番組の購入履歴」などが消去されます。このような場合、必要に応じて再度、設定を行ってください。（「PPV番組の購入履歴」など、再設定できないものもあります。）
- 使用中にいきなり電源プラグを抜いたり、電源をしゃ断したりしないでください。内蔵メモリーに格納されたデータがこわれることがあります。

受信チャンネルについて
- 工場出荷時は、地上アナログのVHF1〜12チャンネルとBS・110度CSデジタルチャンネルが受信できるように設定されています。
地上アナログのUHF放送を受信するときや、受信チャンネルを合わせなおす場合は、1.準備編 **24**〜**39**ページをご覧ください。

画面表示・CATV・入力切換えなど

チャンネル表示を入／切する

- ボタンを押すと、チャンネルサインが表示されます。(視聴中のチャンネルを確認できます。)もう一度押すと、表示が消えます。

<チャンネル表示例>

地上アナログ放送受信時

BSデジタル放送受信時

110度CSデジタル放送受信時

地上デジタル放送受信時

CATV放送受信時

ビデオ入力時

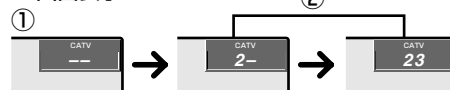
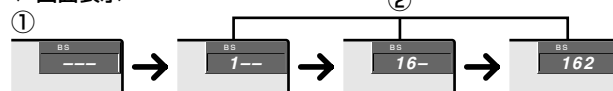
CATVチャンネルを選ぶ

［例］C23を選ぶとき

① CATVボタンを押します。
② 数字(チャンネル)ボタンでチャンネル番号を入力します。

デジタル放送の3桁チャンネルを選ぶ

［例］BSデジタル放送の162チャンネルを選ぶとき

① BSデジタル放送受信中、3桁入力ボタンを押します。
② 数字(チャンネル)ボタンでチャンネル番号を入力します。

おしらせ つぎの操作手順でも選局できます。
① 3桁入力ボタンを押す。
② 放送切換ボタン「地上D」「BS」「CS」でネットワークを選ぶ。
③ 数字ボタンで番号を入力する。

入力を切り換える

テレビ → 入力1 → 入力2 → 入力3 → (入力4) → i.LINK → テレビ

※入力1～4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。
※i.LINKは、i.LINK端子にi.LINK機器が接続され、i.LINK機器が選択されているときのみ選択できます。(**112**ページ参照)
※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。
※接続されている映像用端子と、入力選択の設定(**99**ページ参照)で選択されている端子が異なり、映像が表示されない場合は、その旨のメッセージが画面に表示されます。

入力1～4の表示について

- 各入力端子に接続した外部機器に合わせ、入力表示を変更することができます。詳しくは**100**ページ「外部機器に表示を合わせる」をご覧ください。

［例］入力1

入力1	ビデオ1	ビデオ	コンポーネント1
コンポーネント	D端子1	D端子	CATV
CS	DVD	ゲーム	ムービー
D-VHS	HDD	DVR	

デジタル放送の電子番組表を見る

- もう一度押すと、表示が消えます。

操作を終了する

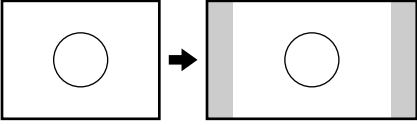
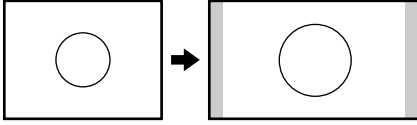
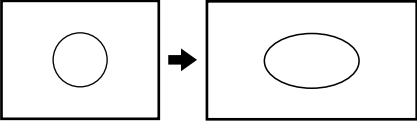
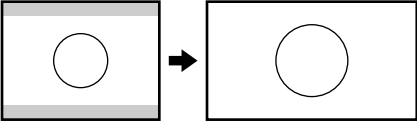
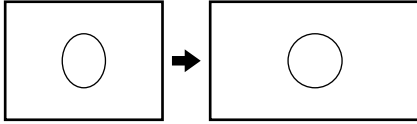
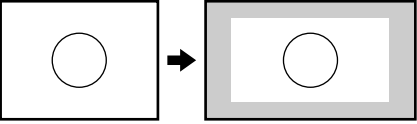
- 静止画面、番組表やメニュー操作などを終了します。

ヒント メニューや電子番組表の操作が分からなくなったときなど、いったん操作を終了したいときに使うと便利です。

おしらせ

無信号オフ機能について

- 無信号オフ機能(**42**ページ)を「する」に設定していると、放送終了後約15分でテレビの電源が「切」(電源待機状態)になります。(電源ランプが赤色に点灯)
(放送が終わっても、他局の放送やその他の電波が混入するときは正しく動作しない場合があります。)
- 入力1～4を選択しているときも、無信号オフ機能を「する」に設定していると、無信号状態になってから約15分で電源待機状態になります。

CATV(ケーブルテレビ)について

- CATVの受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。
- CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル(アダプター)が必要になります。詳しくはCATV会社にご相談ください。
- CATVチャンネルを選局(∧順／∨逆)ボタンで選局できるようにするには、個別設定(1.準備編 **35・36**ページ)でチャンネルスキップを「しない」にしてください。
- 本機のCATVチャンネルは、C13～C63チャンネルの範囲で選局できます。

画面サイズを設定する

画面サイズと画面サイズ制御信号について

手動でお好みの画面サイズを選べるだけでなく、放送やソフトの内容によって画面サイズが自動的に切り換わるように設定することができます。

■ つぎの6つの画面サイズから選択できます。

ノーマル	スマートズーム	ワイド
通常のテレビ(4：3サイズ)の映像をそのまま映します。	通常の4：3映像をより自然に拡大して映します。	通常の4：3映像を画面いっぱいに映します。
シネマ	**フル**	**アンダースキャン**
シネスコまたは16：9サイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。	16：9から4：3に圧縮された映像をもとの16：9に戻して画面いっぱいに映します。	入力信号どおりの映像で映します。

■ 選択できる画面サイズは、映像の種類によって異なります。

▼画面表示

※1080iと1035iは、本機の画面表示(チャンネルサイン)ではどちらも「1125i」と表示されます。

映像の種類		選択できる画面サイズ
D1	525i 地上アナログ放送 ビデオ映像など	→ノーマル →スマートズーム →ワイド →シネマ →フル →(ノーマルへ)
D2	525p	
D3	1125i ハイビジョン	→フル1(1080i)※ →フル2(1035i)※ →アンダースキャン →スマートズーム →ワイド →シネマ →(フル1へ)
D4	750p ハイビジョン	→フル →アンダースキャン →スマートズーム →ワイド →シネマ →(フルへ)

画面サイズ制御信号の入った映像の表示について

- 本機は、画面サイズ制御信号を識別して、ディスプレイに表示される画面サイズを自動設定する機能を備えています。(**オートワイド機能**☞**31**ページ)

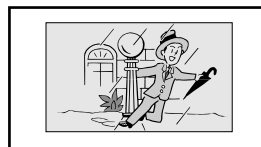
フルモード制御信号・レターボックス制御信号とは

- 縦横比16：9の映像(画面サイズ)であることを示す信号です。

フルモード： オリジナルの映像が16：9のもの。

〈フルモード制御信号の入った映像〉

〈自動的にフルモードで表示します〉

レターボックス： 4：3の画面の中に16：9の映像が含まれているもの。

〈レターボックス制御信号の入った映像〉

〈自動的に画面いっぱいに表示します〉

画面サイズの設定には手動と自動があります。
• 手動で選ぶ→画面サイズボタンで切り換えます。
• 自動設定→オートワイド機能で設定します。

オートワイド機能について

■ オートワイドとは、受信している放送や外部入力されたソフトの映像を自動的に最適な画面サイズに切り換える機能です。
■ オートワイド機能にはつぎの3つの項目があります。各項目はメニューの操作で設定します。

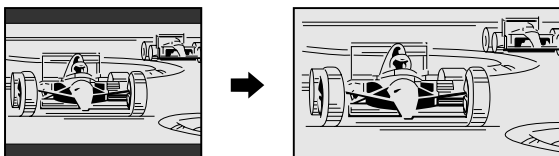
「映像判別」…………受信している放送や外部入力されたソフトの映像の上下に黒い帯があるとき、画面サイズを自動的に最適化するよう設定することができます。（☞ **32**ページ）

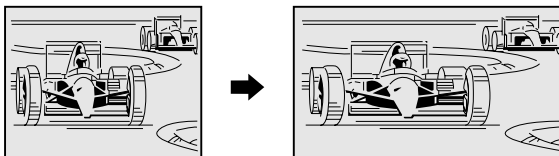
「S2対応」……………S2映像入力端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズで表示するよう設定することができます。（☞ **33**ページ）
（入力3·4のみ）

「D端子識別」……… D4映像入力端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が加えられているとき、自動的に最適な画面サイズで表示する機能です。メニュー設定により、画面サイズの判定方法を選択することができます。（☞ **33**ページ）
（入力1·2のみ）

オートワイド機能を働かせたときの画面表示例

上下に黒い帯の入った映像

● 映像判別
● S2対応
● D端子識別

➡
スクイーズ映像

● S2対応
● D端子識別

➡
オートワイド機能が働かないようにするには

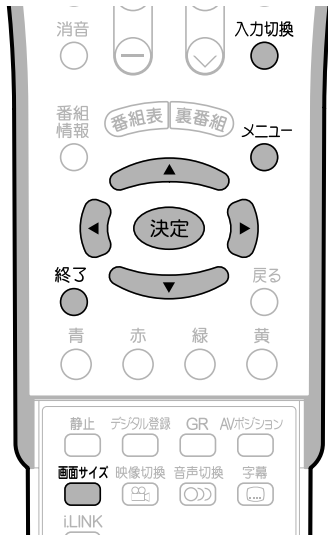
● オートワイド機能が働いているとき画面が大きくなったり小さくなったりすることがあります。これは表示している映像に最適な画面サイズを探そうとしているために起こる現象で、故障ではありません。
気になる場合は、つぎの手順を行い、オートワイド機能が働かないようにしてください。
① メニューボタンを押し、メニュー画面を表示する。
② 左右カーソルボタンで「本体設定」を選ぶ。
③ 上下カーソルボタンで「オートワイド」を選び、決定ボタンを押す。
④ 画面に表示されているすべての項目（「映像判別」「S2対応」「D端子識別」のうち表示されているもの）を「しない」に設定する。
• 詳しい操作方法については、**32**・**33**ページをご覧ください。
⑤ メニューボタンまたは終了ボタンを押し、通常画面に戻す。

● ビデオ機器やゲーム機などをS2映像端子やD映像端子で接続した場合でも、機器やソフトなどによってオートワイド機能が働かない場合があります。
● 画面サイズ変更前の映像信号の縦横比によっては、「シネマ」に切り換わっても画面の上下に黒い帯が残る場合があります。
● 字幕など画面の一部が欠ける場合には、位置調整（**34**ページ）で垂直位置を調整してください。このとき、画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
● テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、画面サイズ切換機能（オートワイド機能を含む）を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

画面サイズを設定する(つづき)

画面サイズを選ぶ

■ 本機は手動でお好みの画面サイズを選ぶことができます。

フタを開けたところ

- 本機の画面サイズ切換え機能を使うとき、テレビ番組やビデオソフトなど、オリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面サイズ切換え機能等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- ワイド映像でない通常(4：3)の映像を、画面サイズ切換え機能を利用して画面いっぱいに表示してご覧になると、画像周辺部分が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になるときは、画面サイズを「ノーマル」にしてください。
- 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切換え機能で最適なサイズに切り換え、位置調整(**34**ページ)で垂直位置を調整してください。このとき、ソフトによっては画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- オリジナル映像のサイズ(シネスコサイズなど)によっては、上下に黒い帯が残る場合があります。

操作開始

1 **画面サイズ を押し、画面サイズ切換メニューを表示する**

●表示中につぎの操作を行います。

2 **画面サイズ または ▲ ▼ で、お好みの画面サイズを選ぶ**

●映像の種類により、表示される画面サイズの種類は異なります。

3 **決定 を押す**

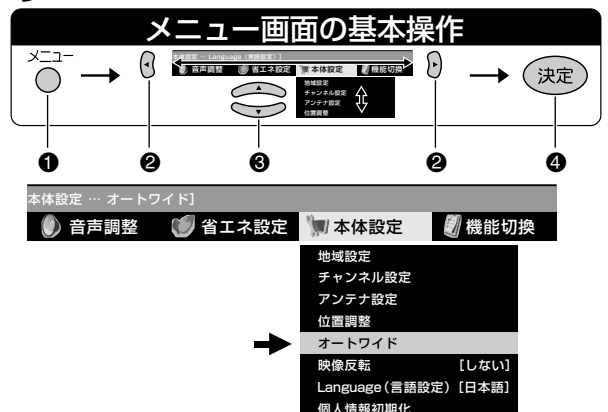
操作終了

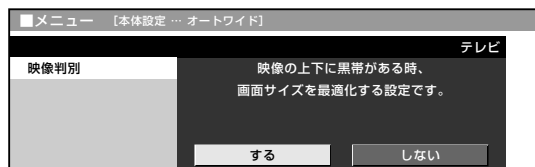
映像判別の設定(オートワイド)

■ 受信している放送や外部入力されたソフトの映像の上下に黒い帯があるとき、画面サイズを自動的に「シネマ」にする機能です。

■ 映像判別機能は、テレビを受信しているとき、入力1～4およびi.LINK入力のときに働きます。

操作開始

1 **❶メニュー画面から❷「本体設定」ー❸「オートワイド」を選び、❹ 決定 を押す**

次ページへ

2 ① ▲▼で「映像判別」を選び、(決定)を押す
② ◀▶で「する」または「しない」を選び、(決定)を押す

映像判別機能について
- 入力が1125i、750pの信号に対しては働きません。
- デジタル放送の映像に対しては働きません。

S2対応の設定(オートワイド)

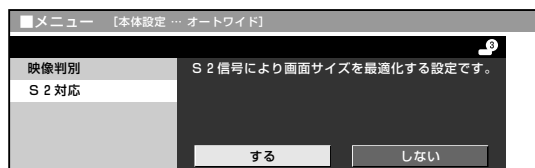
■ S2映像端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズで表示する機能です。
■ S2対応機能は、入力3・4のとき(入力選択が「S2映像」または「自動」でS2映像が表示されているとき)に働きます。

操作開始

1 (入力切換)を押し、S映像ケーブルを接続している入力(3または4)を選ぶ

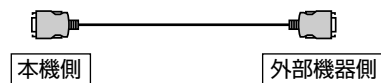
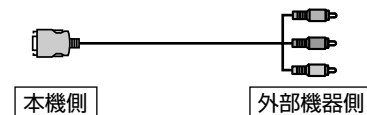
2 メニュー画面から「本体設定」ー「オートワイド」を選び、(決定)を押す
- 左のページ「映像判別の設定」の手順1をご覧ください。

3 ① ▲▼で「S2対応」を選び、(決定)を押す
② ◀▶で「する」または「しない」を選び、(決定)を押す

(例．入力３を選んでいる場合)

- S2対応を「する」に設定しても、S2映像端子から入力された映像によっては、最適な画面サイズにならない場合があります。

D端子識別の設定(オートワイド)

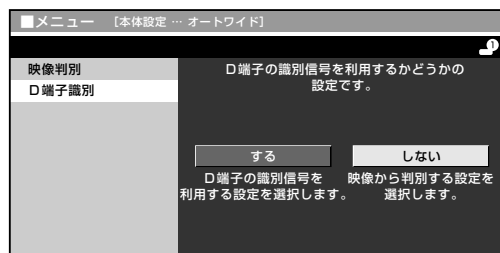
■ D4映像端子と外部機器との接続に使う映像ケーブルの種類により、画面サイズの判定方法を変えることができます。
■ D端子識別機能は、入力1・2のとき(入力選択が「D端子」または「自動」でD映像が表示されているとき)に働きます。

「する」：外部機器との接続に使うケーブルがD端子ケーブルのときは、「する」に設定します。

「しない」：外部機器との接続に使うケーブルがD-コンポーネント変換ケーブルのときは、「しない」に設定します。

操作開始

1 (入力切換)を押し、D端子ケーブルまたはD-コンポーネント変換ケーブルを接続している入力(1または2)を選ぶ

2 メニュー画面から「本体設定」ー「オートワイド」を選び、(決定)を押す
- 左のページ「映像判別の設定」の手順1をご覧ください。

3 ① ▲▼で「D端子識別」を選び、(決定)を押す
② ◀▶で「する」または「しない」を選び、(決定)を押す

(例．入力１を選んでいる場合)

- 1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

操作終了する場合は ▶ (メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す

画面の位置を調整する

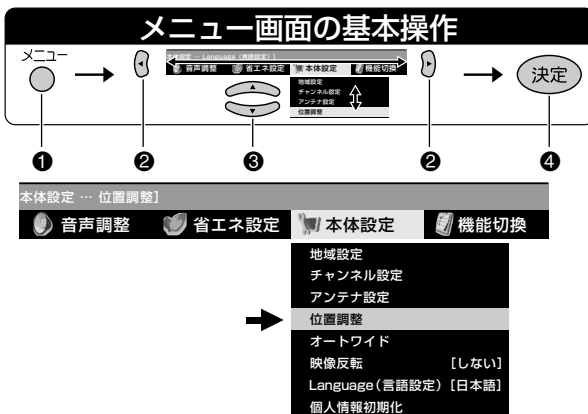
画面位置の調整のしかた

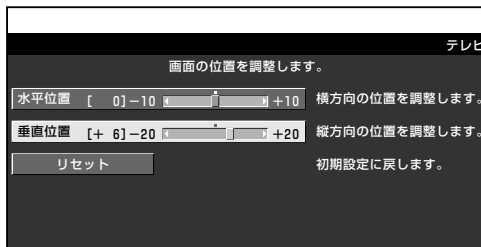
画面位置の調整について

- 画面の位置を調整することができます。
  「水平位置」……画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。
  「垂直位置」……画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。

［例］画面の垂直位置を調整する

操作開始

1 ❶メニュー画面から❷「本体設定」ー❸「位置調整」を選び、❹決定を押す

2 ① ▲ ▼ で「垂直位置」を選ぶ
② ◀ ▶ で適切な位置に調整する

- 水平位置は、－10～0～＋10の範囲で調整できます。
- 垂直位置は、－20～0～＋20の範囲で調整できます。

工場出荷時の設定に戻したいとき

- 手順2の①で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

- 1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

操作終了する場合は ▶ メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

お好みの映像・音声で楽しむ

お好みの映像・音声を設定する方法には、次の２つがあります。

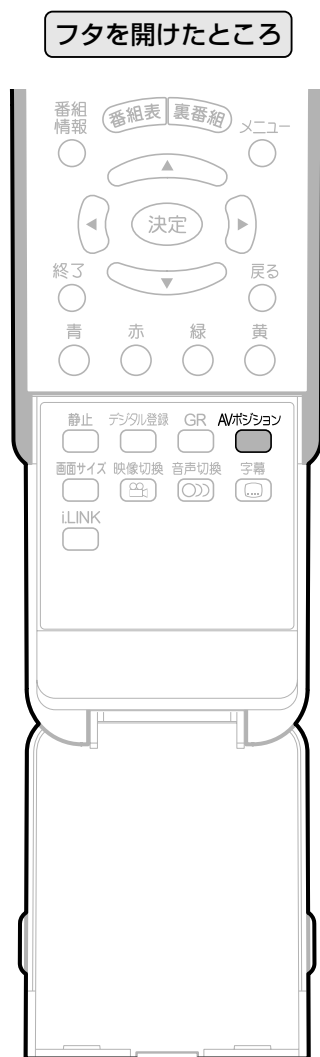
- AV ポジションを選ぶ
- 映像・音声を個別の設定項目ごとに設定する

最適な映像・音声設定を選ぶ(AVポジション)

AVポジションとは

■部屋の明るさや再生ソフトの内容に合わせて、記憶されたお好みの映像・音声調整に設定する機能です。

「ダイナミック」……… くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あふれたものにします。(工場出荷時の設定です。)
「標準」……………………… 画質・音質の設定がすべて標準値になります。
「映画」……………………… コントラスト感を抑えることにより、暗い映像を見やすくします。
「ゲーム」…………………… テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目にやさしい映像にします。
「AVメモリー」………… 各入力ごとにお好みの調整内容を記憶させることができます。
「ダイナミック(固定)」… くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あふれたものにします。(このポジションを選んだときは、映像・音声調整ができません。)

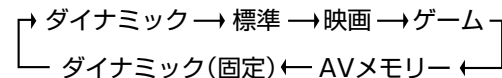
フタを開けたところ

操作開始

1 AVポジション を押す

- 画面左下に現在のAVポジションが表示されます。

2 AVポジション表示が出ている間に再び AVポジション を押し、お好みの設定を選ぶ

- ボタンを押すたびに、AVポジションがつぎのように切り換わります。

ダイナミック → 標準 → 映画 → ゲーム → AVメモリー → ダイナミック(固定) → (ダイナミックへ戻る)

操作終了

- AVポジションは各入力ごとに別のものを選ぶことができます(例えば、テレビは「標準」、入力1は「ダイナミック」....など)が、「i.LINK」は「テレビ」と同じ設定になります。また、「ＡＶメモリー」の設定も「テレビ」と同じになります。

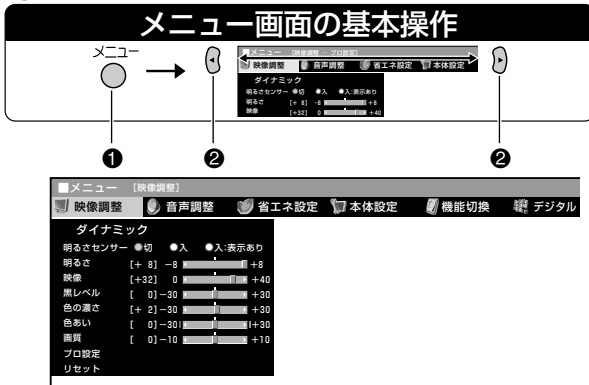
お好みの映像・音声で楽しむ(つづき)

映像調整について

- 「映像調整」とは、映像の濃淡や明るさ、色のぐあいなどを、お好みの状態に調整する機能です。
  現在視聴している入力により、別の調整項目になっています。
- AVポジションごとに、お好みの映像に調整し、調整内容を記憶させることができます。映像調整は、さきにAVポジションを選んでから行ってください。(**35**ページ参照)
- AVポジション「ダイナミック(固定)」では、映像調整ができません。
- 「プロ設定」では映像の状態をお好みに応じてさらにきめ細かく調整できます。

映像調整の基本操作

操作開始

1 **❶メニュー画面から❷「映像調整」を選ぶ**

2 **① ▲ ▼ で調整したい項目を選ぶ**

② ◀ ▶ でお好みの設定にする

- プロ設定については、**38**ページをご覧ください。

工場出荷時の設定に戻したいとき

① 手順**2**の①で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

② 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。
「初期設定に戻しました。」と表示されます。

この場合、プロ設定もすべて工場出荷時の設定に戻ります。

- AVポジション「ダイナミック(固定)」では、映像調整ができません。

- 1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

操作終了する場合は ▶ **メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す**

映像調整の項目

明るさセンサー

■ 室内の照明状況など周囲の明るさに応じて画面の明るさが自動的に調整されるよう設定することができます。（明るさセンサー機能）

■ 放送や再生ソフトの映像内容に合わせ、画面をお好みの明るさに手動調整することができます。（映像調整の項目「明るさ」参照）

明るさセンサー ◎切　○入　○入:表示あり

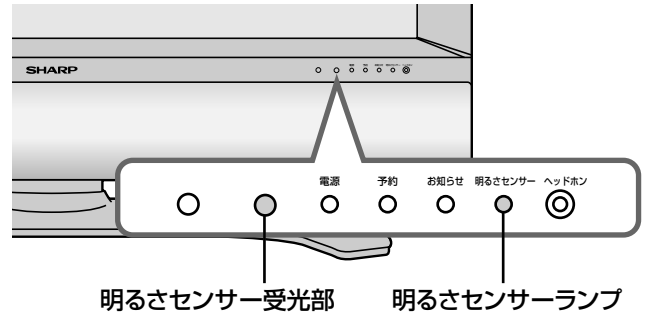
設定項目	設定内容
切	明るさセンサー機能が働かなくなります。
入	周囲の明るさが変化すると明るさセンサー機能が働いて、画面の明るさを自動調整します。
入：表示あり	自動調整中、明るさセンサー機能の効果が画面に表示されます。 明るさセンサー： ※メニュー表示中は表示されません。

- 明るさセンサー受光部の前にものを置いたりすると、明るさを感知できなくなります。
- AVポジション「ダイナミック（固定）」では、明るさセンサーの設定ができません。
- 明るさセンサーを「入」または「入：表示あり」に設定すると、明るさセンサーランプが点灯します。

明るさ

■ 放送番組や再生ソフトなど映像内容に合わせて、画面をお好みの明るさに手動調整することができます。

明るさ　［標準］ −8 ～ +8
暗くなる ⟷ 明るくなる

- 調整を行うと、明るさセンサー機能は「切」になります。

- AVポジション「ダイナミック（固定）」では、明るさの調整ができません。

映像

■ 映像の強弱を手動調整することができます。

映像　［+30］ 0 ～ +40
弱くなる ⟷ 強くなる

黒レベル

■ 画面を見やすい明るさに調整することができます。

黒レベル　［　0］ −30 ～ +30
暗くなる ⟷ 明るくなる

色の濃さ

■ 映像の色の濃さを手動調整することができます。

色の濃さ　［　0］ −30 ～ +30
薄い色になる ⟷ 濃い色になる

色あい

■ 肌色を手動調整することができます。

色あい　［　0］ −30 ～ +30
肌色が紫がかる ⟷ 肌色が緑がかる

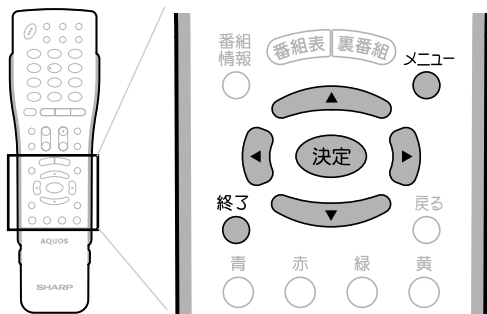
画質

■ 画面をお好みの画質に手動調整することができます。

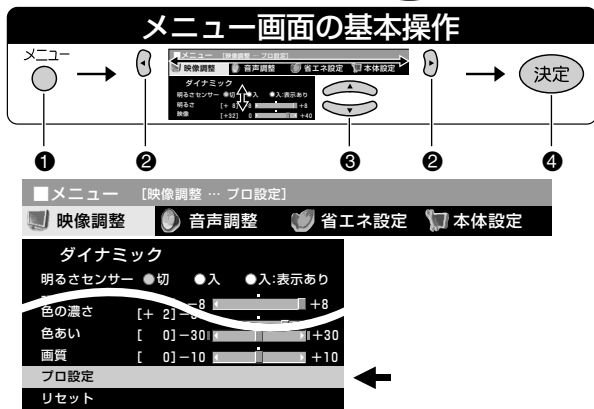
画質　［　0］ −10 ～ +10
やわらかな映像になる ⟷ くっきりした映像になる

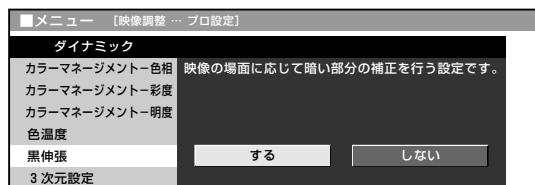
次ページへつづく

お好みの映像・音声で楽しむ(つづき)

プロ設定の基本操作

[例] 黒伸張を「する」に設定する

操作開始

1 **❶メニュー画面から❷「映像調整」ー❸「プロ設定」を選び、❹(決定)を押す**

2 **① (▲)(▼)で「黒伸張」を選び、(決定)を押す**

② (◀)(▶)で「する」を選び、(決定)を押す

● 続けて他の項目を調整したいときは、手順**2**をくり返します。

- デジタル放送やD4映像端子から入力された映像などを視聴しているとき、「3次元設定」は選択できません。
- デジタルハイビジョン放送や、画面表示(チャンネルサイン)に「525p」「1125i」「750p」と表示されるような映像を視聴している場合は、プロ設定の「I／P設定」は選択できません。
- 元がプログレッシブの映像(525p、750p)のときは、プロ設定の「フィルムモード」を選択することができません。

プロ設定の項目

項　目	内　容	設　定
カラーマネージメント※1	色の構成要素となる6つの系統色のそれぞれを調整し、色相・彩度・明度を変化させます。	−30〜0〜+30
色温度	青みがかった白(高)にするか、赤みがかった白(低)にするかの調整です。	高/高-中/中/中-低/低
黒伸張	映像の暗い部分の強調度合いを調整し、奥行き感を変化させます。	する/しない
3次元設定※2	映像素材に応じた設定にすると、画質が改善されます。	標準/動画より/静止画より
モノクロ	白黒映像にします。	する/しない
フィルムモード※3	フィルム収録のDVDなど、元信号が24コマ/秒の映像を高画質に再生します。	する/しない
I／P設定※4	動画より（通常のテレビ放送やビデオ等をきめ細かい映像で楽しむモード）と静止画より（静止画やグラフィック等の画像を、チラツキのないなめらかな映像で楽しむモード）を切り換えます。	動画より/静止画より

※1 **カラーマネージメント(色相・彩度・明度）の調整項目について**

系統色	調　整 −30………0………+30
R(赤)	マゼンタに近づく ⟷ 黄に近づく
Y(黄)	赤に近づく ⟷ 緑に近づく
G(緑)	黄に近づく ⟷ シアンに近づく
C(シアン)	緑に近づく ⟷ 青に近づく
B(青)	シアンに近づく ⟷ マゼンタに近づく
M(マゼンタ)	青に近づく ⟷ 赤に近づく

※2 地上アナログ放送、ビデオ映像以外を視聴しているときは、選択できません。

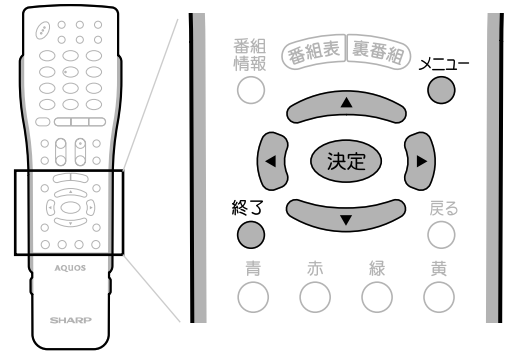
※3 元がプログレッシブの映像(525p、750p）では、選択できません。

※4 デジタルハイビジョン放送や、画面表示（チャンネルサイン）に「525p」「1125i」「750p」と表示されるような映像を視聴している場合は、プロ設定の「I／P設定」は選択できません。

● 1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

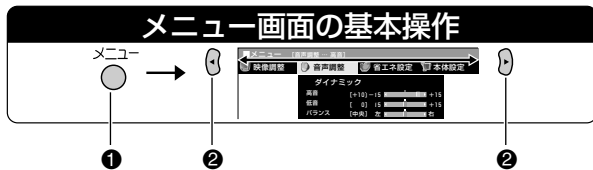
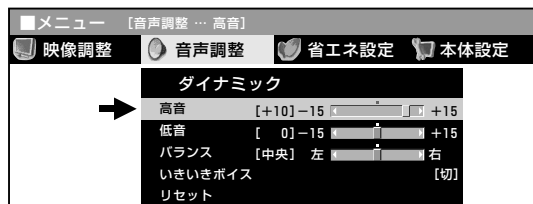
操作終了する場合は ▶ (メニュー)**または**(終了)**を押し、通常画面に戻す**

お好みの音声に調整する(音声調整)

■「高音」「低音」「バランス」の3つの項目を、AVポジションごとに、お好みに合わせて調整することができます。
調整したいAVポジションを選んでから、音声調整の操作を行います。(**35**ページ参照)
※AVポジション「ダイナミック(固定)」では、音声調整ができません。

音声調整の基本操作

[例] AVポジション「ダイナミック」の「高音」を調整する

操作開始

1 ❶メニュー画面から❷「音声調整」を選ぶ

2 ① ▲ ▼ で「高音」を選ぶ
② ◀ ▶ で、お好みの位置に調整する

●続けて他の項目を調整したいときは、手順**2**をくり返します。

●ヘッドホンを接続しているときや出力選択を「モニター出力(可変)」に設定しているときは、音声調整ができません。

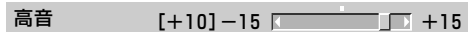
工場出荷時の設定に戻したいとき

① 手順**2**の**①**で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。
② 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。
「初期設定に戻しました。」と表示されます。

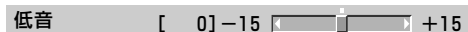
音声調整の項目

高音

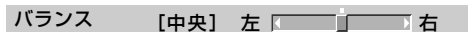
■ お好みに合わせて、高音を調整することができます。

高音 [+10] −15 +15

低音

■ お好みに合わせて、低音を調整することができます。

低音 [0] −15 +15

バランス

■ お好みに合わせて、左右のスピーカー音声のバランスを調整することができます。

バランス [中央] 左 右

いきいきボイス

■ メリハリのある聞きやすい音に設定することができます。詳しくは**40**ページをご覧ください。

次ページへつづく

●1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

操作終了する場合は ▶ メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

メリハリのある聞きやすい音にする(いきいきボイス)

■ 音声に人の声が多く含まれているときは、こもりがちな低音や耳ざわりな高音を自動的に減らし聞き取りやすい音声にします。音楽が多いときは、自動的に低音と高音を増強し、臨場感豊かな音声にします。

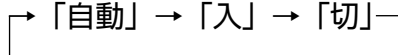
いきいきボイス機能の入／切を選択する

設定	機能
自動	音声信号を自動で判別し、ポジションを切り換える必要なく最適な音質でお楽しみいただけます。
入	強制スピーチモードで、常に人の声が聞き取りやすい音質でお楽しみいただけます。
切	動作しません。

- いきいきボイスはスピーカーのみ機能し、ヘッドホン出力およびモニター出力では機能しません。
- 工場出荷時は「切」に設定されています。

リモコンで設定する

いきいきボイス を押す

- 押すごとに次のように切り換わります。

→「自動」→「入」→「切」─┐（「切」から「自動」に戻る）

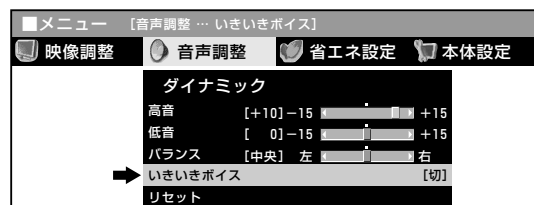
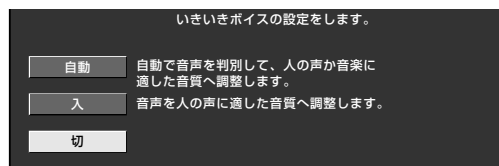
メニューで操作する場合は

操作開始

1 **❶メニュー画面から❷「音声調整」－❸「いきいきボイス」を選び、❹決定を押す**

2 **▲▼で「自動」「入」「切」のいずれかを選び、決定を押す**

いきいきボイスの設定をします。

自動	自動で音声を判別して、人の声か音楽に適した音質へ調整します。
入	音声を人の声に適した音質へ調整します。
切	

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶ メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

二重音声放送やステレオ放送を楽しむ

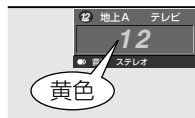
■ 二重音声放送やステレオ放送のとき、音声切換ボタンで音声モードを切り換えることができます。

チャンネル表示の色について

● 二重音声放送やステレオ放送、モノラル放送は、チャンネル表示の色で区別することができます。

▼画面表示

二重音声放送のとき

ステレオ放送のとき

モノラル放送のとき

主音声と副音声について

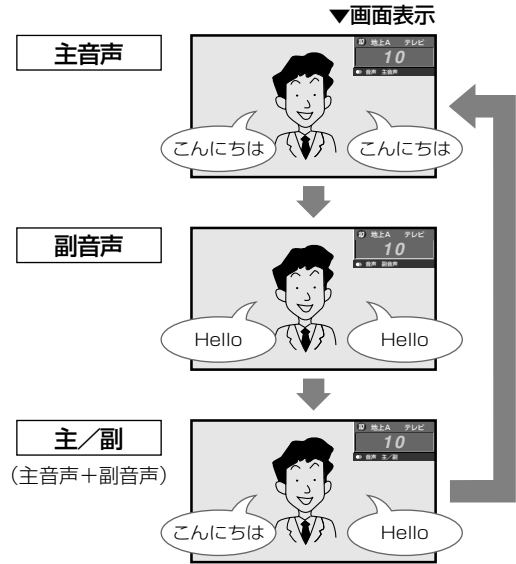
● ニュースや洋画などの二ヵ国語放送で、吹き替えの日本語(主音声)と英語などの外国語(副音声)の2種類の音声が楽しめます。

フタを開けたところ

二重音声放送の音声切換

音声切換を押し、お好みの音声を選ぶ

●ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。

▼画面表示

ステレオ放送の音声切換

■ ステレオ放送のときは、自動的に「ステレオ」になります。

雑音が多いときは、音声切換で「モノラル」にする

●画面右上のチャンネル表示内に「モノラル」と表示されます。

●「モノラル」にすると雑音が減って聞きやすくなることがあります。

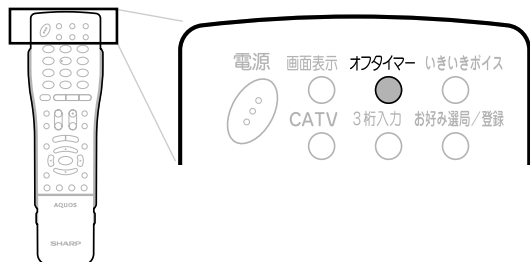
● 音声切換ボタンを押して「モノラル」にすると、ステレオ放送を受信してもモノラル音声になります。
ステレオ音声で聞くときは、再度ボタンを押して「ステレオ」に切り換えてください。

● デジタル放送は「モノラル」への切換えができません。

● デジタル放送視聴時の音声切換えについては、**55**ページをご覧ください。

便利な機能を使う

指定した時間後に電源を切る（オフタイマー）

■「オフタイマー」を使うと、指定した時間後に本機の電源を切ることができます。テレビを見ながらおやすみになるときなどに便利です。

操作開始

1 オフタイマーを押す

- オフタイマーがすでに設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が表示されます。設定されていないときは「切」と表示されます。

オフタイマー：　切

2 オフタイマー表示が出ている間に再びオフタイマーを押し、電源が切れるまでの時間を選ぶ

- ボタンを押すたびに、設定時間がつぎのように切り換わります。

→切（解除）→0時間30分→1時間00分→1時間30分→2時間00分→2時間30分→（切に戻る）

操作終了

オフタイマーの残り時間を見るには

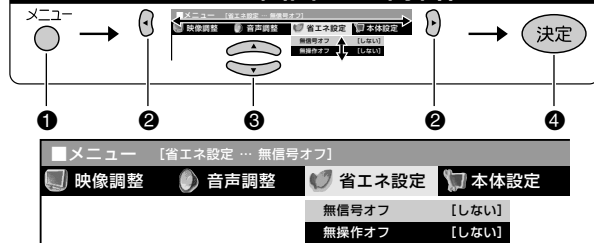
オフタイマーを押す

- 残り時間が表示されます。

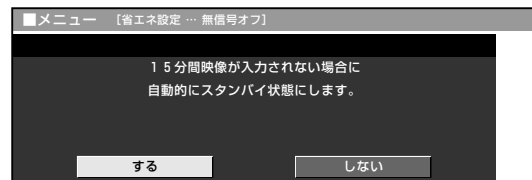
オフタイマー：残り　0時間15分

- しばらくすると表示が消えます。
- 表示が出ている間に再びオフタイマーボタンを押すと、残り時間が変わってしまいます。
- オフタイマーの残り時間が5分になると、残り時間が画面に表示されます。

省エネ機能について

■ 本機は省エネに役立つ2つの機能を備えています。

無信号オフ

■放送が終了するなど無信号状態になると、約15分後に自動的に電源が切れるように設定できます。

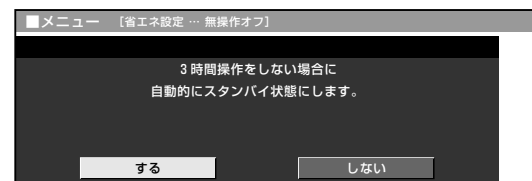
おしらせ

無信号オフ機能について

- 工場出荷時は、「しない」に設定されています。
- 放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときや、ブルーバックなどのビデオ信号が入力されているときは、正しく動作しない場合があります。
- 放送電波の状態などにより、放送を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「しない」にしてください。
- 電源が切れる5分前から画面左下に残り時間が表示されます。

無信号オフ：残り　5分

無操作オフ（テレビ／ビデオのみ）

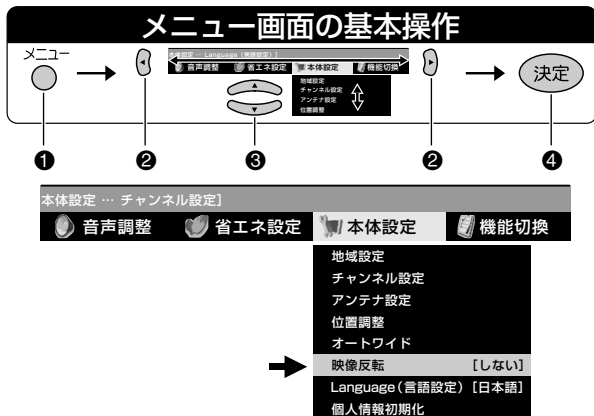
■操作しない状態が3時間以上経過すると、自動的に電源が切れるように設定できます。

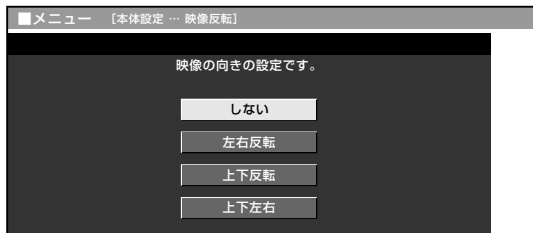
おしらせ

無操作オフ機能について

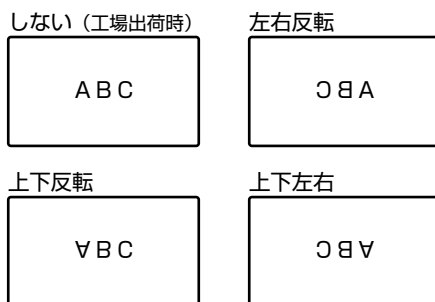
- 工場出荷時は、「しない」に設定されています。

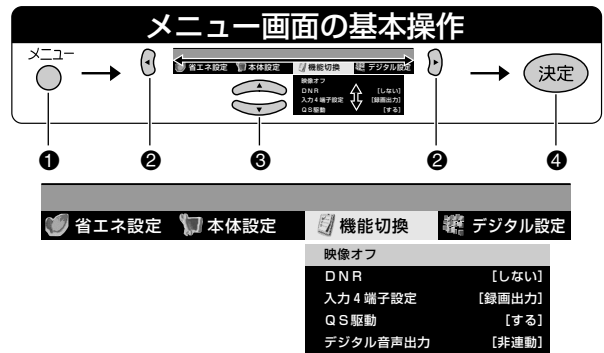
- 1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

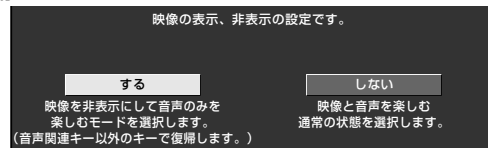
操作終了する場合は ▶ **メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す**

映像の向きを変える

映像反転

■設置のしかたに応じて、映像の左右、上下、上下左右を反転して映すことができます。
映像を鏡に映してご覧になるときなどに便利な機能です。

- 「しない」を選んだときは、反転しません。
- 「しない」以外を選んだときは、メニューも反転表示されます。

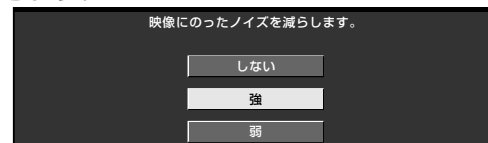
映像反転の表示のされかた

- 「左右反転」「上下左右」を選んだとき、音声は左右反転しません。

映像の特殊な機能を使う

映像オフ

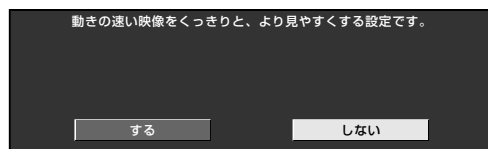
■映像を消して、音声だけを楽しみたいときに便利な機能です。

- 映像を復帰させたいときは、音量調整、消音、音声切換え以外の操作を行ってください。

- 映像オフを「する」にしているとき、オフタイマー残り時間などのメッセージが表示されると、映像が復帰します。
- 操作により映像が復帰したり、一度電源「切」の状態にすると、自動的に設定が「しない」になります。

DNR

■ビデオなどの再生映像を、すっきりさせる機能です。設定は「しない」「強」「弱」の3種類があります。（DNR…デジタルノイズリダクション）
■テレビ、ビデオ各入力ごとに個別に設定することができます。

- デジタルハイビジョン放送の映像に対しては、DNR機能が働きません。
- メニューの「デジタル設定」内、「映像設定」の「画面サイズ設定」が「フル固定」になっていると、デジタル放送受信時にDNR機能が働きません。

QS駆動

■QS駆動とは、動きの速い映像をくっきりと、より見やすくする機能です。（QS…クイックシュート）
■通常は「する」にしてご覧ください。

ゴーストを軽減する(GR機能)

GR機能を使う

■ ゴーストの発生によって見にくくなった地上アナログ放送チャンネルのゴーストを軽減することができます。(GR機能)

※GRはゴーストリダクションの略称です。

■ GR機能は、地上アナログ放送の入力信号に対してのみ動作し、チャンネルごとに設定できます。

■ GR設定は工場出荷時、すべてのチャンネルが「入」に設定されています。

フタを開けたところ

- つぎのような場合は、ゴースト軽減効果が得られません。
  - 放送局からゴースト除去基準信号が送られていないとき
  - 飛行機などの反射によりゴーストが変動するとき
  - ゴーストの電波が強いとき
  - ビデオデッキからの映像を見るとき
- GR設定を「入」にしておくと映像が見づらい場合は、「切」にしてください。
- チャンネルを切り換えた直後は、一時的にゴーストが増えることがあります。
- 電波が弱いときにGR機能を働かせた場合は、新たにゴーストがつく場合があります。
- アンテナを正しい向きに設置しないと、ゴーストが軽減できない場合があります。(アンテナは、最も強い電波が来る方向に向けてください。)

操作開始

1 GR を押す

- 画面左下に現在のGR設定が表示されます。

2 GR設定表示が出ている間に再び GR を押す

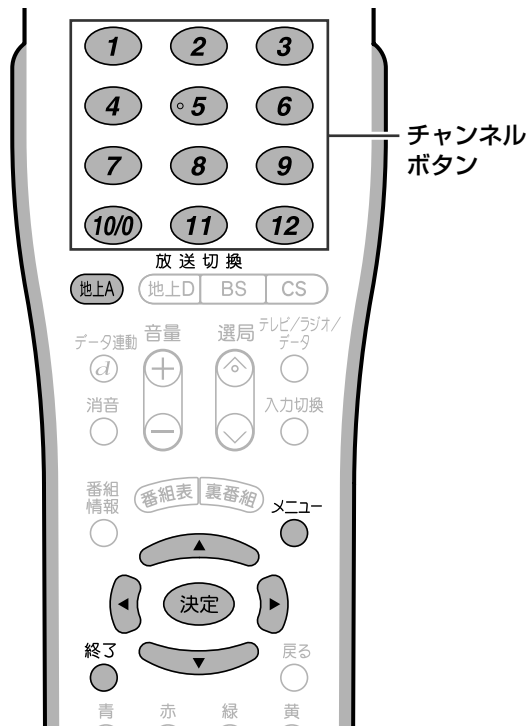
- ボタンを押すたびに「GR：入」⇄「GR：切」と切り換わります。
- 「GR：入」にしても、ゴーストの内容によっては動作に少し時間がかかったり、軽減効果が得られない場合があります。

操作終了

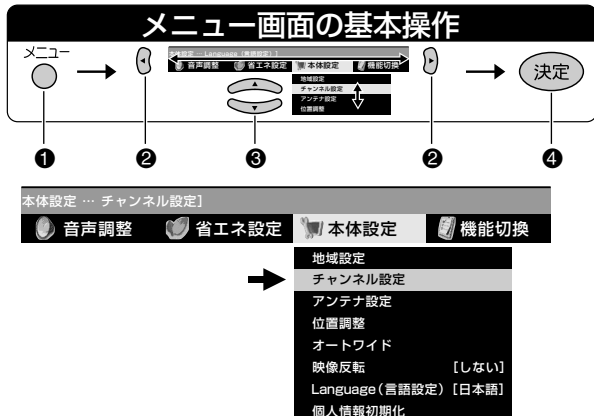
- GR機能を「入」にすると、チャンネル表示の中に「**GR**」が表示されます。

「ゴースト」について

- ゴーストとは、放送局とテレビアンテナの間に高層ビル等の障害物がある場合など、電波が乱反射することによって発生する現象で、映像がダブって見えたり、ぼやけて見えたりするためにゴースト(幽霊)と呼ばれます。また、工事用のクレーンや天候等が原因で発生したゴーストは、時間の経過とともに大きく変化したり揺れたりします。
- ゴーストは、場所・天候等により発生原因が千差万別であるため、発生原因に対応して完全にゴーストを消すことはできません。

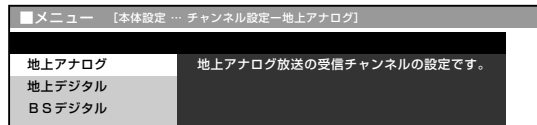
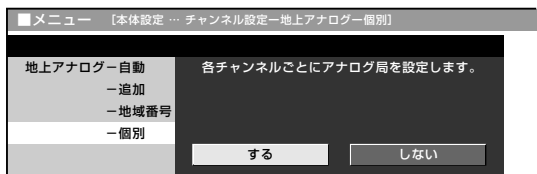
メニュー画面でGR設定をする

[例] チャンネルボタン⑥に登録されている地上アナログ放送のチャンネルをGR設定する

操作開始

1 ① 地上Aを押し、地上アナログ放送を選ぶ
② チャンネルボタン⑥を押し、6チャンネルを選局する

2 ❶メニュー画面から❷「本体設定」−❸「チャンネル設定」を選び、❹決定を押す

3 ▲▼で「地上アナログ」を選び、決定を押す

4 ① ▲▼で「地上アナログー個別」を選び、決定を押す
② ◀▶で「する」を選び、決定を押す

5 ① ▲▼で「GR設定」を選ぶ
② ◀▶で「入」を選ぶ

6 ① ▲▼で「GR速度」を選ぶ
② ◀▶で「標準」または「速い」を選ぶ

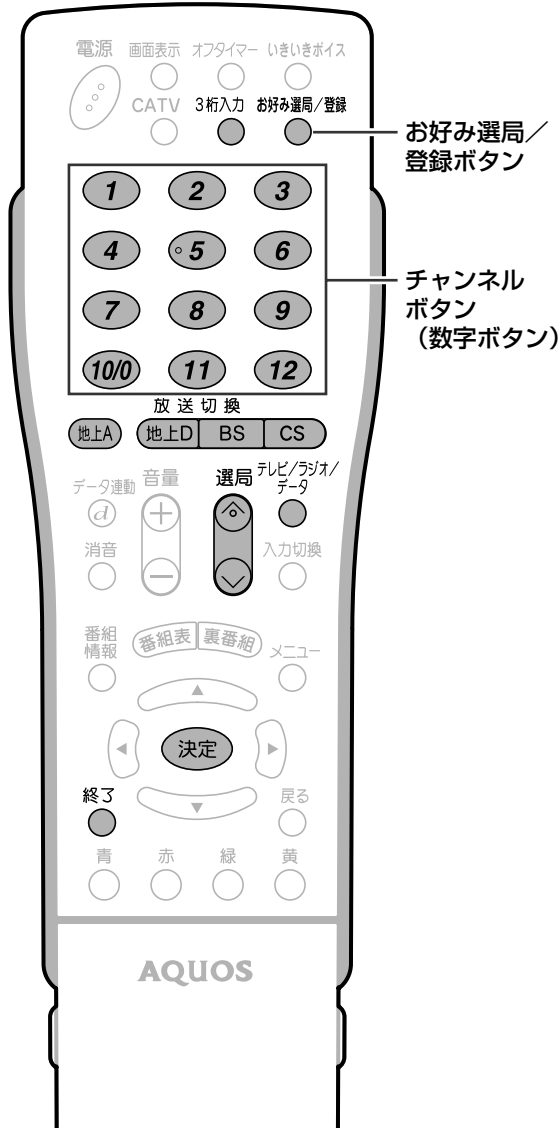
「標準」……GR効果はゆっくり現れますが、より確実な効果が得られます。
「速い」……GR効果は早く現れますが、確実な効果が得られない場合があります。

● 1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

操作終了する場合は ▶ **メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す**

お好みのチャンネルを登録する

お好み選局／登録画面にチャンネルを登録する（お好み登録）

■ よく見るチャンネルをお好み選局／登録画面に登録できます。
■ ネットワーク（地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル）やメディア（テレビ、ラジオ、データ）を混在させた登録ができます。
※ お好み選局／登録画面は、工場出荷時の状態では、地上アナログ放送に設定されています。

［例］BSデジタルのテレビ放送の103チャンネルをお好み選局／登録画面の「１」（チャンネルボタン1）に登録する

操作開始

1
① BS を押し、BSデジタル放送（テレビ）を選ぶ
② 103チャンネルを選局する

2
① お好み選局／登録 を押す
●お好み選局／登録画面が表示されます。

② 決定 を押す

3
登録したいチャンネルボタン1（登録先のボタン）を押す

●登録確認画面が表示されます。

4
お好み選局／登録 または 終了 を押し、画面表示を消す
●お好み選局／登録ボタンまたは終了ボタンを押さなくても、しばらくすると画面表示は消えます。

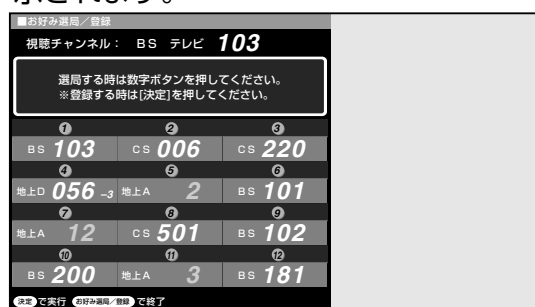
操作終了

お好み登録したチャンネルを確認する

■ お好み選局／登録画面(「1」〜「12」)に登録されているチャンネルの内容を画面で確認することができます。

操作開始

1 放送を視聴中に お好み選局/登録 を押す

●登録されているチャンネル内容の一覧が表示されます。

●内容を確認します。

2 お好み選局/登録 または 終了 を押し、画面表示を消す

操作終了

お好み登録を変更する

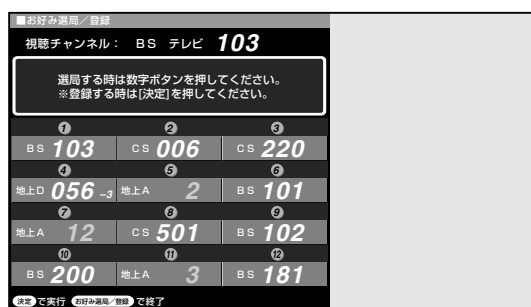
46ページ手順1〜4の操作を行い、お好み登録されているお好み選局／登録画面に新たなチャンネルを登録しなおす

お好み選局／登録画面からチャンネルを選局する(お好み選局)

■ お好み選局／登録画面に登録したチャンネルを選局します。
■ ネットワーク(地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)やメディア(テレビ、ラジオ、データ)を切り換えることなく、チャンネルを選べます。

操作開始

1 お好み選局/登録 を押す

●お好み選局／登録画面が表示されます。

2 見たいチャンネルボタン(1〜12)を押す

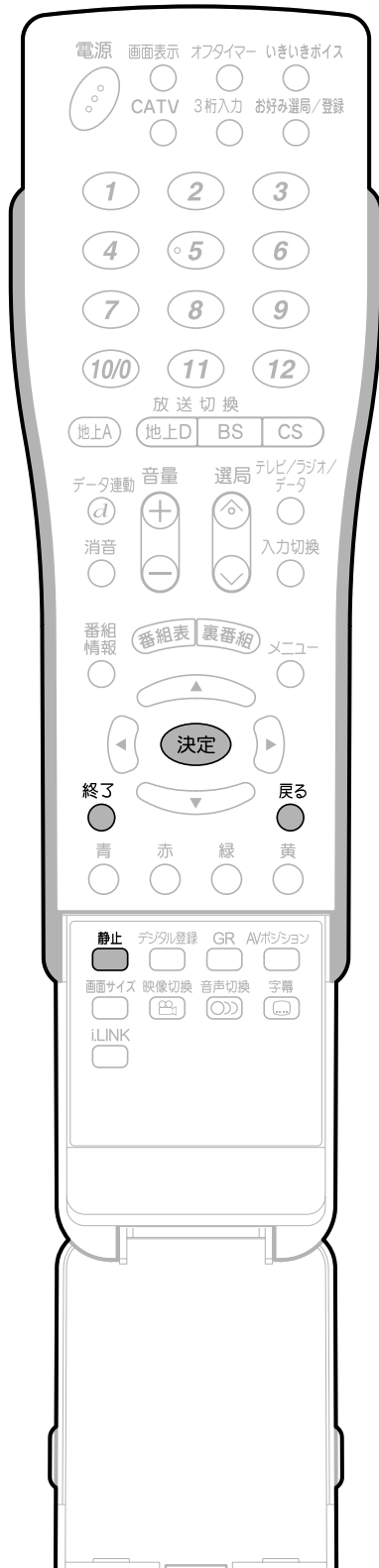
●選んだチャンネルの画面になります。

操作終了

静止画面で見る

番組の内容をメモする

■ いま見ている放送や映像を静止することができます。料理番組などのメモをとったりするときに便利です。

フタを開けたところ

操作開始

映像を静止させたいところで、静止を押す

●2画面表示となり、左側が動画、右側が静止画になります。

●静止画表示中に決定ボタンを押すと、静止画が更新されます。

操作終了

1画面に戻すには

戻るを押すか、終了または静止を押す

● 静止ボタンを押し、静止画表示になってから30分経過すると、自動的に1画面に戻ります。
● 静止画表示中に選局や入力切換えをすると、1画面に戻ります。
● 静止画表示中の画面サイズ切換えはできません。
● 静止画表示中にメニューボタンを押すと、1画面に戻ります。
● 静止画表示中にi.LINKボタンを押すと、静止画が解除されます。

デジタル放送の視聴と予約

●この章では、地上デジタル放送やＢＳ・１１０度CSデジタル放送の番組の選びかたや番組予約のしかたなどを説明しています。

■デジタル放送の番組を選ぶ 50
番組の選択手順と操作のしかた 50
お好み選局／登録画面を表示して選ぶ 51
3桁入力で選ぶ 51
地上デジタルチャンネルの枝番を選んで選局する 51

■デジタルチャンネルの確認と登録 .. 52
チャンネルボタンに登録されているデジタルチャンネルを確認する 52
デジタルチャンネルをチャンネルボタンに登録する 54

■映像・音声の切り換えかた 55
複数の映像を楽しむ 55
複数の音声を楽しむ 55

■視聴中の番組の情報を見る 56
番組情報を表示する 56

■テレビ放送に連動したデータ放送を視聴する 56
連動データ放送を見る 56

■電子番組表(EPG)の使いかた . 57

■電子番組表(EPG)で選ぶ 58
見たい番組を探す 58
アイコン一覧 58
日時を指定して番組を探す 59
ジャンルで番組を探す 59
番組の内容を確認する 60
放送中の他の番組(裏番組)を知りたいとき 60

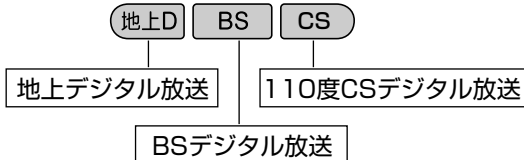
■電子番組表(EPG)から番組を予約する 61
番組予約(録画予約)の手順 61
視聴予約か録画予約かを選ぶ 62
視聴予約 63
録画予約 63
ビデオ連動予約するとき 64
i.LINK予約するとき 65
詳細設定 65
予約の確認・取消し・変更 68

デジタル放送の番組を選ぶ

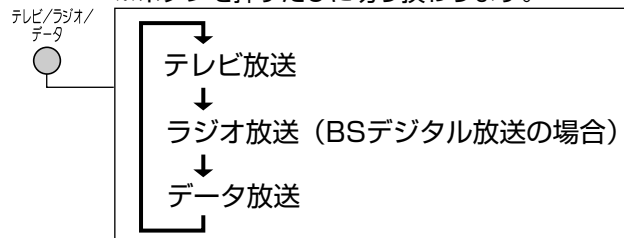
番組の選択手順と操作のしかた

操作のしかた

1 ネットワークを選ぶ

放送切換ボタンで、3種類のネットワークから放送の配信ネットワークを選びます。

2 メディアを選ぶ

テレビ／ラジオ／データボタンで、3種類の放送メディアから選びます。

※ボタンを押すたびに切り換わります。

3 電子番組表（EPG）を使って番組を選ぶこともできます

- **右記手順①～②の後に電子番組表を表示して、放送中の番組を選びます。**

電子番組表（EPG）の表示のしかた、機能、操作方法については、**57**・**58**ページをご覧ください。

3 視聴したいチャンネルを選ぶ

次のいずれかの方法でチャンネルを選びます。

チャンネルボタン（数字ボタン）で選ぶ

- チャンネルボタンを押してください。
- チャンネルボタンには、各放送局のチャンネルが登録（設定）されており、ワンタッチ選局できます。
- 登録されているチャンネルは画面で確認できます。デジタル登録ボタンを押すと、チャンネルボタンに登録されている放送局の一覧が画面に表示されます。（**52**ページ参照）

選局（∧順／∨逆）ボタンで選ぶ

- 視聴したい番組が表示されるまで選局（∧順／∨逆）ボタンを押してください。
- 選局（∧順／∨逆）ボタンを押すたびに、視聴中のネットワーク・メディアのチャンネルが、順方向・逆方向に選局できます。

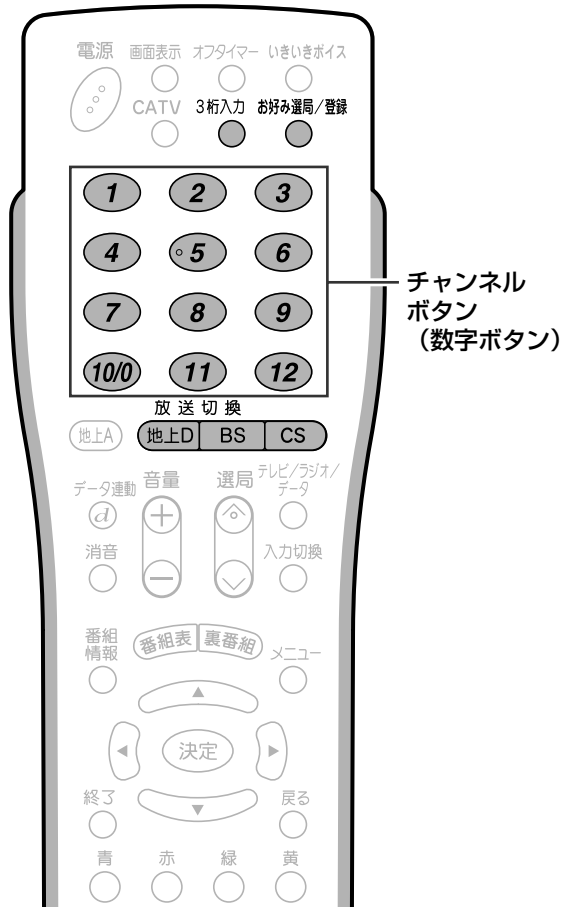
- デジタル放送はB-CASカード（1.準備編 **40**～**41**ページ）を挿入してご覧ください。挿入しないと視聴できません。
  地上デジタル放送は、地域設定とチャンネル設定（1.準備編 **42**～**51**ページ）を行うとご覧になれます。なお、放送開始前は設定しても受信できません。
- データ放送の使いかたは、各放送局の番組の作りかたによって異なります。基本的にはカーソルボタン、決定ボタン、カラーボタンなどで操作します。
- 地上デジタル放送と110度CSデジタル放送には、ラジオ放送がありません。

選局したチャンネルの画面表示例

- BSデジタル放送のテレビ放送「NHKBS1」を選んだとき

- BSデジタル放送のラジオ放送「BS-i ラジオ」を選んだとき

- BSデジタル放送のデータ放送「日本データ放送」を選んだとき

その他の選局方法

お好み選局／登録画面を表示して選ぶ

■ デジタルチャンネルが登録されている場合は、お好み選局／登録ボタンを押して、登録されているチャンネルを選局します。（**46**ページ「お好みのチャンネルを登録する」を参照してください。）

操作開始

① お好み選局/登録 を押して、お好み選局／登録画面を表示する

② 視聴したいデジタルチャンネルが登録されているチャンネルボタン(1〜12)を押す

● 視聴したいチャンネルがダイレクトに選局できます。

操作終了

3桁入力で選ぶ

■ 視聴したい番組の3桁チャンネル番号を入力して選局できます。
チャンネル番号表（**16**・**53**ページ）を参照してください。

操作開始

1 地上D BS CS のいずれかを押し、ネットワークを選ぶ

2 [例] BSデジタル放送の161チャンネル(BS-i)を選ぶとき

① 3桁入力 を押す

● 画面右上に3桁入力欄が表示されます。

② 数字ボタン 1 6 1 を押す

● 間違った番号を入力した場合は、再度3桁入力ボタンを押すと、入力した番号がクリアされます。

操作終了

ヒント

つぎの操作手順でも選局できます
① 3桁入力ボタンを押す。
② 放送切換「地上D」「BS」「CS」ボタンでネットワークを選ぶ。
③ 数字ボタンで番号を入力する。

地上デジタルチャンネルの枝番を選んで選局する

■ 地上デジタル放送を3桁入力で選局したとき、チャンネル番号の重複する放送局がある場合は、4桁め（枝番）を選んで番組を選局します。

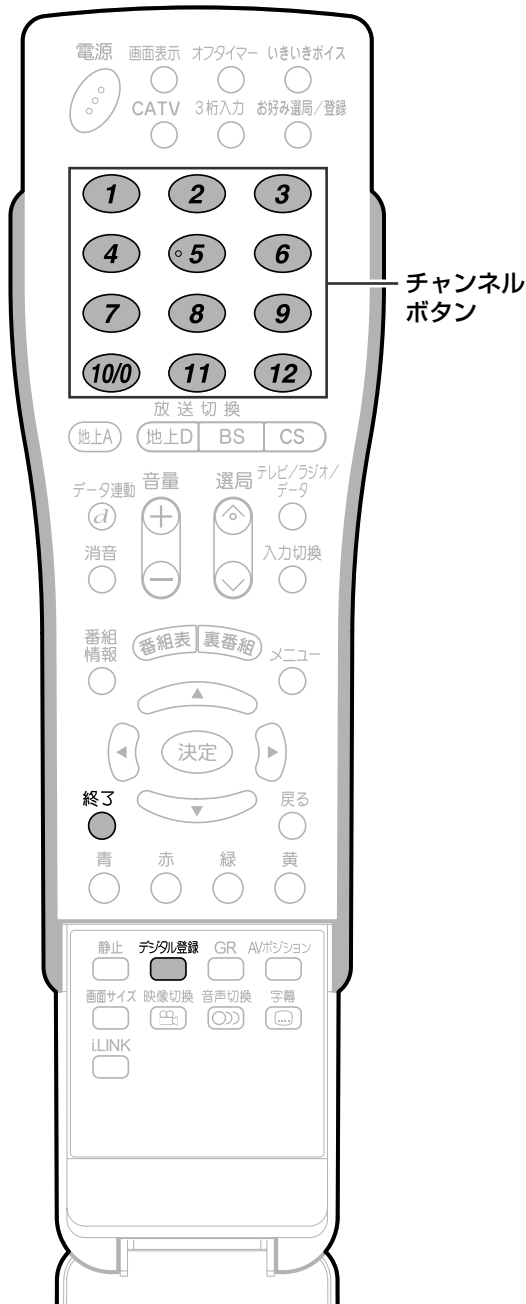
● 3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め（枝番）の選択画面が表示されます。

数字ボタン(1〜10/0)で4桁めの数字（枝番）を入力し、選局する

デジタルチャンネルの確認と登録

チャンネルボタンに登録されているデジタルチャンネルを確認する

■ ワンタッチ選局に使うチャンネルボタンに現在登録されているデジタル放送のチャンネルを確認することができます。

フタを開けたところ

操作開始

デジタル放送を視聴中に デジタル登録 を押す

●登録されているチャンネル内容の一覧が表示されます。

〈例〉BSデジタル放送の、テレビ放送の一覧

●確認後、画面表示を消すには、デジタル登録ボタンまたは終了ボタンを押します。

操作終了

● 各デジタル放送のデジタル登録画面は、それぞれ放送を視聴しているときにデジタル登録ボタンを押すと表示されます。
● デジタル登録画面を表示中に、各放送切換ボタンまたはテレビ／ラジオ／データボタン(メディア切換えボタン)を押すと、ネットワーク・メディアが切り換わり、そのデジタル登録画面が表示されます。

工場出荷時に設定されているデジタルチャンネル一覧

BS(BSデジタル放送)チャンネル

チャンネルボタン	テレビ		ラジオ		データ	
	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK BS1	101	BSC	300	メガポート放送	900
2	NHK BS2	102	―	―	ウェザーニュース	910
3	NHK ハイビジョン	103	JFN衛星放送	320	デジキャス933	933
4	BS 日テレ	141	セント・ギガ	333	日本データ放送	940
5	BS 朝日	151	BS 日テレラジオ	444	―	―
6	BS-i	161	BSAラジオ	455	TiVi!963	963
7	BS ジャパン	171	BS-iラジオ	461	知求チャンネル	999
8	BS フジ	181	BS ジャパンラジオ	471	―	―
9	WOWOW	191	LFX488	488	―	―
10/0	スター・チャンネル	200	BS QR489	489	―	―
11	―	―	WOWOW WAVE1	491	―	―
12	―	―	―	―	―	―

CS(110度CSデジタル放送)チャンネル

チャンネルボタン	テレビ	ラジオ	データ
	チャンネル番号	チャンネル番号	チャンネル番号
1	100	―	―
2	001	―	―
3	―	―	―
4	―	―	―
5	―	―	―
6	―	―	―
7	―	―	―
8	―	―	―
9	―	―	―
10/0	―	―	―
11	―	―	―
12	―	―	―

地上デジタルチャンネル

チャンネルボタン	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK総合・東京	011
2	NHK教育・東京	021
3	―	―
4	日本テレビ	041
5	テレビ朝日	051
6	TBS	061
7	テレビ東京	071
8	フジテレビジョン	081
9	東京MXテレビ	091
10/0	―	―
11	―	―
12	放送大学	121

関東の東京で受信できるチャンネルです。

- 上記チャンネルプランは2004年12月現在のもので、変更されることもあります。

次ページへつづく

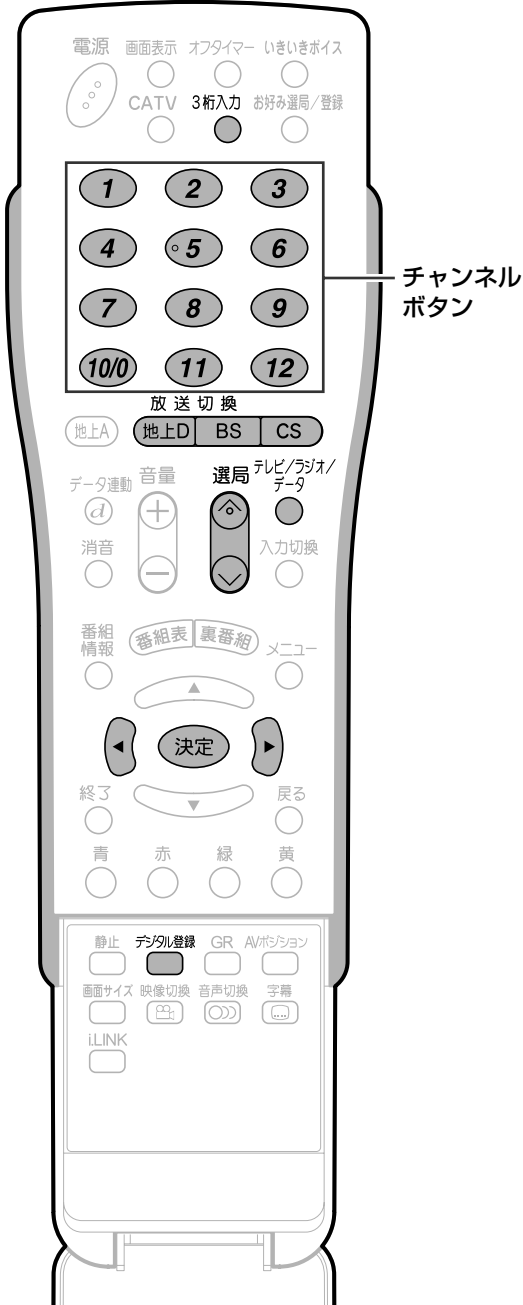
デジタルチャンネルの確認と登録(つづき)

デジタルチャンネルをチャンネルボタンに登録する

■ 各デジタル放送ネットワーク(地上D、BS、CS)の各メディア(テレビ/ラジオ/データ)につき、登録したいチャンネルを12局まで、チャンネルボタン(1～12)に登録することができます。

フタを開けたところ

操作開始

1

① 登録したいチャンネルを選局する

② デジタル登録を押す

③ ◀▶で「登録」を選び、決定を押す

●設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「初期化」を選んで決定ボタンを押します。

2

登録したいチャンネルボタン(1～12)を押す

[例] 「BSジャパン2」(172チャンネル)を11に登録する場合は、チャンネルボタン11を押します。

●登録確認画面が表示されます。

3

◀▶で「する」を選び、決定を押す

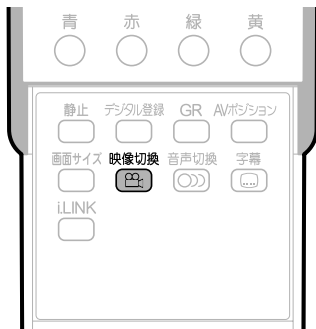
操作終了

映像・音声の切り換えかた

複数の映像(最大4つ)または音声(最大8つ)がある番組をご覧のとき、映像および音声を切り換えて楽しむことができます。

複数の映像を楽しむ

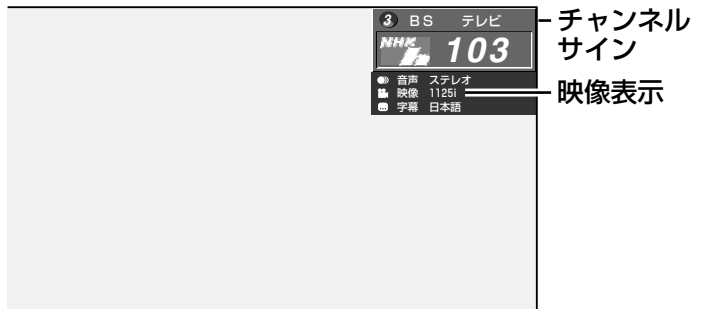
■ 複数の映像のある番組をご覧のとき、映像切換ボタンを押すと、映像を切り換えることができます。

フタを開けたところ

映像切換 を押し、映像を切り換える

●ボタンを押すたびに映像が切り換わり、チャンネルサインの下に映像表示が出ます。

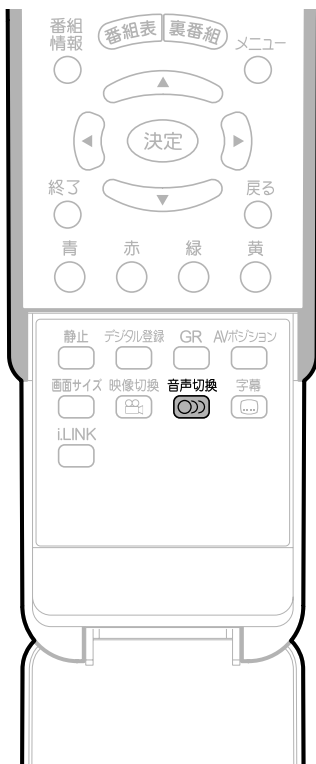
(画面例)

チャンネルサイン

映像表示

※番組によって映像の数は異なります。

複数の音声を楽しむ

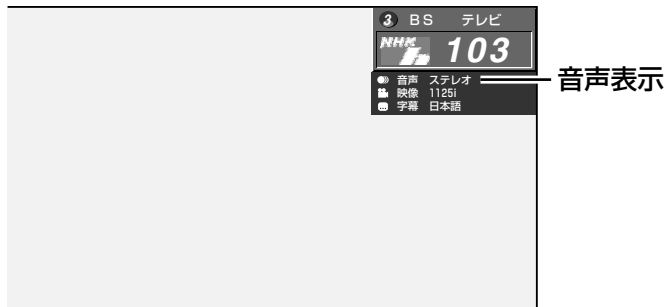
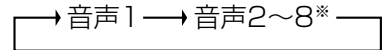
■ 複数の音声のある番組をご覧のとき、音声切換ボタンを押すと、音声を切り換えることができます。

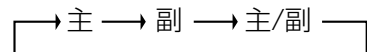
フタを開けたところ

音声切換 を押し、音声を切り換える

●ボタンを押すたびに音声が切り換わり、チャンネルサインの下に音声表示が出ます。

(画面例)

音声表示

マルチ音声番組のとき → 音声1 → 音声2～8※

※番組によって音声の数は異なります。

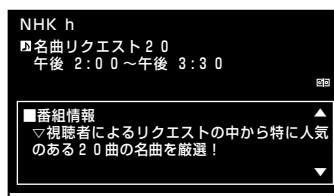
二重音声番組のとき → 主 → 副 → 主/副

● マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、「音声1」が選択されます。
● 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
● 録画予約時に「詳細を設定する」を選択していない場合、二重音声の場合は、直前に視聴した音声で録画します。その他の場合は、「映像1」「音声1」で録画します。

視聴中の番組の情報を見る

番組情報を表示する

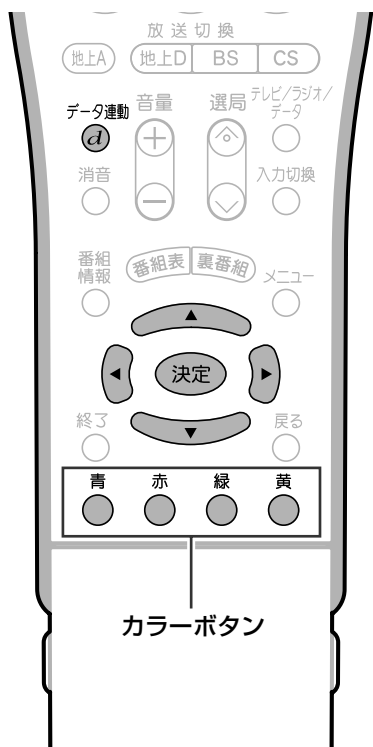
■ 番組視聴中に番組情報ボタンを押すと、画面に番組情報が表示されます。

（番組情報）を押し、番組情報を表示する

（番組情報の画面例）

- 表示内右側に▲▼マークがある場合は、上下カーソルボタンで情報内容の送り・戻しができます。
- 番組情報表示を消すときは、もう一度番組情報ボタンを押します。

テレビ放送に連動したデータ放送を視聴する

連動データ放送を見る

■ テレビ放送に連動したデータ放送がある場合は、データ連動ボタンを押すと、連動データ放送を見ることができます。

（データ連動 *d*）を押す

- 連動データ放送の画面になります。

（連動データ放送の画面例）

- テレビ放送に戻すときは、もう一度データ連動（*d*）ボタンを押します。

データ放送の基本操作

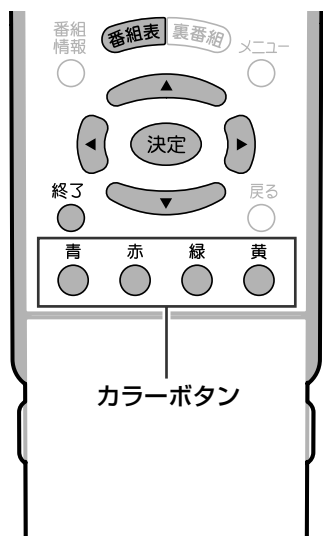
① （▲）（▼）（◀）（▶）で項目を選び、（決定）を押す

② カラーボタンに対応した項目のボタンを押す

※データ放送は放送局側で制作したメニュー画面により操作が異なりますので、画面の表示に従って操作してください。

- 電源を入れた直後やチャンネル切換えをした直後は、データ連動（*d*）ボタンを押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、テレビ放送受信後しばらく（約20秒）待ってから操作してください。（表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。）

電子番組表(EPG)の使いかた

■デジタル放送では、電子番組表(EPG)の情報が送信されており、見たい番組を探したり、番組情報を見たり、番組を予約したりするのに、この電子番組表を使います。

1 デジタル放送を視聴中に 番組表 を押す

電子番組表（EPG）画面が表示されます。

電子番組表(EPG)の表示時間は、表示範囲を切り換えて3時間表示（拡大）と6時間表示（広角）が選択できます。（**81**ページ参照）

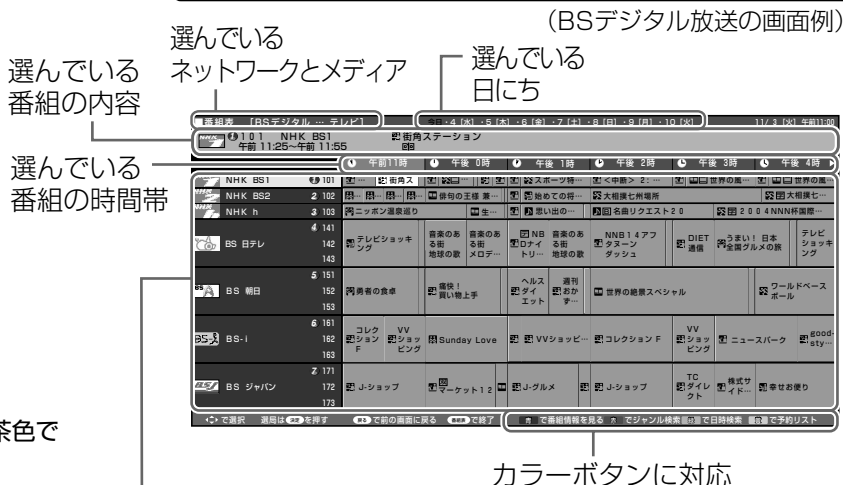
（BSデジタル放送の画面例）

選んでいる番組の内容
選んでいるネットワークとメディア
選んでいる日にち
選んでいる番組の時間帯
カラーボタンに対応

2 ▲ ▼ ◀ ▶ で番組を選び、決定 を押す

放送中の番組を選んだとき ⇨ 選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき ⇨ 予約選択画面になります。（**62**ページ参照）

電子番組表(EPG)画面を消すときは
番組表 または 終了 を押します。

基本

- 現在カーソルのあるところが茶色で表示されます。
- 縦方向にカーソルを動かすときは、上下カーソルボタンを使います。
- 横方向にカーソルを動かすときは、左右カーソルボタンを使います。

電子番組表の切り換えかた

- 電子番組表(EPG)を表示しているときに放送切換ボタン(地上D・BS・CS)、テレビ／ラジオ／データボタンを押すと、他のネットワークやメディアの番組表に切り換えることができます。

カラーボタンについて

- カラーボタンの機能は、表示されている画面によって変わります。
  画面の表示内容を見てボタンを使い分けてください。
- 画面上に機能表示がないカラーボタンは、押しても働きません。

地上デジタル放送の電子番組表について

- 地上デジタル放送の電子番組表(EPG)の情報は、送信している各放送チャンネルから取得する必要があります。（**81**ページ参照）

- 受信状態によっては、番組情報を取得できないことがあります。
- 電子番組表(EPG)を表示できるのは、デジタル放送だけです。
- 本書ではおもに、BSデジタル放送の電子番組表の画面例を掲載しています。

カラーボタンの機能について

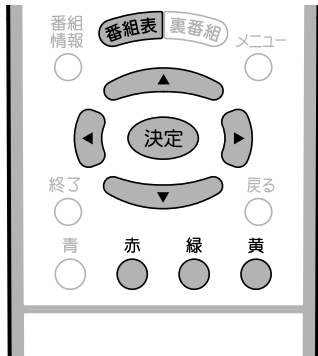
青（番組情報を見る）
番組情報が表示されます。

赤（ジャンル検索）
ニュース・報道、映画、音楽、バラエティーなど、番組をジャンル別に探すことができます。

緑（日時検索）
日時を指定して番組表が表示できるので、番組を早く探すことができます。

黄（予約リスト）
予約した番組を一覧表示することができます。
予約リストは予約の取消しや変更に使います。

電子番組表(EPG)で選ぶ

見たい番組を探す

電子番組表の表示内容

- テレビ放送……8日分
- ラジオ放送……3日分
- データ放送……最低1日分
- 表示時間………3時間または6時間

※ 電源を入れてからすぐに番組を選んだときは、表示されるまでに時間のかかる場合があります。

- 電子番組表(EPG)の表示時間は、表示範囲を切り換えて3時間表示(拡大)と6時間表示(広角)が選択できます。(**81**ページ参照)

操作開始

1 番組表を押し、電子番組表(EPG)を表示する

2 見たい番組を▲▼◀▶で選び、決定を押す

放送中の番組を選んだとき

⇨選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき

⇨予約選択画面になります。(**62**ページ参照)

操作終了

アイコン一覧

■ デジタル放送の電子番組表(EPG)や予約リストなどには、いろいろなアイコン(絵記号)が使われています。各アイコンの意味はつぎのとおりです。

番組情報を示すアイコン

アイコン	内　容
	視聴予約している番組
	録画予約(ビデオ連動予約)している番組
	録画予約(i.LINK予約)している番組
	有料放送、またはPPV(ペイパービュー)番組
	i.LINKによるデジタルコピーが禁止の番組
	i.LINKによるデジタルコピーが1回のみ可能な番組

ジャンルを示すアイコン

アイコン	ジャンル	アイコン	ジャンル
	ニュース/報道		映画
	スポーツ		アニメ/特撮
	情報/ワイドショー		ドキュメンタリー/教養
	ドラマ		劇場/公演
	音楽		趣味/教育
	バラエティ		福祉

- ジャンルアイコンの表示はメニューで変更できます。(**82**ページ参照)

日時を指定して番組を探す

■ 日時を指定して、電子番組表を表示させることができます。

操作開始

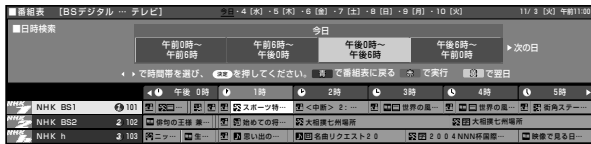
1

① 番組表を押し、電子番組表(EPG)を表示する

② 緑(日時検索)を押す

2

◀▶で時間帯(6時間単位)を選び、決定を押す

- 緑ボタンを押すと、前日の電子番組表が表示されます。黄ボタンを押すと、次の日の電子番組表が表示されます。

- 指定された日時の電子番組表が表示されます。

3

▲ ▼ ◀▶で番組を選び、決定を押す

放送中の番組を選んだとき

⇨選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき

⇨予約選択画面になります。(**62**ページ参照)

操作終了

ジャンルで番組を探す

■ 番組をジャンル別に表示させて、見たい番組を選ぶ方法です。

操作開始

1

① 番組表を押し、電子番組表(EPG)を表示する

② 赤(ジャンル検索)を押す

2

① ▲ ▼でジャンルを選ぶ

② ◀▶で時間帯(12時間単位)を選び、決定を押す

3

見たい番組を▲ ▼で選び、決定を押す

- 黄ボタンを押すと、番組表示を次のページに送ることができます。前のページに戻るときは、緑ボタンを押します。

放送中の番組を選んだとき

⇨選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき

⇨予約選択画面になります。(**62**ページ参照)

操作終了

次ページへつづく

電子番組表(EPG)で選ぶ(つづき)

番組の内容を確認する

■ 電子番組表で、番組の詳しい情報を見ることができます。

操作開始

1 番組表を押し、電子番組表を表示する

2 内容を確認したい番組を ▲ ▼ ◀▶ で選ぶ

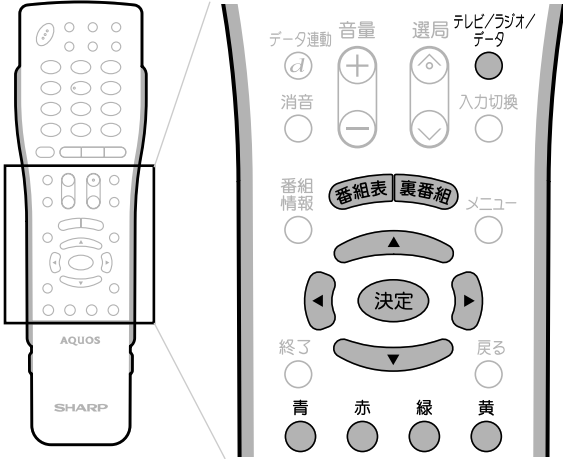
3 青(番組情報を見る)を押す

●番組情報が表示されます。

●番組情報案内にしたがって、カラーボタン、テレビ/ラジオ/データボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。

操作終了

視聴中の番組の内容を見るには

● 番組情報ボタンを押してください。(**56ページ参照**)
(電子番組表を表示する必要はありません。)

放送中の他の番組(裏番組)を知りたいとき

操作開始

1 裏番組を押し、裏番組表を表示する

2 ▲ ▼ で番組を選ぶ

3 青(番組情報を見る)を押す

●選んだ番組の情報が表示されます。

●番組情報案内にしたがって、カラーボタン、テレビ/ラジオ/データボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。

●選んだ番組を視聴したいときは、決定ボタンを押すと選局できます。

操作終了

● 地上D・BS・CSのいずれのネットワークについても、また、テレビ・ラジオ・データのいずれのメディアについても、同じように裏番組表を表示することができます。
● 裏番組表を表示しているときに放送切換ボタン(地上D・BS・CS)、テレビ/ラジオ/データボタンを押すと、他のネットワークやメディアの裏番組表に切り換えることができます。

電子番組表(EPG)から番組を予約する

■ デジタル放送の番組を電子番組表(EPG)から予約することができます。
■ 予約には**「視聴予約」**と**「録画予約」**の2種類があります。

番組予約（録画予約）の手順

予約したい未放送の番組を電子番組表から選ぶ

番組表から、直接予約ができます

↓

「録画予約」を選ぶ

↓

録画機器の選択・設定

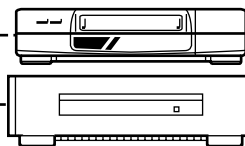
- ビデオ連動予約確認・設定 ―― ビデオデッキ
- i.LINK 予約確認・設定 ―― D-VHSビデオデッキ／AV-HDDレコーダー／Blu-ray Discレコーダー

↓

予約の方法を選ぶ

- 予約
- 詳細予約

↓

契約の確認

- BSデジタル放送は無料放送と有料放送があり、有料放送にはあらかじめ契約して視聴する番組と、番組単位で購入して視聴する番組(PPV)があります。
- 110度CSデジタル放送は有料放送で、各プラットフォームとの個別受信契約が必要です。その他に、番組単位で購入して視聴する番組(PPV)があります。

- 有料放送または PPV 番組の購入契約の判定

↓

購入内容の設定

- 購入金額制限の判定

↓

映像・音声の選択と購入設定

デジタル放送の一部の番組では、マルチビューや副映像・副音声などの情報が同時に送られてきます。

- マルチビュー、副映像、副音声

↓

予約内容確認

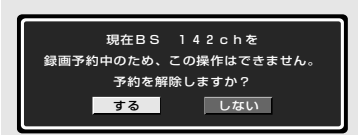
↓

予約手続き完了

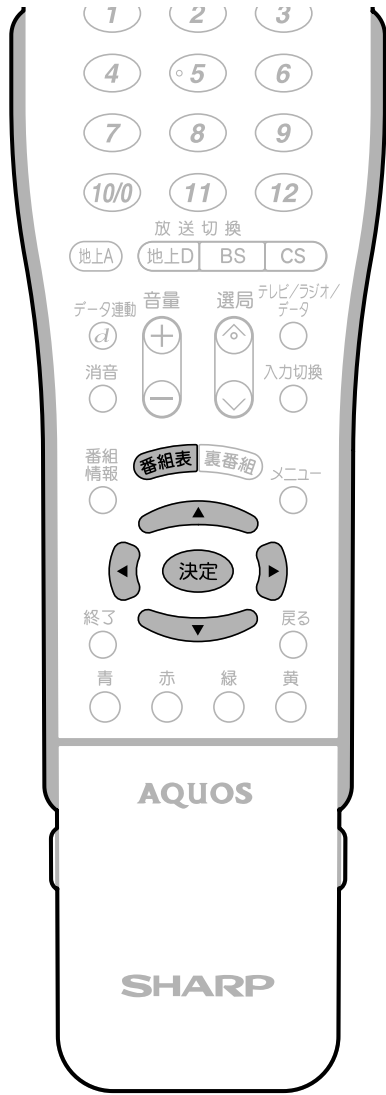
デジタル放送の録画に関するご注意

- デジタル放送には「1回だけ録画」のコピー制御信号が加えられています。この信号とともに録画された番組は、他のデジタル機器へのダビングができません。

- データ放送番組をビデオ連動録画する場合は、メニュー内「デジタル設定」の「録画画面表示設定」を「する」に設定(**70**ページ参照)してください。「しない」に設定すると、モニター／録画出力端子(「録画出力」に設定時)からデータ放送画面が出力されません。(映像・音声のみ出力されます。)
- 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。
- 契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。
- 番組が開始する2分前までに予約を完了してください。開始2分前になると、予約ができません。
- 録画予約を選択した場合、録画開始2分前になると、選局、メニュー操作などのデジタルに関するリモコン操作を受けつけなくなります。また、予約録画の実行中もリモコン操作を受けつけません。
  操作を行う場合は、デジタルに関するリモコン操作をし、そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押して予約を解除してください。

次ページへつづく

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

視聴予約か録画予約かを選ぶ

■ 電子番組表から、放送予定の番組の視聴予約、録画予約、およびPPV(ペイパービュー)番組の録画予約ができます。

予約録画中のデジタル放送が時間延長になったとき

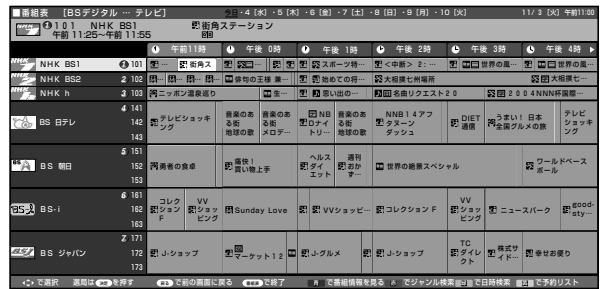
予約 ① 10:00〜11:00 → 11:30まで延長

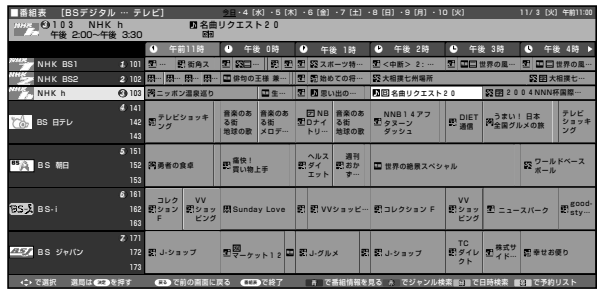
予約録画中の放送が延長 →

予約 ② 11:00〜12:00 ✕

予約①の放送が延長された場合、予約②は実行されません。

操作開始

1 番組表を押し、電子番組表を表示する

●翌日以降の番組を予約したいときは、日時指定(**59**ページ)で番組表を表示させると便利です。

2 予約したい番組を ▲ ▼ ◀▶ で選ぶ

3 決定を押す

●予約選択画面になります。

「視聴予約」…… 視聴のみの予約となります。視聴予約の手順に進みます。(☞**63**ページ)

「録画予約」…… 録画する機器の選択ができます。録画予約の手順に進みます。(☞**63**ページ)

「予約しない」… 予約をしないで番組表に戻ります。

次ページへつづく

番組表からの予約では、操作のたびに表示される予約設定画面で項目を選択するだけで予約ができます。

- 有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局と、あらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 前に入れた予約と日時が重なっている場合は、前の予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 最大16番組まで予約できます。すでに16番組を予約していて、新たな予約をしたい場合は、予約の取り消し（**68**ページ）が必要です。

視聴予約

操作開始

1 62ページ手順3で、◀で「視聴予約」を選び、決定を押す

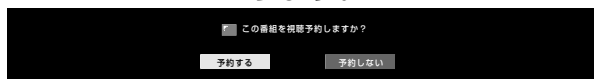
番組の予約方法を選んでください。
視聴予約　録画予約　予約しない

2 ◀で「予約する」を選び、決定を押す

「予約する」……… 無料放送や契約している有料放送が予約できます。
「予約しない」…… 予約をしないで番組表に戻ります。

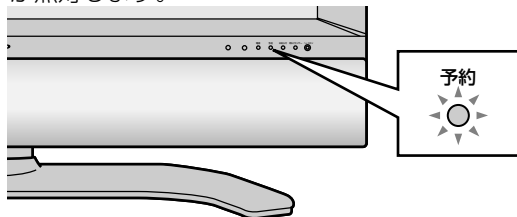
この番組を視聴予約しますか？
予約する　予約しない

3 「戻る」で決定を押す

この番組を視聴予約しました。
戻る

- 視聴予約が設定されました。

操作終了

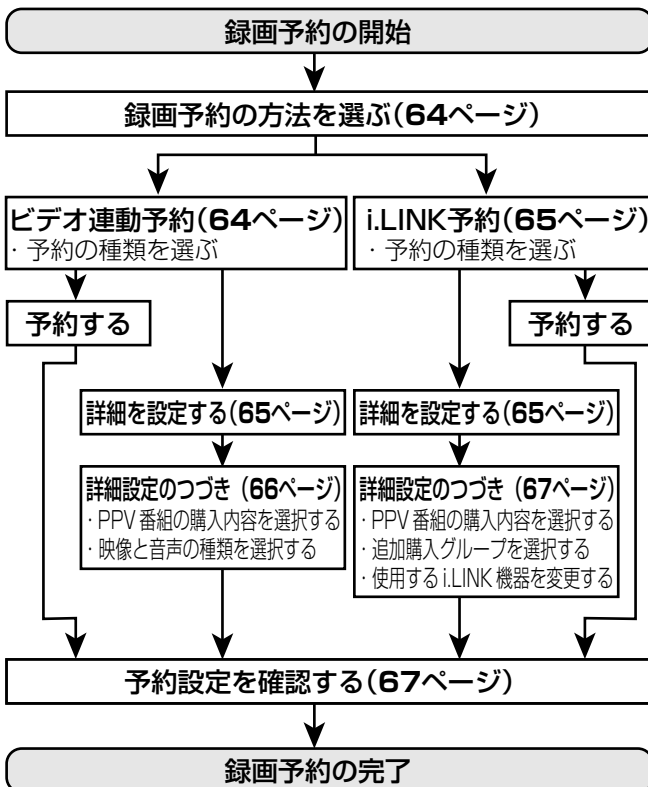
予約ランプについて

- 番組を予約すると、本体前面右下の予約ランプが点灯します。

視聴予約・録画予約を設定した後に電源を切るときのご注意

- 視聴予約・録画予約を設定した後、電源を切る場合は、リモコンの電源ボタンで「切」にしてください。本体の電源（押·入-切）スイッチでは切らないでください。本体の電源（押·入-切）スイッチで「切」にした場合は、予約ランプの点灯、消灯にかかわらず、予約が実行されません。
- リモコンの電源ボタンで「切」にした状態（スタンバイ状態）で、視聴予約した番組が始まると自動的に電源「入」になります。また、その後、リモコン操作をしなかった場合、予約した番組が終了すると自動的にスタンバイ状態になります。

録画予約

- デジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「デジタル固定」または「ビデオ連動予約」で録画することをおすすめします。
- ビデオ連動録画する場合は、入力4端子設定を「録画出力」に設定してください。（**104**ページ参照）
- ラジオ放送をMDで録音するときは、デジタル音声出力（光）端子の設定を「PCM」にしてください。（**120**ページ）
- データ放送番組をビデオ連動録画する場合は、「録画画面表示設定」を「する」に設定（**70**ページ参照）してください。「しない」に設定すると、録画出力（「録画出力」に設定時）からデータ放送画面が出力されません。（映像・音声のみ出力されます。）
- D-VHSビデオデッキなどのi.LINK機器で録画するときは、i.LINKの設定を行ってください。（**111**・**112**ページ）
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録画予約の操作手順

※ 上記の操作手順は一例です。選んだ番組によっては、必要のない手順もあります。

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

録画予約の方法を選ぶ

① 62ページ手順3で、◀▶で「録画予約」を選び、決定を押す

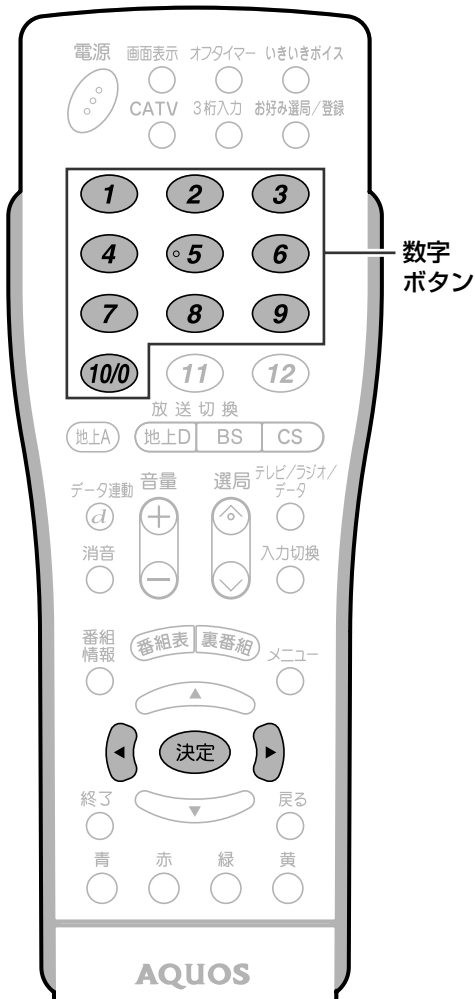
② ◀▶で録画予約の方法を選び、決定を押す

録画予約の方法を選んでください。
ビデオ連動予約　i.LINK予約　予約しない

「ビデオ連動予約」… ビデオコントローラーを使ってのビデオ連動予約に進みます。(☞**64**ページ)

「i.LINK予約」……… i.LINK予約に進みます。(☞**65**ページ)

「予約しない」……… 予約をしないで、番組表に戻ります。

数字ボタン

ビデオ連動予約するとき

■ ビデオ連動予約とは、付属のビデオコントローラーを使い、予約時間に合わせてビデオデッキの録画を開始・終了させ、予約したデジタル放送の番組を録画する方法です。

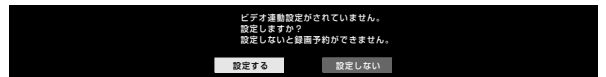
- ビデオ連動予約を初めて行う場合は、あらかじめ、ビデオデッキ・ビデオコントローラーの接続(**106**ページ)、およびビデオ連動録画設定(**107**ページ)を済ませておいてください。
- ビデオ連動録画設定は、一度行えば、設定内容が記憶されますので、次回からは必要ありません。

操作開始

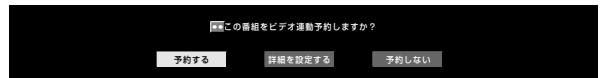
1 ◀で「ビデオ連動予約」を選び、決定を押す

録画予約の方法を選んでください。
ビデオ連動予約　i.LINK予約　予約しない

- ビデオ連動録画設定が済んでいるときは、手順2の画面になります。
- ビデオ連動録画設定が済んでいないときは、つぎの画面が表示されます。

ビデオ連動設定がされていません。
設定しますか？
設定しないと録画予約ができません。
設定する　設定しない

- 「設定する」を選んで決定ボタンを押すと、ビデオ連動録画設定画面になります。設定を行ってください。(**107**ページ参照)

2 ◀▶で予約の種類を選び、決定を押す

この番組をビデオ連動予約しますか？
予約する　詳細を設定する　予約しない

「予約する」………… 無料放送や契約している有料放送が予約できます。

「詳細を設定する」… 映像・音声の詳細の予約設定ができます。視聴制限や購入金額制限の設定によって視聴や購入が制限されている番組の場合は、暗証番号入力画面が表示されます。

「予約しない」……… 予約をしないで、番組表に戻ります。

i.LINK予約するとき

■ i.LINK予約とは、本体背面のi.LINK端子に接続したD-VHSビデオデッキなどのi.LINK機器を予約時間に合わせて録画開始・終了させ、予約したデジタル放送の番組を録画する方法です。

- i.LINK予約するときは、あらかじめ、i.LINK機器の接続(**109**ページ)とi.LINK設定(**111**・**112**ページ)を済ませておいてください。
- i.LINK予約をするときは、i.LINK機器を本機と1対1で接続してください。複数のi.LINK機器を接続すると、i.LINK予約の実行に失敗することがあります。

操作開始

1 64ページ「録画予約の方法を選ぶ」の画面で、◀▶で「i.LINK予約」を選び、決定を押す

- i.LINK設定が済んでいるときは、手順**2**の画面になります。
- i.LINK設定が済んでいないときは、つぎの画面が表示されます。

- 「確認」で決定ボタンを押すと、番組表に戻ります。i.LINK機器の接続を確認してください。(**109**ページ参照)

2 ◀▶で予約の種類を選び、決定を押す

「予約する」………… 無料放送や契約している有料放送が予約できます。

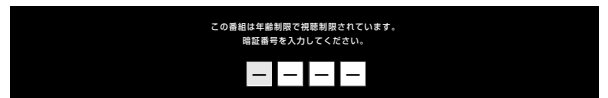
「詳細を設定する」… 視聴制限や購入金額制限の設定によって視聴や購入が制限されている番組の場合は、暗証番号入力画面が表示されます。

「予約しない」……… 予約をしないで、番組表に戻ります。

詳細設定

■ 視聴年齢制限、カード未挿入、有料番組の契約状況が自動判定され、メッセージが表示されます。
設定を済ませてから、PPV番組の購入予約ができます。

視聴年齢制限のある番組を予約したとき

- 暗証番号入力画面が表示されます。

- 数字ボタン(1〜10/0)で暗証番号を入力してください。(**72**ページ参照)

カード未挿入で有料番組を予約したとき

- 「カードの挿入を確認してください。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。カードを挿入してから、予約をしなおしてください。

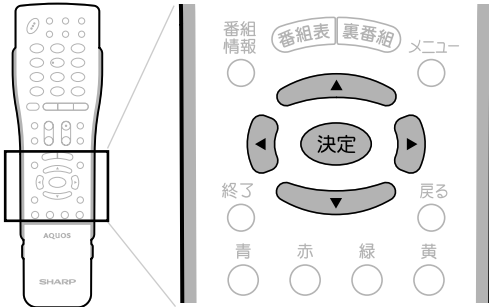
非契約の有料番組を予約したとき

- 「非契約の有料番組です。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。「確認」で決定ボタンを押してください。

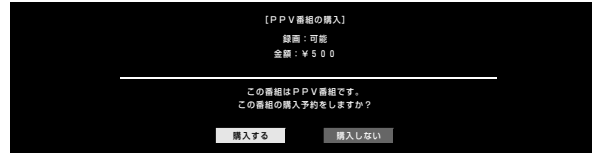
「ビデオ連動予約」から「詳細を設定する」を選んだ場合…☞**66**ページへ
「i.LINK予約」から「詳細を設定する」を選んだ場合…☞**67**ページへ

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

●詳細設定のつづき

ビデオ連動予約の場合

PPV番組の購入(する／しない)を選択する

●PPV番組を選んでいるときのみ必要な手順です。

◀▶で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す

●「購入しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

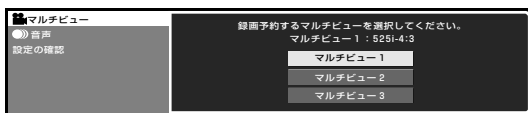
映像・音声の種類を選択する

●映像・音声の種類はつぎのとおりです。それぞれ、表示のあるときのみ選択できます。

「マルチビュー」… いろいろな角度から見た映像
「映像」……… 映像(最大4つ)
「音声」……… 音声(最大8つ)
「二重音声」… 主音声と副音声

1

マルチビュー番組を選んでいるとき

決定を押してから、▲▼でマルチビューの種類を選び、決定を押す

副映像のある番組を選んでいるとき

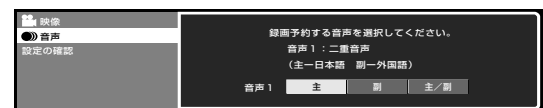
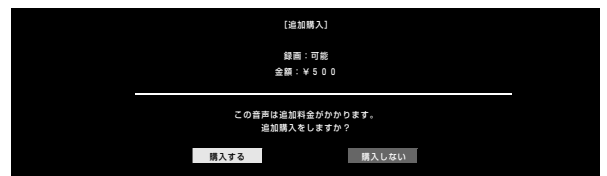
決定を押してから、▲▼で映像を選び、決定を押す

●映像の数は、番組によって異なります。

2

① ▲▼で「音声」を選び、決定を押す

② ▲▼◀▶で音声を選び、決定を押す

●音声の数は、番組によって異なります。

●映像・音声の購入に追加料金が必要なときは、追加購入のための画面が表示されます。

●「購入する」または「購入しない」を選び、決定ボタンを押します。

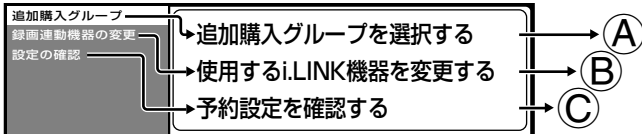
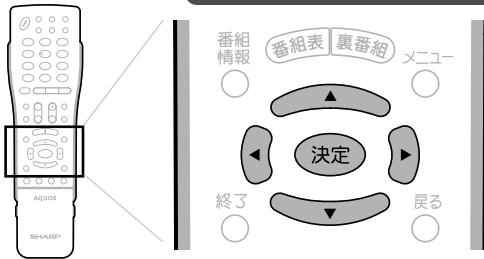
予約設定を確認する

●「映像・音声の種類を選択する」の手順1の画面で、**67**ページの→Ⓒ「予約設定を確認する」の操作をしてください。

● 録画出力信号について

ビデオ連動録画設定で、リモコン信号が異なり動作しない場合でも、録画出力端子からは、映像と音声信号が出力されます。(この場合は録画する機器側で録画予約設定を行ってください。)

●詳細設定のつづき

i.LINK予約の場合

→Ⓐ 追加購入グループを選択する

●追加購入する映像・音声の組合せ(グループ)が複数あるときのみ必要な手順です。

1 ① **「追加購入グループ」で(決定)を押す**
② **▲ ▼ ◀ ▶ で購入グループを選び、(決定)を押す**

2 **◀ ▶ で「購入する」または「購入しない」を選び、(決定)を押す**

→Ⓑ 使用するi.LINK機器を変更する

●使用するi.LINK機器を変えたいときのみ必要な手順です。

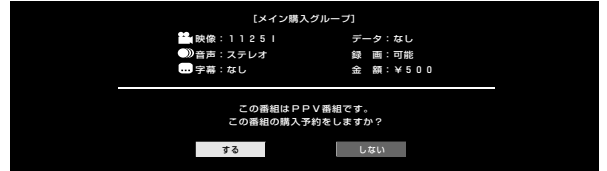
1 **▲ ▼ で「録画連動機器の変更」を選び、(決定)を押す**

2 **▲ ▼ で、使用するi.LINK機器を選び、(決定)を押す**

おしらせ
● i.LINK予約をするときは、i.LINK機器を本機と1対1で接続してください。複数のi.LINK機器を接続すると、i.LINK予約の実行に失敗することがあります。

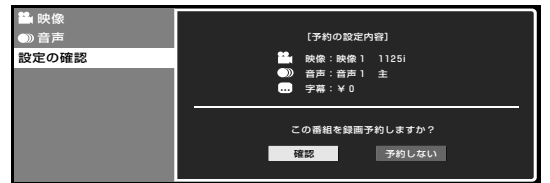
PPV番組の購入(する／しない)を選択する

●PPV番組を選んでいるときのみ必要な手順です。

◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、(決定)を押す

●「しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

→Ⓒ 予約設定を確認する

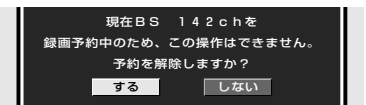
1 **▲ ▼ で「設定の確認」を選び、(決定)を押す**

2 ① **画面に表示された設定内容を確認する**
② **「確認」で(決定)を押す**

●録画予約が設定されました。
●「予約しない」を選んで決定ボタンを押すと、予約を中止して番組表に戻ります。

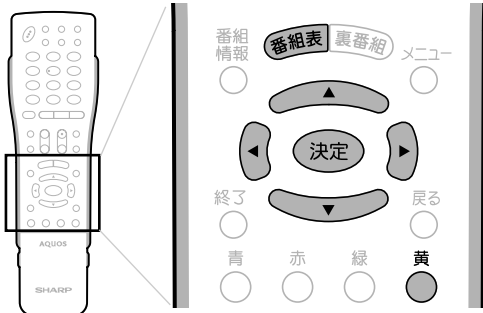
操作終了

予約ランプについて
● **63**ページを参照してください。
● 63ページを参照してください。

実行中の予約録画を解除するには
● 選局、メニュー操作などのデジタルに関するリモコン操作をしてください。そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

録画予約を設定した後に電源を切るときのご注意
● **63**ページを参照してください。

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

予約の確認・取消し・変更

■ 番組表から予約リストを表示させ、予約の確認、取消しや変更をすることができます。

予約を確認したいとき

① 番組表を押し、電子番組表を表示する

② 黄(予約リスト)を押し、予約リストを表示する

▼予約リストの例

- 予約リストで現在の予約内容を確認します。
- 表示内右側に▲▼マークがある場合は、上下カーソルボタンで予約リストの送り・戻しができます。
- 予約した番組の設定内容を確認したいときは、上下カーソルボタンで番組を選び、決定ボタンを押します。つぎのような画面が表示されます。

予約を取り消したいとき

操作開始

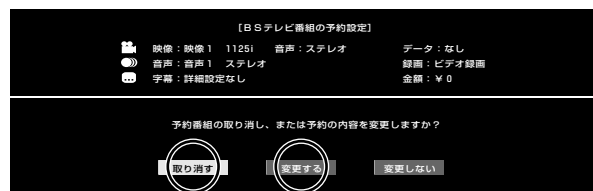
1 ◀▶で「取り消す」を選び、決定を押す

2 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

操作終了

実行中の予約録画を解除するには

- デジタルに関するリモコン操作をしてください。そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

現在BS 142chを
録画予約中のため、この操作はできません。
予約を解除しますか？
する しない

予約を変更したいとき

操作開始

1 ◀▶で「変更する」を選び、決定を押す

- 予約選択画面になります。

2 予約操作をやりなおす

- 61～67ページの操作手順を参照してください。

操作終了

デジタル放送の設定をする

● この章では、デジタル放送を楽しく、安心してご覧いただくためのいろいろな設定と操作方法について説明しています。

■放送視聴のためのいろいろな設定 .. 70
画面サイズや画面表示についての設定 70
字幕表示の設定.... 71
番組名表示の設定.... 71

■安心して使うための設定 72
暗証番号を設定する 72
視聴年齢制限を設定する 73
双方向サービスの利用を制限する 74
PPV制限を設定する 75
購入金額制限を設定する 75

■お知らせを見る.......... 76
お知らせについて 76
受信メッセージを見る 76
ボードを表示して情報を見る 76
受信機レポートを見る 77
B-CASカード番号を見る 77
PPV購入履歴を見る 77

■ダウンロードを行う 78
ダウンロードの方法 78

■システム動作テストを行う 79

■本機を譲渡・廃棄するとき 80
個人情報を初期化する 80

■番組表を利用するための設定を行う .. 81
番組表取得設定.... 81
表示範囲設定 81
ジャンルアイコン設定 82

■双方向通信を行うための優先利用回線設定 83
優先利用回線設定.... 83

■プロバイダ設定を行う 84
プロバイダ設定.... 84

■LAN接続と設定.......... 86
LAN接続のしかた 86
LAN設定 87

■ソフトウェアキーボードについて.... 90
ソフトウェアキーボードの使いかた 90
文字入力をする.... 91
入力文字の種類.... 92

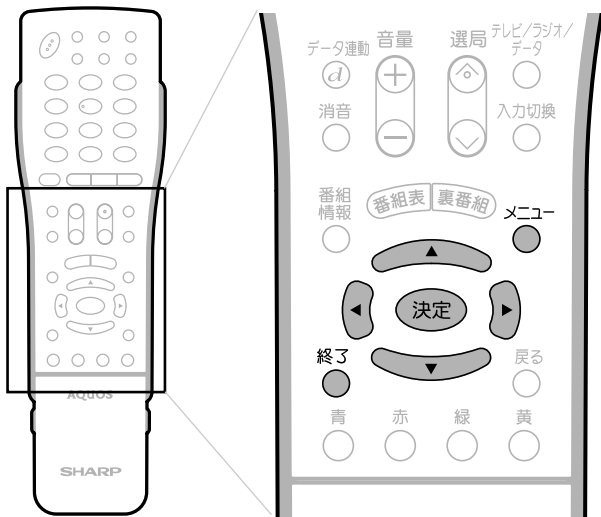
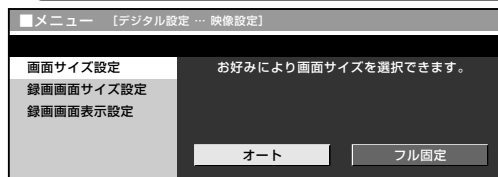
画面サイズや画面表示についての設定

■ 視聴するときの映像をお好みに合わせて設定できます。

操作開始

1 ❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「映像設定」を選び、❹(決定)を押す

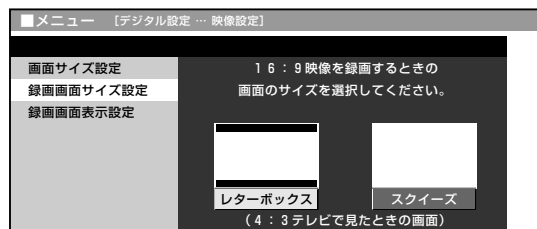
●映像設定画面が表示されます。

2 (▲)(▼)で設定したい項目を選び、(決定)を押す

→Ⓐ 画面サイズの設定

「オート」…… 番組で指定された画面サイズでディスプレイに表示・再生します。
通常は「オート」でお使いください。

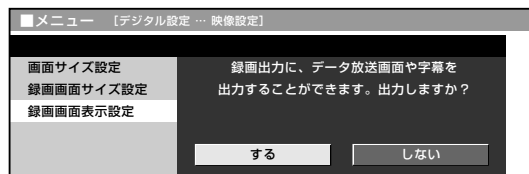
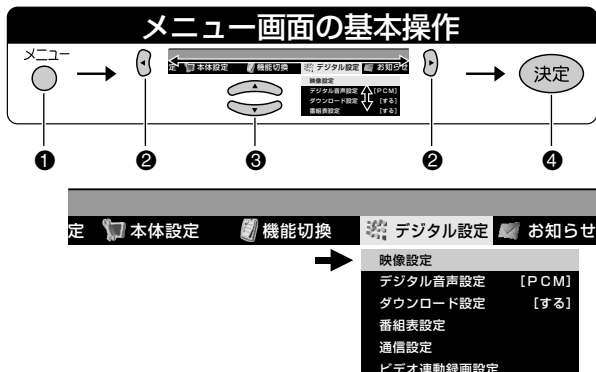
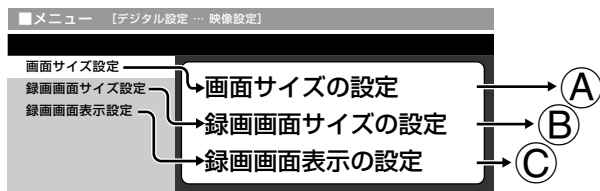
「フル固定」… すべての放送を1125iに変換してディスプレイに表示・再生します。

→Ⓑ 録画画面サイズの設定

■ 本機に接続した録画用機器にデジタル放送の16：9映像を録画するときの画面サイズを選びます。

「レターボックス」…4：3のテレビで見たとき、画面の上下に黒い帯が入った横長の映像で表示し、オリジナルの16：9映像のまま見ることができます。

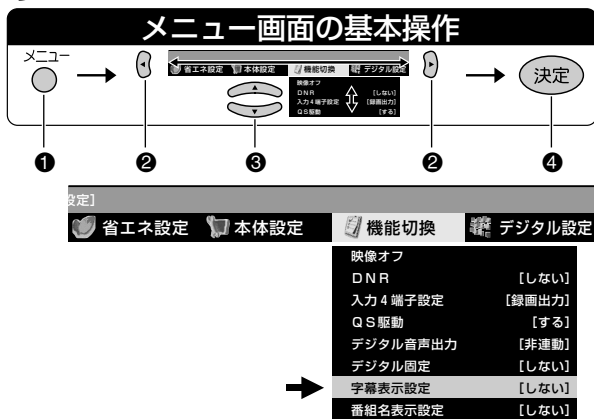
「スクイーズ」………4：3のテレビで見たとき、横方向に圧縮された縦長の映像になります。16：9のテレビで見たときは、オリジナル映像そのままのワイド映像になります。

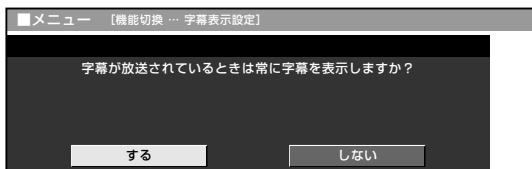
→Ⓒ 録画画面表示の設定

■ 本機に接続した録画用機器に録画するとき、データ放送画面、字幕などの画面表示をいっしょに録画するかしないかを選ぶことができます。

● 録画画面表示設定を「する」に設定したとき、録画出力（「録画出力」に設定時）から出力される映像の画面サイズが変わることがあります。

字幕表示の設定

■ 字幕のある番組で、字幕を表示するかしないかを選択できます。
■ 工場出荷時の状態では、「しない」に設定されています。

操作開始

1 ❶メニュー画面から❷「機能切換」ー❸「字幕表示設定」を選び、❹（決定）を押す

2 （◀）（▶）で「する」または「しない」を選び、（決定）を押す

「する」…… 字幕のある番組では、つねに字幕を表示します。（リモコンの字幕ボタンを押しても、字幕表示を消せません。）
「しない」… リモコンの字幕ボタンで、字幕表示を入／切することができます。

●左右カーソルボタンの代わりに字幕ボタンでも「する」「しない」を選ぶことができます。

おしらせ

字幕ボタンについて

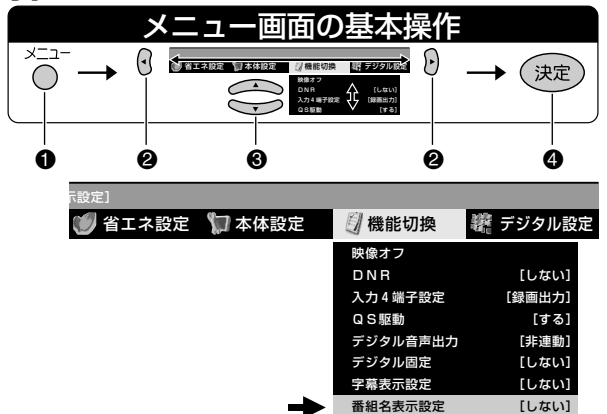
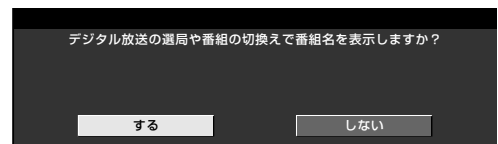
● 字幕表示設定を「する」にしたとき
複数の字幕がある番組では、リモコン(フタ内)の字幕ボタンを押すと、字幕を切り換えられます。

● 字幕表示設定を「しない」にしたとき
字幕のある番組では、リモコン(フタ内)の字幕ボタンを押すと、字幕表示の入／切、および複数の字幕の切換えができます。

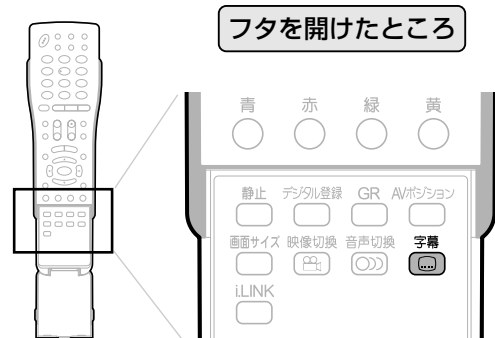
番組名表示の設定

■ 番組を選んで画面を切り換えたときなどに番組タイトルなどの表示をするかどうかを設定します。

操作開始

1 ❶メニュー画面から❷「機能切換」ー❸「番組名表示設定」を選び、❹（決定）を押す

2 （◀）（▶）で「する」または「しない」を選び、（決定）を押す

（表示例）

「する」…… 番組タイトルや放送時間などを表示します。
「しない」… 何も表示しません。

リモコンフタ内の字幕ボタン

● 1つ前に戻る場合は（戻る）を押してください。

操作終了する場合は ▶ （メニュー）または（終了）を押し、通常画面に戻す

安心して使うための設定

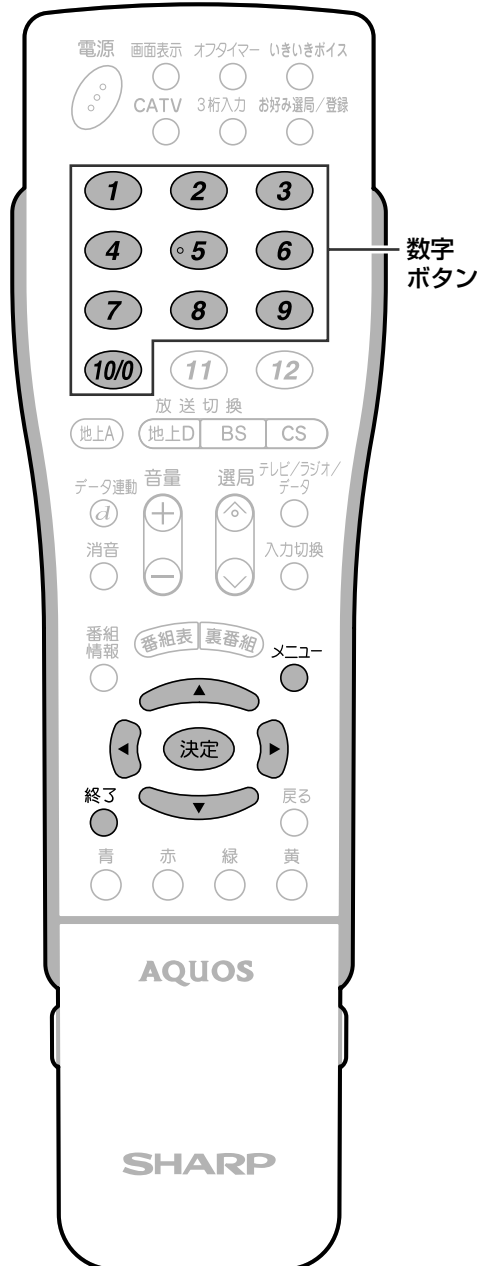
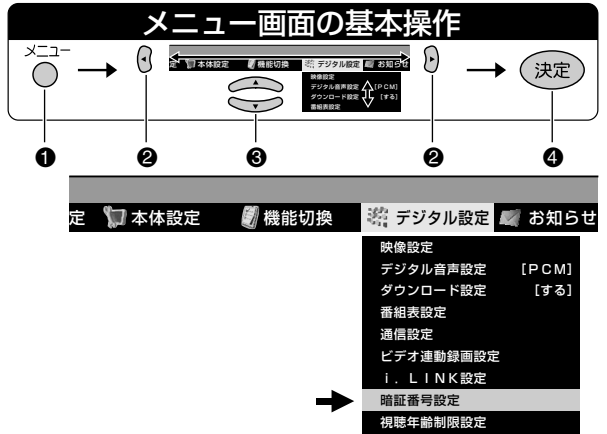
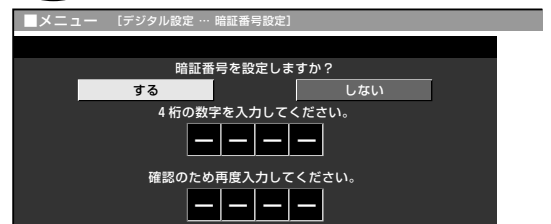
暗証番号について

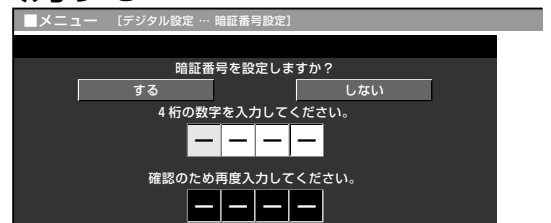
本機は、視聴する人の年齢制限や視聴料金の制限など、各種の制限を設けることができます。
これらの制限を通過するときやPPV番組などを購入するときに暗証番号を使います。

暗証番号を設定する

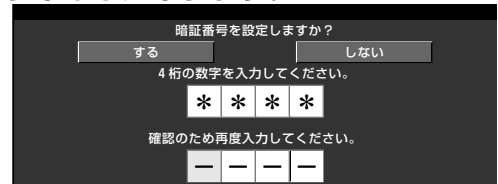
■ 暗証番号の設定および変更の手順を説明します。
暗証番号は、必ず**4桁の数字**を入力します。

操作開始

1 ❶メニュー画面から❷「デジタル設定」—❸「暗証番号設定」を選び、❹(決定)を押す

2 (◀)(▶)で「する」または「しない」を選び、(決定)を押す

「する」……暗証番号の設定(手順**3**)に進みます。
「しない」…暗証番号の設定や変更をせずに終了します。

3 数字ボタン((1)～(10/0))で、暗証番号を入力する

●左カーソルボタンを押すと、入力した数字を1桁ずつ削除することができます。

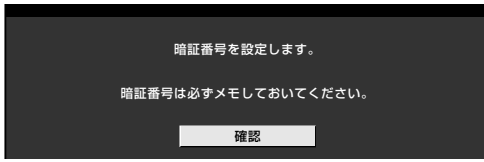
4 確認のため、再度同じ番号を数字ボタン((1)～(10/0))で入力する

●間違った番号を入力した場合は、手順**3**からやりなおしになります。

次ページへ

5 ① 暗証番号をメモする ② 「確認」で(決定)を押す

暗証番号を設定します。

暗証番号は必ずメモしておいてください。

確認

●これで暗証番号の設定は完了です。

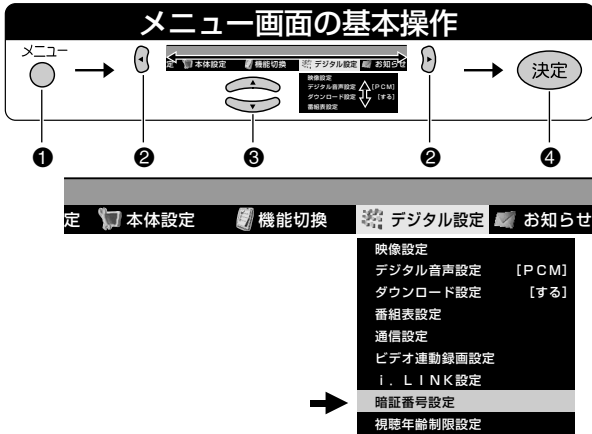
●暗証番号は必ずメモしてください。

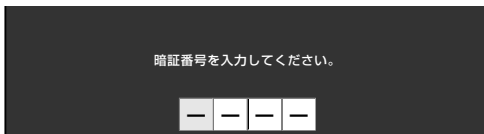
暗証番号を忘れたときは

●受信契約されている、有料放送の放送局(WOWOWやスターチャンネルなど)までご連絡ください。放送局で前の暗証番号を消去します。暗証番号の消去には手数料がかかります。(2004年12月現在)

暗証番号を変更するとき

操作開始

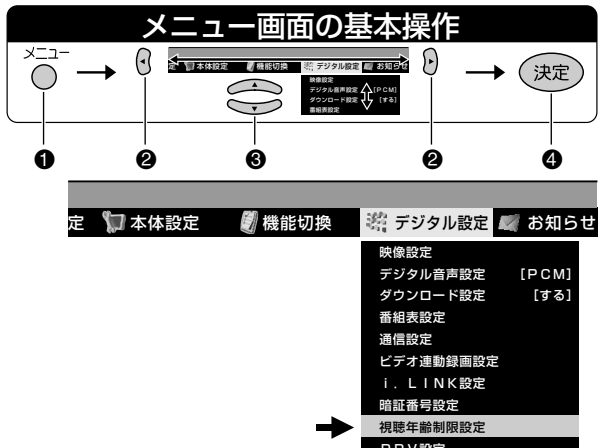
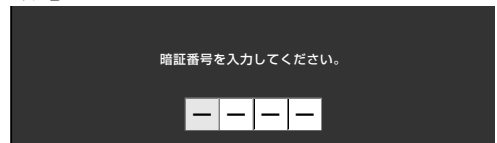
1 ❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「暗証番号設定」を選び、❹(決定)を押す

●暗証番号入力画面が表示されます。

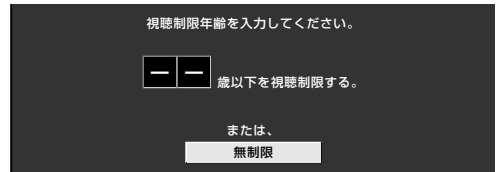
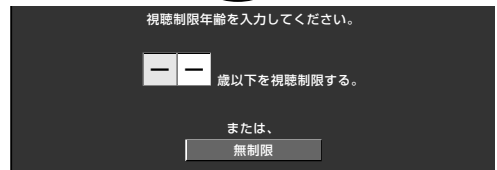
2 数字ボタン(1～10/0)で、現在の暗証番号を入力する

●暗証番号を入力すると、**72**ページ「暗証番号を設定する」の手順**2**の画面になります。暗証番号を設定するときと同じ要領で設定しなおしてください。

視聴年齢制限を設定する

■ 年齢制限のある番組の視聴を制限することができます。なお、年齢制限は4～20歳の範囲で設定できます。

操作開始

1 ❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「視聴年齢制限設定」を選び、❹(決定)を押す

2 数字ボタン(1～10/0)で暗証番号を入力する

●視聴年齢制限設定画面が表示されます。

3 (▲)(▼)で年齢の入力欄を選ぶ

4 制限する年齢を数字ボタン(1～10/0)で入力し、(決定)を押す

●年齢制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

●1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

操作終了する場合は ▶ (メニュー)**または**(終了)**を押し、通常画面に戻す**

安心して使うための設定(つづき)

双方向サービスの利用を制限する

■ 双方向サービスのデータ送受信には、電話回線の利用料金がかかります。使用を制限するために、電話回線やLANへの接続をするかしないかの設定ができます。設定には暗証番号の入力が必要です。
この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定(**72**ページ)をしておくことが必要です。

回線使用時の画面表示について

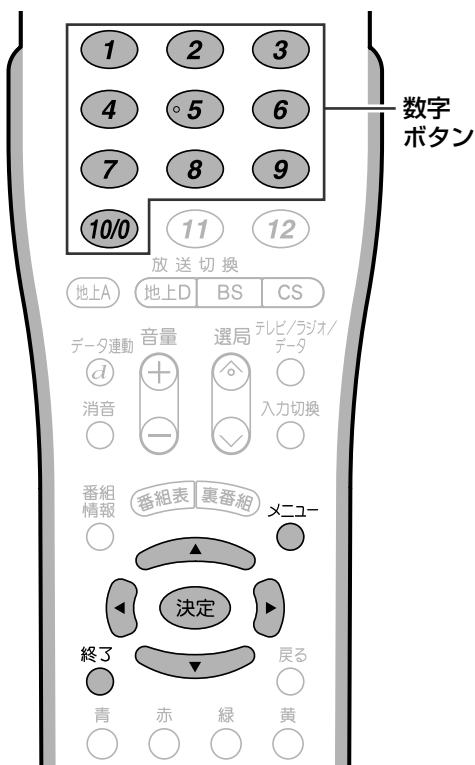
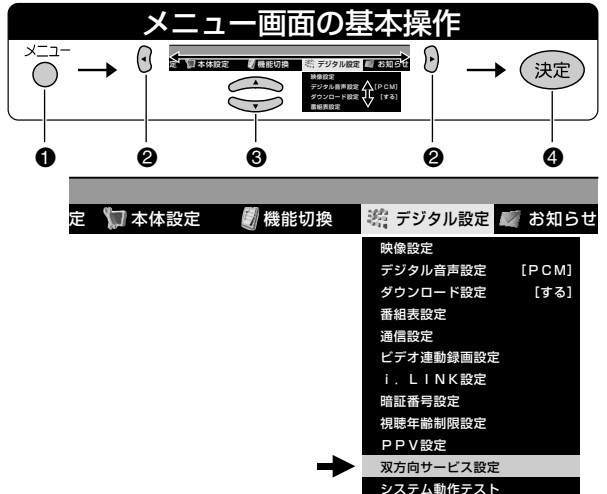
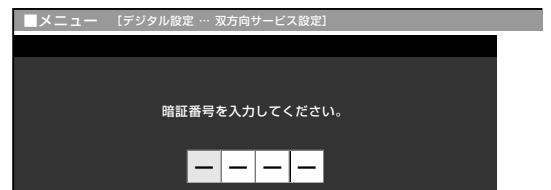
- 双方向サービス設定で回線への接続を「禁止しない」に設定した場合、データ送信時につぎのようなアイコンが画面表示されます。

回線コール中のアイコン… グレー

回線使用中のアイコン…… ブルー

画面表示位置
(画面右下に表示されます。)

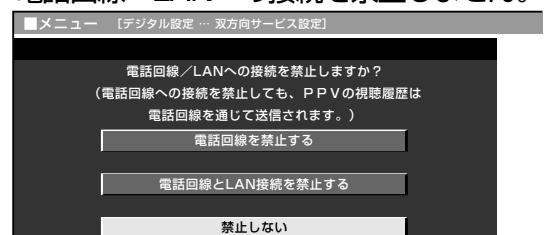
操作開始

1 ❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「双方向サービス設定」を選び、❹(決定)を押す

2 数字ボタン(1〜10/0)で暗証番号を入力する

- 双方向サービス設定画面が表示されます。

3 (▲)(▼)で「電話回線を禁止する」「電話回線とLAN接続を禁止する」「禁止しない」のいずれかを選び、(決定)を押す

「電話回線を禁止する」
… 電話回線への接続を禁止します。

「電話回線とLAN接続を禁止する」
… 電話回線・LANへの接続をともに禁止します。

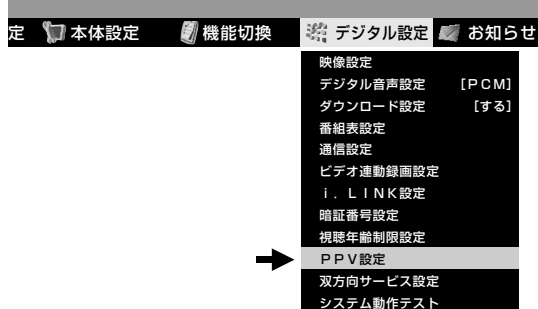
「禁止しない」
… 電話回線・LANへの接続を禁止しません。

- 1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

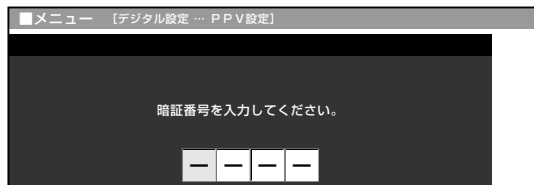
操作終了する場合は ▶ (メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す

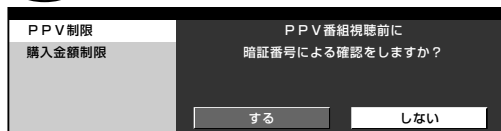
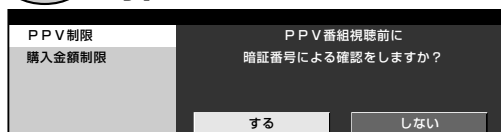
PPV制限を設定する

■ 暗証番号を入力しないとPPV番組を購入できないように設定できます。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定(**72**ページ)をしておくことが必要です。

操作開始

1 **メニュー画面から「デジタル設定」ー「PPV設定」を選び、(決定)を押す**

●基本操作は左のページをご覧ください。

2 **数字ボタン(1〜10/0)で暗証番号を入力する**

●PPV設定画面が表示されます。

3 **(▲)(▼)で「PPV制限」を選び、(決定)を押す**

4 **(◀)(▶)で「する」または「しない」を選び、(決定)を押す**

「する」……PPV番組の購入前に、暗証番号の入力が必要になります。
「しない」…PPV番組の購入前に、暗証番号の入力は必要ありません。

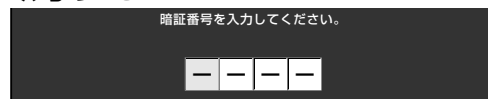
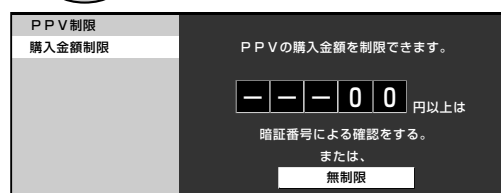
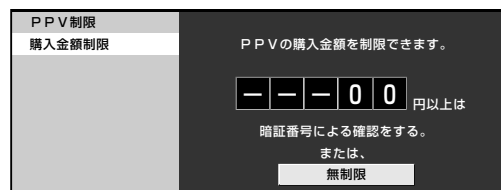
購入金額制限を設定する

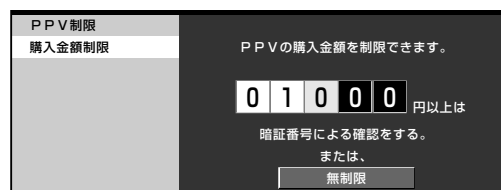
■ PPV番組の購入金額を制限します。設定した以上の金額の番組を購入するときは、暗証番号の入力が必要になります。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定(**72**ページ)をしておくことが必要です。

操作開始

1 **メニュー画面から「デジタル設定」ー「PPV設定」を選ぶ**

●基本操作は左のページをご覧ください。

2 **数字ボタン(1〜10/0)で暗証番号を入力する**

3 **(▲)(▼)で「購入金額制限」を選び、(決定)を押す**

4 **(▲)(▼)で購入金額の入力欄を選ぶ**

5 **購入金額の上限を数字ボタン(1〜10/0)で入力し、(決定)を押す**

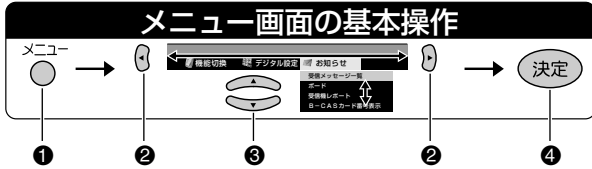
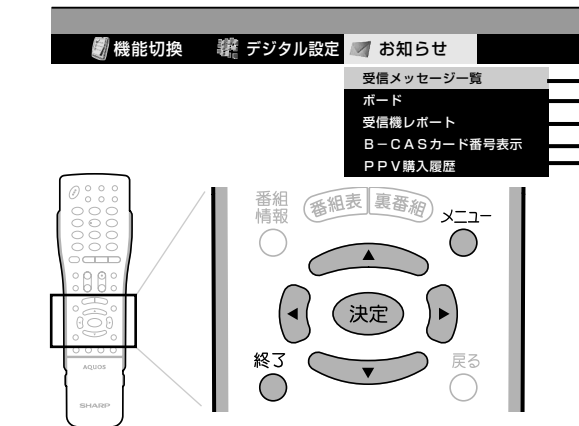
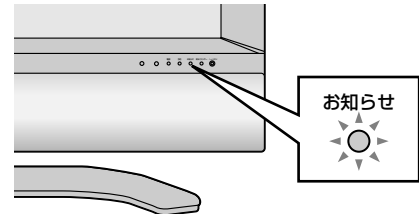
[例] 1,000円のとき

●購入金額の制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

● 1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

操作終了する場合は ▶ **(メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す**

お知らせを見る

お知らせについて

■ 受信契約した放送局から視聴者に向けて発信されるメッセージを見たり、有料放送に関するレポートやB-CASカード番号などを確認することができます。

→Ⓐ 受信メッセージを見る

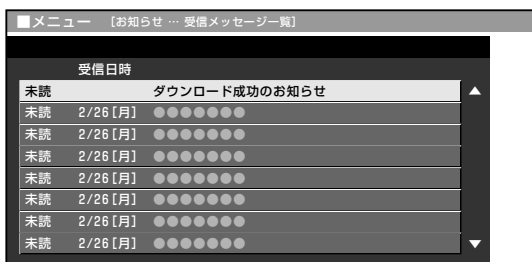
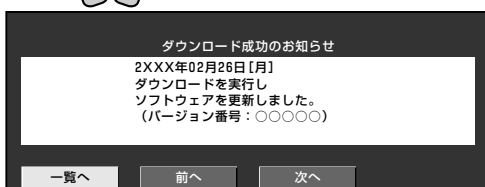
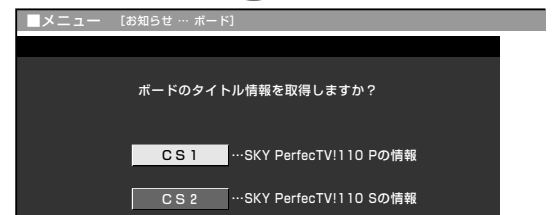
■ 受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。常時更新されていますので、定期的にメッセージをお読みください。

1 見たいメッセージを▲▼で選び、決定を押す

［例］「ダウンロード成功のお知らせ」を見る

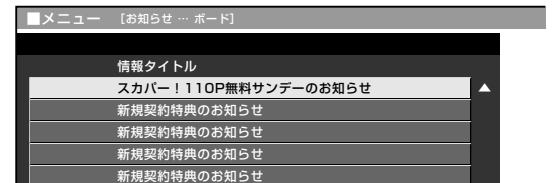
2 ① メッセージの内容を確認する
② 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを◀▶で選び、決定を押す

→Ⓑ ボードを表示して情報を見る

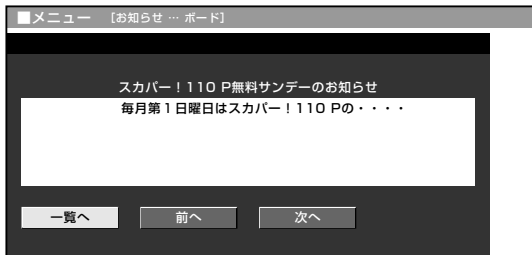
■ 送られている、CS各ネットワークの掲示板（ボード情報）のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。

1 表示したいネットワークを▲▼で選び、決定を押す

●選んだネットワークのボードが表示されます。

2 見たい情報のタイトルを▲▼で選び、決定を押す

（スカパー！110Pのボード表示例）

次ページへ

●1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

操作終了する場合は ▶ メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

3
① メッセージの内容を確認する
② 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを◀▶で選び、決定を押す

- ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。

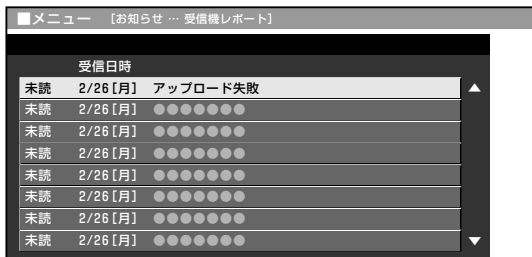
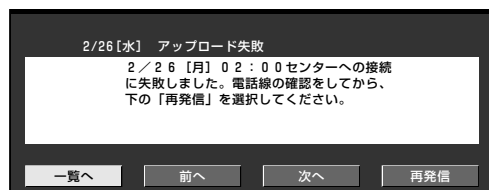
→Ⓒ
受信機レポートを見る

■ 予約の失敗や変更に関するレポートやB-CASカードに関する情報、課金情報のアップロード(視聴履歴の送信)に失敗したときなど、受信機に関係したレポートを表示します。

1
見たいレポートを▲▼で選び、決定を押す

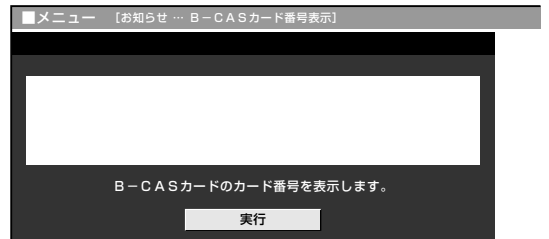
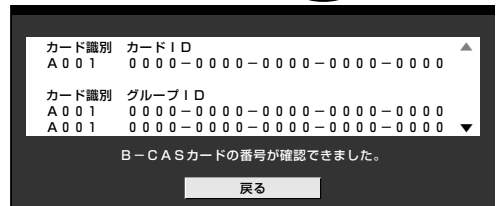
[例]「アップロード失敗」のレポートを見る

■メニュー [お知らせ … 受信機レポート]

	受信日時	
未読	2/26［月］	アップロード失敗
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●

2
① レポートの内容を確認する
② 「一覧へ」「前へ」「次へ」「再発信」のいずれかを◀▶で選び、決定を押す

- アップロードに失敗したときは、「再発信」を選んで決定ボタンを押すと、アップロードしなおすことができます。

→Ⓓ
B-CASカード番号を見る

■ 受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客さまの契約確認のためB-CASカードの番号を表示するものです。

1
「実行」で決定を押し、B-CASカード番号表示を実行する

2
① カード番号を確認する
② 確認後、「戻る」で決定を押す

カード識別… メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。
カードID……カード固有の番号です。

→Ⓔ
PPV購入履歴を見る

■ 購入した最新24個のPPV番組の購入日時、チャンネル、番組名、購入金額を画面に表示して確認することができます。

① 画面を確認する
② 確認後、「戻る」で決定を押す

- 1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

操作終了する場合は ▶ メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

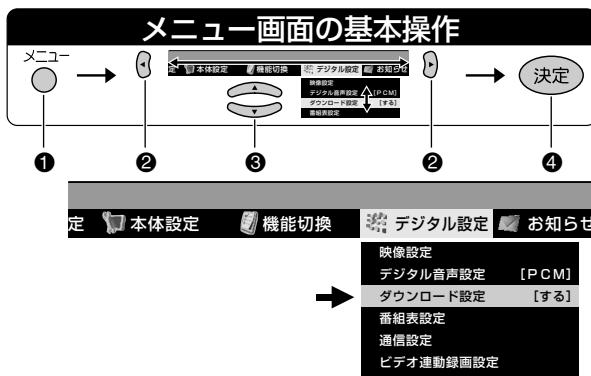
ダウンロードを行う

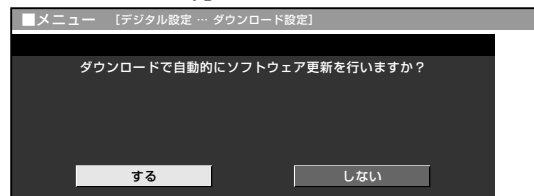
ダウンロードの方法

■ ダウンロード機能とは、本機内のソフトウェアを書き換えて、機能アップや機能改善等を行うためのもので、その方法には2種類あります。
1つは自動的にダウンロードを行う方法で、もう1つはお客様が必要に応じ、マニュアル選択によりダウンロードすることができる方法です。
なお、お買い上げ時は利便性を考えてダウンロードの選択は「自動」に設定されています。

- ソフトウェアの受信(ダウンロード)には、数分程度の時間がかかります。その間は、デジタルリセットボタンの操作、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
- ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ることがあります。その場合は、設定しなおしてください。
- ダウンロードによって、予約の情報がなくなる場合があります。そのときは、再度、予約設定を行ってください。
- ダウンロードは、本機の電源が待機状態(電源ランプが赤色点灯)のときに実行されます。

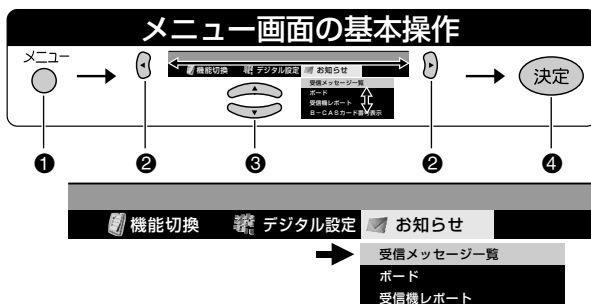
操作開始

1 **❶メニュー画面から❷「デジタル設定」—❸「ダウンロード設定」を選び、❹(決定)を押す**

2 **(◀)(▶)で「する」または「しない」を選び、(決定)を押す**

「する」………自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行います。(工場出荷時の設定)
「しない」……ソフトウェアの自動ダウンロードを行いません。

手動でダウンロードを行うとき

自動ダウンロードを「しない」に設定した場合、手動でダウンロードを行うことができます。

操作開始

1 **❶メニュー画面から❷「お知らせ」—❸「受信メッセージ一覧」を選び、❹(決定)を押す**

次ページへ

- 1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

操作終了する場合は ▶ **(メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す**

システム動作テストを行う

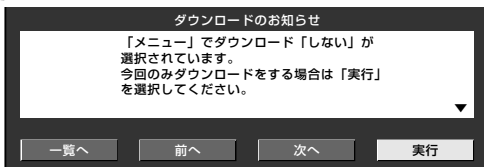
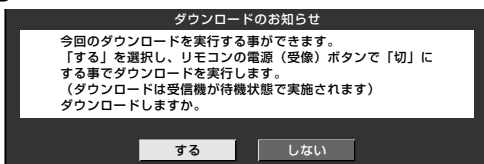
2 ▲ ▼ で「ダウンロードのお知らせ」を選び、(決定)を押す

3 画面の表示内容を確認してから、◀▶で「実行」を選び、(決定)を押す

4 画面の表示内容を確認してから、◀▶で「する」を選び、(決定)を押す

ダウンロードのお知らせ

今回のダウンロードを実行する事ができます。
「する」を選択し、リモコンの電源（受像）ボタンで「切」にする事でダウンロードを実行します。
（ダウンロードは受信機が待機状態で実施されます）
ダウンロードしますか。

する　しない

- ダウンロードは、本機の電源が待機状態(電源ランプが赤色点灯)のときに実行されます。リモコンの電源ボタン等で、電源待機状態にしてください。

- ダウンロードが成功すると、「お知らせ」の「受信メッセージ一覧」の中に、ダウンロードが成功した旨のメッセージが書き込まれます。
- お知らせを見る場合は、**76**ページ「受信メッセージを見る」の手順1の操作を行ってください。

ダウンロード成功のお知らせ

2XXX年XX月XX日［月］
ダウンロードを実行し
ソフトウェアを更新しました。
（バージョン番号：○○○○○○○）

一覧へ　前へ　次へ

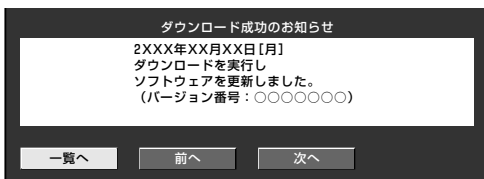
本機は、電話回線が正しく接続されているか、また、B-CASカードが正しく装着されているか、などをテストすることができます。

システム動作テストに失敗したときは

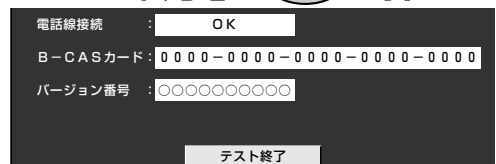
電話線接続
電話回線の接続と設定を確認してください。
⇨ 1.準備編 **18**・**54**ページ

B-CASカード
B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。
⇨ 1.準備編 **41**ページ

操作開始

1 ❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「システム動作テスト」を選び、❹(決定)を押す

2 「テスト実行」で(決定)を押し、テストを開始する

- 表示が「テスト実行中」に変わります。
  テストが終了すると「テスト終了」になります。

3 ① 結果を確認する ② 「テスト終了」で(決定)を押す

- 1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

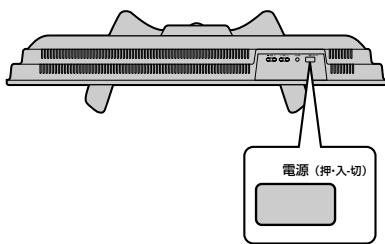
操作終了する場合は ▶ (メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す

本機を譲渡・廃棄するとき

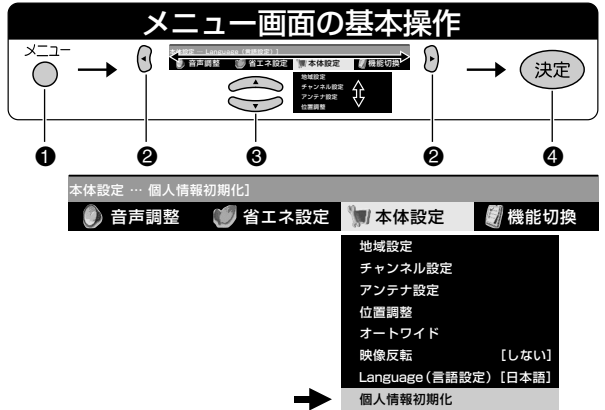
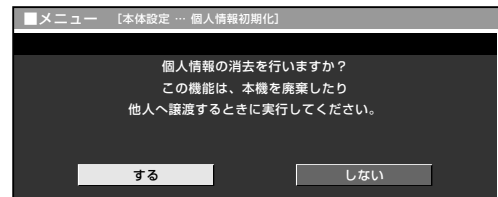
個人情報を初期化する

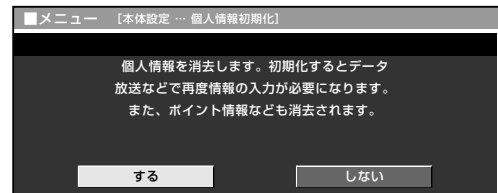
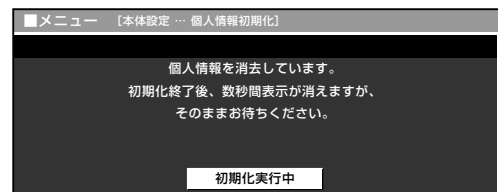
■ 本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力した、お客さまの個人情報があります。
本機を他人に譲渡したり、廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行い情報を消去してください。

- お客さまが設定した情報内容(暗証番号など)がすべて初期化されます。

▼本体天面

データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客さまの登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

操作開始

1 ❶メニュー画面から❷「本体設定」ー❸「個人情報初期化」を選び、❹(決定)を押す

2 ◀▶で「する」を選び、(決定)を押す

3 ◀▶で「する」を選び、(決定)を押す

- 表示が「初期化実行中」(点滅)に変わります。初期化には、しばらく時間がかかります。

- 初期化が終了すると、画面が数秒間消え、メニューが解除されます。

4 本体天面操作部の 電源（押・入-切） を押し、電源を切る

操作終了

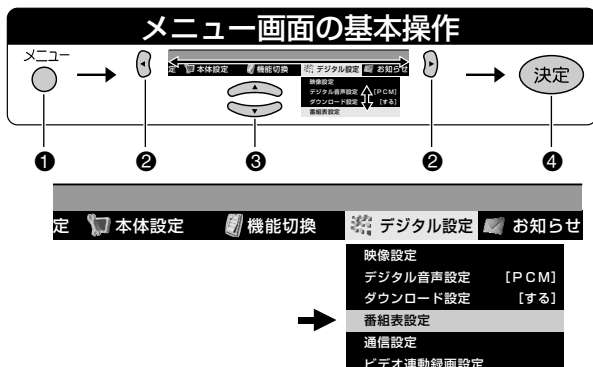
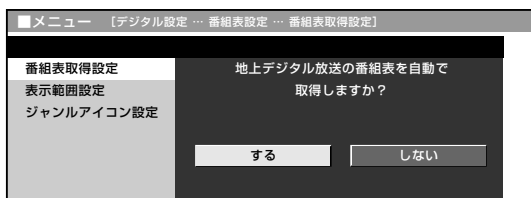
番組表を利用するための設定を行う

番組表取得設定

■ 地上デジタル放送の電子番組表(EPG)を取得、表示するときの詳細な設定です。
設定を「する」にしておくと、電源待機中に自動取得し、番組表の表示が早くなります。

● 番組表取得設定を「する」に設定した場合、リモコンで電源を「切」にしても、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。(本機が放送局の番組情報を取得しているためです。)
また、本体の電源(押・入-切)スイッチで「切」にした場合は、番組情報を取得できません。

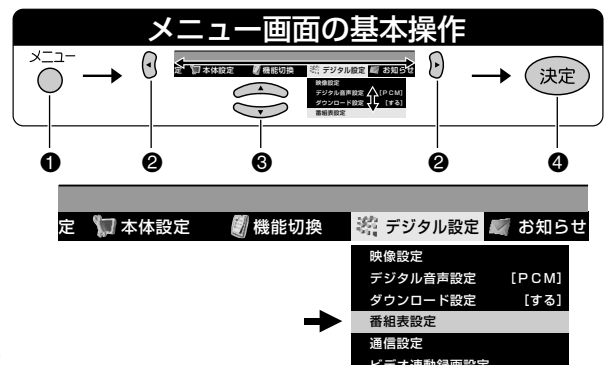
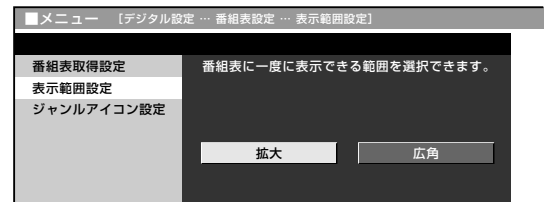
操作開始

1 **❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「番組表設定」を選び、❹(決定)を押す**

2 **(▲)(▼)で「番組表取得設定」を選び、(決定)を押す**

3 **(◀)(▶)で「する」または「しない」を選び、(決定)を押す**

表示範囲設定

■ 番組表に一度に表示できる範囲を切り換えて、3時間表示(拡大)と6時間表示(広角)のどちらかを選択できます。
「拡大」:表示範囲を拡大して3時間分表示
「広角」:表示範囲を広角にして6時間分表示

操作開始

1 **❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「番組表設定」を選び、❹(決定)を押す**

2 **(▲)(▼)で「表示範囲設定」を選び、(決定)を押す**

3 **(◀)(▶)で「拡大」または「広角」を選び、(決定)を押す**

● 工場出荷時は「広角」に設定されています。

次ページへつづく

● 1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

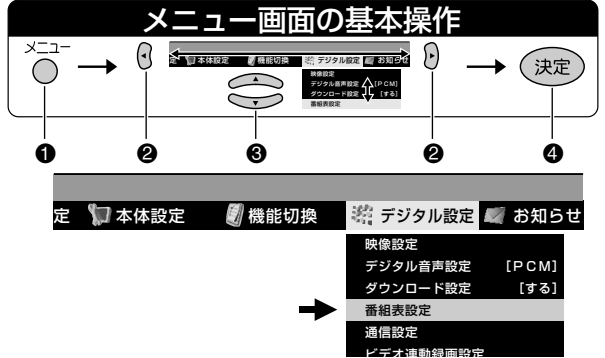
操作終了する場合は ▶ (メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す

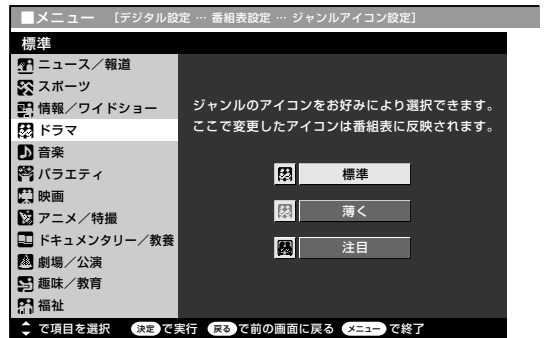
番組表を利用するための設定を行う(つづき)

ジャンルアイコン設定

■ 番組表に表示されるジャンル名に濃淡やマークをつけて識別しやすくできます。

操作開始

1
❶メニュー画面から❷「デジタル設定」—❸「番組表設定」を選び、❹(決定)を押す

2
(▲)(▼)で「ジャンルアイコン設定」を選び、(決定)を押す

3
① (▲)(▼)で識別したいジャンル名を選び、(決定)を押す
② (▲)(▼)で「標準」「薄く」「注目」のいずれかを選び、(決定)を押す

● 1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

操作終了する場合は ▶ (メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す

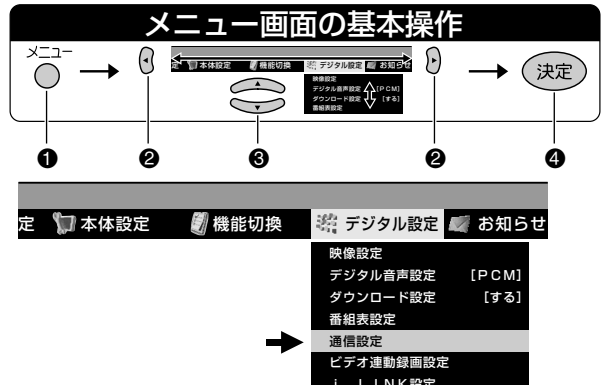
双方向通信を行うための優先利用回線設定

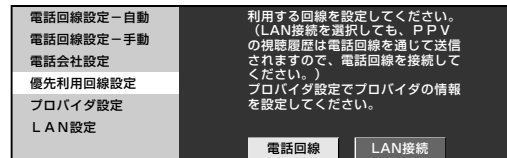
優先利用回線設定

■ 双方向通信を行うとき、電話回線、LANのどちらで通信するかの設定です。工場出荷時は「電話回線」に設定されています。

操作開始

1 **❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「通信設定」を選び、❹(決定)を押す**

映像設定
デジタル音声設定 ［PCM］
ダウンロード設定 ［する］
番組表設定
通信設定
ビデオ連動録画設定

2 **① (▲)(▼)で「優先利用回線設定」を選び、(決定)を押す**

② (◀)(▶)で「電話回線」または「LAN接続」を選び、(決定)を押す

「電話回線」… 電話回線設定（1.準備編 **54**ページ）とプロバイダ設定（**84**ページ）をしてください。

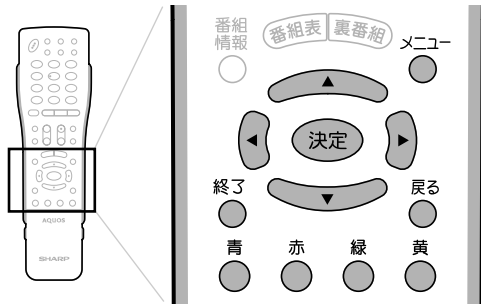
「LAN接続」… 電話回線設定（1.準備編 **54**ページ）、プロバイダ設定（**84**ページ）、およびLAN設定（**87**ページ）をしてください。

●1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

操作終了する場合は ▶ (メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す

プロバイダ設定を行う

プロバイダ設定

■すでに契約しているプロバイダを使って、地上デジタル放送の双方向サービスで双方向通信を利用する場合に必要な設定です。

「接続名」について

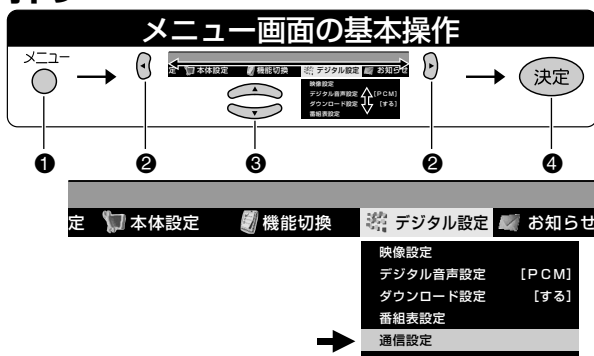
- 通常は、契約しているプロバイダの業者名を入力します。

「電話番号」について

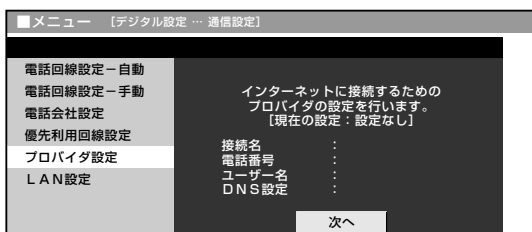
- 契約しているプロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力します。

- ソフトウェアキーボードについて詳しくは、**90**ページをご覧ください。

操作開始

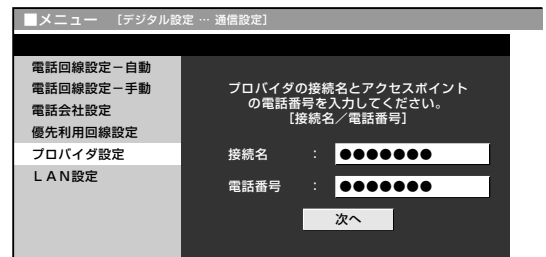
1 **❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「通信設定」を選び、❹(決定)を押す**

2 **① (▲)(▼)で「プロバイダ設定」を選び、(決定)を押す**

●プロバイダ設定画面が表示されます。

② 「次へ」で(決定)を押す

3 **① (決定)を押してソフトウェアキーボードを表示し、接続名を入力する**

●カーソルが「電話番号」の欄に移動します。

② (決定)を押してソフトウェアキーボードを表示し、アクセスポイントの電話番号を入力する

③ 「次へ」で(決定)を押す

「ユーザー名」「パスワード」について

- プロバイダと契約した際に提供されたものを入力します。

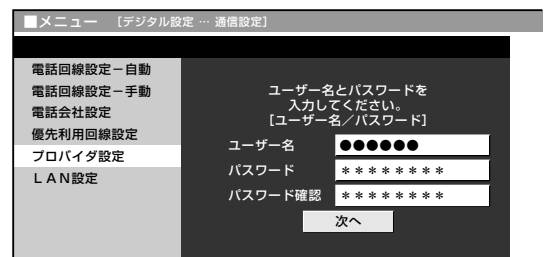
4 **① (決定)を押してソフトウェアキーボードを表示し、ユーザー名を入力する**

●カーソルが「パスワード」の欄に移動します。

② (決定)を押してソフトウェアキーボードを表示し、パスワードを入力する

●カーソルが「パスワード確認」の欄に移動します。

③ (決定)を押してソフトウェアキーボードを表示し、同じパスワードをもう一度入力する

④ 「次へ」で(決定)を押す

次ページへ

5 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

- 「する」を選んだ場合は、「次へ」で決定ボタンを押します。手順**7**に進んでください。
- 「しない」を選んだ場合は、DNSのIPアドレスを入力します。手順**6**に進んでください。

「IPアドレス」について

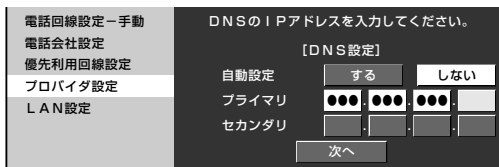
自動設定「しない」を選んだ場合

- プロバイダと契約した際に提供されたものを入力します。
  IPアドレスはデータのやりとりに使われる、3桁の数字4組で表された番号です。
  「プライマリ」：1番めのIPアドレス
  「セカンダリ」：2番めのIPアドレス

6

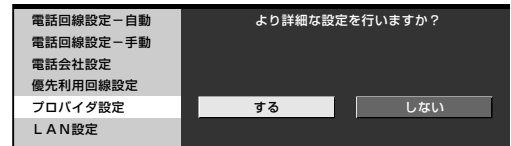
① 決定を押し、ソフトウェアキーボードを表示する

② ソフトウェアキーボードで、DNSのIPアドレスの「プライマリ」を入力する

- ①、②をくり返し、各入力欄に3桁の数字を入力します。

③ プライマリと同様に、DNSのIPアドレスの「セカンダリ」を入力する

④ 「次へ」で決定を押す

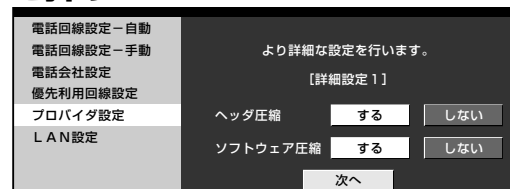
詳細な設定をする

7 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

- 「する」を選んだ場合は、詳細設定画面が表示されます。手順**8**に進んでください。
- 「しない」を選んだ場合は、設定を終了してプロバイダ設定画面に戻ります。操作を終了してください。

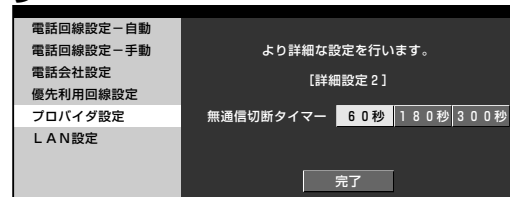
■ 通信速度を向上させるか、させないかの設定です。
契約しているプロバイダがこれに対応していない場合は、「しない」に設定してください。

8

① ◀▶で、ヘッダ圧縮を「する」または「しない」を選び、決定を押す

② ◀▶で、ソフトウェア圧縮を「する」または「しない」を選び、決定を押す

■ 回線を切断する時間の設定です。その時間に通信がなければ、回線を切断します。

9

① ◀▶で「60秒」「180秒」「300秒」のいずれかを選び、決定を押す

② 「完了」で決定を押す

- 1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

操作終了する場合は ▶ メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

LAN接続と設定

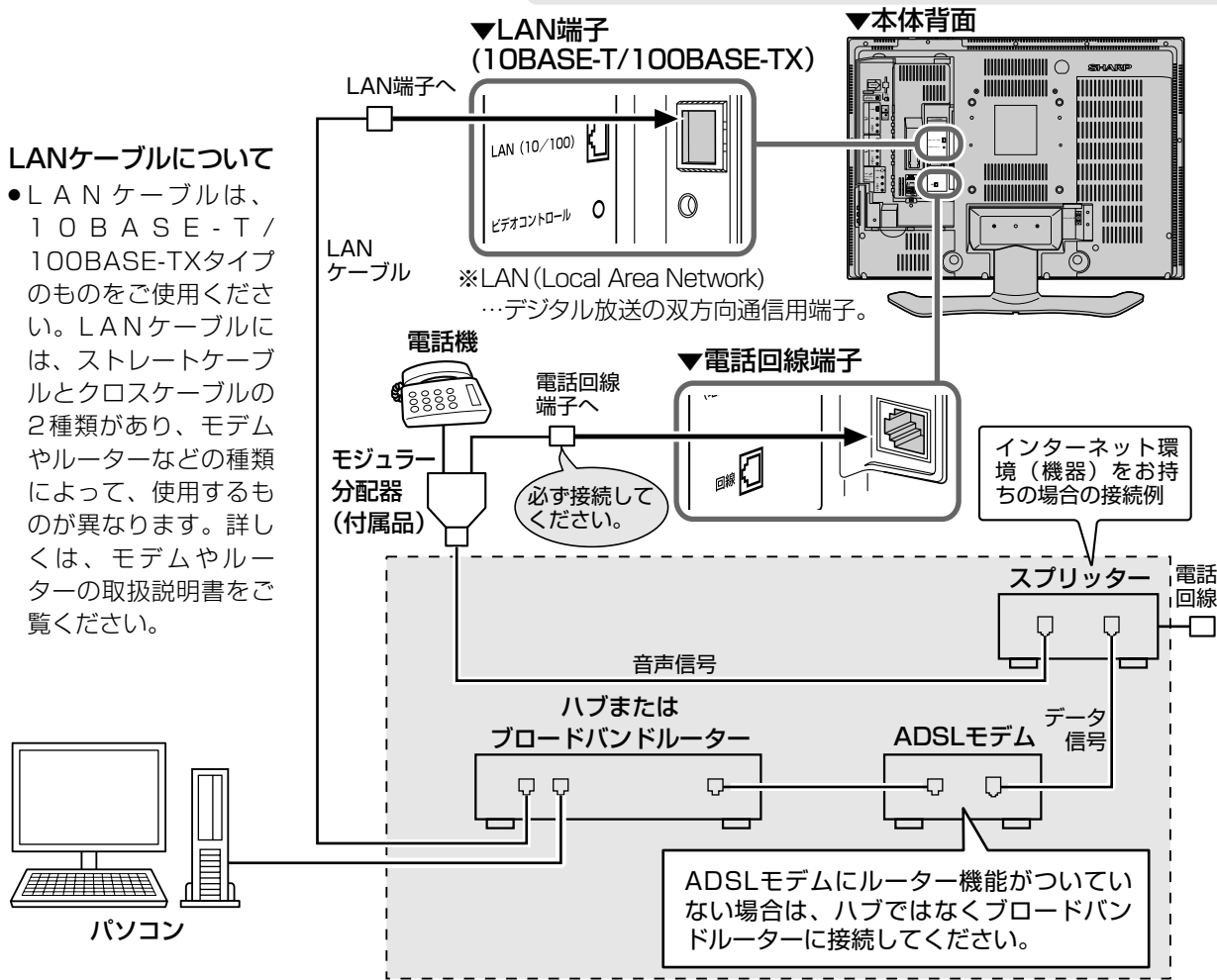
■ デジタル放送のデータ放送との双方向通信は、本機を電話回線につなぐとできますが、プロバイダを利用したLANを設定すれば、通信速度が向上し、データ放送をさらに快適に楽しむことができます。この場合、LAN接続と設定が必要となります。
■ パソコンなどのインターネット環境をお持ちでない場合は、つぎのような接続機器が必要になります。また、回線業者やプロバイダにより、必要な機器と接続方法が異なります。

LAN 接続のしかた

（接続の一例です）

- ADSLの接続は、専門知識が必要なため、ADSL事業者にお問い合わせください。
- LAN接続した場合でも、電話回線のみで通信が行われることがありますので、必ず電話回線端子にも接続してください。

LANケーブルについて

- ＬＡＮケーブルは、１０ＢＡＳＥ-Ｔ／100BASE-TXタイプのものをご使用ください。ＬＡＮケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの２種類があり、モデムやルーターなどの種類によって、使用するものが異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。

接続後は、必ず、電話回線設定（1.準備編 54ページ）、プロバイダ設定（84ページ）、およびLAN設定（87ページ）を行ってください。

● ADSLモデム
本機やコンピュータなどをADSL回線に接続する際に必要となる、信号変換のための機器です。
公衆電話回線網を通じて送られてくるADSL信号をイーサーネットの信号に変換します。
ADSLの規格は事業者ごとに異なるため、キャリアを変更した場合や設置地点を変更した場合には、同じADSLモデムでは利用できないことがあります。

● ハブ
複数の機器をネットワークに接続するための集線機器です。

● ブロードバンドルーター
広帯域のデータ信号を他のインターネットに接続するための中継機器です。

● スプリッター
ADSLでは音声信号とデータが同じ回線の中を流れてくるため、これをそれぞれ電話機とADSLモデムとに分ける必要がありますので、スプリッターを接続し、そこから電話機とADSLモデムに信号を振り分けます。

インターネット環境をお持ちの場合は、LAN接続をすることにより、データ放送通信がより快適に利用できます。

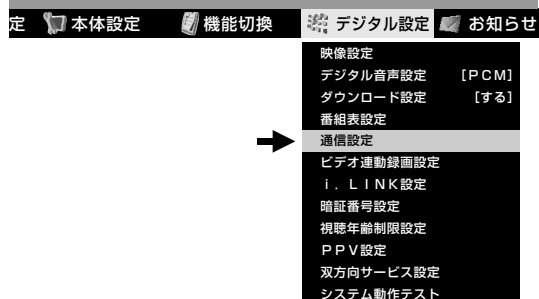
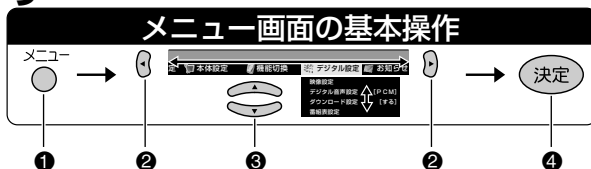
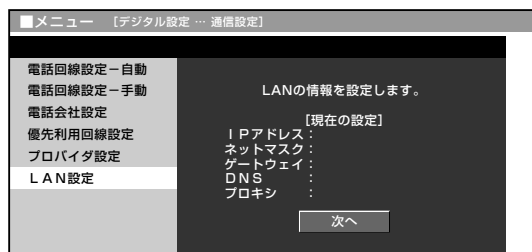
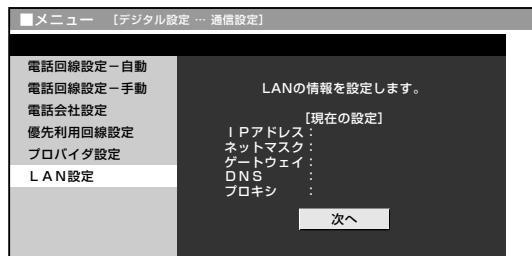
LAN設定

■ LAN接続(**86**ページ)によってデータ放送との双方向通信を行う場合、プロバイダを利用したLANの設定が必要となります。

- LAN設定は専門知識が必要ですので、お買い上げの販売店やADSL事業者などにご相談ください。

設定画面を表示する

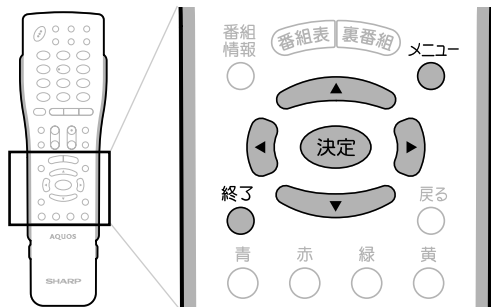
操作開始

1 ❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「通信設定」を選び、❹(決定)を押す

2 で「LAN設定」を選び、(決定)を押す

3 「次へ」で(決定)を押す

次ページへ

- ADSL専用の契約(IP電話回線網の使用に限定した契約)の場合、双方向サービスへの接続ができない場合があります。

次ページへつづく

LAN接続と設定(つづき)

■ IPアドレスの自動取得設定
ブロードバンドルーターやルーター機能付きADSLモデムをお使いの場合は、通常DHCPでのIP自動取得が使えます。ご不明のときは、設置された方に確認するか、それぞれの機器の説明書をご覧ください。

● DHCP：
IPネットワークにおいて、IPアドレスの割当てと各種の設定を自動で行うためのプロトコルです。

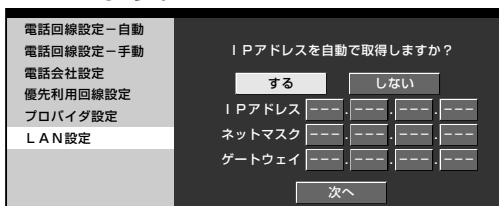
● IPアドレス：
TCP/IPネットワークに接続されたネットワーク機器に個別に割り振られた識別番号です。

●ネットマスク：
TCP/IPネットワークを複数の小さなネットワークに分割して識別管理する識別番号です。

●ゲートウェイ：
ネットワーク上で、異なる方式のデータを相互に変換して通信を可能にする機器の識別番号です。

IPアドレスを設定する

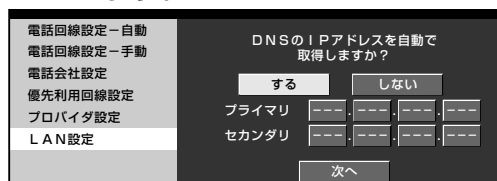
4 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……IPアドレスを自動で取得します。（DHCPサーバーを利用します。）
「しない」…指定のIPアドレスを手動で入力します。

●「しない」を選んだときは、ブロードバンドルーターの仕様を確認し、IPアドレスを画面の指示にしたがって入力してください。

5 「次へ」で決定を押す

DNSのIPアドレスを設定する

6 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……DNSのIPアドレスを自動で取得します。（DHCPサーバーを利用します。）
「しない」…指定のIPアドレスを手動で入力します。

●「しない」を選んだときは、ブロードバンドルーターのIPアドレス(ブロードバンドルーターがDNSの機能を持つ場合)またはプロバイダから指示されたDNSのIPアドレスを入力してください。

7 「次へ」で決定を押す

■ プロキシサーバーの設定
プロバイダからの指定があるときのみ、設定が必要です。

プロキシサーバーの設定

8 ① ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

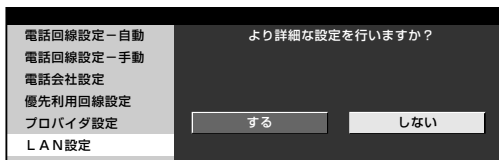
「する」を選んだときは

② プロキシサーバーのアドレス、ポート番号を入力する

9 「次へ」で決定を押す

より詳細な設定
（通常は「しない」を選びます。）

10 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

●通常は「しない」を選んでください。

「する」……… 手順11へ進みます。
「しない」…… 手順13へ進みます。

LAN 接続スピードを設定する

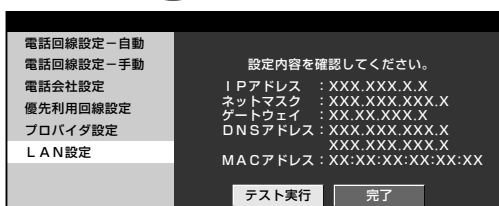
11 ▲▼◀▶で「自動検出」を選び、決定を押す

●通常は設定の必要はありません。通信がうまくいかないなどのときに、設定を変更して確認します。

12 「次へ」で決定を押す

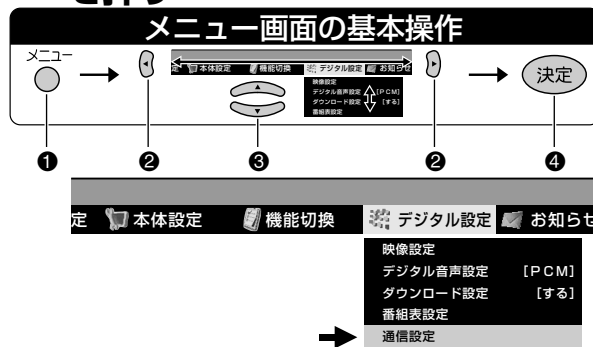
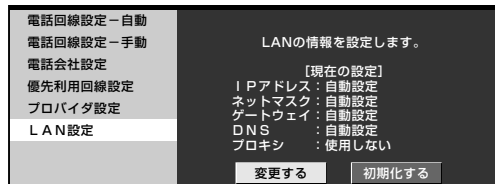
LANに接続するためのテストを実行する

■ テスト実行は、IPアドレスを自動で取得する設定のときのみです。IPアドレスを自動で取得しない場合は、「テスト実行」を選べません。

13 設定内容を確認し、◀▶で「テスト実行」を選び、決定を押す

操作終了

LAN 設定の内容を変更する

操作開始

1 ① ❶メニューから❷「デジタル設定」－❸「通信設定」を選び、❹決定を押す

② ▲▼で「LAN設定」を選び、決定を押す

2 ◀▶で「変更する」を選び、決定を押す

3 88ページ手順4～89ページ手順13を行い、再設定する

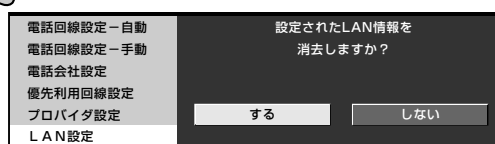
操作終了

LAN 設定の内容を消去する

操作開始

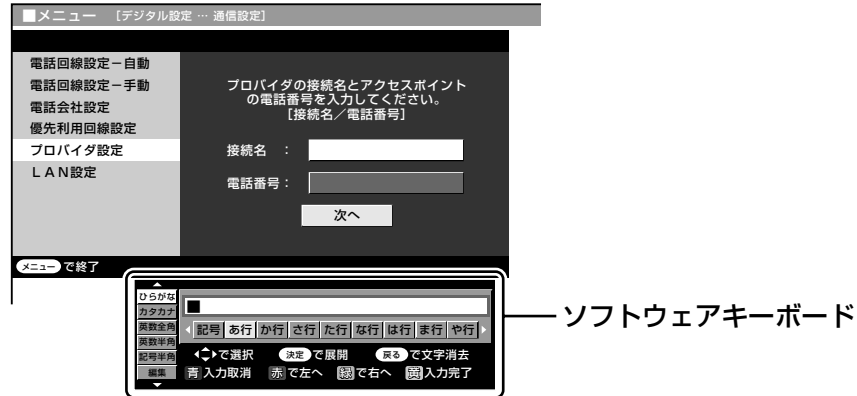
1 「LAN設定の内容を変更する」の手順2で「初期化する」を選び、決定を押す

変更する　初期化する

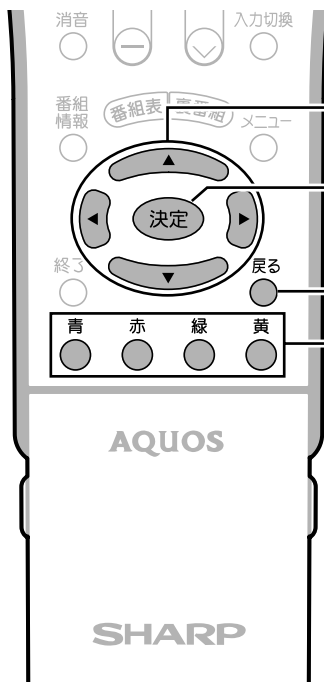
2 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

3 メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

ソフトウェアキーボードについて

■ プロバイダ設定（**84**ページ）やLAN設定（**87**ページ）を行うときに文字入力の必要な欄で決定ボタンを押すと、画面にソフトウェアキーボードが表示されます。このソフトウェアキーボードを使って、各入力欄に必要な文字・数字・記号を入力します。

（画面例）

ソフトウェアキーボードの使いかた

■ ソフトウェアキーボードは、カーソルボタン、決定ボタン、戻るボタン、カラーボタン（青・赤・緑・黄）を使って操作します。

▼ソフトウェアキーボード表示

▼リモコン

ソフトウェアキーボード操作に使うリモコンボタン

カーソルボタン：入力文字（文字モード・文字グループ）の選択をします。

決定ボタン：選択した文字グループの展開、または選択した文字の入力を確定します。

戻るボタン：キーボード内入力欄の入力位置（カーソル）の文字を1文字消します。

カラーボタン青：入力を取り消します。現在の入力をすべて取り消し、キーボードが消えます。

カラーボタン赤：キーボード内入力欄のカーソルを左へ移動します。

カラーボタン緑：キーボード内入力欄のカーソルを右へ移動します。

カラーボタン黄：キーボード内入力欄の入力を完了します。キーボードが消えます。

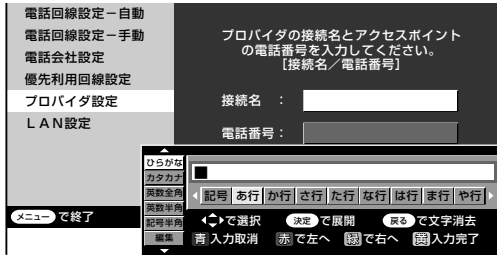
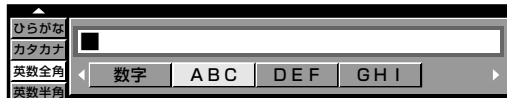
おしらせ

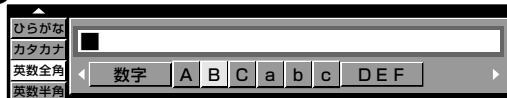
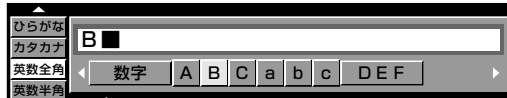
● 文字モードの「編集」内の各キーは、カラーボタン、戻るボタンの機能と同じです。

文字入力をする

[例] プロバイダ設定画面で文字入力をする

1 プロバイダ設定画面(84～85ページ)の入力欄で(決定)を押し、ソフトウェアキーボードを表示する

2
① (▲)(▼)で、文字モードを選ぶ
② (◀)(▶)で文字グループを選び、(決定)を押す

●選んだ文字グループが展開されます。

3 (◀)(▶)で入力する文字を選び、(決定)を押す

●キーボード内入力欄に決定した文字が表示されます。

●続けて手順**2**～**3**を行い、文字を入力します。

4 (黄)を押し、入力を完了する

●プロバイダ設定画面の入力欄に、完了した文字列が表示され、ソフトウェアキーボードが消えます。

● 入力中に文字を消去する場合は、カラーボタン赤(左へ)または緑(右へ)でカーソルを移動し、戻るボタンを押します。
● 入力をやめる場合は、カラーボタン青を押します。入力をすべて取り消し、ソフトウェアキーボードが消えます。

だく点「゛」や半だく点「゜」を付ける

[例]「び」を入力する

1
① (▲)(▼)で文字モード「ひらがな」を選ぶ
② (◀)(▶)で「は行」を選び、(決定)を押す

2 (◀)(▶)で「ひ」を選び、(決定)を押す

3 (◀)(▶)で「゛」を選び、(決定)を押す

●「゜」を選んで決定ボタンを押すと、「ぴ」になります。

スペースを入力する

(◀)(▶)で文字グループから「空白」を選び、(決定)を押す

●文字モードにより、半角スペースと全角スペースがあります。

ソフトウェアキーボードについて（つづき）

入力文字の種類

入力文字一覧表

<table>
<tr><th>文字モード</th><th>文字グループ（展開表示）</th></tr>
<tr><td>ひらがな</td><td>
記号 あ行 か行 さ行 た行 な行 は行 ま行 や行 ら行 わ行 空白
<table>
<tr><td>記号</td><td>ー、。・「」－（全角ハイフン）</td><td>あ行</td><td>あいうえおぁぃぅぇぉ</td><td>か行</td><td>かきくけこ゛</td></tr>
<tr><td>さ行</td><td>さしすせそ゛</td><td>た行</td><td>たちつてとっ゛</td><td>な行</td><td>なにぬねの</td></tr>
<tr><td>は行</td><td>はひふへほ゛゜</td><td>ま行</td><td>まみむめも</td><td>や行</td><td>やゆよゃゅょ</td></tr>
<tr><td>ら行</td><td>らりるれろ</td><td>わ行</td><td>わをんゎ</td><td>空白</td><td>（全角スペース）</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>カタカナ</td><td>
記号 ア行 カ行 サ行 タ行 ナ行 ハ行 マ行 ヤ行 ラ行 ワ行 空白
<table>
<tr><td>記号</td><td>ー、。・「」－（全角ハイフン）</td><td>ア行</td><td>アイウエオァィゥェォ</td><td>カ行</td><td>カキクケコ゛</td></tr>
<tr><td>サ行</td><td>サシスセソ゛</td><td>タ行</td><td>タチツテトッ゛</td><td>ナ行</td><td>ナニヌネノ</td></tr>
<tr><td>ハ行</td><td>ハヒフヘホ゛゜</td><td>マ行</td><td>マミムメモ</td><td>ヤ行</td><td>ヤユヨャュョ</td></tr>
<tr><td>ラ行</td><td>ラリルレロ</td><td>ワ行</td><td>ワヲンヮ</td><td>空白</td><td>（全角スペース）</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>英数全角</td><td>
数字 ABC DEF GHI JKL MNO PQRS TUV WXYZ 空白
<table>
<tr><td>数字</td><td>１２３４５６７８９０</td><td>ABC</td><td>ＡＢＣａｂｃ</td><td>DEF</td><td>ＤＥＦｄｅｆ</td></tr>
<tr><td>GHI</td><td>ＧＨＩｇｈｉ</td><td>JKL</td><td>ＪＫＬｊｋｌ</td><td>MNO</td><td>ＭＮＯｍｎｏ</td></tr>
<tr><td>PQRS</td><td>ＰＱＲＳｐｑｒｓ</td><td>TUV</td><td>ＴＵＶｔｕｖ</td><td>WXYZ</td><td>ＷＸＹＺｗｘｙｚ</td></tr>
<tr><td>空白</td><td>（全角スペース）</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>英数半角</td><td>
数字 ABC DEF GHI JKL MNO PQRS TUV WXYZ 空白
<table>
<tr><td>数字</td><td>1 2 3 4 5 6 7 8 9 0</td><td>ABC</td><td>A B C a b c</td><td>DEF</td><td>D E F d e f</td></tr>
<tr><td>GHI</td><td>G H I g h i</td><td>JKL</td><td>J K L j k l</td><td>MNO</td><td>M N O m n o</td></tr>
<tr><td>PQRS</td><td>P Q R S p q r s</td><td>TUV</td><td>T U V t u v</td><td>WXYZ</td><td>W X Y Z w x y z</td></tr>
<tr><td>空白</td><td>（半角スペース）</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>記号半角</td><td>
@.,: ;_-¥ $%!? &#+* =/|￣ "'^` ()<> []{} 空白
<table>
<tr><td>@.,:</td><td>@ . , :</td><td>;_-¥</td><td>; _ - ¥</td><td>$%!?</td><td>$ % ! ?</td></tr>
<tr><td>&#+*</td><td>& # + *</td><td>=/|￣</td><td>= / | ￣</td><td>"'^`</td><td>" ' ^ `</td></tr>
<tr><td>()<></td><td>( ) < ></td><td>[]{}</td><td>[ ] { }</td><td>空白</td><td>（半角スペース）</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>編集</td><td>
入力取消 左へ 右へ 入力完了 文字消去

※入力文字ではありません。各キーを選び決定ボタンを押すと、カラーボタン、戻るボタンの操作と同じ働きをします。
</td></tr>
</table>

他の機器をつないで使う

● この章では、お手持ちのAV機器をつないで再生映像を楽しんだり、地上アナログ放送やデジタル放送などを録画したりするときに必要となることがらについて説明しています。

■端子のなまえとはたらき 94

■入力切換えのしかた 97

入力切換メニューの操作方法 97

■ビデオ／DVD再生を楽しむ 98

ビデオデッキなどの再生映像を見る 98

高精細映像を楽しむ 98

■入力選択の設定 99

■外部機器に表示を合わせる ... 100

入力表示を選択する 100

■録画・編集 101

地上アナログ放送の番組を録画する 101

ビデオカメラなどの映像を録画・編集する 102

視聴中のデジタル放送をビデオデッキに録画する 103

入力4端子の設定 104

デジタル固定の設定 105

ビデオコントローラーを使って予約する（ビデオ連動録画） 106

■i.LINK対応録画機器をつなぐ .. 109

i.LINK（アイリンク）について 109

i.LINK接続のしかた 109

i.LINK機器を操作するための準備 110

i.LINK設定を行う 111

i.LINK機器の選択と解除 112

i.LINK機器の操作のしかた 113

i.LINK自動切換の設定 114

D-VHSビデオデッキでデジタル放送を録画する 114

D-VHSビデオデッキで録画した番組を再生する 114

AV-HDDレコーダーやBlu-ray Discレコーダーでデジタル放送を録画する 115

AV-HDDレコーダーやBlu-ray Discレコーダーで録画した番組を再生する 116

AV-HDDレコーダーやBlu-ray Discレコーダーで録画した番組の消去・保護 117

■音響機器をつなぐ 118

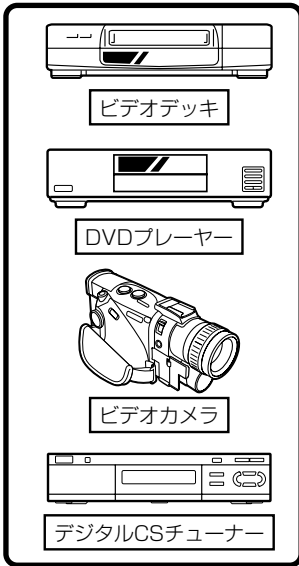
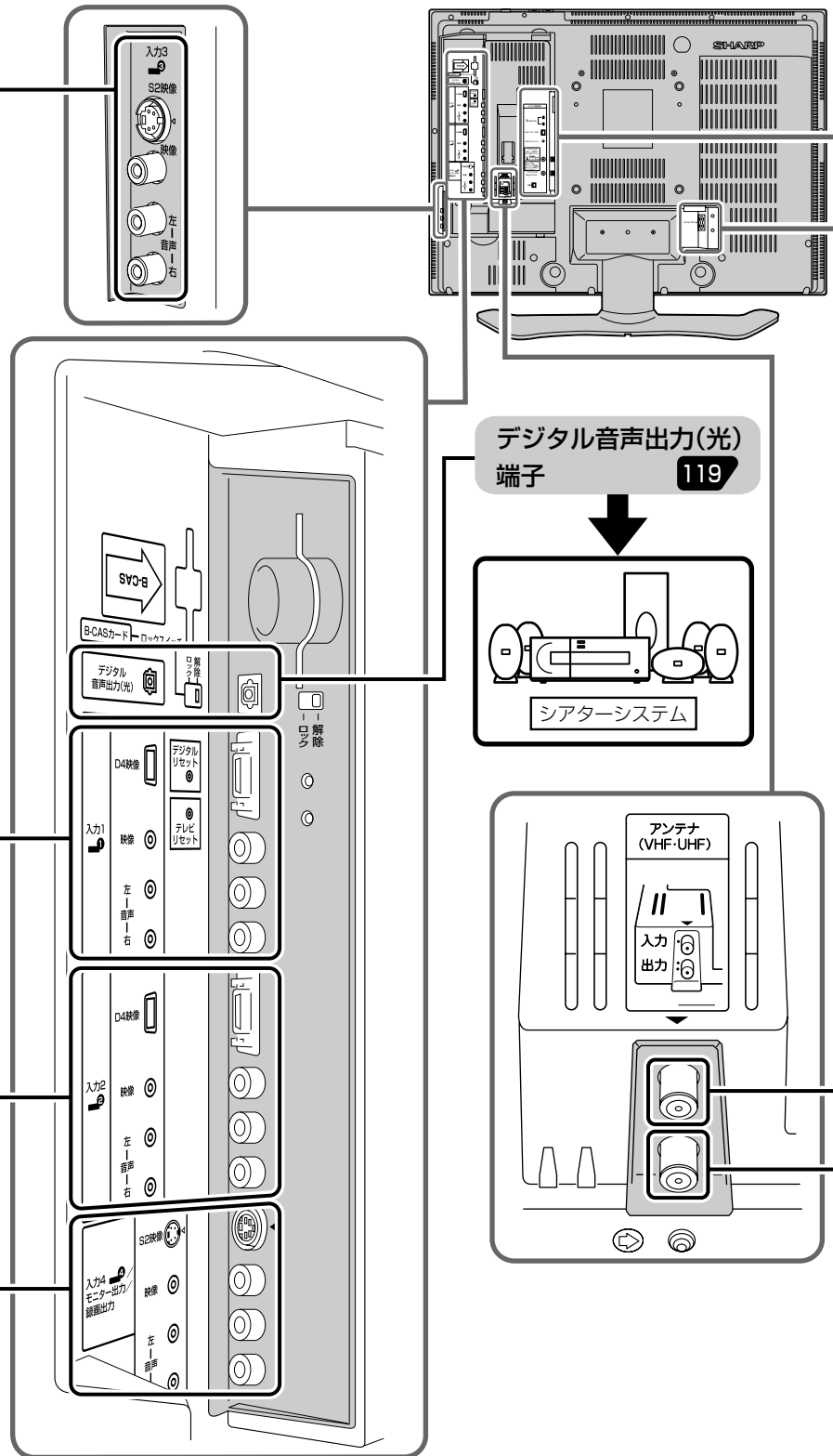
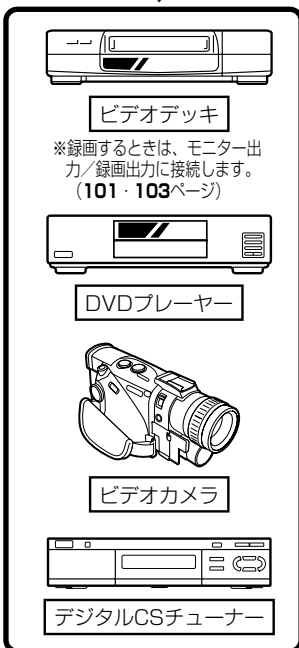
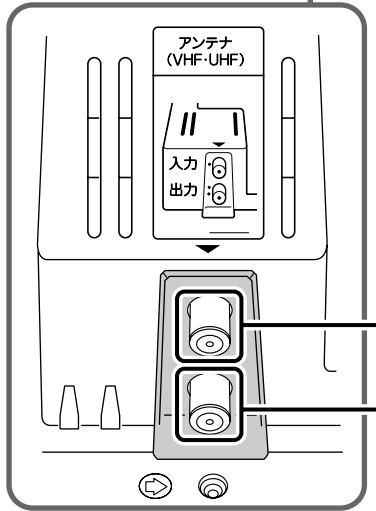
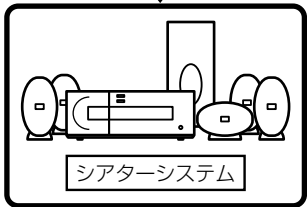
音響機器をつないで音声を楽しむ 118

デジタル音声出力（光）端子から録音する 119

デジタル音声出力（光）端子の設定 120

デジタル音声出力の設定 120

端子のなまえとはたらき

の中の数字は、接続方法や使いかたを説明しているおもなページです。

入力1・2のD4映像入力端子について

- 本機のD4映像入力端子は、D1(525i)、D2(525p)、D3(1125i)、D4(750p)の映像の入力に対応しています。

DVDを見たいとき、録画したいときなど目的に応じて、それぞれの説明ページをご覧ください。

i.LINK(TS)端子 109

- D-VHSビデオデッキ
- AV-HDDレコーダー
- Blu-ray Disc レコーダー

LAN端子(10BASE-T/100BASE-TX) 86

ハブまたはブロードバンドルーター

ビデオコントロール端子 106

ビデオコントローラー

BSアンテナケーブルをつなぐ

アンテナ入力(BS・110度CS)端子 1.準備編 17

BS・110度CS共用アンテナ

地上デジタルアンテナケーブルをつなぐ

アンテナ入力(地上デジタル)端子 1.準備編 16

電話線をつなぐ

電話回線端子 1.準備編 18

電源コードをつなぐ

電源コード接続部(AC入力 100V) 1.準備編 22

地上アンテナケーブルをつなぐ

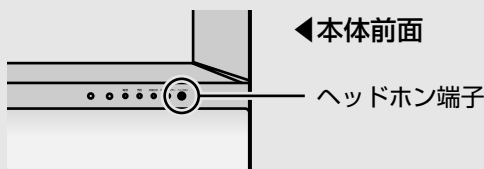
アンテナ入力(VHF・UHF)端子 1.準備編 16

アンテナ出力(VHF・UHF)端子 1.準備編 16

U/Vアンテナ

接続上のご注意

- ■ 接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため電源を切ってください。
- ■ 接続ケーブルのプラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続は、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- ■ 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っぱらずにプラグを持って抜きとってください。
- ■ 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源を切ってください。
- ■ 接続した機器と本機の画像や音にノイズや雑音が出るときは、お互いを十分に離してください。

ヘッドホン端子について

- ステレオミニプラグ(φ3.5mm)の付いたヘッドホンをご用意ください。
- ヘッドホンを使わないときは、必ず、ヘッドホン端子からプラグを抜いてください。
- ヘッドホン接続時は、スピーカーから音声が出ません。
- ヘッドホンを接続して音声を聴いているときは、音声調整(**39**ページ)の設定はできません。
- 入力ごとに別々の音量に設定できます。

ヘッドホン接続時の音量表示

30

端子のなまえとはたらき(つづき)

■本機背面には、外部ビデオ機器の再生映像を楽しんだり、本機が受信した放送番組を外部機器で録画・編集したりするための、いろいろな映像端子・音声端子があります。お手持ちの機器や接続ケーブル、および用途に適した端子をお使いください。

D4映像入力端子 (入力1・2)

- D端子ケーブルで外部機器を接続するときに使います。
- D4映像入力端子は、映像用の端子です。音声はそれぞれの音声入力端子(左／右)に接続します。
- メニュー設定により、画面サイズの判定方法を変えることができます。(**33**ページ参照)
- 本機のD4映像入力端子は、D1(525i)、D2(525p)、D3(1125i)、D4(750p)の映像の入力に対応しています。

S2映像入力端子 (入力3・4)

- S2映像入力端子は、ビデオ映像信号に比べ、より高画質な映像を再生することができるS映像信号用の端子です。接続にはS端子ケーブルを使います。
- S2映像入力端子は、映像用の端子です。音声はそれぞれの音声入力端子(左／右)に接続します。
- 入力4のS2映像端子を入力端子として使うときは、入力4端子設定を「入力」に設定します。(**104**ページ参照)
- 本機は、画面サイズ制御信号(フルモード制御信号、レターボックス制御信号)の入った映像がS2映像入力端子から入力されると、自動的に最適な画面サイズで映し出すように設定することができます。(**33**ページ参照)
- 本機のS2映像入力端子に外部機器のS映像出力端子を接続しても、映像を楽しむことができます。(S端子は、画面サイズ制御信号に対応していません。)

入力4／モニター出力／録画出力

※メニュー設定により、「モニター出力(固定または可変)」「録画出力」「入力」を切り換えて使います。(**104**ページ参照) 予約録画実行中、デジタル固定中は、「モニター出力(固定または可変)」に設定していても、「録画出力」になります。

■モニター出力(固定または可変)として使う場合

- D4映像入力端子から入力された映像信号は、モニター出力から出力されません。(音声は出力されます。)
- S2映像端子からは、入力3から入力されたS映像信号、またはデジタル放送の映像信号が出力されます。
- 「モニター出力(可変)」に設定しているとき、S2映像端子からデジタル放送の映像が出力されません。
- 入力3のS2映像端子から入力された映像信号は、モニター出力のビデオ映像端子からも出力されます。

■録画出力として使う場合

- デジタル放送を録画するときに使います。
- デジタル放送のハイビジョン画質(1125i)の映像は、標準画質(525i)に変換して出力します。
したがって、接続されたビデオデッキでは標準画質で録画されます。

デジタル音声出力(光)端子

- 本機では通常、デジタル音声出力の内容はモニター出力の音声出力と同じです。
- メニュー設定により、つねにデジタルチューナーの音声を出力するようにできます。(**120**ページ「**デジタル音声出力の設定**」をご覧ください。)

- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

入力切換えのしかた

入力切換メニューの操作方法

入力選択の設定について

- 接続されている映像用端子と、入力選択の設定で選択されている端子が異なり、映像が表示されない場合は、その旨のメッセージが画面に表示されます。このときは、外部機器を接続している入力の入力選択設定を行ってください。
（**99**ページ参照）

操作開始

1 入力切換 ○ **を押し、入力切換メニューを表示する**

- 入力切換メニュー表示中につぎの操作を行います。

2 ① 入力切換 ○ **または ▲ ▼ を押し、切り換えたい入力を選ぶ**

テレビ以外は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。

※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。（**104**ページ参照）

② 決定 **を押す**

- 決定ボタンを押さなくても、しばらくすると入力切換メニューは消えます。

操作終了

入力表示選択について

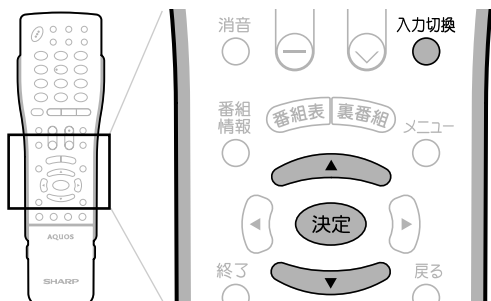
- 入力切換メニューに表示される❶❷❸❹の機器名称を、接続している外部機器に合わせて選択することができます。（**100**ページ参照）

- 入力切換えは、本体天面操作部の入力切換ボタンでも行うことができます。

電源 画面表示 オフタイマー いきいきボイス CATV 3桁入力 お好み選局／登録 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12 放送切換 地上A 地上D BS CS データ連動 音量 選局 テレビ/ラジオ/データ 消音 入力切換 番組情報 番組表 裏番組 メニュー 決定 終了 戻る 青 赤 緑 黄 AQUOS SHARP

ビデオ／DVD再生を楽しむ

ビデオデッキなどの再生映像を見る

■ 本機とビデオデッキの接続方法については、1.準備編 20ページをご覧ください。

［例］ 入力1に接続したビデオデッキの再生映像を見る

操作開始

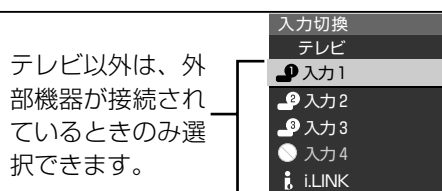
1 ビデオ機器の準備をする

① 本機背面の入力1にビデオデッキを接続し、電源を入れる
② 再生したいビデオテープを入れる

2 入力切換 を押し、入力切換メニューを表示する

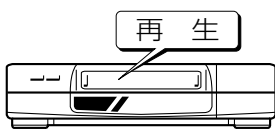
●入力切換メニュー表示中につぎの操作を行います。

3 ① 入力切換 または ▲ ▼ を押し、「入力1」を選ぶ

テレビ以外は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。

※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。（104ページ参照）

② 決定 を押す

●決定ボタンを押さなくても、しばらくすると入力切換メニューは消えます。

4 ビデオ機器を再生状態にする

操作終了

おしらせ

入力選択の設定について

● 接続されている映像用端子と、入力選択の設定で選択されている端子が異なり、映像が表示されない場合は、その旨のメッセージが画面に表示されます。このときは、外部機器を接続している入力の入力選択設定を行ってください。（99ページ参照）

高精細映像を楽しむ

■ 本体背面の入力1または入力2のD4映像端子にDVDプレーヤーなどの機器を接続して、より高画質の映像を楽しむことができます。
本機とDVDプレーヤーの接続方法については、1.準備編 21ページをご覧ください。

［例］ 入力2に接続したDVDプレーヤーの再生映像を見る

操作開始

1 DVDプレーヤーの準備をする

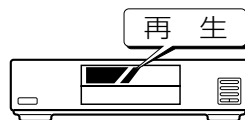
① 本機背面の入力2にDVDプレーヤーを接続し、電源を入れる
② 再生したいディスクを入れる

2 入力切換 を押し、入力切換メニューを表示する

3 入力切換 または ▲ ▼ を押し、「入力2」を選ぶ

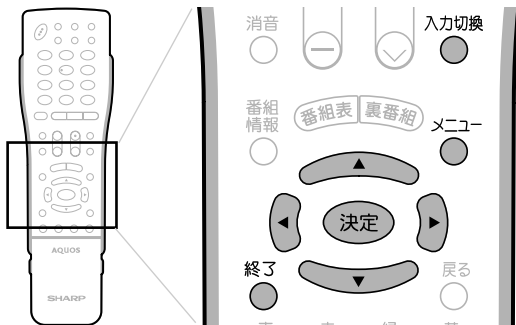
テレビ以外は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。

※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。（104ページ参照）

4 DVDプレーヤーを再生状態にする

操作終了

● 詳しくは、DVDプレーヤーの取扱説明書を併せてお読みください。
● 入力4端子設定（104ページ）を「モニター出力（固定または可変）」に設定した場合、D4映像端子から入力された映像信号は、モニター出力から出力されません。（音声は出力されます。）
● DVDプレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。ビデオデッキを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が正常に映らないことがあります。

入力選択の設定

■ 入力1～4に外部機器を接続しているとき、複数の映像用端子(例えば、入力1では「D4映像」「映像」の2種類)のどれを使用するかを設定することができます。
■ 工場出荷時の状態では、入力1～4は「自動」に設定されています。通常の使用方法の場合、特に設定を変更する必要はありません。

入力選択の項目について

■入力1～4のそれぞれにつき、選択できる入力項目はつぎのとおりです。

入力1
自動
D端子
ビデオ映像

入力2
自動
D端子
ビデオ映像

入力3
自動
S2映像
ビデオ映像

入力4
自動
S2映像
ビデオ映像

映像入力端子選択の優先順位について

● 入力1～4の入力選択を「自動」に設定したときは、つぎの優先順位で映像入力端子が選択されます。

入力1・入力2	D端子→ビデオ映像
入力3・入力4	S2映像→ビデオ映像

[例] 外部機器を入力1に接続しているとき、D4映像端子からの入力を選択する

操作開始

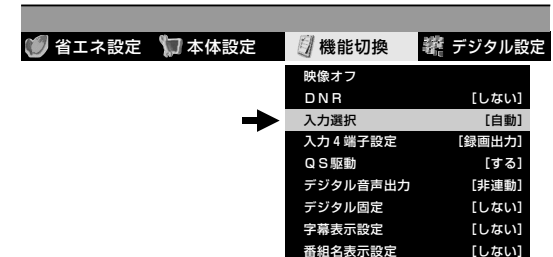
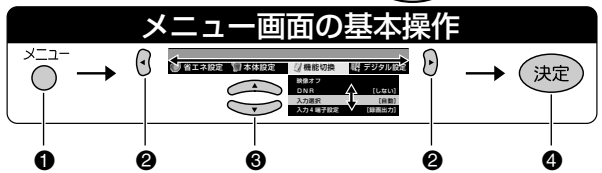
1 入力切換で「入力1」を選ぶ

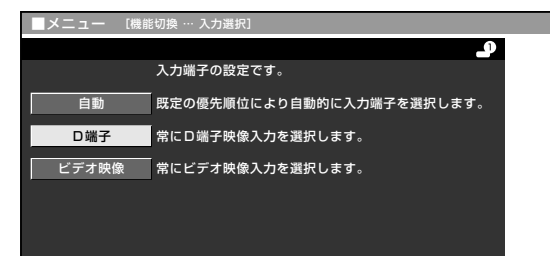
テレビ以外は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。

※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。(**104**ページ参照)

2 ❶メニュー画面から❷「機能切換」ー❸「入力選択」を選び、❹決定を押す

メニュー画面の基本操作

映像オフ	
DNR	[しない]
入力選択	[自動]
入力4端子設定	[録画出力]
QS駆動	[する]
デジタル音声出力	[非連動]
デジタル固定	[しない]
字幕表示設定	[しない]
番組名表示設定	[しない]

おしらせ
● テレビ入力およびi.LINK入力のとき、「入力選択」はメニューに表示されません。

3 ▲ ▼で「D端子」を選び、決定を押す

他の機器をつないで使う

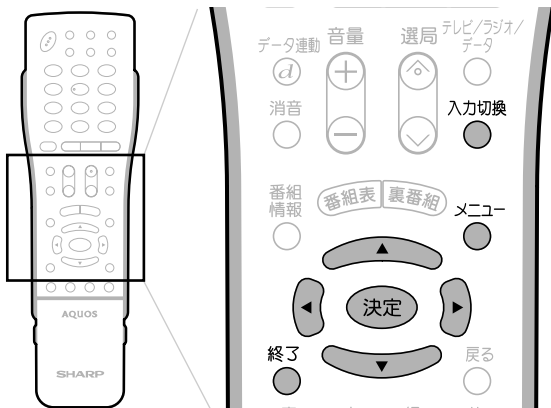
入力選択の設定 ビデオ/DVD再生を楽しむ

● 1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

操作終了する場合は ▶ メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

外部機器に表示を合わせる

入力表示を選択する

■ 入力1～4に接続している外部機器に合わせて、入力切換メニューや画面表示(チャンネルサイン)に表示される機器の名称を選択することができます。

入力表示選択できる名称

入力1

入力1	ビデオ1	ビデオ
コンポーネント1	コンポーネント	D端子1
D端子	CATV	CS
DVD	ゲーム	ムービー
D-VHS	HDD	DVR

入力2

入力2	ビデオ2	ビデオ
コンポーネント2	コンポーネント	D端子2
D端子	CATV	CS
DVD	ゲーム	ムービー
D-VHS	HDD	DVR

入力3

入力3	ビデオ3	ビデオ
CATV	CS	DVD
ゲーム	ムービー	D-VHS
HDD	DVR	

入力4

入力4	ビデオ4	ビデオ
CATV	CS	DVD
ゲーム	ムービー	D-VHS
HDD	DVR	

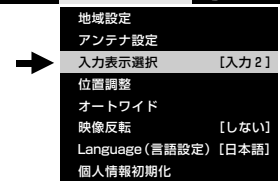
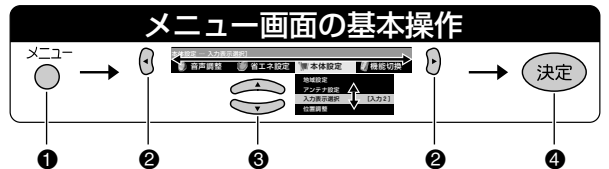
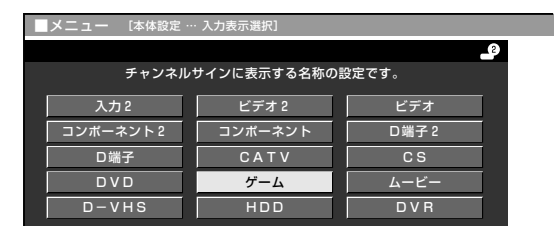
- テレビ入力およびi.LINK入力のとき、「入力表示選択」はメニューに表示されません。
- ゲーム機との接続について
  ゲームの種類の中で、ピストルを使ったシューティングゲームはできません。

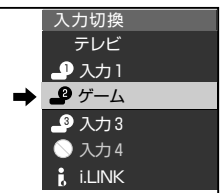
[例] 入力2の表示を「ゲーム」に変える

操作開始

1 入力切換 で「入力2」を選ぶ

※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。(**104**ページ参照)

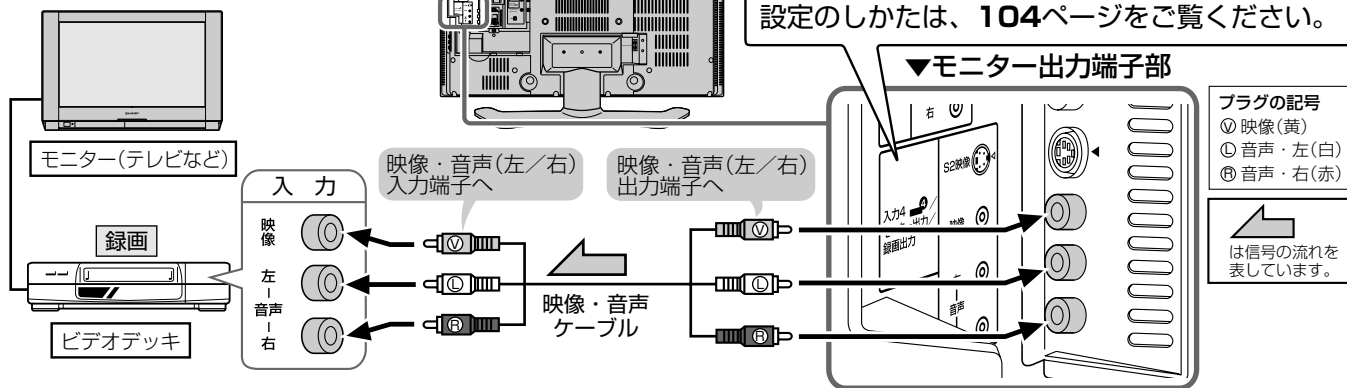
2 ❶メニュー画面から❷「本体設定」ー❸「入力表示選択」を選び、❹ 決定 を押す

3 ▲ ▼ ◀ ▶ で「ゲーム」を選び、決定 を押す

4 メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 入力切換ボタンを押すと、入力切換メニューに「❷ゲーム」が表示されます。

録画・編集

地上アナログ放送の番組を録画する

[例] 本機背面のモニター出力(「モニター出力(固定)」に設定)につないだビデオデッキで、地上アナログ放送の番組を録画する

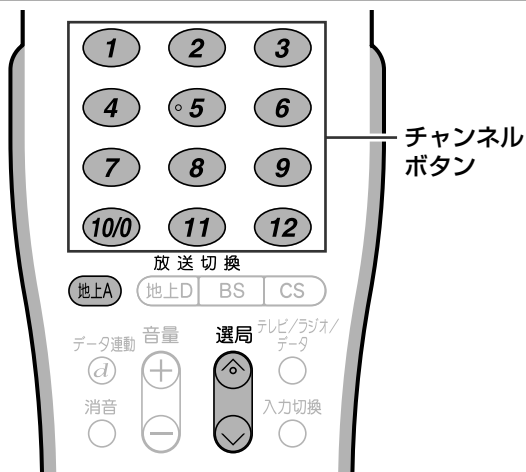
接続のしかた

※録画中の映像を確認したいときは、録画機器にモニターを接続します。

● 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。

モニター出力のS2映像端子について

- S2映像端子からは、地上アナログ放送(UHF/VHF)、ビデオ信号(通常の映像入力端子から入力された映像信号)が出力されません。
- 入力4端子設定を「モニター出力(可変)」に設定しているとき、S2映像端子からデジタル放送の映像が出力されません。

入力4をモニター出力(固定)に切り換える

入力4をモニター出力(固定)に切り換えるための「**入力4端子の設定**」を行ってください。(**104**ページ)

- 録画中にテレビチャンネルを変えると、モニター出力から出力される映像も変わります。
- 入力4端子設定(**104**ページ)を「モニター出力(固定または可変)」に設定した場合、D4映像端子から入力された映像信号は、モニター出力から出力されません。(音声は出力されます。)
- 接続する機器の操作については、機器の取扱説明書をご覧ください。
- あなたが録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

[例] 地上アナログ放送の6チャンネルの番組を録画する

操作開始

1 録画機器の準備をする

① 本機背面のモニター出力※に録画機器(ビデオデッキなど)を接続し、電源を入れる

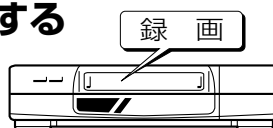
※S2映像端子からは映像信号が出力されませんので、ビデオ映像端子をお使いください。

② 録画機器の入力切換えを「外部入力」に切り換える

③ 録画可能なビデオテープを入れる

2 ① 地上A を押し、地上アナログ放送を選ぶ

② チャンネルボタン 6 または 選局 で、6チャンネルを選ぶ

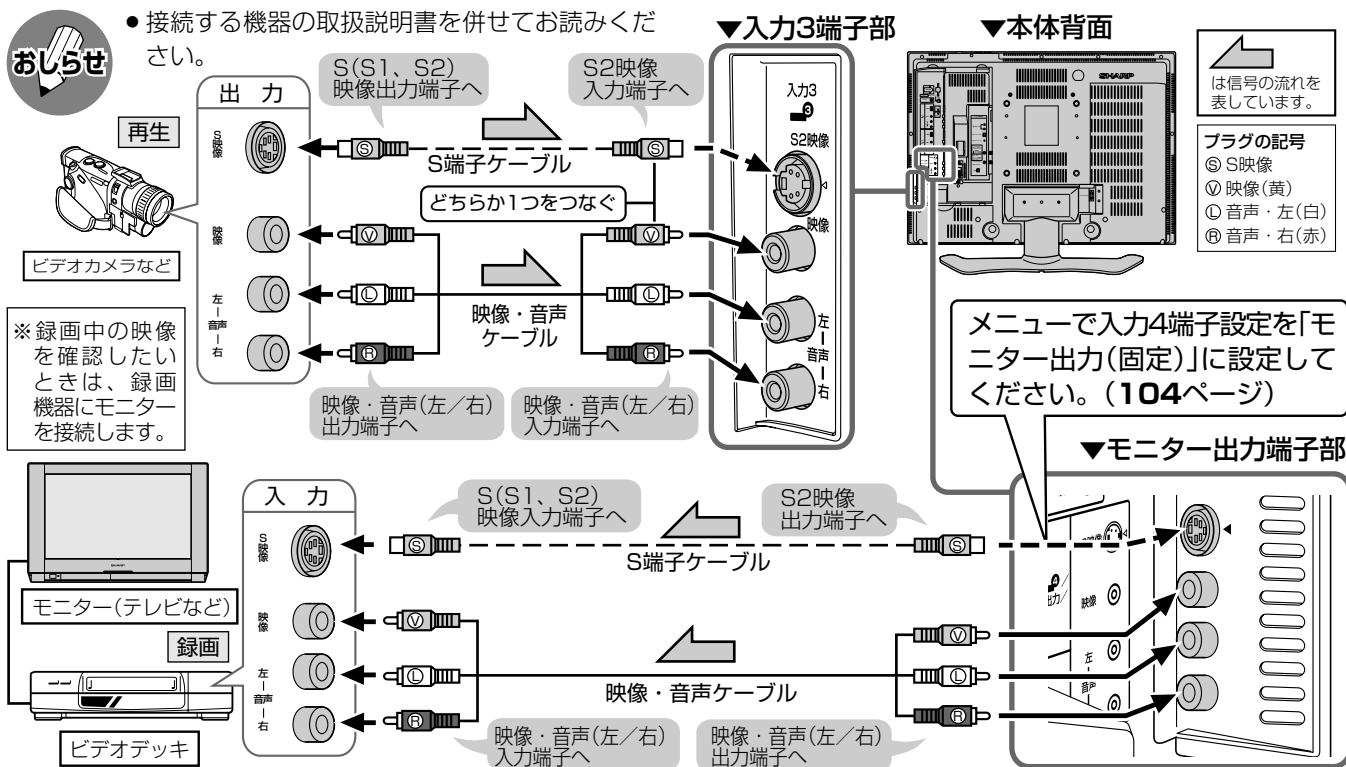
3 録画機器(ビデオデッキなど)を録画状態にする

操作終了

録画・編集(つづき)

ビデオカメラなどの映像を録画・編集する

[例] 本機背面の入力3に接続したビデオカメラの映像を、モニター出力(「モニター出力(固定)」に設定)につないだビデオデッキに録画する

接続のしかた

おしらせ
- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。

入力4をモニター出力(固定)に切り換える

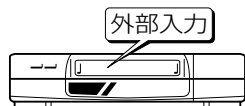
入力4をモニター出力(固定)に切り換えるための「入力4端子の設定」を行ってください。(**104**ページ)

操作開始

1 入力切換 ◯ で「入力3」を選ぶ

テレビ以外は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。

※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。(**104**ページ参照)

2 モニター出力に接続しているビデオデッキの入力切換を「外部入力」にする

3 入力3に接続したビデオカメラを再生状態にする

4 モニター出力に接続しているビデオデッキを録画状態にする

操作終了

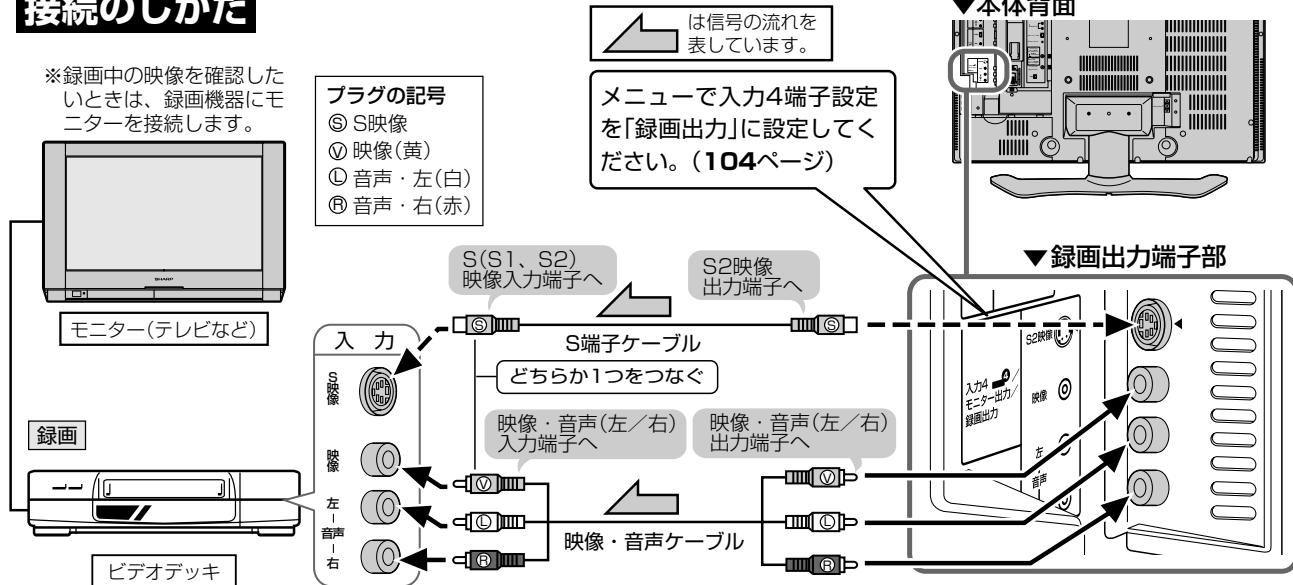
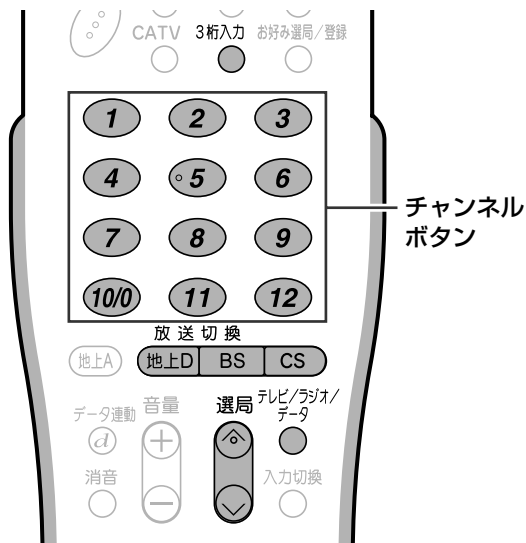
おしらせ
- 接続する機器の操作については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 入力4端子設定(**104**ページ)を「モニター出力(固定または可変)」に設定した場合、D4映像端子から入力された映像信号は、モニター出力から出力されません。(音声は出力されます。)
- あなたが録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

視聴中のデジタル放送をビデオデッキに録画する

■ 本機背面の録画出力(「録画出力」に設定)にビデオデッキなどの録画機器を接続して、デジタル放送を録画することができます。

① デジタル放送は、チャンネルを固定して録画することができます。(デジタル固定…**105**ページ)

② デジタル放送は、ビデオコントローラーで予約録画することができます。(ビデオ連動録画…**106**ページ)

接続のしかた

- 録画出力(「録画出力」に設定時)からは、デジタル放送のハイビジョン画質(1125i)の映像を標準画質(525i)に変換して出力します。したがって、接続されたビデオデッキでは標準画質で録画されます。
- ハイビジョン画質で録画するときは、D-VHSビデオデッキなどのi.LINK機器をi.LINK接続して行ってください。(**109**～**113**ページ参照)
- 番組により、録画・録音が制限されている場合などがあります。

[例] NHK BS1の番組を録画するとき

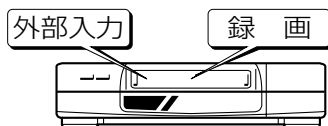
操作開始

1

① BS を押し、BSデジタル放送(テレビ)を受信する

② チャンネルボタン 1 を押し、NHK BS1を選局する

2

ビデオデッキを外部入力に切り換え、録画状態にする

操作終了

- デジタル放送を録画しながら、地上アナログ放送などの裏番組を見るときは、デジタル固定を「する」に設定します。(**105**ページ参照)
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録画・編集(つづき)

入力4端子の設定

■ 本機背面の入力4／モニター出力／録画出力に再生機器を接続してビデオなどを再生したり、録画機器を接続して放送番組などを録画するとき、用途に合わせて端子の設定をすることが必要です。

「録画出力」……デジタル放送を録画するときに選びます。(工場出荷時の設定)

「モニター出力(固定)」…音声出力端子から出力される音量レベルは一定で、スピーカーの音量を調整しても端子の出力レベルは変化しません。

画面の音量表示

30

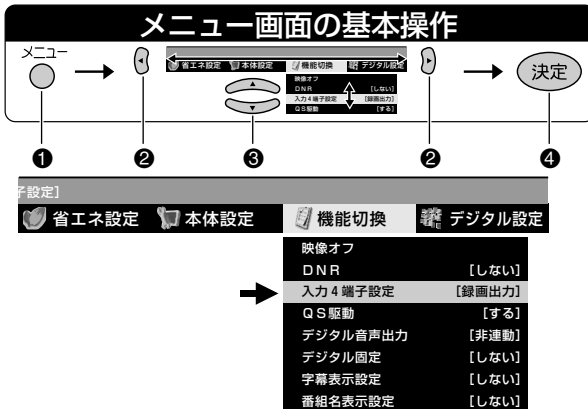
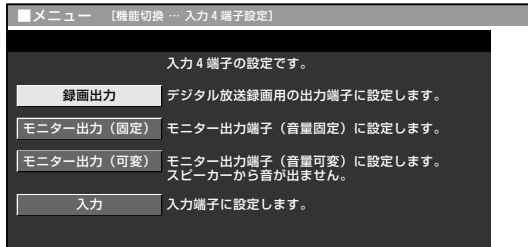
「モニター出力(可変)」…スピーカーからは音声が出ません。音声出力端子から出力される音量レベルを、音量ボタンで調整することができます。

画面の音量表示

30

「入力」……ビデオ再生機器をつなぐなど、入力端子として使うときに選びます。

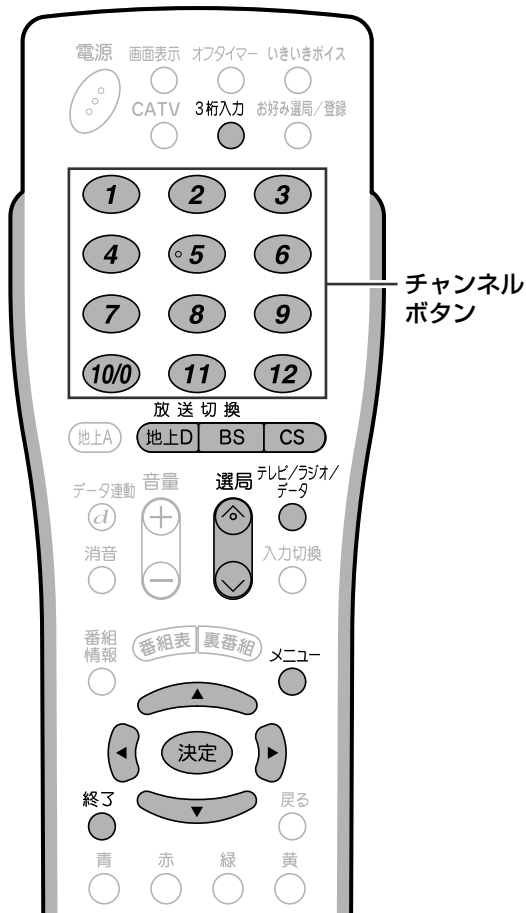
操作開始

1 **❶メニュー画面から❷「機能切換」ー❸「入力4端子設定」を選び、❹(決定)を押す**

2 **(▲)(▼)で「録画出力」「モニター出力(固定)」「モニター出力(可変)」「入力」のいずれかを選び、(決定)を押す**

- 「モニター出力(可変)」に設定し、モニター音声出力レベルを調整する場合は、スピーカーの音量を変えるときと同じように、音量(大／小)ボタンで調整します。
- 「モニター出力(固定)」「モニター出力(可変)」のいずれを選んだ場合でも、ヘッドホン端子からの音声出力は可能です。
- 予約録画実行中、デジタル固定中は、「モニター出力(固定または可変)」に設定していても、「録画出力」になります。
- 「モニター出力(可変)」に設定しているとき、音声調整の設定はできません。
- 「モニター出力(可変)」に設定しているときは、モニター出力のS2映像端子からデジタル放送の映像が出力されません。

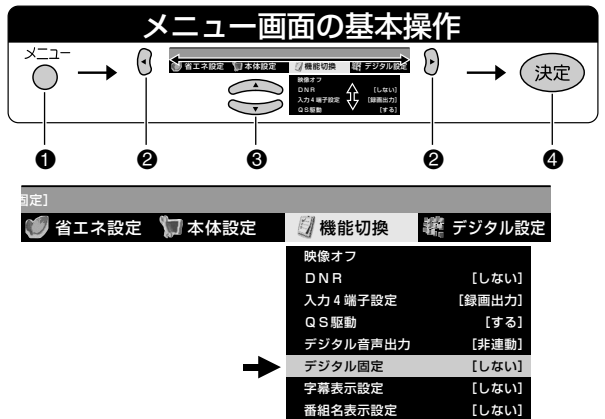
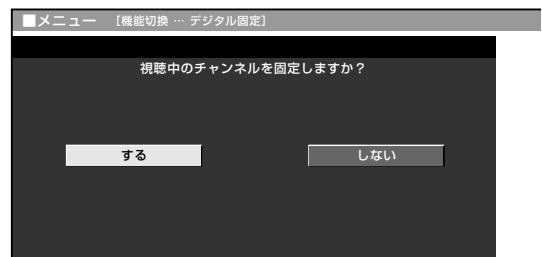
● 1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

操作終了する場合は ▶ (メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す

デジタル固定の設定

■「デジタル固定」とは、現在受信しているデジタル放送のチャンネルに固定する機能です。デジタル放送の番組を録画しているとき、誤ってチャンネルを変えてしまうのを防ぐことができます。また、電源待機状態でデジタル放送の番組を録画したり、デジタル放送の番組を録画しながら地上アナログ放送やCATV放送の裏番組を視聴したりすることができます。

操作開始

1 固定したいデジタル放送のチャンネルを選局する

2 ❶メニュー画面から❷「機能切換」ー❸「デジタル固定」を選び、❹決定を押す

3 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

- デジタル固定中に録画・視聴予約時間の2分前になると、デジタル固定が自動的に解除されます。
- 予約録画実行中やi.LINK入力時には、デジタル固定にすることができません。
- デジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「デジタル固定」または「ビデオ連動録画」(**106**ページ)で録画することをおすすめします。
- デジタル固定時には、録画出力の切り換わりを防ぐため、つぎの操作ができません。
  - デジタル放送の選局や電子番組表の表示など。
  - デジタル関連のメニュー操作。
  - i.LINK操作パネルの表示。
  - 「i.LINK」への入力切換え。
- デジタル固定を「する」に設定しているときは、リモコンで電源を「切」(電源待機状態)にしても、録画出力からデジタル放送の映像・音声が出力されますので、録画を続けることができます。

● 1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

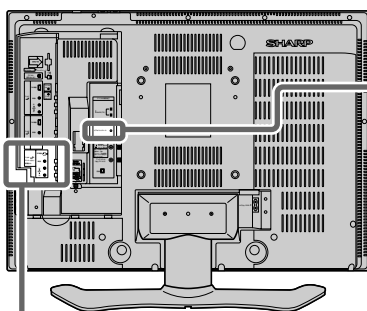
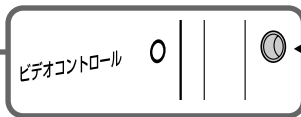
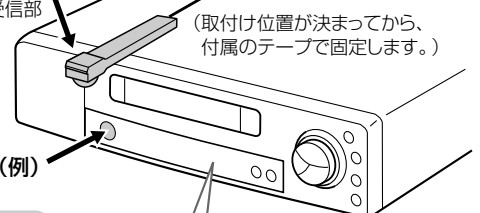
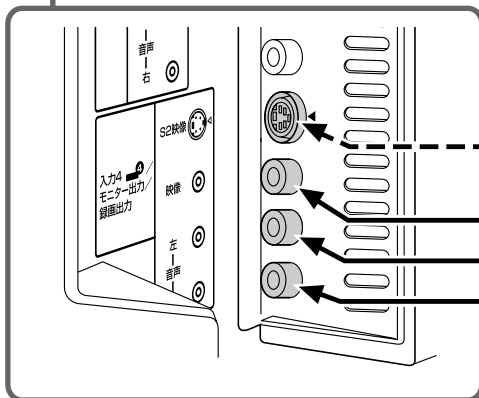
操作終了する場合は ▶ メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

録画・編集(つづき)

ビデオコントローラーを使って予約する(ビデオ連動録画)

ビデオコントローラーを使うと、予約した時刻にビデオコントローラーからビデオデッキにリモコン信号が送信され、ビデオデッキの電源の入／切や録画の開始／停止を行い、本機の予約機能と連動してデジタル放送の番組を録画(ビデオ連動録画)することができます。この場合、ビデオデッキの予約設定は必要ありません。

※ ビデオデッキの機種によっては、リモコン信号が異なるため動作しない場合があります。そのときは、ビデオコントローラーは使用できません。また、ビデオデッキ内蔵型テレビにも録画できません。

接続のしかた（ビデオコントローラーと映像・音声ケーブルをつなぎます）

機種番号について

■ メーカーにより複数のリモコン信号を採用しており、つぎの機種番号で区分されます。

メーカー	機種番号
シャープ	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
アイワ	1, 2, 3, 4
NEC	1, 2, 3, 4
サンヨー	1, 2, 3, 4
ソニー	1, 2, 3, 4, 5, 6
東芝	1, 2, 3, 4, 5, 6
ビクター	1, 2, 3, 4
日立	1, 2, 3
フナイ	1
松下	1, 2, 3, 4, 5, 6
三菱	1, 2, 3, 4
パイオニア	1, 2, 3

工場出荷時の設定：未設定

※入力4端子の設定について

- ビデオ連動録画をするときは、メニューで入力4端子設定を「録画出力」に設定してください。（**104**ページ）

ビデオコントローラー取付けの際のご注意

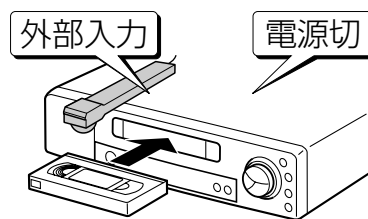
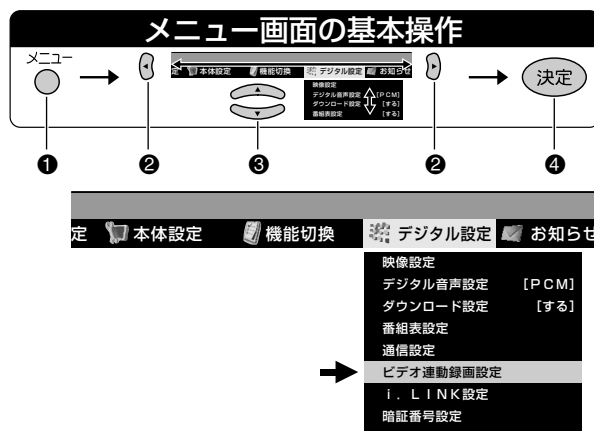
- リモコン受信部の位置は、ビデオデッキのメーカーや機種によって異なります。一般的には、液晶表示部に隣接して丸いものがうすく見えます。
- ビデオコントローラーの発信部がビデオデッキのリモコン受信部に確実に向いていることをご確認ください。
- ビデオコントローラーを取り付けるときは、はじめから任意の位置に固定しないで、**107**～**108**ページ「ビデオ連動録画の設定」のテストでビデオデッキの電源が「入」になる位置を探し、その位置に固定してください。

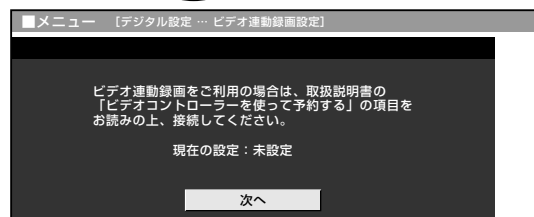
- ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみで、つぎに予約するときは、必要ありません。
- ビデオ連動録画できるのは、デジタル放送のみです。地上アナログ放送、CATV放送などはビデオ連動録画ができません。
- 録画出力信号について
  ビデオ連動録画設定で、リモコン信号が異なり動作しない場合でも、録画出力端子からは、映像と音声信号が出力されます。(この場合は録画する機器側で録画予約設定を行ってください。)

ビデオ連動録画の設定

操作開始

1 ビデオデッキの準備をする

① 本機につなぐ(**106**ページ参照)
② ビデオコントローラーを取り付ける(**106**ページ参照)
③ 外部入力に切り換える
④ 録画用ビデオテープを入れる
⑤ 電源を「切」にする

2 ❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「ビデオ連動録画設定」を選び、❹(決定)を押す

- 「ビデオ連動録画設定」の確認画面が表示されます。

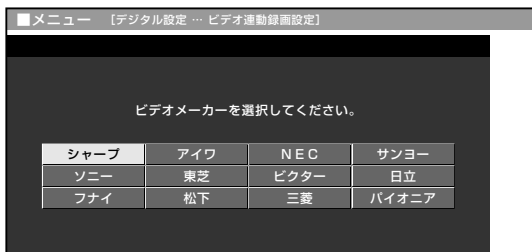
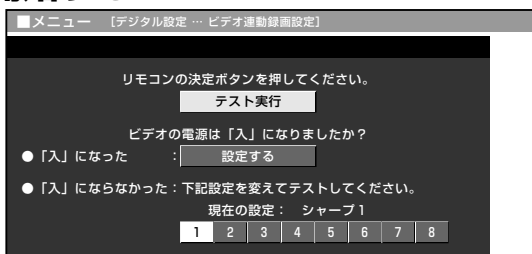
3 ① ビデオコントローラーの接続を確認する
② 「次へ」で(決定)を押す

次ページへ

次ページへつづく

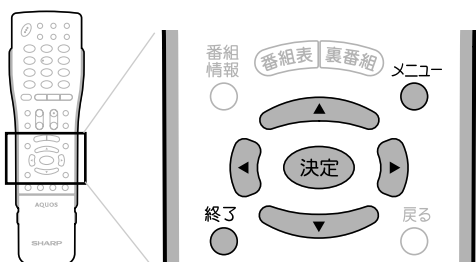
- 1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

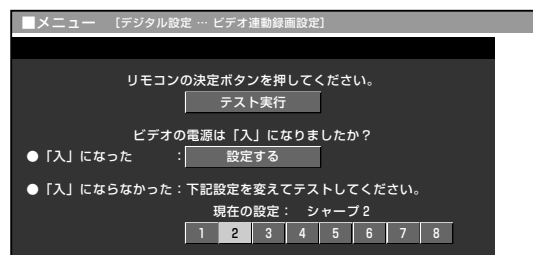
操作終了する場合は ▶ (メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す

録画・編集(つづき)

4 お使いのビデオデッキのメーカーを ▲ ▼ ◀ ▶ で選び、決定を押す

5 「テスト実行」で決定を押し、テストを開始する

テストの結果

- ビデオデッキの電源が「入」になったとき(正常)
  ⇨ 手順**8**に進みます。
- ビデオデッキの電源が「入」にならなかったとき
  ⇨ ビデオデッキの接続、ビデオコントローラーの取付け、メーカーを確認し、手順**6**に進みます。

- ビデオコントローラーの取付け位置が適切でないために、ビデオデッキの電源が「入」にならないことがあります。その場合は、手順**5**〜**7**でテストをくり返しながらビデオデッキの電源が「入」になる位置を見つけ、その位置にビデオコントローラーを固定してください。

6 ① ▼でカーソルを機種番号の欄に移動する ② ◀ ▶でメーカーの機種番号を選び、決定を押す

- **106**ページ左下にある「機種番号について」の表を参考に機種番号を選んでください。機種番号が複数あるメーカーの場合は、お使いのビデオデッキが操作できるようになるまで手順**6**・**7**をくり返してください。

7 決定を押し、テストを実行する

8 ① ビデオデッキの電源が「入」になったことを確認する ② 「設定する」で決定を押す

- これでビデオ連動録画の設定は完了です。

設定が終了したら、再度ビデオデッキの電源を「切」にします。

- 予約した時刻になると、ビデオデッキの電源が入り、録画が開始されます。
- 録画予約のしかたについては、**61**〜**68**ページをご覧ください。

- ビデオコントローラーのテストで、どの機種番号を選んでもビデオデッキの電源が「入」にならない場合は、ビデオコントローラーの発信部がビデオデッキのリモコン受信部に確実に向いているか、再度ご確認ください。
- ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみで、つぎに予約するときは、必要ありません。

- 1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

操作終了する場合は ▶ メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

i.LINK対応録画機器をつなぐ

i.LINK(アイリンク)について

■ i.LINKとは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースで、i.LINKケーブル1本で接続することができます。
i.LINKは、IEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際標準規格です。現在、100Mbps/200Mbps/400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100/S200/S400と表示されます。本機では最大400Mbpsの転送速度が可能です。

本機に接続できるi.LINK機器について

■ 本機が対応しているi.LINK機器
- D-VHSビデオデッキ(D-VHS)　●AV-HDDレコーダー(AV-HDD)
- Blu-ray Discレコーダー(BD)

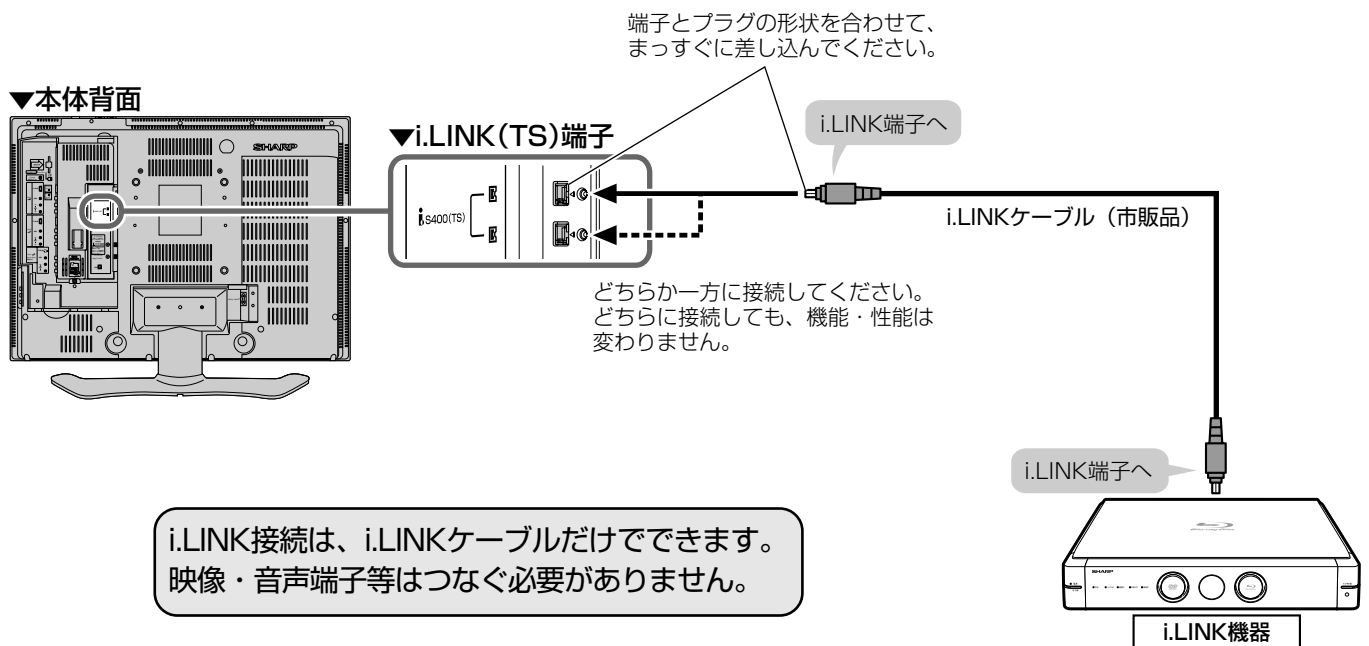
※ 上記のi.LINK機器でも、機器によっては機器の認識やコントロール、録画や再生ができない場合があります。
※ DVDレコーダーやデジタルビデオカメラ等のDV機器、PC(パソコン)、PC周辺機器などは、仕様が異なりますので接続できません。

i.LINKで録画できる内容について

■ 本機とi.LINK機器をi.LINK接続して録画できるのは、**デジタル放送のみ**です。それ以外のテレビ(地上アナログ放送)、外部入力(入力1～4)は、i.LINK録画ができません。

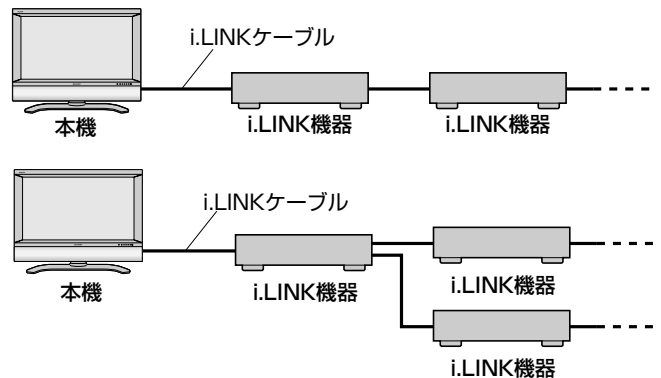
i.LINK接続のしかた

[例] 接続するi.LINK機器が1台の場合

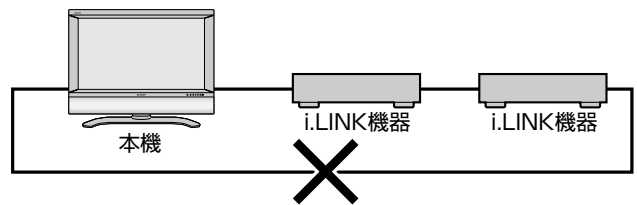
次ページへつづく

i.LINK対応録画機器をつなぐ(つづき)

i.LINK機器(D-VHS／AV-HDD／BD)が2台以上のとき

■ i.LINKケーブルを使い、デイジー・チェーン(数珠つなぎ)で接続します。この接続では、i.LINK機器を最大16台までつなぐことができます。

■ i.LINK端子が3つ以上ある機器の場合は、分岐をしてつなぐこともできます。分岐接続する場合は、i.LINK機器を最大62台までつなぐことができます。

接続に関するご注意

- 接続の際は、「S400」タイプのi.LINKケーブルをご使用ください。
- 一部のi.LINK機器では、その機器の電源が切られているとデータを中継できない場合があります。この場合は、その機器を終端に接続してください。

- 図のようなループ(輪)接続をしないでください。
- i.LINK機能使用中は、使用していないi.LINK機器であっても、ケーブルを抜いたり、電源を切ったりしないでください。映像・音声が乱れることがあります。
- DVDレコーダーやデジタルビデオカメラ等のDV機器、PC(パソコン)、PC周辺機器など、本機が対応していない機器を同時に接続していると、誤動作することがあります。
- 接続したi.LINK機器の認識やコントロール、録画・再生が正しくできなくなったときは、i.LINKケーブルの抜き差しを行うことで、復帰する場合があります。
- 複数のi.LINK機器を接続して使用する場合、接続機器の仕様や相互接続性により、動作が安定しない場合があります。この場合、使用していない機器の接続を外したり、接続のしかたを変更すると安定する場合があります。

i.LINK機器を操作するための準備

1 本機のi.LINK端子にi.LINK機器を接続する

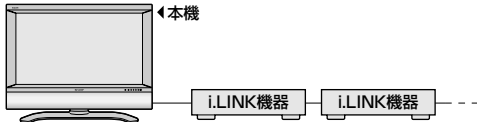
2 i.LINK機器の電源を入れる

3 本機の電源を入れる

4 操作する i.LINK機器を選ぶ

- 詳しくは、**112**ページの「i.LINK機器の選択」をご覧ください。

i.LINK設定を行う

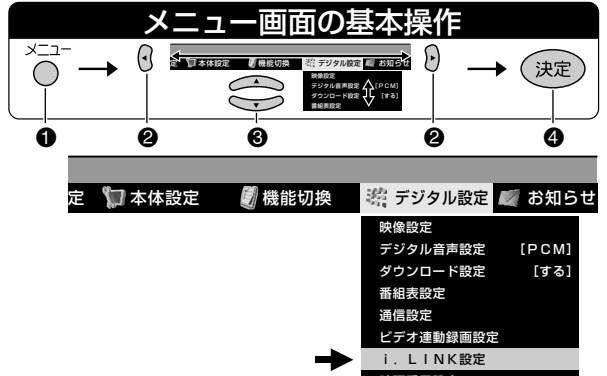
- 複数のi.LINK機器をi.LINKケーブルで接続した場合、本機の「電源待機設定」を「しない」に設定して電源を待機状態(電源ランプ赤色点灯)にすると、本機を中継して接続されているi.LINK機器間のデータのやりとりができなくなります。本機をi.LINK機器の中間に接続している場合は、本機の「電源待機設定」を「する」に設定するか、下図のように本機をi.LINK機器の末端に接続してください。

- 現在発売されているi.LINK機器のほとんどは、記録している映像・音声の伝送レートを自動認識し録画モードを制御するため、**本機の「録画モード設定」は通常「しない」に設定してください。**
- i.LINK機器の種類や、i.LINK機器で記録しようとしている放送の内容によっては、本機から録画モードを正常に制御できない場合があります。この場合は、本機の「録画モード設定」を「しない」に設定してください。
- 本機の電源が待機状態(電源ランプ赤色点灯)のときは、外部機器からのi.LINK制御コマンドを受けつけることができません。これは「電源待機設定」を「する」に設定しても同じです。外部機器から本機をi.LINK制御する場合は、本機の電源を「入」(電源ランプ緑色点灯)にしてから行ってください。

フタを開けたところ

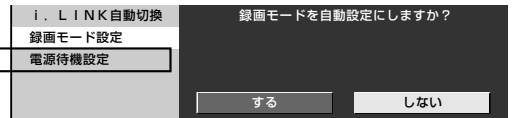
録画モードの設定

- 本機には、録画時にi.LINK機器の録画モードを自動的に制御する機能があり、その機能を有効に「する」か「しない」かを選ぶことができます。

操作開始

1 **❶メニュー画面から❷「デジタル設定」－❸「i.LINK設定」を選び、❹(決定)を押す**

2 **① (▲)(▼)で「録画モード設定」を選び、(決定)を押す**

② (◀)(▶)で「する」または「しない」を選び、(決定)を押す

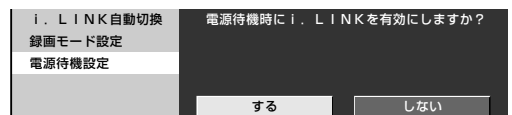
- 通常は「しない」に設定します。

i.LINK電源待機の設定

- 本機では、i.LINK電源待機の設定により電源待機時の消費電力を少なくすることができます。
- i.LINK機器を接続していない場合は、消費電力が小さくなる「しない」を選択してください。

① (▲)(▼)で「電源待機設定」を選び、(決定)を押す

② (◀)(▶)で「する」または「しない」を選び、(決定)を押す

「する」……電源待機時にもi.LINK回路を通電し、データの中継ができるようにします。

「しない」…電源待機時の消費電力を少なくします。ただし、データの中継はできません。

- 1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

操作終了する場合は ▶ (メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す

i.LINK対応録画機器をつなぐ(つづき)

i.LINK機器の選択と解除

■ i.LINK機器を選択したり解除するには、機器選択画面から操作を選びます。

i.LINK機器の選択

- 本機からi.LINK機器を操作するためには、使用するi.LINK機器を選択する必要があります。
- 最大16台のi.LINK機器から、使用する1台を選択できます。
- 接続されたi.LINK機器は、自動的に機器選択画面のリストに登録されます。

操作開始

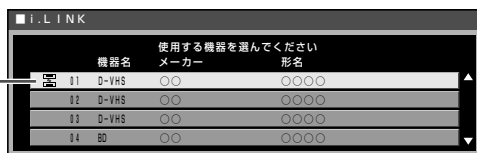
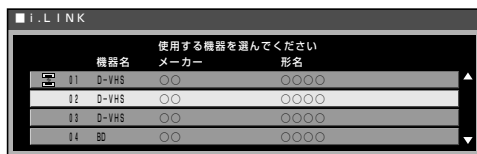
1 i.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する

- i.LINK機器が1台も接続されていないときは、「操作できるi.LINK機器がありません。」のメッセージが表示されます。機器を接続してください。(**109**ページ参照)
- i.LINK機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順**3**に進んでください。

2 ▲ ▼ ◀▶で「機器選択」を選び、決定を押す

- 機器選択画面が表示されます。

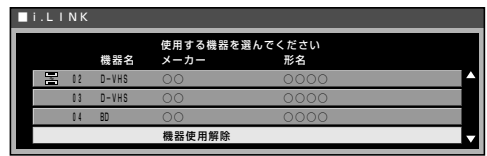
現在選択されている機器

機器名	メーカー	形名
01 D-VHS	○○	○○○○
02 D-VHS	○○	○○○○
03 D-VHS	○○	○○○○
04 BD	○○	○○○○

3 操作したい機器を▲ ▼で選び、決定を押す

- 選んだi.LINK機器の操作パネルが表示されます。

i.LINK機器の使用解除

- 登録されたi.LINK機器の使用を解除できます。
- i.LINK機器の使用を解除することにより、その機器を別のi.LINK機器から使用できるようになります。

① **「i.LINK機器の選択」の手順1•2を行う**

② **▼で、リストの一番下にある「機器使用解除」を選び、決定を押す**

- i.LINK機器の使用が解除されます。

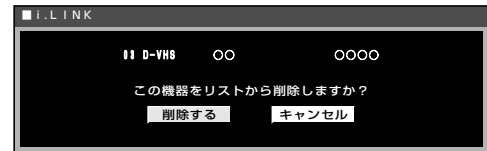
- 本機で使用しているi.LINK機器を他のi.LINK機器で使用するためには、本機の機器選択画面から「機器使用解除」を行ってください。

i.LINK機器の登録削除

- 機器選択画面に登録されているi.LINK機器を、リストから削除できます。
- 接続されているi.LINK機器は、削除できません。

① **「i.LINK機器の選択」の手順1•2を行う**

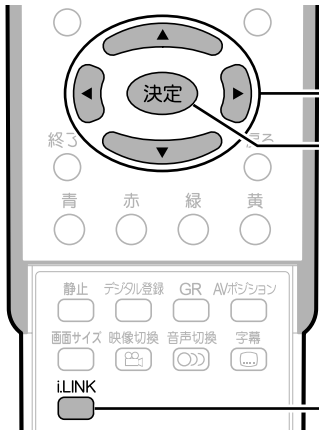
② **削除したいi.LINK機器を▲ ▼で選び、決定を押す**

③ **◀で「削除する」を選び、決定を押す**

- 選んだi.LINK機器がリストから削除されます。
- 削除しないときは、「キャンセル」を選んで決定ボタンを押します。

- 本機で使用することができない機器は、機器選択画面のリストに表示されません。
- 接続したi.LINK機器によっては、メーカー名や機器名が正しく表示されないことがあります。
  接続したi.LINK機器のメーカー名や機器名が正しく表示されない場合は、i.LINKケーブルを抜き、「i.LINK機器の登録削除」の手順により、一度登録されているi.LINK機器を削除してからi.LINKケーブルを接続し直してください。
- 機器選択画面のリスト項目に⊘マークがついて暗くなっているi.LINK機器は、接続されていないなど、本機が認識できない状態を示しています。このような機器は使用する機器として選択することができません。

基本操作

i.LINK機器の操作のしかた

フタを開けたところ

■ i.LINKに対応した録画機器の操作ができます。画面にi.LINK操作パネルを表示させ、パネル上のボタンで操作します。
■ 操作を始める前に、**111**ページの「**i.LINK設定を行う**」を済ませておいてください。
■ 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

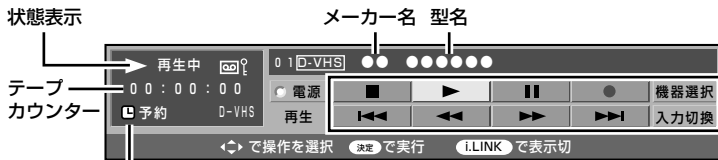
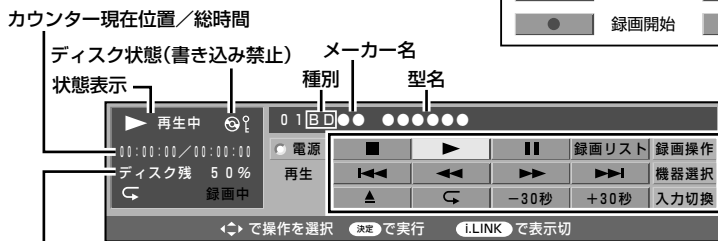
1 i.LINKボタンを押し、i.LINK操作パネルを表示する

● 操作パネルを終了するときも、このボタンを押します。

2 操作したい機能をカーソルボタンで選ぶ

3 決定ボタンを押し、選んだ機能を実行する

i.LINK操作パネルの見かた

▼操作ボタンの機能（D-VHS）

ボタン	機能	ボタン	機能	ボタン	機能
■	停止	I◀◀	1つ前に戻って頭出し	機器選択	機器選択画面へ
▶	再生	◀◀	巻戻し	入力切換	入力切換え i.LINK入力とその前の画面（テレビまたは外部入力）との切換えに使用します。
II	一時停止	▶▶	早送り		
●	録画開始	▶▶I	1つ先に進んで頭出し	電源	電源の入／切

▼操作ボタンの機能（AV-HDD・BD）

ボタン	機能	ボタン	機能	ボタン	機能	ボタン	機能
■	停止	I◀◀	1つ前に戻って頭出し	▲	イジェクト（BDの場合のみ、AV-HDDは非表示）	機器選択	機器選択画面へ
▶	再生	◀◀	早送り再生（押すごとに早さが変わります）	↻	リピート設定（リピート状態では再生状態のときに1つの番組を繰り返し再生します）	入力切換	入力切換え i.LINK入力とその前の画面（テレビまたは外部入力）との切換えに使用します。
II	一時停止	▶▶	巻戻し再生（押すごとに早さが変わります）	－30秒	30秒後戻し	録画操作	録画操作パネルへ
録画リスト	録画リスト画面へ	▶▶I	1つ先に進んで頭出し	＋30秒	30秒先送り	電源	電源の入／切

録画中表示：録画中の再生操作パネルで表示されます。

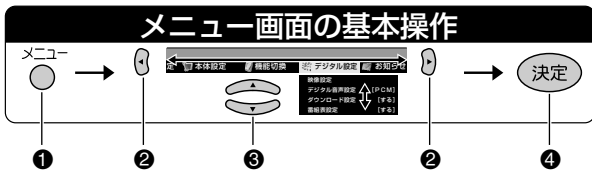
● IEEE1394は、米国電子電気技術者協会(IEEE)によって標準化された国際標準規格です。
● i.LINK(アイリンク)とi.LINKロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
● 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。

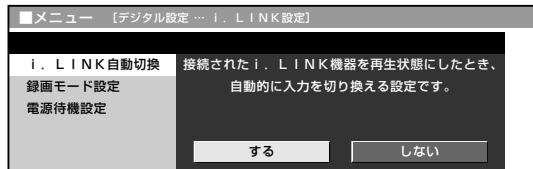
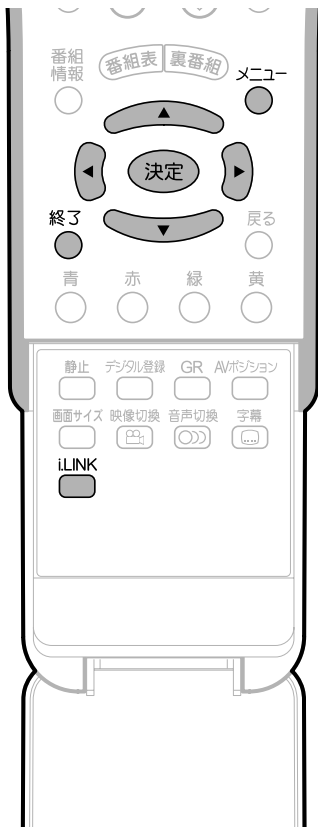
i.LINK対応録画機器をつなぐ(つづき)

i.LINK自動切換の設定

■ i.LINKで接続した録画機器を再生状態にしたとき、自動的に入力が「i.LINK」に切り換わるように設定することができます。

操作開始

① **❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「i.LINK設定」を選び、❹決定を押す**

② **▲▼で「i.LINK自動切換」を選び、決定を押す**

③ **◀▶で「する」を選び、決定を押す**

フタを開けたところ

D-VHSビデオデッキでデジタル放送を録画する

■ 以下の操作をする前に、**111**ページの「**i.LINK設定を行う**」を済ませてください。
■ 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

操作開始

1 **録画したいデジタル放送の番組を選局する**

2 **i.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する**

3 **▲▼◀▶で ● （録画ボタン)を選び、決定を押す**

●録画が開始します。

●録画を止めるときは、 ■ （停止ボタン)を選んで決定ボタンを押します。

操作終了

● 録画中は、入力切換ボタンで「i.LINK」を選ぶことはできません。

D-VHSビデオデッキで録画した番組を再生する

操作開始

1 **i.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する**

次ページへ

● 1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

操作終了する場合は ▶ **メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す**

2 開始地点まで巻き戻し、 で（再生ボタン）を選び、決定を押す

- 再生が開始します。
- 再生中に特殊再生するときは、▶▶（早送りボタン）、◀◀（巻戻しボタン）、II（一時停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。
- 停止するときは、■（停止ボタン）を選んで決定ボタンを押します。

D-VHSビデオデッキの録画、再生について

- D-VHSビデオデッキによっては、本機のi.LINK操作パネル上の操作ボタンで操作できなかったり、D-VHSビデオデッキが再生している映像・音声を視聴することができない場合があります。
- D-VHSビデオデッキによっては、VHSテープやS-VHSテープ、またはアナログで記録されているD-VHSテープの再生映像・音声を本機のi.LINK入力で視聴することができない場合があります。この場合は、D-VHSビデオデッキのアナログ出力を本機のアナログ外部入力に接続し、本機を外部入力に切り換えてから視聴してください。
- D-VHSビデオデッキのタイマー録画予約中に本機のi.LINK操作パネルで操作すると、タイマー録画予約に失敗することがありますので、D-VHSビデオデッキのタイマー録画予約中はi.LINK操作パネルを操作しないでください。
- 本機のi.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているデジタル放送の映像・音声がD-VHSビデオデッキに記録されます。
- 本機で受信しているデジタル放送の映像・音声をD-VHSビデオデッキで記録するときは、D-VHSテープを使用してください。VHSテープやS-VHSテープでは記録することができません。
- デジタル固定中、予約録画実行中は、i.LINK操作パネルを表示できません。
- 番組の内容によっては、D-VHSビデオデッキで録画・録音ができない場合があります。
- 使用しているD-VHSビデオデッキによっては、特殊再生時（送り再生や戻し再生など）に、映像・音声が出なかったり、映像の品位が悪くなる場合があります。

AV-HDDレコーダーやBlu-ray Discレコーダーでデジタル放送を録画する

■ 以下の操作をする前に、**111**ページの「**i.LINK設定を行う**」を済ませてください。
■ 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

操作開始

1 録画したいデジタル放送の番組を選局する

2 i.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する

3 ▲▼◀▶で録画操作（録画操作ボタン）を選び、決定を押す

停止中 01 AV-HDD ●● ●●●●●● ／ 00:00:00/00:00:00 ／ ディスク残 50% ／ 電源 ／ 停止 ／ 録画リスト ／ 録画操作 ／ 機器選択 ／ 入力切換 ／ −30秒 ／ +30秒 ／ で操作を選択 ／ 決定で実行 ／ i.LINKで表示切

4 ▲▼◀▶で● 録画（録画ボタン）を選び、決定を押す

- 録画が開始します。
- 録画を止めるときは、録画停止（録画停止ボタン）を選んで決定ボタンを押します。

操作終了

録画した番組を再生する

ディスク機器の場合、録画が終了すると録画リストが作成されますので、複数の録画番組から再生したい番組を選ぶことができます。（**116**ページ）

i.LINK対応録画機器をつなぐ(つづき)

AV-HDDレコーダーやBlu-ray Discレコーダーで録画した番組を再生する

■ ディスク機器の場合、録画リストから再生する番組を選ぶことができます。

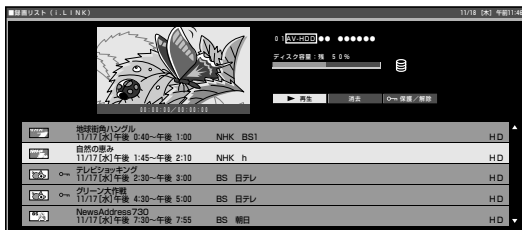
操作開始

1 i.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する

2 ▲ ▼ ◀▶で 録画リスト (録画リストボタン)を選び、決定を押す

●録画リストが表示されます。

3 ① ▲ ▼ で再生したいタイトルを選び、決定を押す

② ◀▶で「再生」を選び、決定を押す

●再生中に特殊再生するときは、 ▶▶ (早送りボタン)、 ◀◀ (巻戻しボタン)、 II (一時停止ボタン)を選び、決定ボタンを押します。

●停止するときは、 ■ (停止ボタン)を選んで決定ボタンを押します。

AV-HDDレコーダー(i.LINK)の録画、再生について

- AV-HDDレコーダーによっては、本機のi.LINK操作パネル上の操作ボタンで操作できなかったり、AV-HDDレコーダーが再生している映像・音声を視聴できない場合があります。
- 本機のi.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているデジタル放送の映像・音声がAV-HDDレコーダーに記録されます。
- デジタル固定中、予約録画実行中は、i.LINK操作パネルを表示できません。
- 番組の内容によっては、AV-HDDレコーダーで録画・録音ができない場合があります。
- AV-HDDレコーダーによっては、特殊再生時(送り再生や戻し再生)に、映像・音声が出なかったり、映像の品位が悪くなる場合があります。
- AV-HDDレコーダーによっては、録画中の再生、および録画中の録画リスト画面の表示などの機能を操作できない場合があります。
- AV-HDDレコーダーによっては、他のi.LINK機器に切り換えたときに自動的に再生を停止する場合があります。
- AV-HDDレコーダーによっては、機器の動作モードがD-VHSモードのとき、AV-HDDレコーダーはD-VHSビデオデッキとして認識されます。

Blu-ray Discレコーダー(i.LINK)の録画、再生について

- Blu-ray Discレコーダーによっては本機のi.LINK操作パネル上の操作ボタンで操作できなかったり、Blu-ray Discレコーダーが再生している映像・音声を視聴できない場合があります。
- 本機のi.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているデジタル放送の映像・音声がBlu-ray Discレコーダーに記録されます。
- デジタル固定中、予約録画実行中は、i.LINK操作パネルを表示できません。
- 番組の内容によっては、Blu-ray Discレコーダーに録画・録音ができない場合があります。
- Blu-ray Discレコーダーによっては、特殊再生時(送り再生や戻し再生)に、映像・音声が出なかったり、映像の品位が悪くなる場合があります。
- Blu-ray Discレコーダーによっては、録画中の再生、および録画中の録画リスト画面の表示などの機能を操作できない場合があります。
- Blu-ray Discレコーダーによっては、他のi.LINK機器に切り換えたときに自動的に再生を停止する場合があります。
- Blu-ray Discレコーダーが搭載しているチューナーやアナログ外部入力をBlu-ray Discレコーダー単体で記録した場合、Blu-ray Discレコーダーの設定によっては、音声がAC3フォーマットで記録されることがあります。本機はAC3フォーマットに対応していないため、このようなコンテンツを本機とi.LINK接続して再生した場合、音声が出力されません。

AV-HDDレコーダーやBlu-ray Discレコーダーで録画した番組の消去・保護

■ 録画リストから録画番組の保護や消去の操作ができます。

録画した番組を消去する

① **116ページの手順1・2を行い、録画リストを表示する**

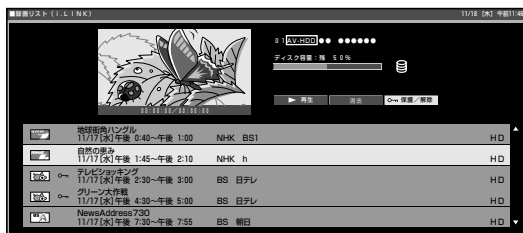
② **▲ ▼ で消去する番組を選び、決定を押す**

③ **◀▶で「消去」を選び、決定を押す**

録画した番組を保護する

① **116ページの手順1・2を行い、録画リストを表示する**

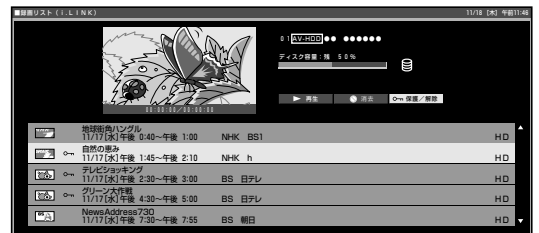
② **▲ ▼ で消去禁止(保護)する番組を選び、決定を押す**

③ **◀▶で「保護/解除」を選び、決定を押す**

●選んだタイトルに鍵マークが表示され、消去禁止(保護)されたことが分かります。

保護を解除する

① **116ページの手順1・2を行い、録画リストを表示する**

② **鍵マークのあるタイトルを選び、決定を押す**

③ **◀▶で「保護/解除」を選び、決定を押す**

●選んだタイトルの鍵マーク表示が消え、保護が解除されたことが分かります。

録画リストについて

- 接続している機器によっては、再生小画面にカーソルで選択している番組の映像・音声が表示されない場合があります。
- 接続している機器によっては、録画中に録画リストを表示したとき、録画を停止する場合があります。
- タイトルに表示されている番組情報(番組名や日時)は、録画開始した時点の放送の番組情報から取得して記録したものを表示しています。
- 複数の番組を続けて録画した場合には、最初に録画開始した時点の番組情報が表示されます。
- 録画リストに表示される再生小画面では、データ放送の操作ができません。
- 選局直後に録画開始した場合、タイトルの番組情報が記録されない場合があります。
- 他の機器で録画した番組の場合、タイトルの番組情報が正しく表示されない場合があります。
- 録画中のタイトルには、録画中マーク「●」(赤丸)が表示されます。
- 本機には、録画したタイトルを編集する機能はありません。
- Blu-ray Discレコーダーによっては、録画したタイトルを編集する機能があり、編集されたタイトルには、プレイリストマーク「★」が表示されます。(編集されたタイトルは、「プレイリスト」と呼ばれます。)
- プレイリストの場合、本機による消去と保護/解除ができません。

音響機器をつなぐ

音響機器をつないで音声を楽しむ

■本体背面のモニター出力端子(「モニター出力(固定または可変)」に設定時)は、録画機器をつなぐ使いかた(**101**ページ参照)以外に、お手持ちの音響機器をつないで音声を楽しむなどの使いかたができます。

接続のしかた

▼本体背面

メニューで入力4端子設定を「モニター出力(固定)」または「モニター出力(可変)」に設定してください。(**104**ページ)

▼モニター出力端子部

S2映像
入力4 モニター出力/録画出力
映像
左
音声

音声出力・左(白)端子へ

音声ケーブル

音声出力・右(赤)端子へ

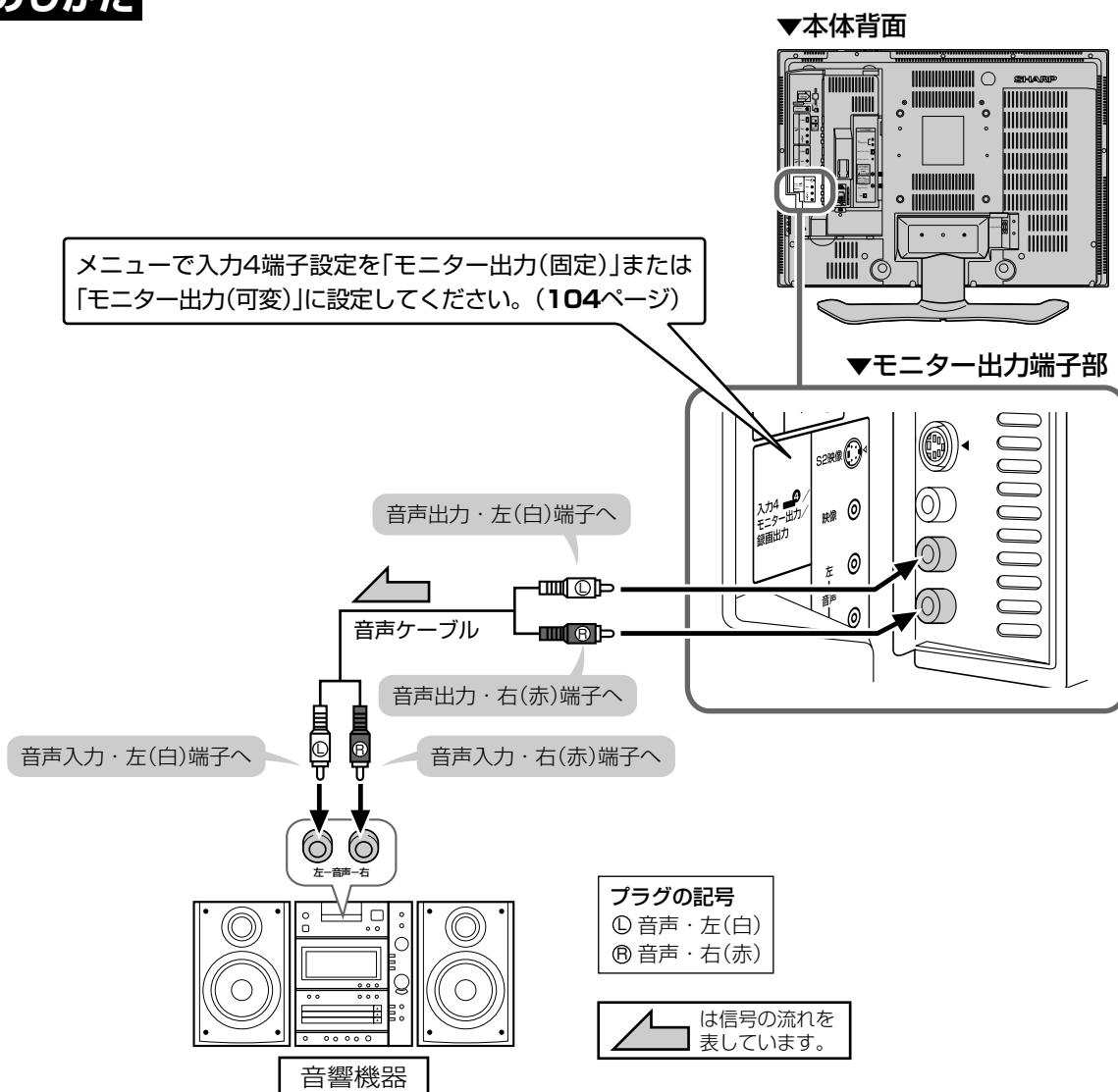
音声入力・左(白)端子へ

音声入力・右(赤)端子へ

左ー音声ー右

音響機器

プラグの記号
Ⓛ 音声・左(白)
Ⓡ 音声・右(赤)

は信号の流れを表しています。

- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- モニター出力の音声端子(「モニター出力」に設定時)から出力される音声の出力レベルを「固定」にするか「可変」にするか選択することができます。操作のしかたなど、詳しくは**104**ページをご覧ください。

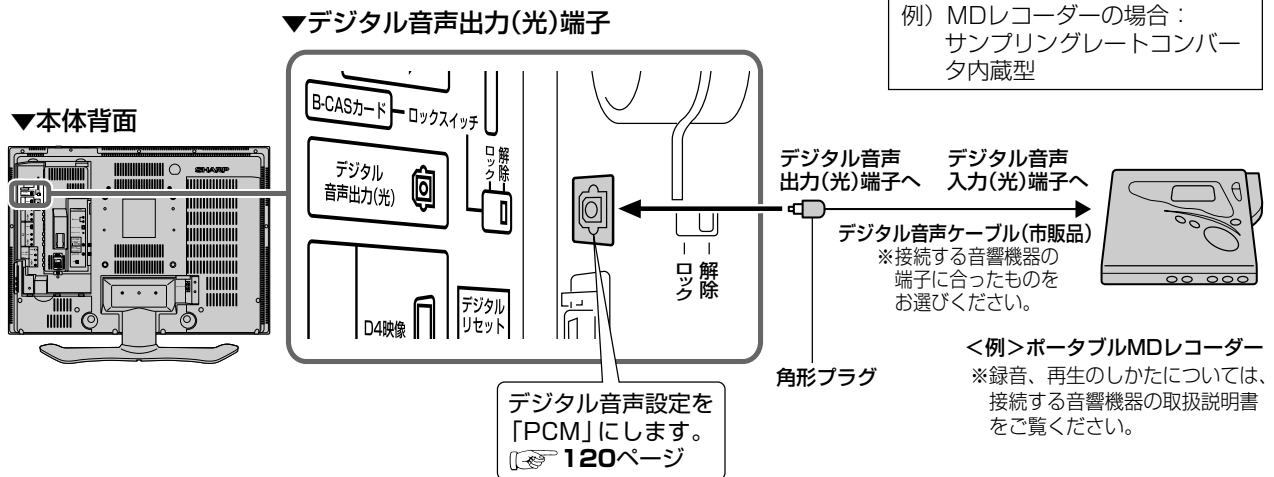
デジタル音声出力(光)端子から録音する

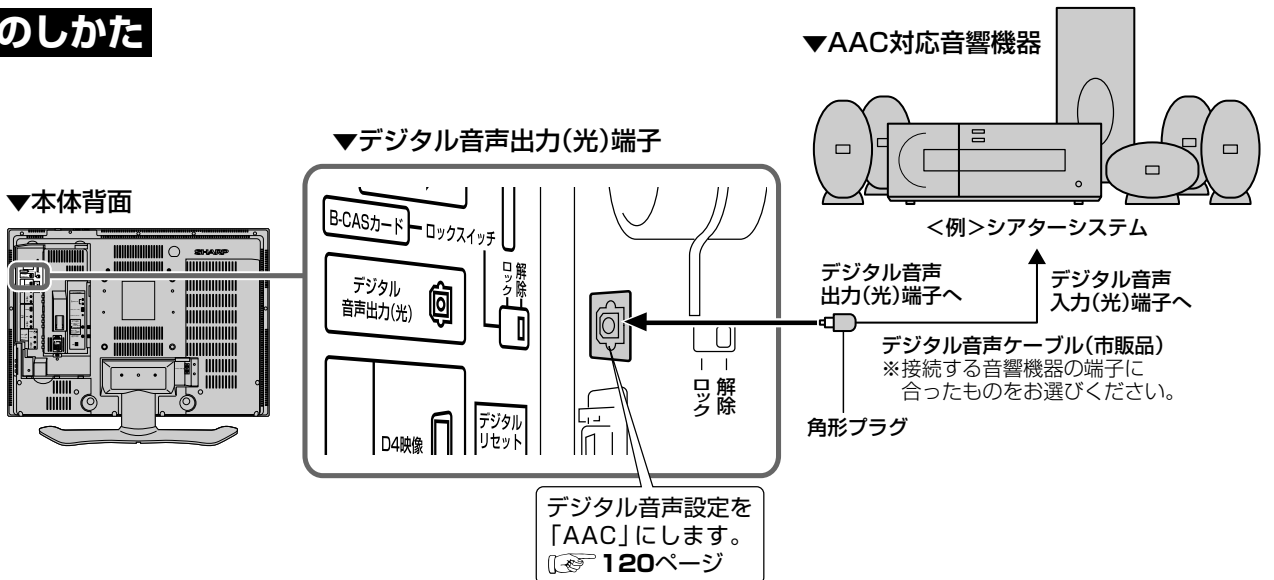
■ デジタル音声ケーブルを使って、「デジタル音声入力(光)端子」のある音響機器と接続すると、デジタル放送の音声を高音質で録音できます。

接続のしかた

▼音響機器

デジタル録音できるのは、サンプリング周波数32kHz、48kHzの両方に対応したデジタル入力端子付き音響機器に限ります。
例）MDレコーダーの場合：
サンプリングレートコンバータ内蔵型

デジタル音声設定を「PCM」にします。☞120ページ

■ また、本機のデジタル音声出力(光)端子は、MPEG2 AAC音声フォーマットを出力することができます。AAC対応の音響機器を接続すると、サラウンド放送の番組を迫力ある音声で楽しめます。

接続のしかた

デジタル音声設定を「AAC」にします。☞120ページ

- 詳しくは、接続する音響機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する前に本機と音響機器の電源を切ってください。
- 本機では通常、デジタル音声出力の内容はモニター音声出力の内容と同じです。
- 設定により、常にデジタル放送の音声がデジタル音声出力(光)端子から出力されるようにすることができます。(**120**ページの「**デジタル音声出力の設定**」をご覧ください。)
- デジタル音声設定を「AAC」にしているとき、字幕放送やデータ放送の一部の音声は、本機のデジタル音声出力(光)端子から出力されません。
- 番組により録音・録画が制限されている場合があります。
- 一部のラジオ放送は、デジタル録音することができません。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

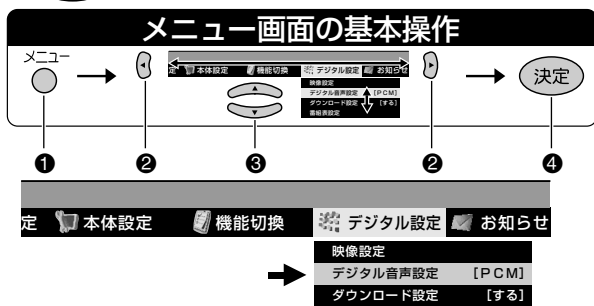
音響機器をつなぐ(つづき)

デジタル音声出力(光)端子の設定

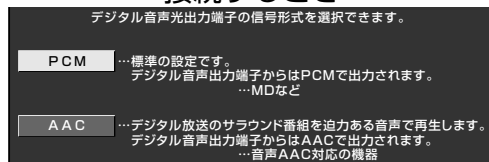
■ 本機背面のデジタル音声出力(光)端子の出力信号形式を、接続する音響機器に合わせて選択できます。

- 接続する機器がAAC／PCMの自動切換えに対応していない場合は、機器側の設定を手動で切り換えてください。
- 「AAC」に設定した場合でも、地上アナログ放送(VHF、UHF)やCATV放送の音声、ビデオ入力の音声は、「PCM」で出力されます。
- 「AAC」に設定した場合、字幕放送や一部のデータ放送の音声が出力されません。

操作開始

1 **❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「デジタル音声設定」を選び、❹(決定)を押す**

2 **接続する機器に合わせて「PCM」または「AAC」を(▲)(▼)で選び、(決定)を押す**

「PCM」…… 音声AACに対応していない音響機器(例．MDレコーダー、MDコンポなど)に接続するとき

「AAC」…… 音声AAC対応のAVアンプなどに接続するとき

二重音声の出力のされかたについて

- 設定により、デジタル音声出力(光)端子から出力される音声が変わります。

「PCM」のとき… 視聴音声と同じもの(主、副、または主／副)が出力されます。

「AAC」のとき… 主と副の両方の音声(主／副)が聞こえます。

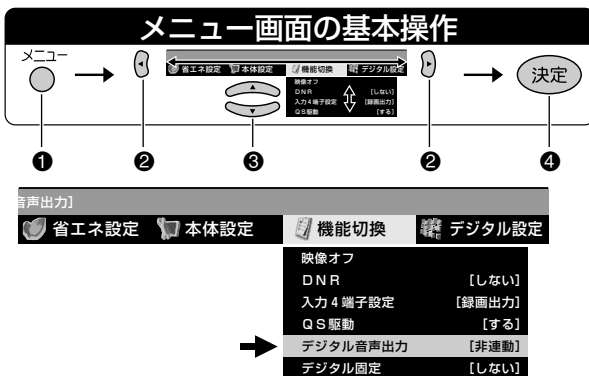
デジタル音声出力の設定

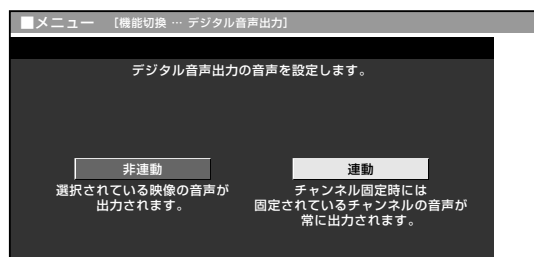
■ デジタル音声出力(光)端子からの出力を、デジタル固定と連動させるか否かを設定することができます。(デジタル固定…**105**ページ参照)

「連動」……. デジタル固定した場合、固定したデジタル放送チャンネルの音声が出力されます。

「非連動」… デジタル固定の設定に関係なく、選択されているチャンネルや入力の音声が出力されます。

操作開始

1 **❶メニュー画面から❷「機能切換」ー❸「デジタル音声出力」を選び、❹(決定)を押す**

- デジタル音声出力設定画面が表示されます。

2 **(◀)(▶)で「非連動」または「連動」を選び、(決定)を押す**

- 1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

操作終了する場合は ▶ **(メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す**

情報ページ

● 知っておいていただきたいことやご注意、別売品のご案内など、便利な情報のページです。メニュー項目一覧や用語の解説、索引も掲載していますので、ぜひお役立てください。

■ 故障かな？と思ったら 122

■ デジタル放送の注意文など 125

■ リセットボタンについて 127

テレビリセットボタン 127

デジタルリセットボタン 127

■ メニュー項目一覧 128

■ 保証とアフターサービス 130

■ お客様ご相談窓口のご案内 131

■ おもな仕様 132

■ 寸法図 133

■ 別売品について 133

■ 本機で使用している特許など 133

■ 用語の解説 134

■ 索引 136

■ Quick Start Guide in English 138

故障かな？と思ったら

つぎのような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。なお、アフターサービスについては**130**ページをご覧ください。

（太字のページ番号は1.準備編です）

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
全般	映像も音声も出ない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ●電源が「切」の状態になっていませんか。 ●テレビ（地上アナログ放送、CATV）やデジタル放送を見たいのに、ビデオ入力などに切り換えられていませんか。	**22** **23** 97
全般	リモコンが動作しない	●乾電池の極性（⊕、⊖）が逆になっていませんか。 ●リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ●リモコンはリモコン受光部に向けてお使いください。	**12**
全般	映像は出るが音声が出ない	●音量調整が最小になっていませんか。 ●「消音」状態になっていませんか。 ●ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。 ●入力4端子設定が「モニター出力（可変）」に設定されていませんか。「モニター出力（固定）」にしてください。 ●D映像・S映像端子は映像用です。これらを使用するときは、音声端子も接続してください。	28 28 95 104 **20・21**
全般	音声は出るが映像が出ない	●映像オフが「する」になっていませんか。	43
全般	色がうすい 色あいが悪い	●色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。	36・37
全般	特定のチャンネルだけ映らない	●チャンネルの受信微調整がズレていませんか。	**38**
アンテナ	映像が出ず 雑音のみ出る	●アンテナ線が外れたり、ショートしたりしていませんか。 ●アンテナ線は正しく接続されていますか。	**16・17**
アンテナ	画像にはん点が出る	●自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていませんか。アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に立ててください。	–
アンテナ	映像が二重になる（ゴースト）	●近くに山や大きな建物・樹木がある場合、それらの反射電波の影響も考えられます。 アンテナの向きや高さを変えてみてください。 ●GR設定を行ってみてください。	– 44
アンテナ	色じま模様が出る	●近所のテレビからの妨害電波を受けていませんか。アンテナの向きや高さを調整すれば、妨害をある程度少なくすることができます。	–
アンテナ	雪が降っているような画面になる	●アンテナ線は正しく接続されていますか。 ●屋外アンテナ線が切れたり、外れたりしていませんか。 ●アンテナの向きが変わったり、アンテナがこわれたりしていませんか。	**16・17** – –

（**太字**のページ番号は 1.準備編 です）

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
デジタル放送関係	映像も音声も出ない	●アンテナ電源が「切」になっていませんか。 ●映像、音声のない放送ではありませんか。 ●ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 ●B-CASカードは正しく挿入、ロックされていますか。2004年4月以降は、B-CASカードを挿入しないと映りません。	**52** – 97 **41**
	画面に四角のノイズ（モザイク）が出る	●アンテナの向きがズレていませんか。 ●アンテナレベル（信号強度）を確認してください。 ●アンテナの前方に障害物はありませんか。 ●アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	– **52** – **16•17**
	有料放送の視聴ができない	●B-CASカードは正しく挿入、ロックされていますか。 ●有料放送を視聴するための契約はしていますか。 ●電話回線の接続や設定は正しくされていますか。	**41** 17·19 **18•54**
	110度CSデジタル放送が受信できない	●アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。 ●ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110度CS帯域（2150MHz）まで対応した機器に交換する必要があります。	**17**
	地上デジタル放送が受信できない	●お住まいの地域で地上デジタル放送は開始されていますか。 ●地上デジタル放送の受信に必要なUHFアンテナが正しく設置されていますか。 ●アンテナ線は正しく接続されていますか。 ●お住まいの都道府県を地域選択で正しく設定していますか。 ●チャンネル設定は正しくされていますか。	20·21 21 **16** **42** **44**
	画面にノイズが出る	●VHF/UHFのアンテナケーブルがBS·110度CSアンテナケーブルと接近していませんか。	–
	特定のチャンネルだけ映らない	●契約していない有料放送ではありませんか。 ●アンテナレベル（信号強度）を確認してください。	17·19 **52**
	電子番組表（EPG）が表示されない 電子番組表（EPG）に表示されない番組がある	●地上デジタル放送の場合、視聴していないチャンネルは、電子番組表に情報が表示されません。番組表取得設定を「する」に設定すると、リモコンで電源「切」（待機状態）にしたときに各放送チャンネルの番組表情報を取得します。 ●電源を「入」にした後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。	81 –
	ビデオコントローラーでの録画予約ができない	●ビデオコントローラーは正しく接続されていますか。 ●ビデオ連動録画設定は正しく設定されていますか。 ●データ放送番組ではありませんか。	106 107 –
	番組の予約をしても受信できない場合があります。	●契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組などを予約したとき。	–
その他	i.LINK接続されない	●接続先の機器の電源は入っていますか。 ●i.LINKケーブルが外れていませんか。 ●接続先はD-VHSビデオデッキ・AV-HDDレコーダー・Blu-ray Discレコーダーですか。本機はD-VHSビデオデッキ・AV-HDDレコーダー・Blu-ray Discレコーダーのみ接続が可能です。	– 109 109

■ 停電時に設定保持している項目と設定解除される項目

●テレビにおける設定内容（メニュー内設定項目、音量など）は保持されます。

●番組予約（視聴予約／録画予約）が、予約動作開始時刻を経過しているときは消去されます。

●停電前が下記の状態のものは解除されます。

・静止　・オフタイマー　・消音（消音ボタンによる）

故障かな？と思ったら(つづき)

温度上昇時のお知らせ表示について

表示内容：

- 画面の右下に「モニター温度」の文字が点滅表示されます。さらに温度が上昇すると、自動的に電源待機状態になります。

処置のしかた：

- 温度が上昇して電源待機状態になったときは、ふだんどおりリモコンなどで電源を入れなおすことができますが、温度が上昇した原因を取り除かないと、またすぐに電源待機状態になります。
- 本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本機背面に空いている通風孔がふさがれていると、温度が上がりやすくなります。
- 本機の内部や通風孔にホコリがたまっていると、内部の温度が上がりやすくなります。外部から取り除けるホコリはこまめに取り除いてください。内部のホコリの除去については、お買い上げの販売店にご相談ください。

正常に動作しないときは

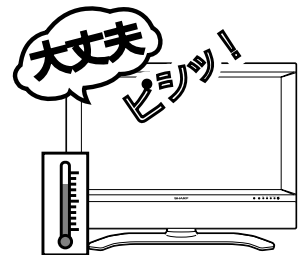
本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。こんなときは本体天面の電源(押･入-切)スイッチで電源を｢切｣にし、電源プラグをコンセントから抜いて1分間ほど放置した後、再度差し込み、動作を確認してください。

このようなときも故障ではありません

ときどき“ピシッ”と音がする

- 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。
  性能その他に影響はありません。

BS・110度CS共用アンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な映像障害

- 衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。
- 春分や秋分の前後20日程度は人工衛星が地球の陰(食)になるため、深夜一時的に電波が止まる場合があります。

デジタル放送の注意文など

■B-CASカードや放送の受信・視聴に関するエラーメッセージ　（太字のページ番号は1.準備編です）

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
B-CAS カードを正しく装着してください。		B-CASカードを正しく挿入し、B-CASカードロックスイッチをロックしてください。	**41**
この B-CAS カードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	B-CASカードを抜き差ししてみてください。それでもエラーが表示される場合は、B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**41**
このカードは使用できません。 正しい B-CAS カードを装着してください。	****	専用のB-CASカードを挿入してください。	**41**
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
この B-CAS カードには必要な情報が有りません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
放送チャンネルではないため、視聴できません。	E200	このチャンネル(番組)は視聴できません。	–
受信状態が悪くなっています。	E201	天気の回復をお待ちください。	–
放送が受信できません。	E202	アンテナ線を確認してください。 アンテナの設定が合っているか確かめてください。	**16・17** **52**
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。	E203	番組表などで放送時間を確かめてください。	–
○○○チャンネルが見つかりません。 番組表などでチャンネルを確認してください。	E204	番組表などでチャンネルを確かめてください。	–
アンテナがショートしています。 アンテナを確認して、本体の電源を入れなおしてください。	E209	アンテナ線を確かめてから、本体の電源を入れなおしてください。	**16・17**
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	E210	選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	–
契約期限が切れています。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
受け付け時間を過ぎていますので購入できません。	****	番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。	–
電話回線を接続の上、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	電話回線の接続を確認のうえ、B-CASカードを抜き差ししてください。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**18・41**
データの通信に失敗しました。	E301	電話回線の接続を確認して、メニューの通信設定を正しく行ってください。	**18・54**
データが受信できません。	E400	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	–
対象地域外のため、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	–
この受信機では、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	–
データの表示に失敗しました。	E402	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	–

次ページへつづく

デジタル放送の注意文など(つづき)

■i.LINKに関する注意文

注意文	内容・対処のしかた
現在選択している機器では正常に録画／再生できない可能性があります。	本機が対応していない機器、あるいはDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載していない機器を選択したときに表示されます。
i.LINK機器の接続が不正か、接続異常が発生しています。取扱説明書をお読みのうえ、接続しなおしてください。	i.LINKケーブルによる接続が異常なときに表示されます。**110**ページの「接続に関するご注意」をお読みのうえ、接続しなおしてください。
現在選択している機器は“録画／再生”できない状態です。他の機器から使用中でないか確認してください。	選択している機器が、すでに他の機器から使用されているときに表示されます。本機から使用するためには、他の機器を操作する必要があります。

■双方向通信に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。[C104]	C104	電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	18・54
番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。[C105]	C105	電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	18・54
番組で指定された情報センター※1への接続に失敗しました。[C006]	C006	電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	18・54
アクセスできませんでした。[C204]	C204	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
サーバー証明書※2が不正のため、アクセスを中断します。[C208]	C208	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
サーバー証明書※2に問題があり、アクセスを中断します。[C209]	C209	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
双方向サービスを利用するには、双方向サービス設定で電話回線への接続を「禁止しない」を設定してください。	****	双方向サービス設定で、電話回線への接続を「禁止しない」を選択してください。	74
登録してあるプロバイダへの接続に失敗しました。プロバイダ設定や電話回線設定を確認してください。	****	プロバイダ設定や電話回線設定を確認してください。	54・84
まだルート証明書※3を受信していません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。	–
サーバー証明書※2の信頼性が確認できません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。	–
まだ新しいルート証明書※3を受信していません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。	–

※1 情報センター…… 双方向通信において、お客さまからのデータを受けとるセンター。
※2 サーバー証明書… 暗号化通信に使われる暗号鍵。Webサーバーに保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。
※3 ルート証明書…… 暗号化通信に使われる復号鍵。放送波で伝送され、受信機に保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

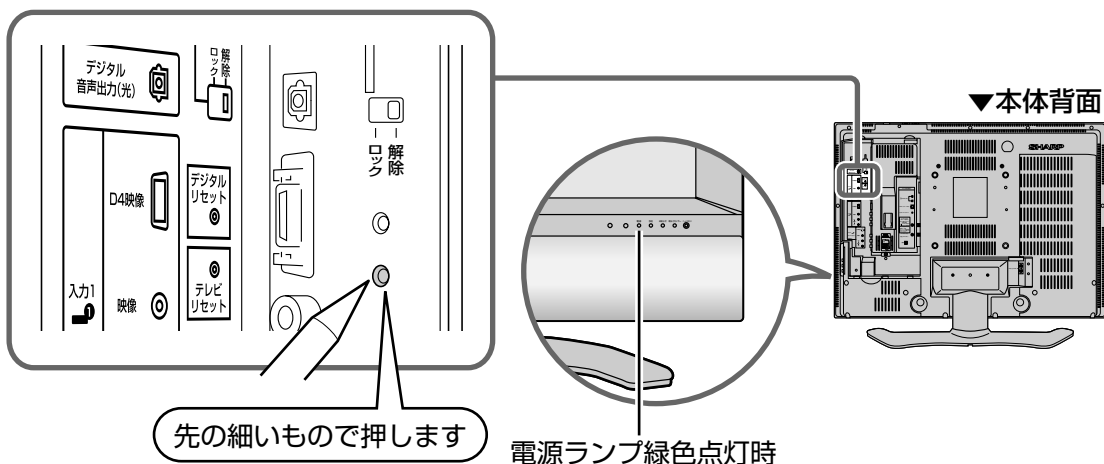
リセットボタンについて

テレビリセットボタン

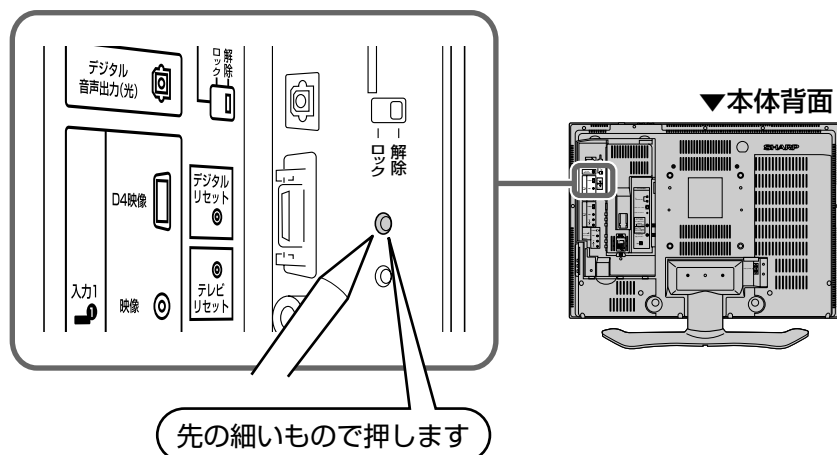
■ 複雑な操作などをしてふだん使っている状態に戻せなくなったりした場合などには、チャンネル設定とメニューのデジタル関連の設定項目以外を、工場出荷時の状態に戻すことができます。
■ 本機が動作している状態のとき(電源ランプが緑色点灯中)に本機背面のテレビリセットボタンを1秒以上押しつづけてください。画面が数秒間消えた後、地上アナログ放送の1チャンネルになります。

※以下の項目を工場出荷状態に戻すことができます。

・静止画	・映像反転
・番組表／裏番組表	・映像オフ
・位置調整	・入力4端子設定
・音量	・画面サイズ
・音声選択	・デジタル固定

- AVポジションは「ダイナミック」になります。
- チャンネル設定の内容は変更されません。

デジタルリセットボタン

■ 本機を使用中に、強い外来ノイズ(過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など)を受けた場合や誤った操作をした場合など、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。
このようなときは、本機背面のデジタルリセットボタンを押してから操作をやりなおしてください。

おしらせ

- リセット直後はデータ取込みのため、画面表示には多少時間がかかります。

メニュー項目一覧

映像調整※1
明るさセンサー
切、入、入：表示あり
明るさ
−8〜標準〜+8
映像
0〜+40
黒レベル
−30〜0〜+30
色の濃さ
−30〜0〜+30
色あい
−30〜0〜+30
画質
−10〜0〜+10
プロ設定
リセット
する、しない
カラーマネージメント−色相
カラーマネージメント−彩度
カラーマネージメント−明度
色温度
高、高−中、中、中−低、低
黒伸張
する、しない
3次元設定
標準、動画より、静止画より
モノクロ
する、しない
フィルムモード
する、しない
I／P設定
動画より、静止画より
R
−30〜0〜+30
Y
−30〜0〜+30
G
−30〜0〜+30
C
−30〜0〜+30
B
−30〜0〜+30
M
−30〜0〜+30
リセット
音声調整※1
高音
−15〜0〜+15
低音
−15〜0〜+15
バランス
左〜中央〜右
いきいきボイス
自動、入、切
リセット
する、しない
省エネ設定
無信号オフ
する、しない
無操作オフ
する、しない
本体設定
地域設定
チャンネル設定 ※2
アンテナ設定
入力表示選択 ※3 ※4
位置調整
オートワイド
映像反転
Language(言語設定)
個人情報初期化
地域選択
地域／都道府県選択画面
郵便番号設定
郵便番号設定画面
地上アナログ
地上デジタル
BSデジタル
CSデジタル
自動
する、しない
追加
する、しない
地域番号
する、しない
個別
する、しない
自動
する、しない
追加
する、しない
個別
電源・受信強度表示
電源連動、入、切
周波数設定
周波数設定画面
信号テスト−地上D
地上デジタル信号テスト画面
信号テスト−BS
BS衛星信号テスト画面
信号テスト−CS
CS衛星信号テスト画面
※4 入力1、入力2、入力3、入力4、ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3、ビデオ4、ビデオ
コンポーネント1、コンポーネント2、コンポーネント、D端子1、D端子2、D端子、CATV、CS
DVD、ゲーム、ムービー、D-VHS、HDD、DVR
水平位置
−10〜0〜+10
垂直位置
−20〜0〜+20
リセット
映像判別
する、しない
S2対応 ※5
する、しない
D端子識別 ※6
する、しない
しない、左右反転、上下反転、上下左右
日本語、English
する、しない
機能切換
映像オフ
する、しない
DNR ※7
しない、強、弱
入力選択 ※3
※4 自動、D端子、S2映像、ビデオ映像
入力4端子設定
録画出力、モニター出力（固定）、モニター出力（可変）、入力
QS駆動
する、しない
デジタル音声出力
非連動、連動
デジタル固定
する、しない
字幕表示設定
する、しない
番組名表示設定
する、しない

デジタル設定

- 映像設定
  - 画面サイズ設定：オート、フル固定
  - 録画画面サイズ設定：レターボックス、スクイーズ
  - 録画画面表示設定：する、しない
- デジタル音声設定：PCM、AAC
- ダウンロード設定：する、しない
- 番組表設定
  - 番組表取得設定：する、しない
  - 表示範囲設定：拡大、広角
  - ジャンルアイコン設定：標準、薄く、注目
- 通信設定
  - 電話回線設定−自動
  - 電話回線設定−手動
    - 電話回線種別：20pps、10pps、トーン
    - 外線発信番号：なし、あり
    - ダイヤルトーン検出：する、しない
  - 電話会社設定
    - 発信者番号通知：設定しない、186、184
    - 事業者番号
    - 解除番号設定：する、しない
  - 優先利用回線設定
    - 電話回線、LAN接続
  - プロバイダ設定
    - 接続名(ISP名)
    - 電話番号(アクセスポイント)
    - ユーザー名
    - パスワード
    - DNSアドレス(プライマリ、セカンダリ)
    - ヘッダ圧縮、ソフトウェア圧縮
    - 無通信切断タイマー
  - LAN設定
    - IPアドレス設定
    - DNSアドレス設定
    - プロキシサーバー設定
    - 詳細設定
- ビデオ連動録画設定
  - ビデオ連動録画設定画面
- i.LINK設定
  - i.LINK自動切換：する、しない
  - 録画モード設定：する、しない
  - 電源待機設定：する、しない
- 暗証番号設定
  - 暗証番号設定画面
- 視聴年齢制限設定
  - XX歳以下、無制限
- PPV設定
  - PPV 制限：する、しない
  - 購入金額制限：XX円以上、無制限
- 双方向サービス設定
  - 電話回線を禁止する、電話回線とLAN接続を禁止する、禁止しない
- システム動作テスト
  - システム動作テスト画面

お知らせ

- 受信メッセージ一覧 → 受信メッセージ一覧画面
- ボード → ボード画面
- 受信機レポート → 受信機レポート画面
- B−CASカード番号表示 → B-CASカード番号表示画面
- PPV購入履歴 → PPV購入履歴表示画面

※1 AVポジションごとに設定できます。また、AVポジションごとに工場出荷時の設定が異なります。
※2 テレビ視聴時のみ表示されます。
※3 入力1〜4選択時のみ表示され、それぞれで設定できます。
※4 現在選択されている入力により、表示項目が異なります。
※5 入力3・4選択時のみ表示されます。
※6 入力1・2選択時のみ表示されます。
※7 各入力系統で設定できます。

- 条件によりメニュー項目に⃠マークがつき、灰色で表示される場合がありますが、その項目は選択することができません。

保証とアフターサービス よくお読みください

保証書（別添）

■ 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■ **保証期間**
お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
※本機を分解すると、保証が無効になります。

ご不明な点や修理に関するご相談は

■ 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

■ 当社は、液晶カラーテレビの補修用性能部品を、製造打切後、8年保有しています。
■ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは 出張修理

■「故障かな？と思ったら」（**122**ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　名：液晶カラーテレビ
- 形　　名：LC-32AD5　LC-37AD5
- お買いあげ日（年月日）
- 故障の状況（できるだけくわしく）
- ご　住　所（付近の目印も合わせてお知らせください）
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話（　　）　—

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

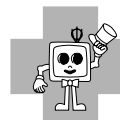
●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

▶ **ご使用中止**

故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

● 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は ………… **修理相談センター** へ
● 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は …………… **お客様相談センター** へ

修理相談センター

● 修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

0570 - 02 - 4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。

（注）携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ 携帯電話／PHSでのご利用は ……………	一般電話	043 - 299 - 3863	06 - 6792 - 5511
○ FAXを送信される場合は ……………………	F A X	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、
下記地区別窓口にても承っております。

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄・奄美地区〕は……＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水鳥坂1170-1
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	阪神サービスセンター	06-6422-0455	〒661-0981	兵庫県尼崎市猪名寺3-2-10
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄·奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL 043 - 297 - 4649	FAX 043 - 299 - 8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL 06 - 6621 - 4649	FAX 06 - 6792 - 5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。（04.11）

おもな仕様

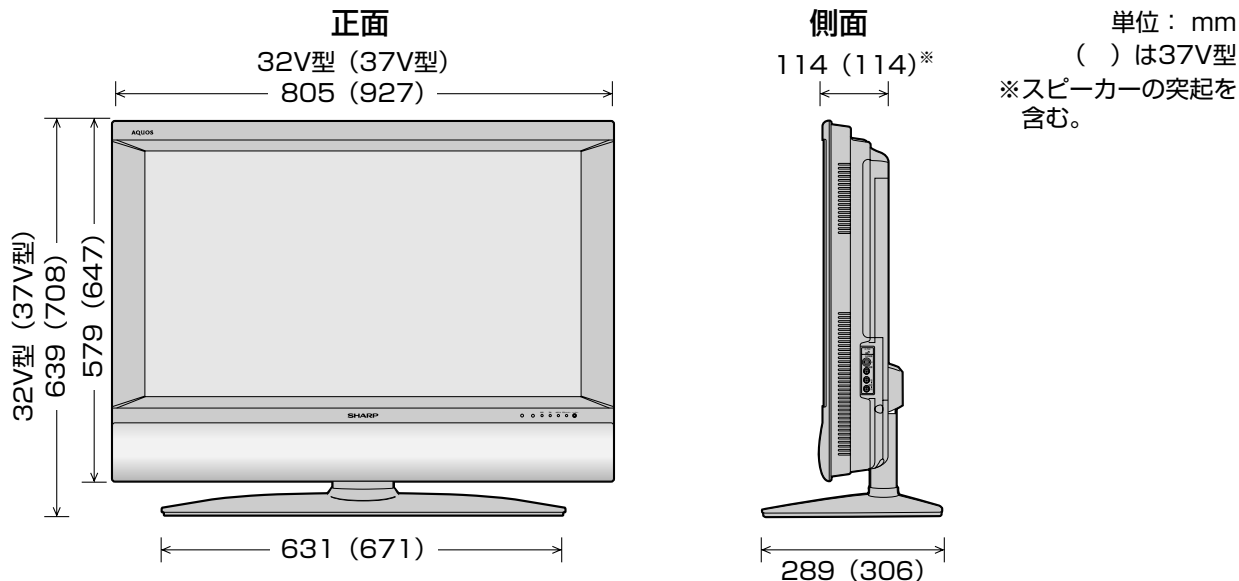
品名		液晶カラーテレビ	
形名		LC-32AD5	LC-37AD5
液晶パネル	画面サイズ	32V型 （横697mm×縦392mm／対角800mm）	37V型 （横820mm×縦461mm／対角940mm）
	駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式	
	画素数	1,366（水平）×768（垂直）画素	
アンテナ入力		VHF/UHF 75Ω不平衡型、BS-IF 75Ω不平衡型（C15型）、地上デジタル75Ω不平衡型	
スピーカー		8cm 丸形 2個、2.5cm 丸形 2個	
音声実用最大出力（JEITA）		総合20W（10W＋10W）	
使用電源		AC100V・50/60Hz	
消費電力		149W（待機時電力 0.5W）	199W（待機時電力 0.5W）
接続端子		ビデオ入力4系統4端子（入力4はモニター出力／録画出力兼用）、 S2映像入力2系統2端子、D4映像入力2系統2端子、 モニター出力1系統1端子（入力4／録画出力兼用・S2映像付き）、 デジタル音声出力（光）1系統1端子、アンテナ（VHF・UHF）入力・出力端子、 ヘッドホン接続端子、AC入力端子	
デジタル専用端子		i.LINK（TS）2端子、録画出力1系統1端子（入力4／モニター出力兼用・S2映像付き）、 電話回線端子、LAN端子（10BASE-T/100BASE-TX）、ビデオコントロール端子、 アンテナ入力（BS・110度CS）端子、アンテナ入力（地上デジタル）端子	
受信チャンネル		地上アナログVHF1～12ch・UHF13～62ch、CATV13～63ch、 BSデジタル000～999ch、110度CSデジタル000～999ch、 地上デジタル000～999ch（CATVパススルー対応）	
BS·110度CS チャンネル受信仕様	変調	時分割多重mPSK	
	トランスポート	MPEG2 システム	
	映像	MPEG2（MP@HL）	
	音声	MPEG2 AAC	
	限定受信システム	ARIB CASシステム	
	受信周波数帯域	11.71GHz～12.75GHz	
	IRD受信周波数帯域	1032MHz～2071MHz	
地上デジタル チャンネル受信仕様	変調	直交周波数分割多重（OFDM）	
	トランスポート	MPEG2 システム	
	映像	MPEG2（MP@HL）	
	音声	MPEG2 AAC	
	限定受信システム	ARIB CASシステム	
	受信周波数帯域	93MHz～767MHz	
	CATVパススルー対応	UHF帯、ミッドバンド（MID）帯、スーパーハイバンド（SHB）帯、VHF帯	
キャビネット		プラスチック	
外形寸法	ディスプレイ部のみ	幅805×奥行114×高さ579（mm）	幅927×奥行114×高さ647（mm）
	スタンド装着時	幅805×奥行289×高さ639（mm）	幅927×奥行306×高さ708（mm）
本体質量	ディスプレイ部のみ	約17.0kg	約20.5kg
	スタンド装着時	約21.5kg	約26.5kg
使用温度		0℃～40℃	

■ 製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。

■ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。

■ JIS C 61000-3-2適合品
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した部品です。

寸法図

単位：mm
（　）は37V型
※スピーカーの突起を含む。

別売品について

■液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。

（2005年2月現在）

No.	品　名	機種名
1	壁掛け金具	AN-37AG2
2	アンテナ整合器	AN-300RF
3	アンテナ延長ケーブル	AN-C10RF
4	AVワイヤレス伝送システム	AN-AV400
5	システムラック	AN-37SR5

● 本機に適合する別売品が、新しく追加発売になることがありますので、ご購入の際には、最新のカタログで適合性や在庫の有無をご確認ください。

本機で使用している特許など

本機は、MPEG2 AACに関する下記番号の特許を使用しています。

特許番号

5,848,391	5,291,557	5,451,954	5,400,433	5,222,189	5,357,594	5,752,225
5,394,473	5,583,962	5,274,740	5,633,981	5,297,236	4,914,701	5,235,671
07/640,550	5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874	98/03036
5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584	5,781,888	08/039,478	08/211,547
5,703,999	08/557,046	08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654	5,548,574	5,717,821

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

用語の解説（よく使われるテレビ用語です）

■ 110度CSデジタル放送
BSデジタル放送の放送衛星（BS）と同じ東経110度に打ち上げられた通信衛星（CS）を利用した新しいデジタル放送です。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルを購入して視聴する仕組みになっています。一部、無料放送もあります。

■ 16：9
デジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の4：3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

■ 525i
走査線525本、インターレース方式。地上アナログ放送（VHF/UHF）やBSアナログ放送と同等の画質です。

■ 525p
走査線525本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンに近い画質です。

■ 750p
走査線750本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ 1125i
走査線1125本、インターレース方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ AAC（Advanced Audio Codec）
デジタル音声圧縮方式の1つです。少し未来のデータを予測し圧縮効率を上げる技術を採用しており、高音質であるのにかかわらず、高圧縮、マルチチャンネル化が可能です。

■ B-CASカード（ビーキャスカード）
各ユーザー独自の番号などが記載されている、BS／110度CS／地上デジタル放送視聴用ICカードのことです。ユーザー登録し、B-CASカードを受信機に挿入すると、双方向サービスの利用が可能となり、放送局からのメッセージを受信できるようになります。また、有料放送の視聴を希望される場合やNHKとの受信確認、そして、今後予定されている各種双方向サービスを希望される場合などにも登録済みカードが必要になります。（2004年4月からはB-CASカードを挿入していないとデジタル放送が映らなくなっています。）

■ BSデジタル放送
2000年12月から本格サービスが開始された新しい衛星放送で、従来のBS（アナログ）放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、高品位のデジタル音声放送（BSラジオ）、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

■ CATV（ケーブルテレビ）
ケーブル（有線）テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。

■ D端子
高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号（Y）と色差信号（CB/PB、CR/PR）を3本のケーブルで接続（コンポーネント接続）していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度・色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1～D5の規格があり（本機はD4に対応）、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

■ EPG（Electronic Program Guide）
デジタル放送で送られてくる番組情報のデータを使って画面で見られるようにした電子番組表のことです。

■ i.LINK（アイリンク）
i.LINK端子を持つ機器間でデジタル映像やデジタル音声などマルチメディア系のデータの双方向通信を行ったり、接続した機器を操作したりできるシリアル転送方式のインターフェースです。接続はi.LINKケーブル1本で行うことができます。i.LINKはIEEE1394の呼称で、IEEE（米国電子電気技術者協会）によって標準化された国際規格です。現在、100Mbps、200Mbps、400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100、S200、S400と表示されます。

■ MPEG（Moving Picture Experts Group）
デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい40分の1に圧縮することができます。

■ NTSC（National Television System Committee）
日本でも採用している現行のカラーテレビ放送方式の標準規格のことです。現在、日本、アメリカのほか、韓国、カナダ、メキシコなどで採用しています。この規格は、毎秒30フレーム（フィールド周波数60Hz）、走査線数525本のインターレース方式です。

■ PCM（Pulse Code Modulation）
アナログの音声信号をデジタル信号に変換する方式の1つ。音楽CDは、この方式を利用しています。

■ PPV（Pay Per View）
「ペイパービュー」と読みます。番組単位で購入契約が必要な有料番組のことです。

■ S1/S2 映像
セパレート（S）映像信号に、画面比率4：3で上下に黒帯のあるワイド映像（レターボックス）や、もと16：9の映像を横方向に圧縮して4：3にした映像（スクイーズ）を自動判別する信号を加えた映像信号のことです。映画サイズの番組やビデオソフトを見るときは、自動的にレターボックスは「シネマ」に、スクイーズは「フル」になります。

■ インターレース（飛び越し走査）
NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、525本の走査線のうち、まず奇数番めの走査線（262.5本）を1/60秒で描きます（この1画面を1フィールドといいます）。つぎに偶数番めの走査線（262.5本）を1/60秒で描きます。これで、合わせて走査線525本の1枚の完全な画像（フレーム）をつくっていく方式です。「525i」「1125i」の「i」はインターレース（interlaced）を表します。

■ 液晶パネル
液晶を封入したパネルの電極間に電気を流すと、映像として見えるように開発された表示素子です。環境に配慮した低消費電力で動作する利点があります。

■ お知らせ
BS／110度CS／地上デジタル放送局から視聴者へメッセージを送るサービスです。

■ コンポーネント接続
映像信号を輝度信号（Y）と色差信号（CB/PB、CR/PR）の3つのコンポーネント（構成部分）に分離して伝送する接続方法です。コンポーネント映像端子は3つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード（コンポーネントケーブル）を用います。通常の映像端子による接続に比べ、色のキレが良く、チラツキのない画質が得られます。

■ コンポジット接続
通常の映像端子（ビデオ端子）を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は1つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像・音声端子の接続では、黄・白・赤の3色に分かれたAVケーブルを使うのが一般的です。

■ 地上デジタル放送
2003年12月から東京・大阪・名古屋の3大都市圏の一部地域で開始され、その他の地域では2006年末までに開始が予定されている新しい放送です。ゴーストのない高品質映像、デジタルハイビジョン放送、データ放送や双方向サービス、多チャンネルといった、これまでの地上アナログ放送にはなかった特長をもっています。

■ ハイビジョン放送
デジタルハイビジョンの高画質放送のことです。従来の地上アナログテレビ放送が525本の走査線で表示しているのに対し、デジタルハイビジョン放送は750本や1125本の走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

■ プログレッシブ（順次走査）
飛び越し走査（「インターレース」の項を参照）をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。525pの場合、525本の走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「525p」「750p」の「p」はプログレッシブ（progressive）を表します。

■ プロバイダ
一般にはインターネットサービスプロバイダ（ISP）のことをいいます。インターネットのBMLコンテンツ（デジタル放送で使用されるデータ放送言語）を使った双方向サービスが楽しめます。

索引

●英数字・記号
110度CSデジタル放送 ... 15・18・19
110度CSデジタル放送の視聴手続き 19
110度CSデジタル放送の登録チャンネル一覧 .. 53
3桁入力ボタン ... 29・51
3次元設定 ... 38
AAC ... 119・120
AV-HDDレコーダー .. 109・115～117
AVポジション ... 35
AVポジションボタン ... 35
AVメモリー ... 35
B-CASカード ... 13
B-CASカード番号表示 ... 77
Blu-ray Discレコーダー .. 109・115～117
BS・110度CSデジタル放送 ..... 15～19
BSデジタル放送 ... 15～17
BSデジタル放送のチャンネル番号表 ... 16
BSデジタル放送の登録チャンネル一覧 53
BSボタン ... 28・50・51
CATV ... 100
CATV(ケーブルテレビ)について ... 29
CATVボタン ... 29
CS ... 100
CSボタン ... 28・50・51
D4映像入力端子 ... 96
D4映像入力端子について ... 94・96
DNR(デジタルノイズリダクション) ... 43
DVD ... 100
DVD再生 ... 98
D-VHS ... 100
D-VHSビデオデッキ ..... 109・114
DVR ... 100
D-コンポーネント変換ケーブル ... 33
D端子 ... 99・100
D端子1 ... 100
D端子2 ... 100
D端子ケーブル ... 33
D端子識別 ... 31・33
EPG(電子番組表) ...... 15・57・58
GR(ゴーストリダクション) ... 44
GR設定 ... 44・45
GRボタン ... 44
HDD ... 100
i.LINK(TS)端子 ... 109
i.LINK(アイリンク) ... 109
i.LINKケーブル ... 109
i.LINK自動切換 ... 114
i.LINK接続 ... 109・110
i.LINK設定 ... 111・114
i.LINK操作パネル ... 112～116
i.LINKボタン ... 112～116
i.LINK予約 ... 64・65・67
I／P設定 ... 38
Language(言語設定) ... 26・146
LAN設定 ... 87
LAN端子 ... 86
On-screen display language . 26・146
PCM ... 120
PPV購入履歴 ... 77
PPV制限 ... 75
PPV設定 ... 75
PPV番組の購入 ... 66・67
QS駆動(クイックシュート) ... 43
S2映像 ... 99
S2映像出力端子 101～103・106
S2映像入力端子 ... 96・102
S2対応 ... 31・33
S端子ケーブル ... 102・103・106
WOWOWデジタルプラス ... 18

●あ行
アイコン一覧 ... 58
青ボタン ... 57・90
赤ボタン ... 57・90
明るさ ... 37
明るさセンサー ... 37
明るさセンサー受光部 ... 37
明るさセンサーランプ ... 37
アップロード ... 77
アナログ放送からデジタル放送への移行について 21
暗証番号設定 ... 72
暗証番号を忘れたとき ... 73
いきいきボイス ... 40
一時停止ボタン(i.LINK操作パネル) ... 115・116
位置調整 ... 34
色あい ... 37
色温度 ... 38
色の濃さ ... 37
裏番組ボタン ... 60
映画 ... 35
映像 ... 37・66
映像オフ ... 43
映像・音声ケーブル .. 101～103・106
映像・音声出力端子 .. 101～103・106
映像切換(⊞)ボタン ... 55
映像設定 ... 70
映像調整 ... 36～38
映像反転 ... 43
映像判別 ... 31・32
枝番 ... 51
オート ... 70
オートワイド ... 32・33
オートワイド機能 ... 31
お好み選局 ... 47・51
お好み選局／登録ボタン ... 46・47・51
お好み登録 ... 46
お知らせ ... 76
お知らせランプ ... 76
お手入れのしかた ... 11
オフタイマー ... 42
オフタイマーボタン ... 42
音声 ... 66
音声切換(◎)ボタン ... 41・55
音声ケーブル ... 118
音声調整 ... 39
音量(＋／－)ボタン ... 28
音量調整 ... 28

●か行
カーソルボタン ... 22・57・90
回線使用時の画面表示アイコンについて .. 74
画質 ... 37
画面サイズ ... 30～33
画面サイズ切換メニュー ... 32
画面サイズ制御信号 ... 30
画面サイズ設定 ... 70
画面サイズボタン ... 32
画面表示 ... 29
画面表示の言語 ... 26
画面表示ボタン ... 29
カラーボタン(青・赤・緑・黄) ...... 57・90
カラーマネージメント(色相・彩度・明度) ... 38
機器選択 ... 112
黄ボタン ... 57・90
クイックシュート(QS) ... 43
黒伸張 ... 38
黒レベル ... 37
蛍光管 ... 13
ケーブルテレビ(CATV) ... 29
ゲーム ... 35・100
決定ボタン ... 22・48・90
ご案内チャンネル(110度CSデジタル放送) 18
降雨対応放送 ... 16
高音 ... 39
購入金額制限 ... 75
ゴースト ... 44
ゴーストリダクション(GR) ... 44
ゴーストを軽減する(GR機能) 44
個人情報初期化 ... 80
コンポーネント ... 100
コンポーネント1 ... 100
コンポーネント2 ... 100

●さ行
再生ボタン(i.LINK操作パネル) . 115
システム動作テスト ... 79
視聴年齢制限設定 ... 73
視聴予約 ... 62・63
自動 ... 99
シネマ ... 30・32
字幕表示設定 ... 71
字幕(▭)ボタン ... 71
ジャンルアイコン設定 ... 82
ジャンル検索 ... 59
終了ボタン ... 22・29・57
主音声 ... 41
受信機レポート ... 77
受信チャンネルについて ... 28
受信メッセージ一覧 ... 76
主／副 ... 41
仕様 ... 132
省エネ設定 ... 42
消音 ... 28
使用温度 ... 12・132
消音ボタン ... 28
垂直位置 ... 34
水平位置 ... 34
数字ボタン ... 28・50・51

スカパー！110 18
スクイーズ 70
ステレオ 41
寸法図 133
静止画 48
静止ボタン 48
設定の確認 67
選局 .... 28・50・51
選局(∧順／∨逆)ボタン ... 28・46・50
双方向サービス 20
双方向サービス設定 74
ソフトウェアキーボード 90

●た行

ダイナミック 35
ダイナミック(固定) 35
ダウンロード設定 78
地上Aボタン 28
地上Dボタン .... 28・50・51
地上アナログ 45
地上アナログ－個別 45
地上デジタル放送 .... 20・21
地上デジタル放送の登録チャンネル一覧 .. 53
チャンネル設定 45
チャンネルボタン .... 28・50・51
追加購入グループ 67
通信設定 .... 83・84・87
低音 39
停止ボタン(i.LINK操作パネル) .. 114〜116
データ放送 .... 15・20
データ連動(d)ボタン 56
デジタル音声ケーブル 119
デジタル音声出力 120
デジタル音声出力(光)端子 .... 96・119
デジタル音声設定 120
デジタル固定 105
デジタル登録ボタン .... 52・54
デジタルノイズリダクション(DNR) ... 43
デジタルリセットボタン 127
テレビ放送 15
テレビ／ラジオ／データボタン 50
テレビリセットボタン 127
電源(押・入-切)ボタン 80
電源待機設定 111
電源の入／切 28
電源プラグの接続について 28
電源ボタン 28
電源ランプ 28
電子番組表(EPG) ...... 15・57・58
電話回線 83
電話回線端子 86

●な行

二重音声 66
二重音声番組 55
二重音声放送 41
日時検索 59
入力 104
入力1 100
入力2 100
入力3 100
入力4 .... 100・102
入力4端子設定 104
入力切換え 29
入力切換ボタン .... 29・97
入力切換メニュー 97
入力選択 99
入力表示選択 100
入力文字の種類 92
ネットワーク(放送の配信) 50
ノーマル .... 30・32

●は行

ハイビジョン放送 20
バックライトの蛍光管 13
早送りボタン(i.LINK操作パネル) ... 115・116
バランス 39
番組情報ボタン 56
番組情報を見る .... 57・60
番組表取得設定 81
番組表ボタン .... 29・57・60
番組名表示設定 71
「ピシッ」と音がする 124
ビデオ 100
ビデオ1 100
ビデオ2 100
ビデオ3 100
ビデオ4 100
ビデオ映像 99
ビデオコントローラー 106
ビデオコントロール端子 106
ビデオ再生 98
ビデオ連動予約 .... 64・66
ビデオ連動録画 106
ビデオ連動録画設定 107
表示範囲設定 81
標準 35
フィルムモード 38
副映像 66
副音声 41
ふだんの使いかた 28
ブックマーク 18
プラットフォーム(運営会社) 19
フル .... 30・32
フル1・フル2 30
フル固定 70
フルモード制御信号 30
プロ設定 38
プロバイダ設定 84
別売品 133
ヘッドホン端子 95
放送切換ボタン .... 28・50
ボード .... 18・76
保証とアフターサービス 130
本機の特長 14

●ま行

巻戻しボタン(i.LINK操作パネル) ... 115・116
マルチ音声番組 55
マルチビュー 66
マルチビューサービス 15
緑ボタン .... 57・90
ムービー 100
無信号オフ 42
無信号オフ機能について 29
無操作オフ 42
メイン購入グループ 67
メディア(テレビ／ラジオ／データ) ... 50
メニュー項目一覧.. 24・25・128・129
メニューについて .... 22〜26
文字入力のしかた 91
モジュラー分配器 86
戻るボタン .... 22・90
「モニター温度」の点滅表示 124
モニター出力 .... 101・102
モニター出力(可変) 104
モニター出力(固定) 104
モノクロ 38
モノラル 41

●や行

優先利用回線設定 83
有料放送(BSデジタル放送)の視聴手続き 17
予約ランプ 63
予約リスト .... 57・68

●ら行

ラジオ放送 15
臨時編成サービス 15
レターボックス 70
レターボックス制御信号 30
連動データ放送 56
録画画面サイズ設定 70
録画画面表示設定 70
録画出力 .... 103・104・106
録画操作ボタン(i.LINK操作パネル) .. 115
録画停止ボタン(i.LINK操作パネル) .. 115
録画ボタン(i.LINK操作パネル) .. 114・115
録画モード設定 111
録画予約 .... 62〜64
録画リスト .... 116・117
録画リストボタン 116
録画連動機器の変更 67

●わ行

ワイド .... 30・32

Quick Start Guide

Part Names — Main Unit

※ The examples used throughout this manual are based on the LC-32AD5 model.

■ The number shown in each ▰ is the page number where the part's function and/or use are explained either in English or Japanese.

Front view

AQUOS

SHARP

電源 予約 お知らせ 明るさセンサー ヘッドホン

Speaker section

Stand ·········· 1.準備編 13

Remote sensor window··· 142
• When using the remote control, point its head toward this window.

Ambient illumination sensor window··············· 37

Power indicator ············ 143

Headphones jack········· 95

Ambient illumination sensor indicator··········· 37

Message arrival indicator······················ 76

Timer program indicator 63

Top view

Adjusting the LCD panel angle

- Firmly holding the foot of the stand down to a steady surface with one hand, grip the top edge of the display section, and tilt or rotate the panel with the other hand. The panel can be tilted up to 2° forward, 6° backward, and rotated horizontally up to 10° clockwise and counter-clockwise.

Rear view

• The name and function of each terminal/jack/connector and connection examples are given under “端子のなまえとはたらき” on pages **94** and **95**.

B-CAS card slot 1.準備編 41

B-CAS card lock (ロック)/release (解除) switch 1.準備編 41

Digital audio output jack (optical) 119

Digital module reset button 127

TV module reset button 127

AV in 1 1.準備編 21

AV in 2 1.準備編 21

AV in 4/ Monitor out/ Digital out 101～104

i.LINK (TS) jacks 109

LAN jack 86

VCR controller connector 106

BS/CS 110 antenna input terminal 1.準備編 17

Terrestrial digital antenna input terminal 1.準備編 16

Telephone line jack 1.準備編 18

▼**Inside the terminal covers**

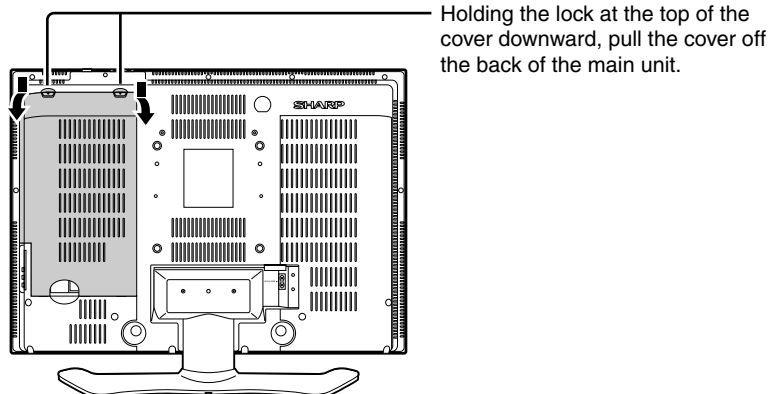
AV in 3 1.準備編 20 102

Power cable connector (AC 100V) 1.準備編 22

VHF/UHF antenna input terminal 1.準備編 16

VHF/UHF antenna output terminal 1.準備編 16

Opening the terminal covers

Holding the lock at the top of the cover downward, pull the cover off the back of the main unit.

Part Names — Remote Control Unit

Cover closed

Display ··· 145
Press to display or turn off the channel call, etc.

Active/Standby ··· 144
Press to engage the TV set in the active or standby mode.

CATV ··· 145
When selecting a CATV channel by entering the channel number, press this button first, then enter the 2-digit number with the TV channel select buttons (1-10/0).

Terrestrial digital select ··· 144・147
Press to select the terrestrial digital network.
∗ Use this button after the TV set is tuned to receive terrestrial digital broadcasts.

Terrestrial analog select ··· 144
Press to select the terrestrial analog network.

d (linked data broadcast) ··· 149
Press to call the data broadcast linked with the current digital TV program.

Volume up (+)/down (–) ··· 144
Press to adjust the volume.

Mute ··· 144
Press to temporarily turn off the sound. Press again to return the sound volume to the previous level.

EPG ··· 149
Press to display or turn off the Electronic Program Guide (EPG: 番組表) when receiving a digital broadcast.

Program info ··· 149
Press to display detailed information (e.g. title, genre, on-air time, cast, writer, etc.) on the current digital program.

Cursor
(up, down, left, right) ··· 146・147
Use to select a menu item, column, etc.

Enter/Confirm ··· 146・147
Press to confirm a selected setting or menu item.

Finish ··· 22
Press to end the picture freeze mode, turn off the EPG display, or finish menu operation, etc.

Note
This button can be conveniently used when you are at a loss during menu or EPG operation, etc.

Color
(blue, red, green, yellow) ··· 147
Use to operate EPGs and data program screens.

Sleep timer ··· 42
Press to select the desired remaining time period after which the TV set is automatically turned off and enters the standby mode.

Iki-iki voice ··· 40
Automatically, tuning audio signal to the sound which is suited to voice.

Favorite channel select/register ··· 46
Press to select a user-registered channel and to turn on/off the favorite channel register/registered channel table screen.

Digital channel number input 147
When selecting a digital channel by entering the 3-digit channel number, press this button first, then enter the channel number with the channel select buttons (1-10/0).

Channel select ··· 144
- Press to select a channel after selecting the desired network (terrestrial analog [地上A], terrestrial digital [地上D], BS, CS) and media (TV, radio, or data).
∗ Factory setting: BS digital TV channels
- Use to input a number for various settings.

CS select ··· 144・147
Press to select the CS digital networks.

BS select ··· 144・147
Press to select the BS digital network.

Media select ··· 147
Press to select the desired media (TV, radio, or data).

Channel up (∧)/down (∨) ··· 144
Press to select channels in the current network, media and CATV channels in the ascending or descending order.
∗ CATV channels are factory set to be skipped.

Input select ··· 97・145
Press to select the desired input.

Other on-air programs ··· 60
Press to display the EPG for currently on-air programs only (裏番組).

Menu ··· 22
Press to display or turn off the menu screen.
*The menus can be displayed in English. See page **146** for instructions on how to switch the display language.*

Return ··· 22
Press to go back to the previous screen. Press this button instead of the Enter/Confirm (決定) button when you have selected the wrong item or input the wrong number, etc.

Cover open

Digital channel register······ 54
Press to display or turn off the channel register/registered channel table screen.

Freeze······ 48
Press to freeze the picture. A frozen image and a moving picture are displayed simultaneously on split screens.

Screen mode······ 32
Press to select the desired screen mode.

Picture select······ 149
Press to select the desired picture when watching a digital multi-picture program.

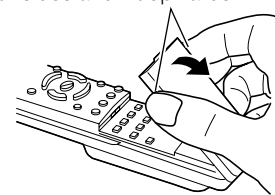
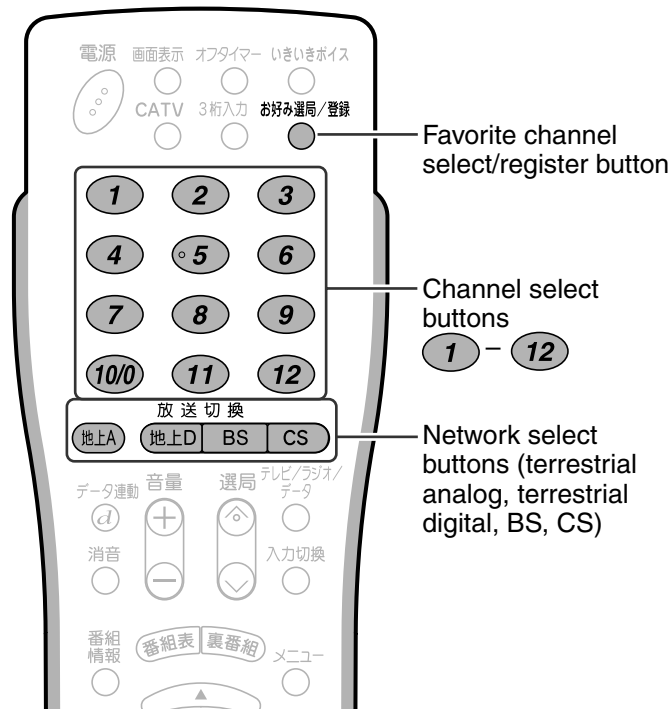
i.LINK······ 113
Press to select the i.LINK mode. Press to display or turn off the D-VHS VCR, AV-HDD recorder, or Blu-ray Disc recorder control panel.

GR······ 44
Press to activate or deactivate the GR (ghost reduction) function.

AV mode select······ 35
Press to select the picture/sound setting (dynamic [locked], dynamic, standard, cinema, game, or AV memory) that best matches the current program.

Caption······ 149
Press to display, select, or turn off captions when watching a digital program with captions.

Audio select······ 41·55·149
Press to select the desired audio (e.g. Japanese or English in bilingual broadcast, the main sound or a sub sound in digital multi-sound broadcast, etc.).

To open the cover
Hold the cover by the projections on both sides and lift upwards.

Basic operation for channel selection

Selecting terrestrial analog (VHF/UHF) channels

① Press 地上A to select terrestrial analog broadcast.
② Press 1 – 12 to select the desired channel.

Selecting digital channels

① Press 地上D, BS or CS to select the desired digital broadcast network.
② Press 1 – 12 to select the desired channel.

Types of broadcast
- 地上A Terrestrial analog: Conventional VHF/UHF broadcast
- 地上D Terrestrial digital: Terrestrial digital broadcast
- BS BS: BS digital broadcast
- CS CS: CS 110 digital broadcast

■For details about channel selection, see pages **144** and **147**.

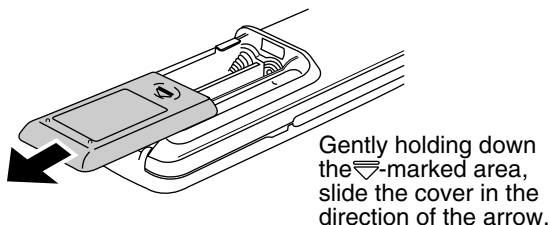
Selecting favorite channels

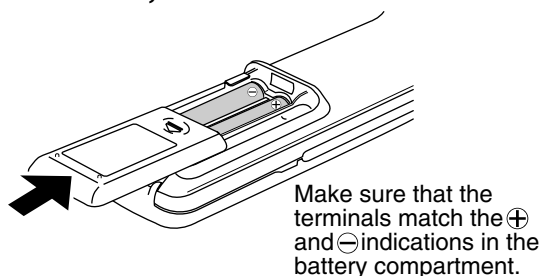
① Press お好み選局/登録 to display the registered channel screen.
② Press 1 – 12 to select the desired channel.

Part Names — Remote Control Unit

Inserting batteries in the remote control

1 Open the battery cover.

Gently holding down the ▽-marked area, slide the cover in the direction of the arrow.

2 Insert the supplied two AAA batteries, and close the cover.

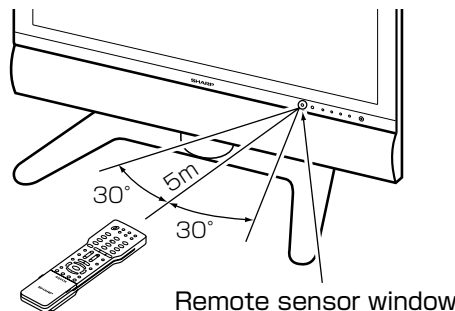
Make sure that the terminals match the ⊕ and ⊖ indications in the battery compartment.

Cautions regarding batteries

Improper use of batteries can result in chemical leakage or explosion. Be sure to follow the instructions below.

- Do not mix batteries of different types.
- Do not mix old and new batteries.
- Do not try to charge or disassemble batteries.
- Place the batteries with their terminals corresponding to the ⊕ and ⊖ indications.
- Do not short-circuit batteries.

- The supplied batteries may have a shorter life expectancy due to storage conditions. Replace them with new ones before they are depleted.
- Remove the batteries from the remote control, if you will not use it for a long time.
- If, after replacing batteries, the remote control does not work, make sure the new batteries are placed in the right direction.

Remote control operating range

When operating the remote control, direct its head toward the remote sensor window located at the bottom right corner of the main unit, as shown below. The maximum operating range is approximately 5 meters in distance, and 30 degrees in angle against the straight line normal to the remote sensor window, as shown below.

Note:

- The remote control may not work when there is an obstacle between the remote control and the main unit's remote sensor window.
- As the batteries are depleted, the operating distance will become shorter. Replace them with new ones.
- The remote control may not work properly when there is a fluorescent light near the main unit's remote sensor window.

Cautions regarding the remote control

- Do not expose the remote control to shock, water, or high humidity.
- The remote sensor window on the main unit may not properly receive remote control signals when it is under direct sunlight or strong lighting. In such a case, change the angle of the lighting or the main unit.

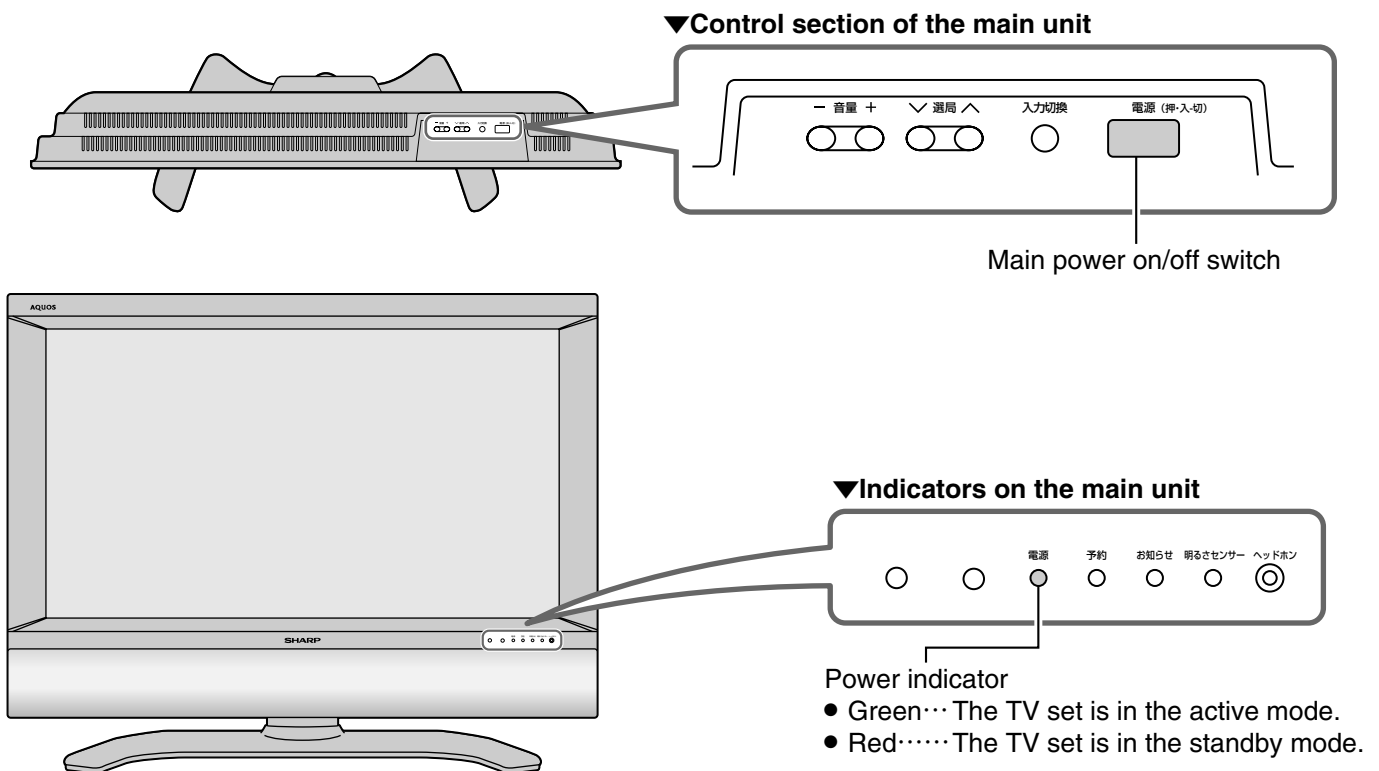
Quick Start Guide

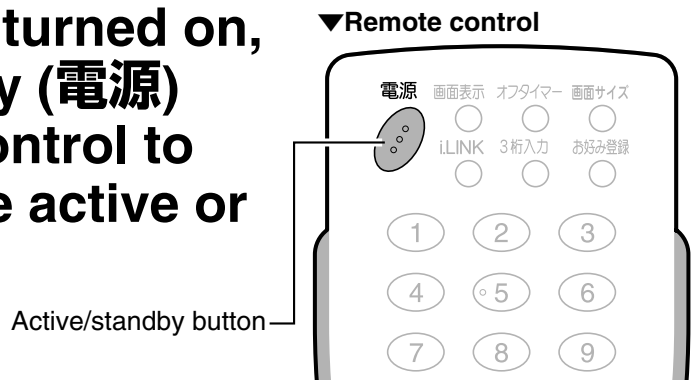
Basic Operations

Shown on this and the next three pages are the basic operations for enjoying TV and video programs.

Turning the power on

❶ Press the main power on/off (電源（押•入-切)) switch in the control section of the main unit to turn the main power on.

- The power indicator lights up in green indicating the TV set is now in the active mode.

❷ After the main power is turned on, press the active/standby (電源) button on the remote control to engage the TV set in the active or standby mode.

- The power indicator is lit red when the TV set is in the standby mode.

- This TV set communicates with digital TV stations even when it is in the standby mode (with the power indicator lit red).
- When you press the active/standby（電源）button on the remote control to turn off the TV, it may take a while before the power is actually turned off. (During this time, the system is storing the internal data to its memory.)

Quick Start Guide in English

Basic Operations

Power on/off, channel selection, volume control

1 Turn on the TV.

Power on ············ The power indicator lights green.
(Active mode)

2 Select the desired network.

Network select buttons

- Press to select the desired network (terrestrial analog [地上A], terrestrial digital [地上D], BS, CS).
  (* The 地上D [terrestrial digital select] button works only after terrestrial digital broadcasting services are started in your area and the TV set is tuned to receive terrestrial digital broadcasts.)

3 Select the desired channel.

Channel select buttons

- Press to select a channel after selecting the desired network (terrestrial analog [地上A], terrestrial digital [地上D], BS, CS) and media (TV, radio, or data).

Channel up (∧)/down (∨) buttons

- Press to select channels in the network and media of last selected channel.

See pages 147 through 149, and 49 through 92 for digital broadcast-related operations.

4 Adjust the volume.

The volume indicator will appear on the TV screen showing the current volume level with numerals and a bar.

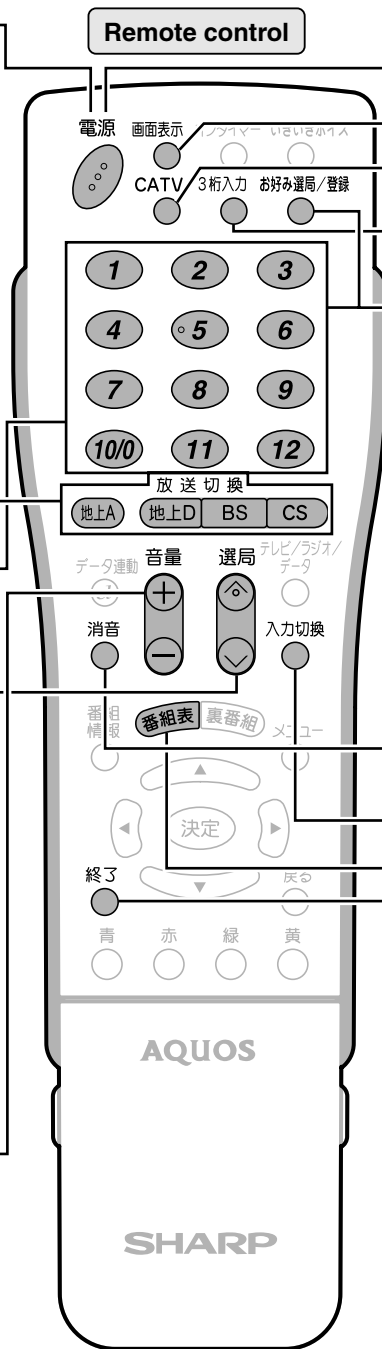
30

- You can adjust the volume for each input independently.

5 Turn off the TV.

Power off ············ The power indicator lights red.
(Standby mode)

Remote control

電源 画面表示 CATV 3桁入力 お好み選局／登録 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12 放送切換 地上A 地上D BS CS データ連動 音量 選局 テレビ／ラジオ／データ 消音 入力切換 番組情報 番組表 裏番組 メニュー 決定 終了 戻る 青 赤 緑 黄 AQUOS SHARP

Select the desired favorite channel.

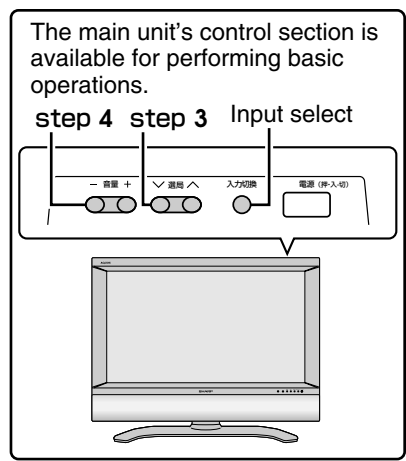
Favorite channel select /register

- Press to select the user-registered channel.
  (Press the favorite channel select/register (お好み選局／登録) button, then press the channel select button.)

Press to temporarily turn off the sound.

- Press this button again or press the volume up/down buttons to return the sound volume to the previous level.

The main unit's control section is available for performing basic operations.

step 4 step 3 Input select

Power cable connection

- This TV communicates with digital TV stations even when it is in the standby mode.
- Do not disconnect the power cable from the wall outlet immediately after it has been plugged in. In rare instances, the main unit's built-in memory will be initialized causing timer programs, the PPV program purchase history (unrecoverable), etc. to be erased. If this happens, perform all necessary settings again.
- Do not unplug the power cable or interrupt the power supply when the TV set is in use. This may damage the data stored in the built-in memory.

Preset channels

- This TV set is factory preset to receive VHF channels 1 to 12 and BS/CS 110 channels. See pages **24** through **39** of 1.準備編 if you wish to receive terrestrial analog UHF broadcasts or change the channel settings.

On-screen displays, CATV, input selection, etc.

Press to display or turn off the channel sign.
- Press to display the current channel sign.
  Press again to turn it off.

Channel sign examples

Terrestrial analog TV

BS digital broadcast

CS 110 digital broadcast

Terrestrial digital broadcast

CATV broadcast

AV input

Use to select a CATV channel by entering the 2-digit channel number.
<Ex.> Selecting channel C23

① Press the CATV button.
② Enter the channel number with the number (channel select) buttons (1-10/0).

Use to select a digital channel by entering the 3-digit channel number.
<Ex.> Selecting BS digital channel 162

① Press the BS select button, then the digital channel number input button.
② Enter the 3-digit channel number with the number (channel select) buttons (1-10/0).

▼ On-screen display (Ex. BS digital broadcast)

Note You can also use the following steps.
① Press the 3桁入力 (digital channel number input) button.
② Press the 地上D (terrestrial digital), BS, or CS button to select the desired network.
③ Input the desired channel number using the 1-10/0 number buttons.

Press to select the desired input.
- Each time you press the button, the screen changes in the following order. (Factory setting)

- Press any channel select button to return to the TV screen.

AV in 1-4 indications
- The AV in 1-4 indications can be changed to match the connected equipment. See "外部機器に表示を合わせる" on page **100** for details.

Ex. AV in 1

INPUT1	VCR1	VCR	COMPONENT1
COMPONENT	D-VIDEO1	D-VIDEO	CATV
CS	DVD	GAME	CAMERA
D-VHS	HDD	DVR	

Press to display the electronic program guide (EPG) when receiving a digital broadcast.
- Press again to turn off the EPG display.

Press to end operation.
- Use to end the picture freeze mode, turn off the EPG display, or finish menu operation, etc.

Tip on use This button can be conveniently used when you are at a loss during menu or EPG operation, etc.

Note

When broadcasting service for the selected channel is over for the day
- If the no-signal-off function is activated, approximately 15 minutes after the end of service day, the power automatically turns off, and the TV set enters the standby mode with the power indicator lit red. (See page **42**.)
- The no-signal-off function may not work properly if the TV set receives a weak signal from any other channel or some other wave.
- The no-signal-off function works in the same way when the TV set is in the AV input mode.

CATV channel reception
- CATV channels can be received only in areas where CATV broadcast services are available.
- To receive CATV channels, you need to sign up with your local CATV broadcasting company for subscription. To watch (and record) charged, scrambled broadcasts, you need to connect a home terminal adapter to the TV set. For further details, consult with your local CATV service provider.
- The channel up/down buttons can be used for CATV channel selection only after you perform individual channel registration. (See pages **35** and **36** of 1.準備編.)
- The selectable CATV channels are C13 through C63.

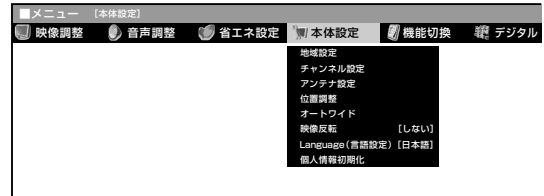
Quick Start Guide

Basic Operations

Switching the Display Language to English

■ Using the menu screen, you can switch the on-screen display language to English.

Remote control (Cover closed)

1

① Press メニュー (menu) to display the menu screen.

② Press ◀ or ▶ to select "本体設定"(Setup).

2

Press ▲ or ▼ to select "Language (言語設定)", then press 決定 (enter).

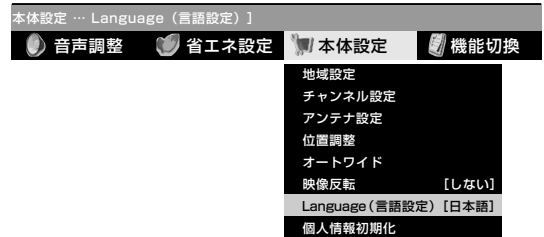
3

Press ◀ or ▶ to select "English", then press 決定 (enter).

● The menu screen is now displayed in English.

4

Press メニュー (menu) or 終了 (finish) to return to normal screen.

Quick Start Guide

Enjoying Digital Broadcasts

Selecting a digital program

Select the desired digital broadcast network

The TV set incorporates a digital tuner that allows you to receive four digital broadcast networks—terrestrial digital, BS, CS. What you do first is to select the network of your choice.

Press 地上D (terrestrial digital) , BS or CS to select the desired network.

2 Select the type of broadcast (Not necessary when selecting a channel by entering the channel number.)

Digital broadcasts offer not only TV programs but also radio and data programs. After you have selected the network of your choice in step 1 above, what you do next is to select the type of broadcast—TV, radio, or data, by pressing テレビ/ラジオ/データ (media select).

Press テレビ/ラジオ/データ (media select) to select the desired media (TV, radio, or data).

- Each time you press the button, the media changes as shown below.

Operating a data program screen

Data programs usually display control button and item graphics on the screen. Use ▲ ▼ ◀ ▶ cursor buttons and 決定 (enter/confirm) as well as color buttons (青 Blue, 赤 Red, 緑 Green, 黄 Yellow) to select an item, confirm your choice, or switch screens back and forth, etc.

Select the desired channel

① **Using the channel select buttons**

The channel select buttons are factory preset to receive the channels listed in the tables shown on page **148**.

After you have received the desired type of broadcast in step 2 above, all you do now is press one of the channel select buttons 1 - 12 to directly select the channel of your choice.

② **Selecting a channel by entering the 3-digit channel number** (Ex. Selecting a BS channel)

Press 3桁入力 (digital channel number input). “BS---” is displayed in the top right corner of the screen.

Enter the 3-digit channel number using the channel select buttons (1-10/0).

Ex. Press 1 → 4 → 1 to select BS Nippon.

As you press the third button, 1 , a BS Nippon program will be displayed on the screen.

③ **Using 選局 (channel up/down)**

After you have received the desired type of broadcast in step 2 above, press the ∧ or ∨ side of 選局 (channel up/down) to select the next higher or lower channel.

Quick Start Guide in English

Enjoying Digital Broadcasts

Factory preset digital channels

Terrestrial digital channels*

Channel select button	Channel name	Channel number	Channel select button	Channel name	Channel number
1	NHK General (Tokyo)	011	7	TV Tokyo	071
2	NHK Education (Tokyo)	021	8	Fuji Television	081
3	—	—	9	Tokyo MX TV	091
4	Nippon TV	041	10/0	—	—
5	TV Asahi	051	11	—	—
6	TBS	061	12	University of the Air	121

*This table shows the terrestrial digital broadcast channel plan for Tokyo area.

BS (BS digital) channels

Channel select button	TV		Radio		Data	
	Channel name	Channel number	Channel name	Channel number	Channel name	Channel number
1	NHK BS1	101	BSC300	300	Megaport	900
2	NHK BS2	102	—	—	Weathernews	910
3	NHK Hi-Vision	103	JFN 1	320	Digicas 933	933
4	BS Nippon	141	St. GIGA	333	NDB 940	940
5	BS Asahi	151	BS Nippon Radio 1	444	—	—
6	BS-i	161	BSA Radio 455	455	Tivi! 963	963
7	BS Japan	171	BS-i Radio	461	ch999	999
8	BS Fuji	181	BSJ 471	471	—	—
9	WOWOW	191	LFX488	488	—	—
10/0	Star Channel	200	BSQR489	489	—	—
11	—	—	WOWOW WAVE 1	491	—	—
12	—	—	—	—	—	—

CS (CS 110 digital) channels

Channel select button	TV	Radio	Data	Channel select button	TV	Radio	Data
	Channel number	Channel number	Channel number		Channel number	Channel number	Channel number
1	100	—	—	7	—	—	—
2	001	—	—	8	—	—	—
3	—	—	—	9	—	—	—
4	—	—	—	10/0	—	—	—
5	—	—	—	11	—	—	—
6	—	—	—	12	—	—	—

- The channel plans listed above are those known as of December 2004, and subject to change in the future.

Various services of digital broadcasting

Digital broadcasting stations offer various services which take advantage of digital technologies that allow far more data volume to be transmitted within a single channel than the traditional terrestrial or satellite analog TV. These services include programs with multiple pictures and sounds, program-linked data broadcast in which program-related or independent information is provided with still images and texts, and provision of program information using which your TV shows an on-screen electronic program guide (EPG) when desired.

●Multiple pictures

Press 映像切換 (picture select) under the cover until the desired picture is selected. (This feature is only available when the current program has multiple pictures.)

●Multiple sounds

Press 音声切換 (audio select) under the cover until the desired sound is selected. (This feature is only available when the current program has multiple sounds.)

●Captions

Press 字幕 (caption) under the cover to display or turn off captions, or press the button until the desired caption is selected when the current program offers multiple captions. (This feature is only available when the current program has one or more captions.)

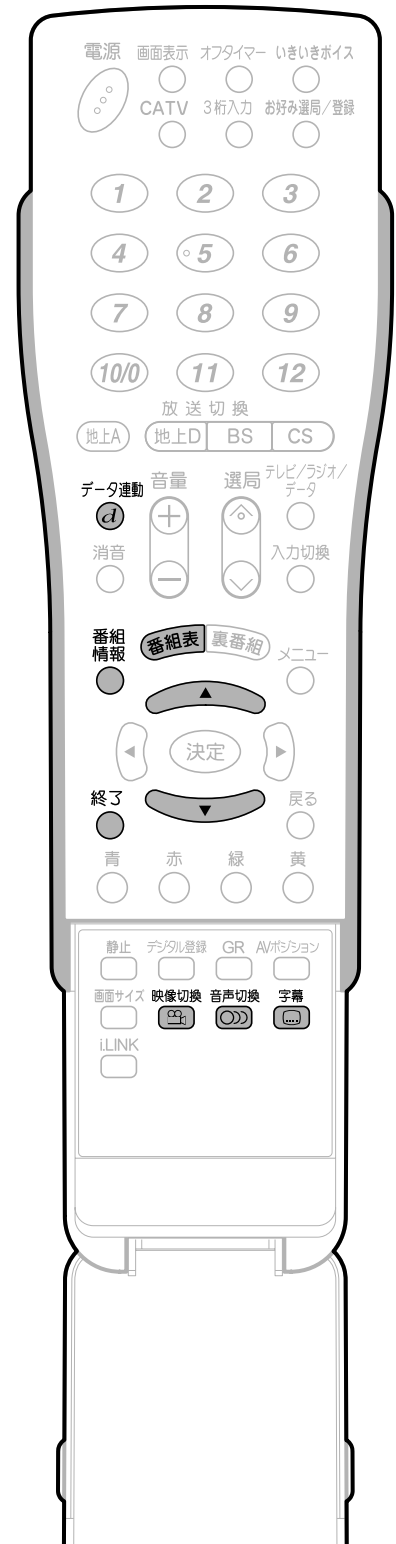
●Program-linked data broadcast

Press データ連動 (linked data) to display the linked data screen. A program-linked data screen usually has an inset screen that shows the program which has been being viewed. To return to the normal screen, press データ連動 again. (This feature is only available when the current program has a linked data broadcast.)

●Program information

Press 番組情報 (program info) to display detailed information (title, genre icon, on-air time, cast, writer, etc.) on the current program. When the information window has multiple pages, press the down cursor button to see the next page. Press the up cursor button to return to the previous page. To turn off the information window, press 番組情報 again.

●Electronic program guide (EPG)

Press 番組表 (EPG) to display an on-screen program guide, a schedule of programs currently on air and ones to be broadcast in the future (as far as a week ahead not including today), with which you can select a program you wish to see. The EPG also allows you to timer-record programs. (You need to connect the TV to a VCR, D-VHS VCR, AV-HDD recorder, or Blu-ray Disc recorder with a timer programming function.) To turn off the EPG, press 番組表 again or press 終了.

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

液晶カラーテレビ LC-32AD5 LC-37AD5

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

省エネ 「明るさセンサー」を活用

周囲の明るさに応じて液晶画面の明るさを自動的に調整する「明るさセンサー」機能がついています。この機能を「入」にすると周囲が暗いときには、自動的に画面を暗くするので、省エネになります。

上手に使って、もっともっとエコロジークラス。

◎外出やおやすみのときは主電源を切って

リモコンで液晶テレビの電源を切っても、少量の電力を消費しています。こまめに本体の主電源を切ることにより、更に効果的な省エネになります。

※ただし、録画予約、衛星ダウンロードを行う場合は、リモコンで電源を切って下さい。

● 製品についてのお問合せは…

お客様相談センター			
	東日本相談室	TEL **043-297-4649**	FAX **043-299-8280**
	西日本相談室	TEL **06-6621-4649**	FAX **06-6792-5993**

≪受付時間≫ 月曜～土曜：午前9時～午後6時　日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は… **131**ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャーププホームページ **http://www.sharp.co.jp/**

シャープ株式会社

本　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

★この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。
★この取扱説明書は再生紙を使用しています。（古紙配合率100%）

TINS-B705WJZZ ⑥
04P12-JA-OK